

令和2年度 市民意識調査結果報告書

令和3年3月



目 次

1	調査の概要	1
2	調査結果	2
(1)	回答者属性	2
問 1	性別	2
問 2	年齢	2
問 3	居住地区	2
(2)	住みごこちや愛着等について	3
問 4	東近江市の住みごこちは	3
問 5	東近江市への愛着	5
問 6	東近江市を自慢できるか	7
問 7	「鈴鹿 10 座」の認知度	9
問 8	東近江市を訪れた友人・知人の観光案内先	11
問 9	友人・知人を案内する観光地	13
問 10	近江鉄道八日市駅周辺の訪問頻度	15
問 11	中心市街地（八日市駅周辺）が活性化するために必要なこと	17
(3)	健康や福祉について	19
問 12	かかりつけ医の有無	19
問 13	医療体制への満足度	21
問 14	健康づくりのために取り組んでいること	23
問 15	朝食を食べているか	29
問 16	よく眠れるか	31
問 17	運動の実施率	33
問 18	スポーツ教室の内容への希望	35
問 19	不安、悩み、ストレスを感じたか	37
問 20	不安、悩み、ストレスは解消できているか	41
問 21	不安、悩み、ストレスの相談相手	43
問 22	東近江市民の障害者に対する理解	45
問 23	障害者に対する理解に向けて今後特に力を入れるべきこと	47
(4)	環境や暮らしについて	49
問 24	市の自然環境保全の取組への満足度	49
問 25	自然環境との関わりの実感度	51
問 26	低炭素・資源循環型の取組の実践	53
問 27	ごみと資源の分別の実施	57
問 28	木造住宅を建てる時に選ぶ材料	59
問 29	消費生活センターの認知度	61
問 30	市民生活相談課の認知度	63

問 31	市内の公共交通への満足度	65
問 32	近江鉄道について	67
問 33	近江鉄道の利用頻度	69
問 34	近江鉄道を利用する場合の希望	73
問 35	災害への備え	75
(5)	子育てや教育関連の取組について	77
問 36	子育てをするのに良い環境か	77
問 37	通学路の安全確保について	79
問 38	人権が尊重されるまちになっているか	81
問 39	人権に関する講座等への参加	83
問 40	オレンジリボンの認知度	85
問 41	児童虐待の通報先	87
問 42	公立博物館の展示の見学	89
(6)	都市整備について	91
問 43	市内の都市基盤整備に対する満足度	91
(7)	購買状況等について	100
問 44	食品や日用雑貨、衣料品等の購入先	100
問 45	お米の主な購入先	105
問 46	野菜等を購入する際の基準	107
問 47	市内の農産物直売所の利用状況	109
問 48	週1回以上利用しているキャッシュレス決済	111
(8)	協働のまちづくりについて	113
問 49	協働のまちづくりができていますか	113
問 50	まちづくり協議会の活動の認知度	115
問 51	地域での住民同士の助け合いができていますか	117
問 52	地域活動又はNPOやボランティア等の活動への参加状況	119
問 53	多文化共生社会の実現	125
(9)	広報等の情報について	127
問 54	「広報ひがしおうみ」を読んでいるか	127
問 55	「広報ひがしおうみ」の配信方法の認知度	133
問 56	市の情報（お知らせ）の取得方法	142
問 57	「東近江市議会だより」を読んでいるか	144
(10)	市役所のサービスに関して	146
問 58	市役所職員の対応の印象	146
(11)	まちづくりに対する意見等について	148
問 59	まちづくりに対する意見や提案（自由記述）	148
3	総括	151
4	調査票	154

1 調査の概要

(1)調査の目的

東近江市では、平成28年度策定した「第2次東近江市総合計画」に基づき、「うるおいとにぎわいのまち東近江市」を目指してまちづくりを進めています。住みよいまちを実現するために、市民の意識や生活スタイルなど、まちづくりに関する意見を聞くことを目的に、市民意識調査を実施しました。

(2)調査対象

令和2年11月1日現在、東近江市在住の満18歳以上の市民3,047人を対象としました。
(住民基本台帳から無作為抽出)

(3)調査期間

令和2年11月10日から令和2年11月24日まで

(4)調査方法

郵送による配布・回収、無記名

(5)回収状況

調査票の配布数3,047件に対し、宛先不明として返送されてきた調査票が11件あり、到達した配布数は3,036件でした。回収した調査票数1,594件に対し、無効の調査票数は2件で、有効回収調査票数は1,592件、回収率は52.4%でした。

配 布			回 収			到達配布数に対する回収率
配布数	不到達数	到達配布数	回収調査票数	無効調査票数	有効回収調査票数	
3,047	11	3,036	1,594	2	1,592	52.4%

(6)調査結果の表示方法

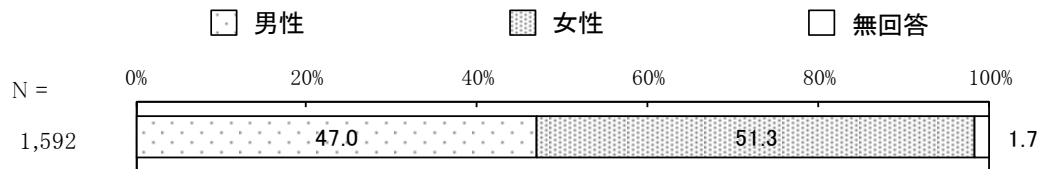
- ・ 回答は、各設問の有効回答数（N）を母数とした百分率（%）で示しています。また、小数点第2位以下を四捨五入しているため、合計が100.0%にならない場合があります。
- ・ 複数回答の設問については、回答者が全体（N=1,592）に対してどのくらいの比率であるかという表記になるため、回答比率の合計が100.0%を超える場合があります。ただし、分岐設問の場合は、Nの値が異なります。
- ・ 調査結果を図表で表示していますが、グラフ以外の表（複数選択の設問）は、最も高い割合のものに■で網かけをしています。（無回答を除く。）
なお、選択数を限定している設問は、選択数の分だけ次に多くあげられているものも薄く網かけしています。
- ・ 指定の回答数以上の回答や分岐設問等での誤った回答などは、すべて「無回答」として集計しています。
- ・ 性別や年代別、居住地区別の集計の場合、無回答を排除しているため、その有効回答数の合計と全体の有効回答数が合致しないことがあります。

2 調査結果

(1) 回答者属性

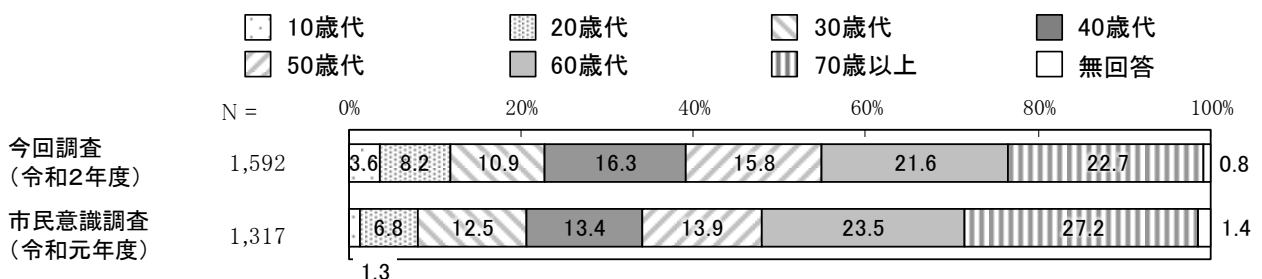
問 1 性別

- 「男性」が47.0%、「女性」が51.3%で、女性がやや多くなっています。



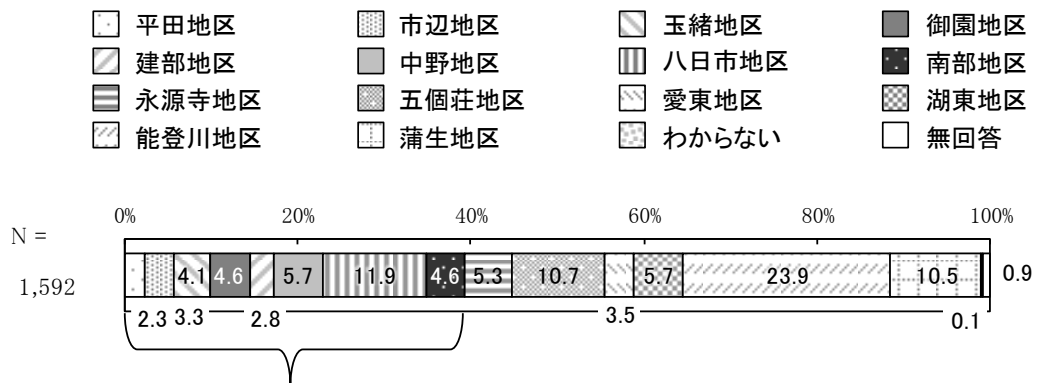
問 2 年齢

- 年齢については、「70歳以上」が22.7%と最も多く、次いで「60歳代」が21.6%、「40歳代」が16.3%、「50歳代」が15.8%の順で、60歳以上が44.3%と4割を占めています。
- 今年度は、新型コロナウイルス感染拡大による外出自粛といった生活様式の変化などが影響してか、60歳未満の若い世代、特に10歳代と40歳代の回答率が増加しています。



問 3 居住地区

- 居住地区については、「能登川地区」が23.9%と最も多く、次いで「八日市地区」が11.9%、「五個荘地区」が10.7%、「蒲生地区」が10.5%となっています。
- また、旧八日市市の8地区を合計すると、39.3%となっています。



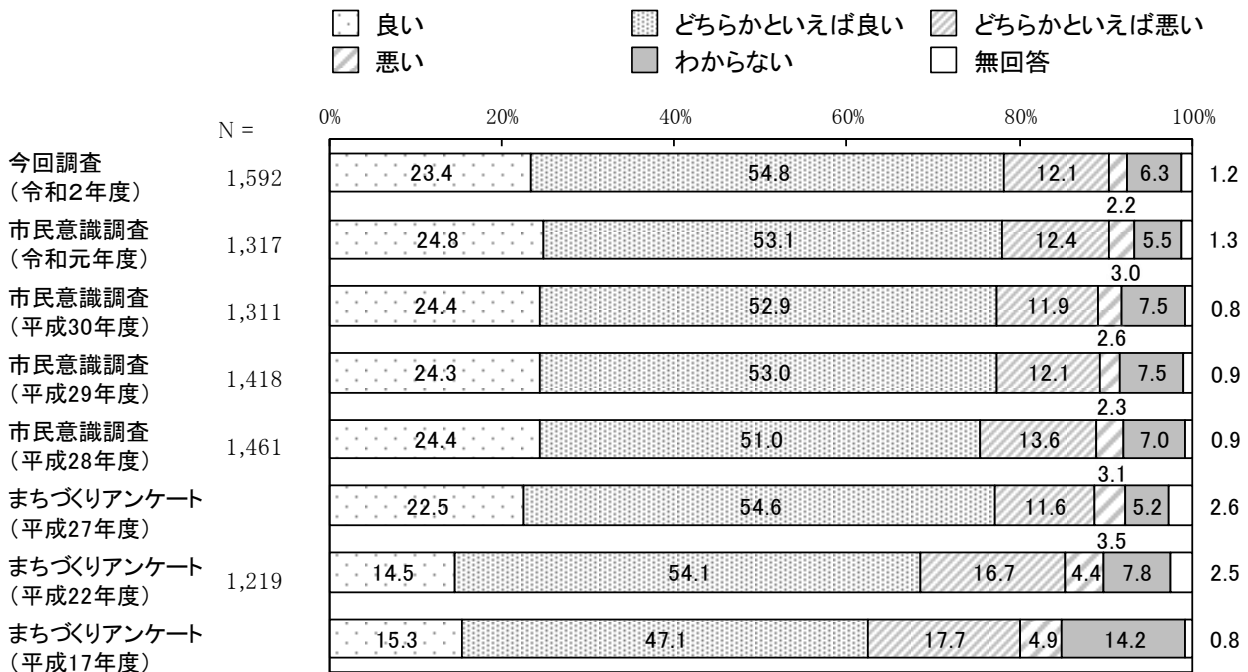
旧八日市市8地区 39.3%

(2) 住みごこちや愛着等について

問4 あなたは、東近江市の住みごこちをどう思いますか。《○1つ》

8割近くが住みごこちが良い

- ・ 東近江市の住みごこちについては、「良い」が23.4%、「どちらかといえば良い」が54.8%で、これらを合わせると78.2%となり、8割近くの人が住みごこちが良いと感じています。一方、「どちらかといえば悪い」と「悪い」を合わせると14.3%となっています。
- ・ 過去の調査と比較すると、変動があるものの、住みごこちが良い（「良い」と「どちらかといえば良い」の合計）の割合は平成28年度以降増加傾向を示しています。
- ・ 年代別では、住みごこちが良い（前述）の割合が、20歳代と60歳以上で8割を超えている一方で、10歳代でやや低くなっています。
- ・ 居住地区別では、住みごこちが良い（前述）の割合が、中野地区、玉緒地区、八日市地区、能登川地区で高く、湖東地区、建部地区、蒲生地区、愛東地区でやや低くなっています。



単位：%

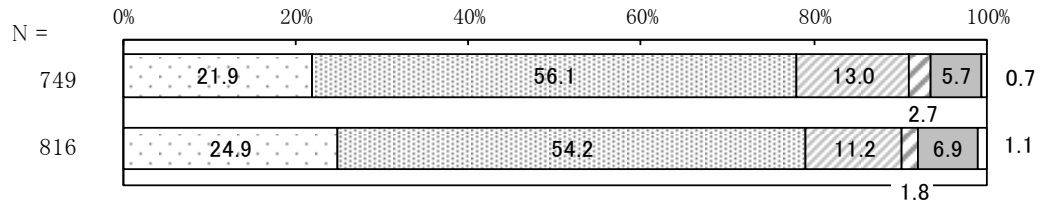
	良い*	悪い*	差
①今回調査(令和2年度)	78.2	14.3	63.9
②市民意識調査(令和元年度)	77.9	15.4	62.5
③市民意識調査(平成30年度)	77.3	14.5	62.8
④市民意識調査(平成29年度)	77.3	14.4	62.9
⑤市民意識調査(平成28年度)	75.4	16.7	58.7
⑥まちづくりアンケート(平成27年度)	77.1	15.1	62.0
⑦まちづくりアンケート(平成22年度)	68.6	21.1	47.5
⑧まちづくりアンケート(平成17年度)	62.4	22.6	39.8
①-⑧	15.8	-8.3	24.1

* 良い:「良い」と「どちらかといえば良い」の合計

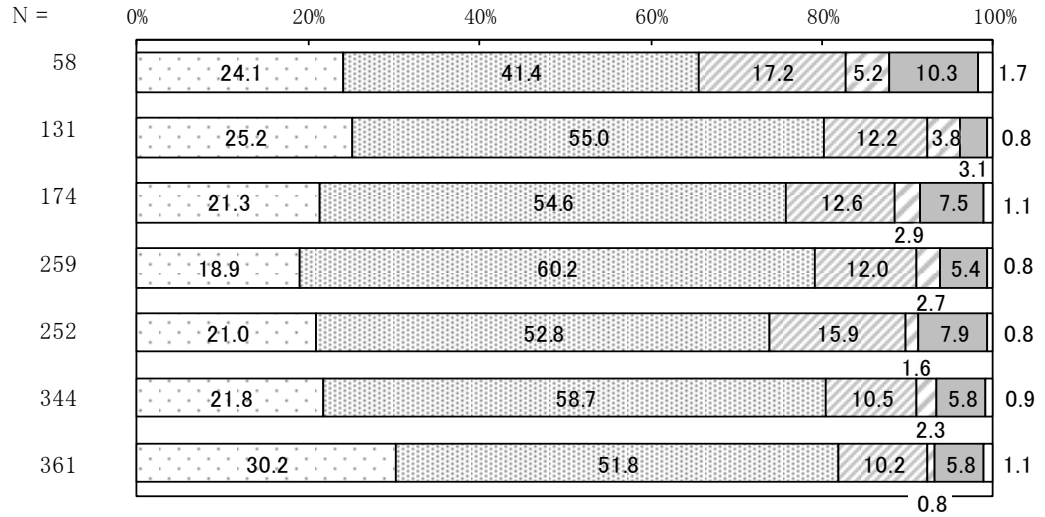
* 悪い:「どちらかといえば悪い」と「悪い」の合計

良い
 どちらかといえば良い
 どちらかといえば悪い
 悪い
 わからない
 無回答

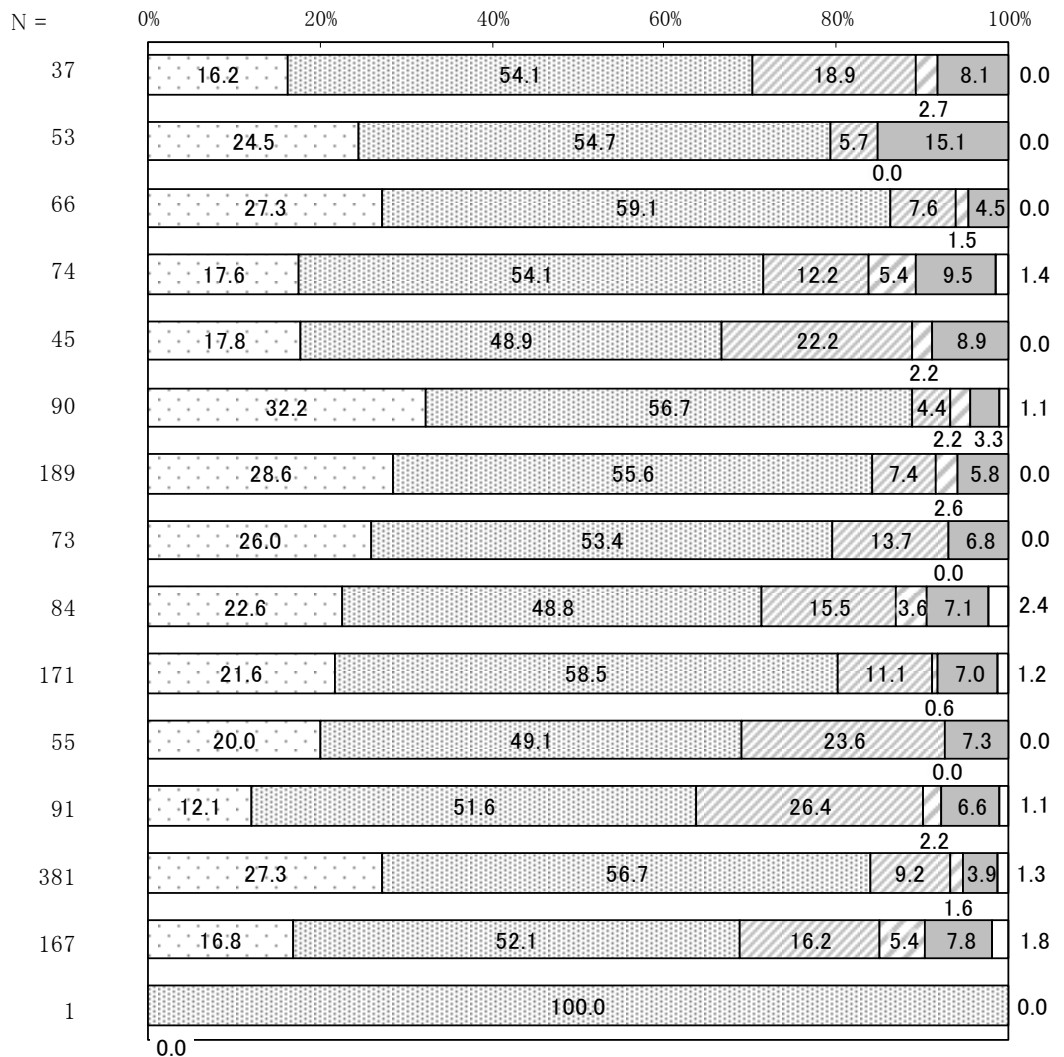
【性別】



【年代別】



【居住地区別】

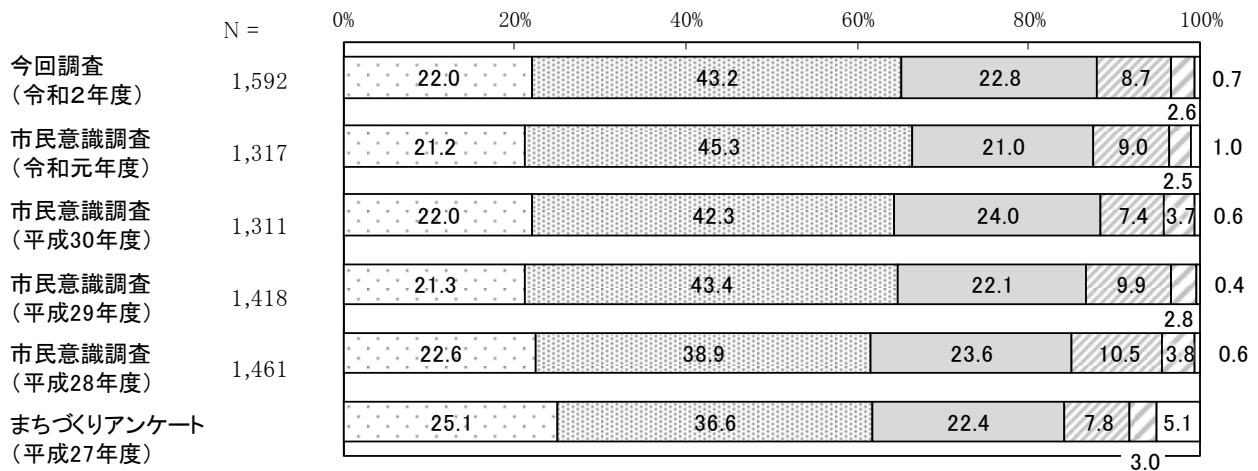


問5 あなたは、東近江市に対して愛着がありますか。《○1つ》

7割近くが東近江市に対して愛着がある

- 東近江市に対する愛着については、「とても愛着がある」が22.0%、「やや愛着がある」が43.2%で、これらを合わせると65.2%となり、7割近くの人が東近江市に何らかの愛着があると回答しています。一方、「あまり愛着がない」と「愛着がない」を合わせると11.3%となっています。また、「どちらともいえない」とする人も22.8%と2割います。
- 過去の調査と比較すると、変動があるものの、愛着がある（「とても愛着がある」と「やや愛着がある」の合計）の割合が増加しています。
- 年代別では、愛着がある（前述）の割合は年齢が上がるほど高くなる傾向がみられ、60歳以上は7割を超えています。
- 居住地区別では、愛着がある（前述）の割合が、中野地区、玉緒地区で高く、建部地区、湖東地区、蒲生地区で低くなっています。

とても愛着がある やや愛着がある どちらともいえない
 あまり愛着がない 愛着がない 無回答



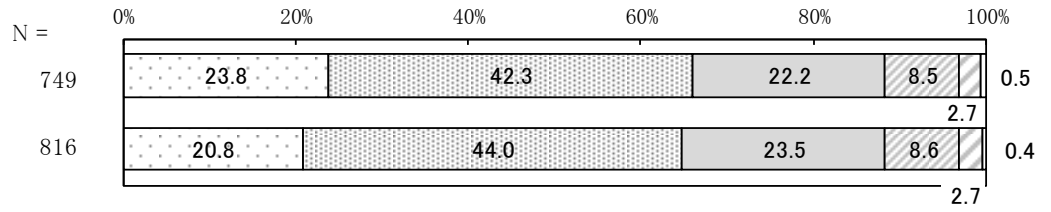
単位：%

	愛着がある*	愛着がない*	差
①今回調査(令和2年度)	65.2	11.3	53.9
②市民意識調査(令和元年度)	66.5	11.5	55.0
③市民意識調査(平成30年度)	64.3	11.1	53.2
④市民意識調査(平成29年度)	64.7	12.7	52.0
⑤市民意識調査(平成28年度)	61.5	14.3	47.2
⑥まちづくりアンケート(平成27年度)	61.7	10.8	50.9
①-⑥	3.5	0.5	3.0

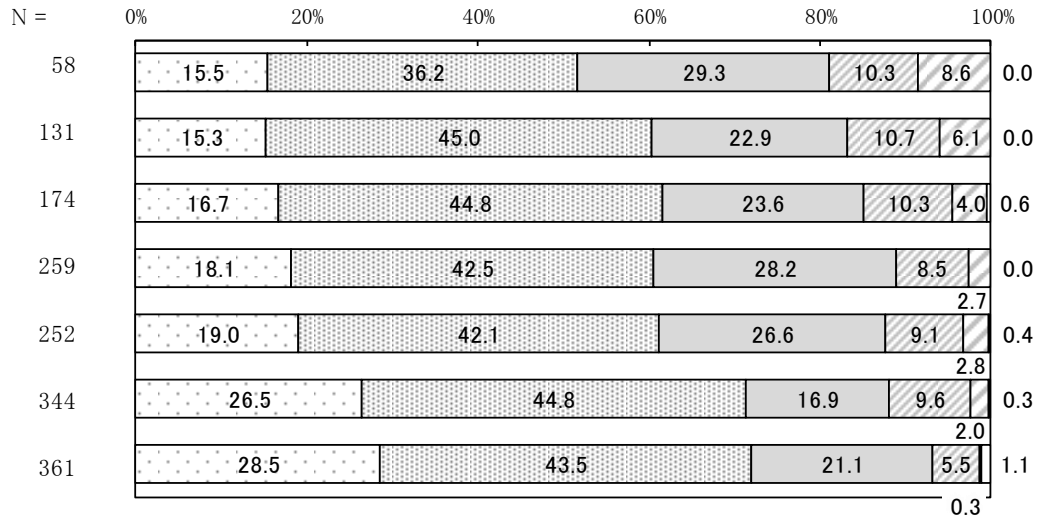
* 愛着がある:「とても愛着がある」と「やや愛着がある」の合計
 * 愛着がない:「あまり愛着がない」と「愛着がない」の合計

とても愛着がある
 やや愛着がある
 どちらともいえない
 あまり愛着がない
 愛着がない
 無回答

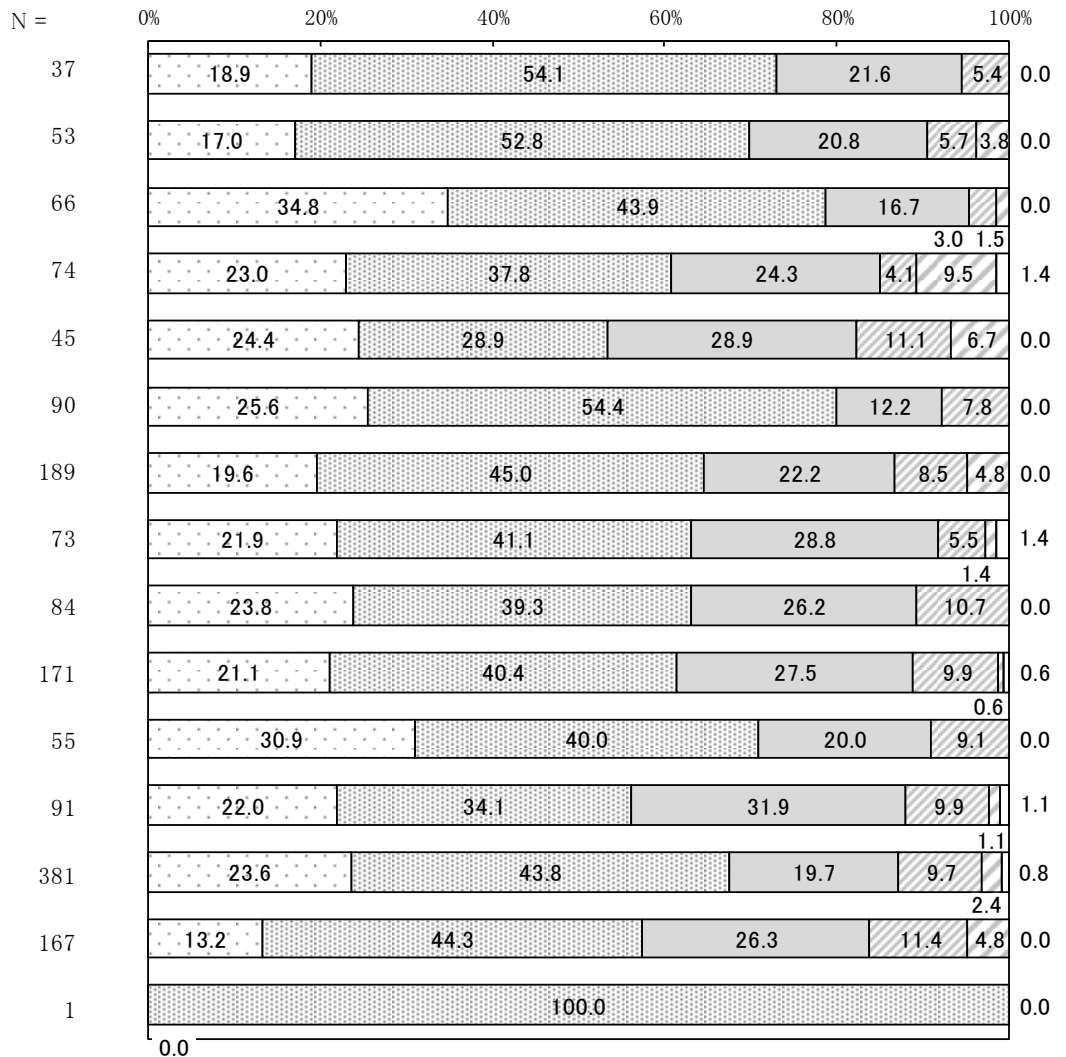
【性別】



【年代別】



【居住地区別】

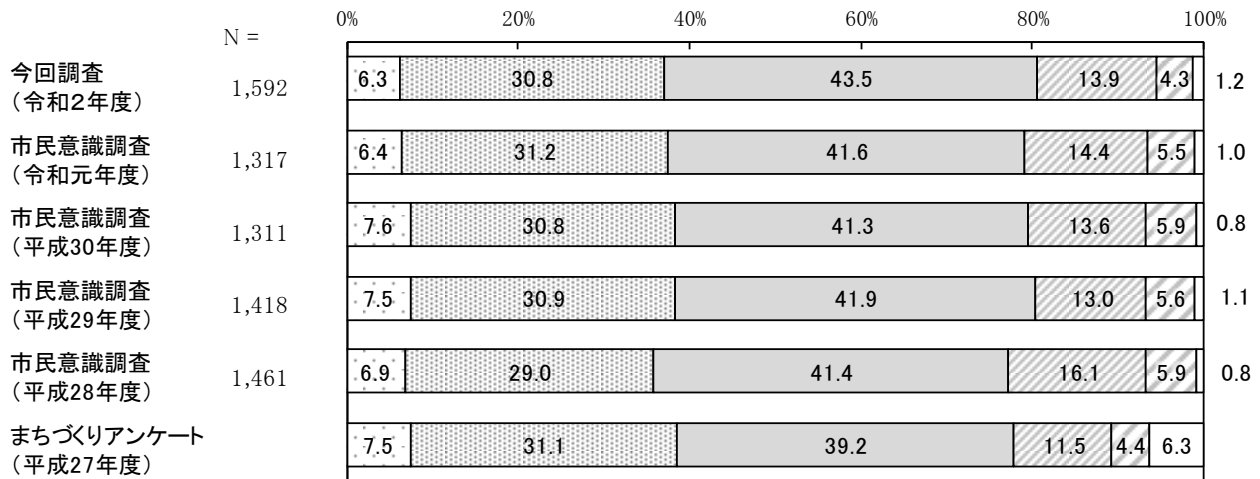


問6 あなたは、東近江市を自慢できますか。《○1つ》

4割近くが自慢できる、4割が「どちらともいえない」

- ・ 東近江市を自慢できるかについては、「どちらともいえない」が43.5%と最も多くなっています。また、「とても自慢できる」が6.3%、「やや自慢できる」が30.8%で、これらを合わせると37.1%となり、4割近くの人は何らか自慢できるとしています。一方、「あまり自慢できない」と「自慢できない」を合わせると18.2%となっています。
- ・ 年代別では、20歳代と60歳以上で自慢できる（「とても自慢できる」と「やや自慢できる」の合計）の割合が高く、10歳代では自慢できる（前述）が、自慢できない（「あまり自慢できない」と「自慢できない」の合計）の割合より低くなっています。
- ・ 居住地区別では、自慢できる（前述）の割合が、玉緒地区、永源寺地区で高く、蒲生地区、建部地区で低くなっています。

とても自慢できる やや自慢できる どちらともいえない
 あまり自慢できない 自慢できない 無回答



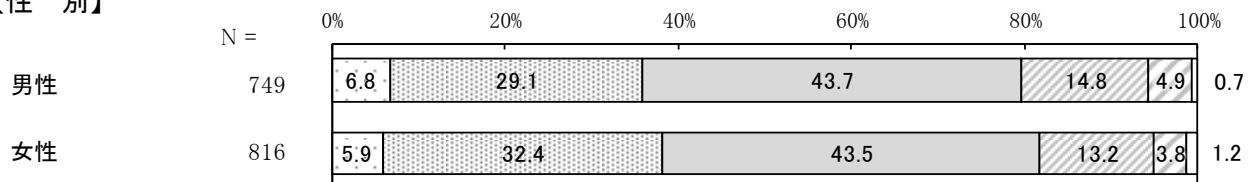
単位：%

	自慢できる*	自慢できない*	差
①今回調査(令和2年度)	37.1	18.2	18.9
②市民意識調査(令和元年度)	37.6	19.9	17.7
③市民意識調査(平成30年度)	38.4	19.5	18.9
④市民意識調査(平成29年度)	38.4	18.6	19.8
⑤市民意識調査(平成28年度)	35.9	22.0	13.9
⑥まちづくりアンケート(平成27年度)	38.6	15.9	22.7
①-⑥	-1.5	2.3	-3.8

* 自慢できる:「とても自慢できる」と「やや自慢できる」の合計

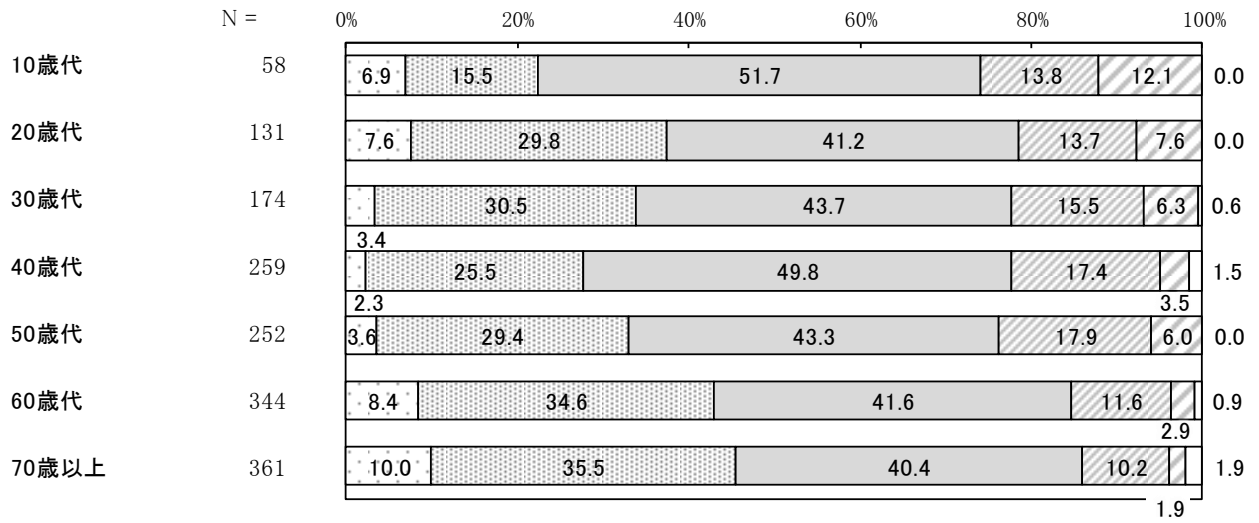
* 自慢できない:「あまり自慢できない」と「自慢できない」の合計

【性別】

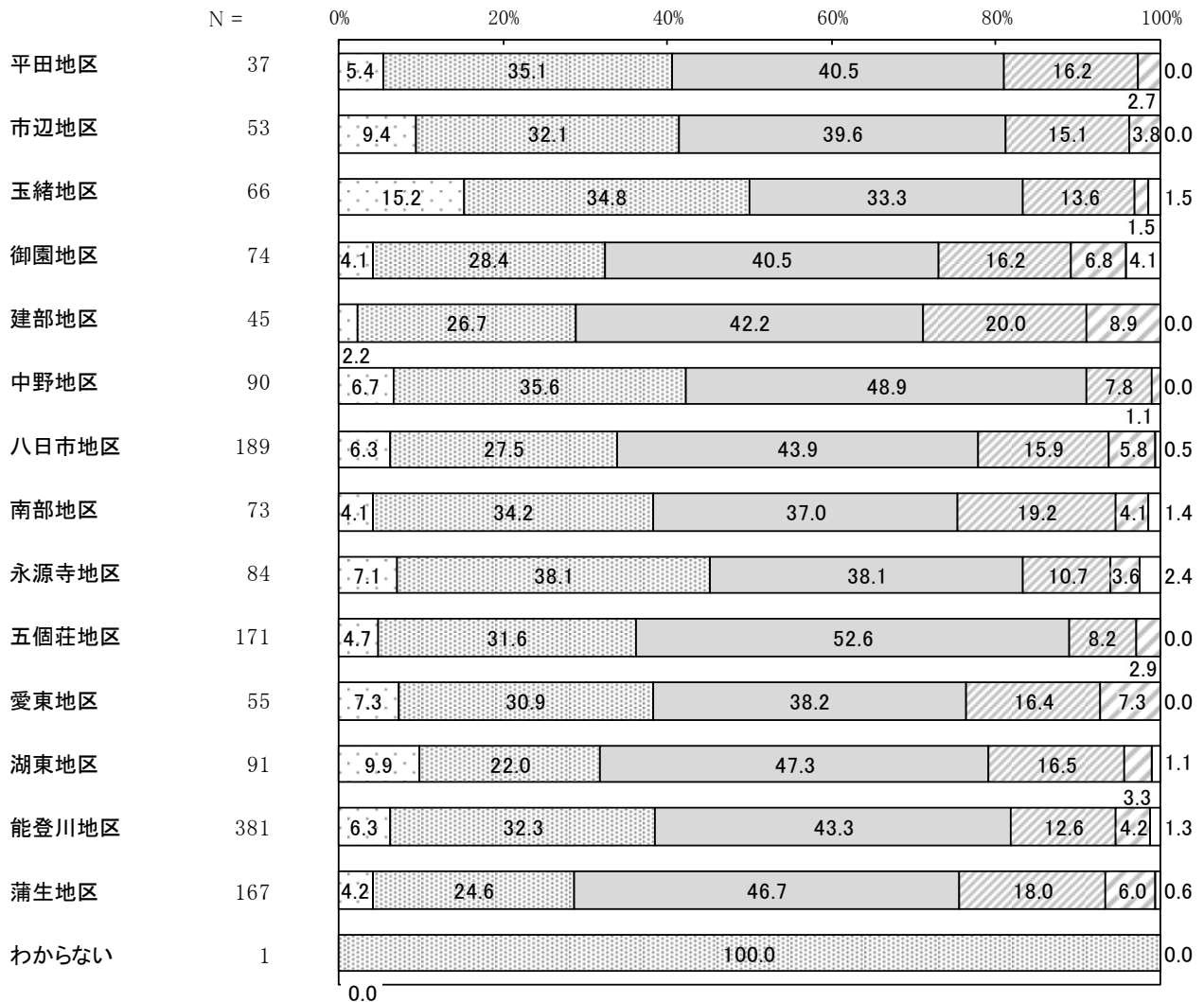


【年代別】

とても自慢できる やや自慢できる どちらともいえない
 あまり自慢できない 自慢できない 無回答



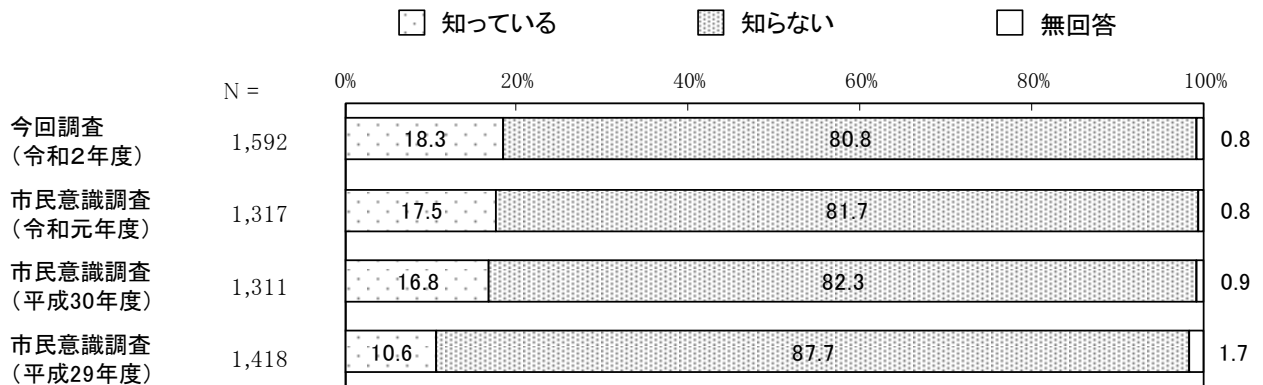
【居住地区別】



問7 東近江市では、平成27年度に鈴鹿の山々から「鈴鹿10座」を選定し、鈴鹿山脈の素晴らしさと存在意義を広く周知するとともに、市の知名度アップに取り組んでいます。
あなたは、「鈴鹿10座」が選定されたことを知っていますか。《○1つ》

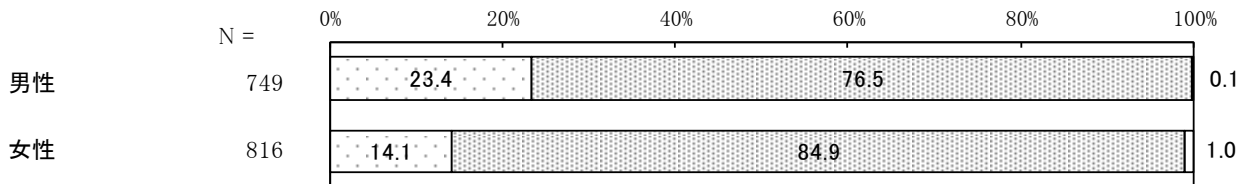
8割が「知らない」、認知度は2割近く

- ・ 「鈴鹿10座」については、「知らない」が80.8%と8割を占めています。一方、「知っている」は18.3%で、認知度は2割近くとなっています。
- ・ 過去の調査と比較すると、認知度が1割から2割近くへと徐々に向上しています。
- ・ 性別では女性より男性で、年代別では年齢が上がるほど、居住地区別では永源寺地区で、「鈴鹿10座」の認知度が高くなっています。

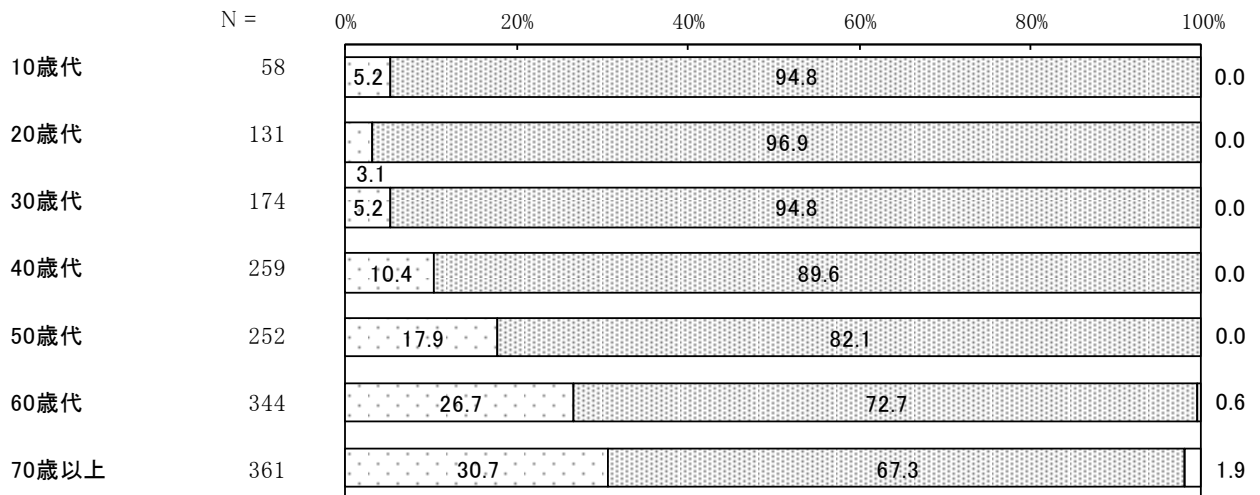


※令和元年度までの設問は、「鈴鹿10座を知っていますか」

【性別】



【年代別】

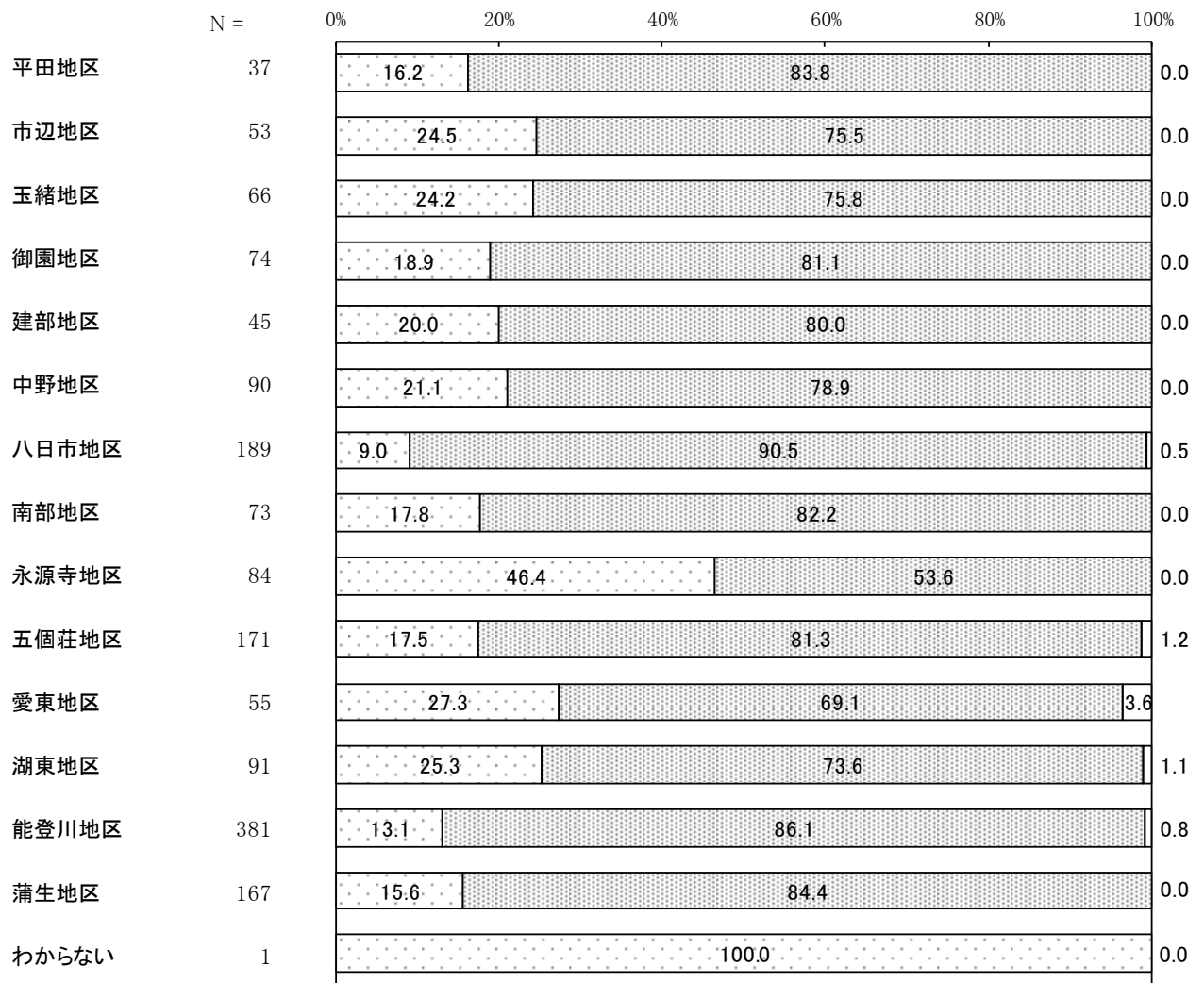


【居住地区別】

□ 知っている

▨ 知らない

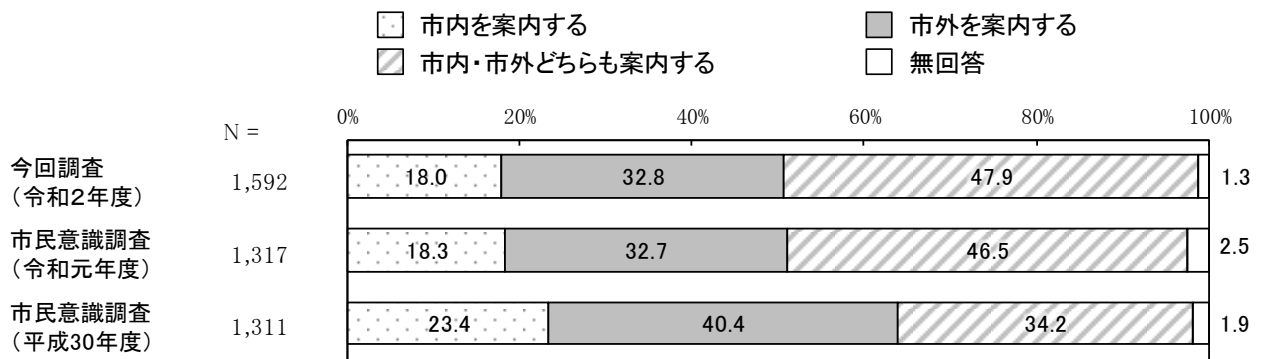
□ 無回答



問8 あなたは、東近江市に訪れた友人・知人を観光案内する場合に、どちらを案内しますか。
《○1つ》

半数近くが市内・市外どちらも案内

- ・ 東近江市を訪れた友人・知人の観光案内先としては、「市内・市外どちらも案内する」が47.9%と最も多く、次いで「市外を案内する」が32.8%と続き、「市内を案内する」は18.0%となっています。
- ・ 年代別では、30歳代までは「市外を案内する」が、40歳以上は「市内・市外どちらも案内する」が最も多くなっています。そのほか、10歳代と70歳以上で「市内を案内する」の割合が高くなっています。
- ・ 居住地区別では、蒲生地区、平田地区は「市外を案内する」が、そのほかの地区は「市内・市外どちらも案内する」が最も多くなっています。そのほか、愛東地区、永源寺地区で「市内を案内する」の割合が高くなっています。



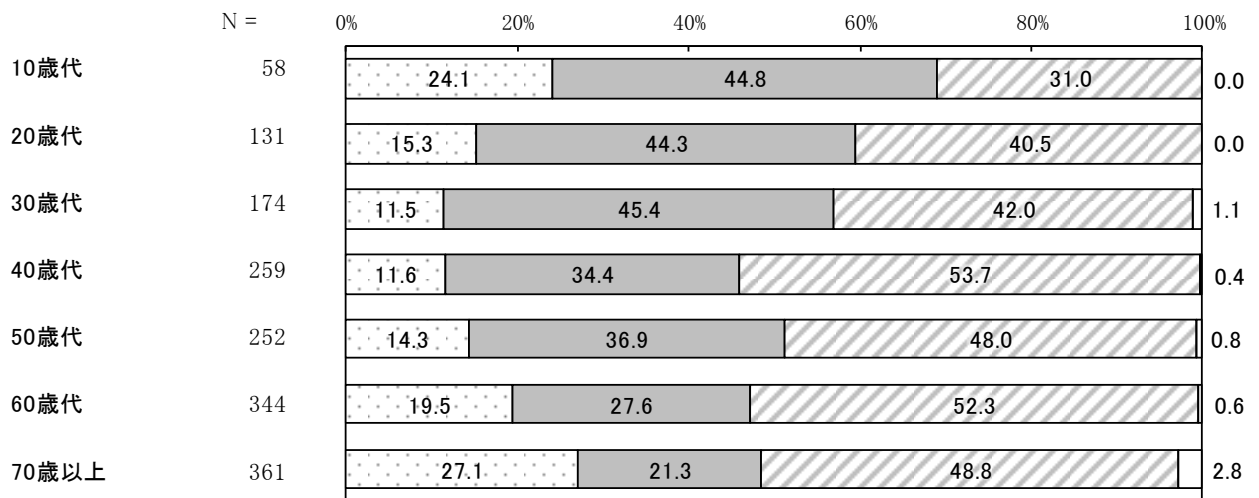
※平成30年度は「市内」、「市外」、「いずれも」の3つ

【性別】

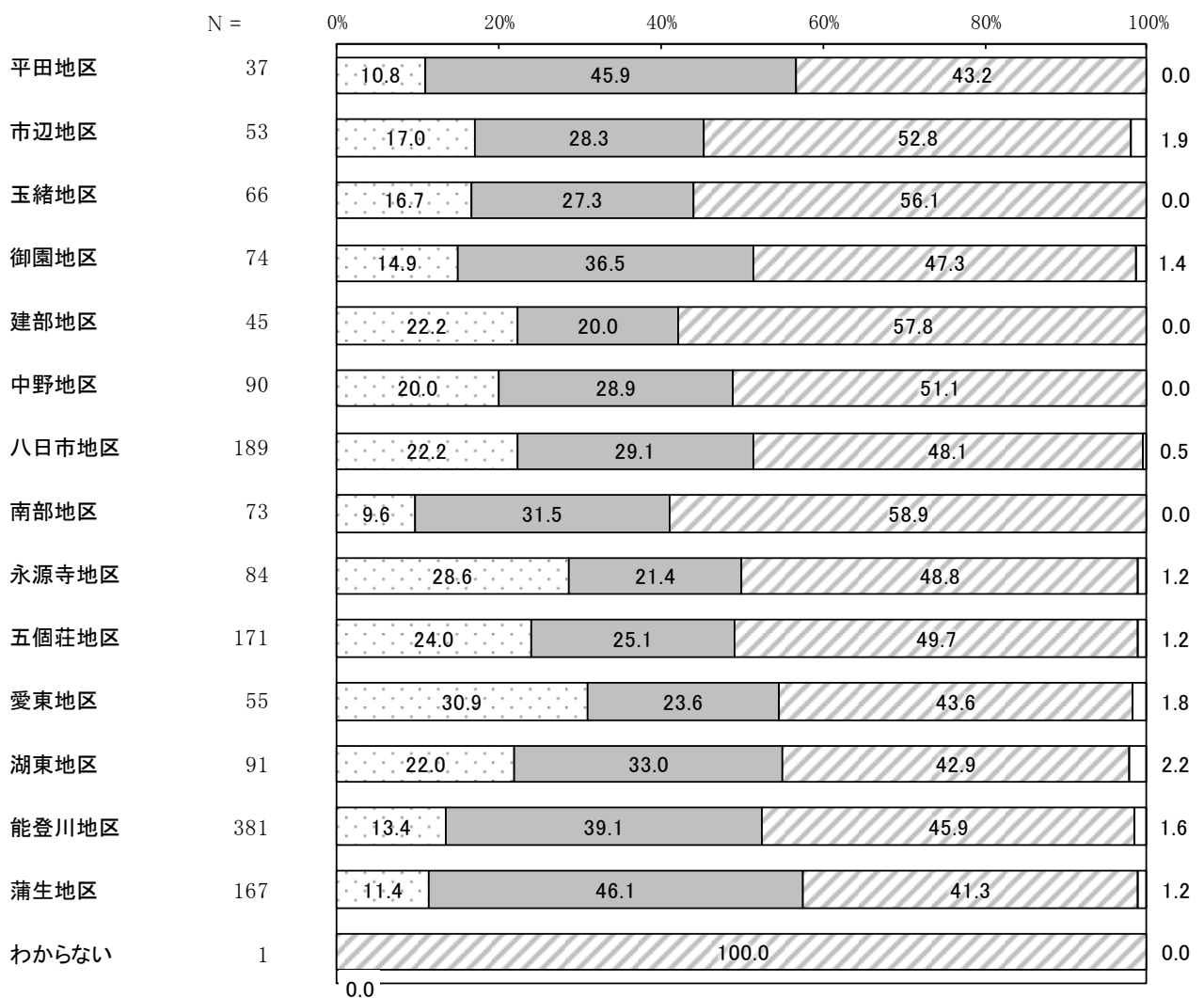


【年代別】

市内を案内する
 市外を案内する
 市内・市外どちらも案内する
 無回答



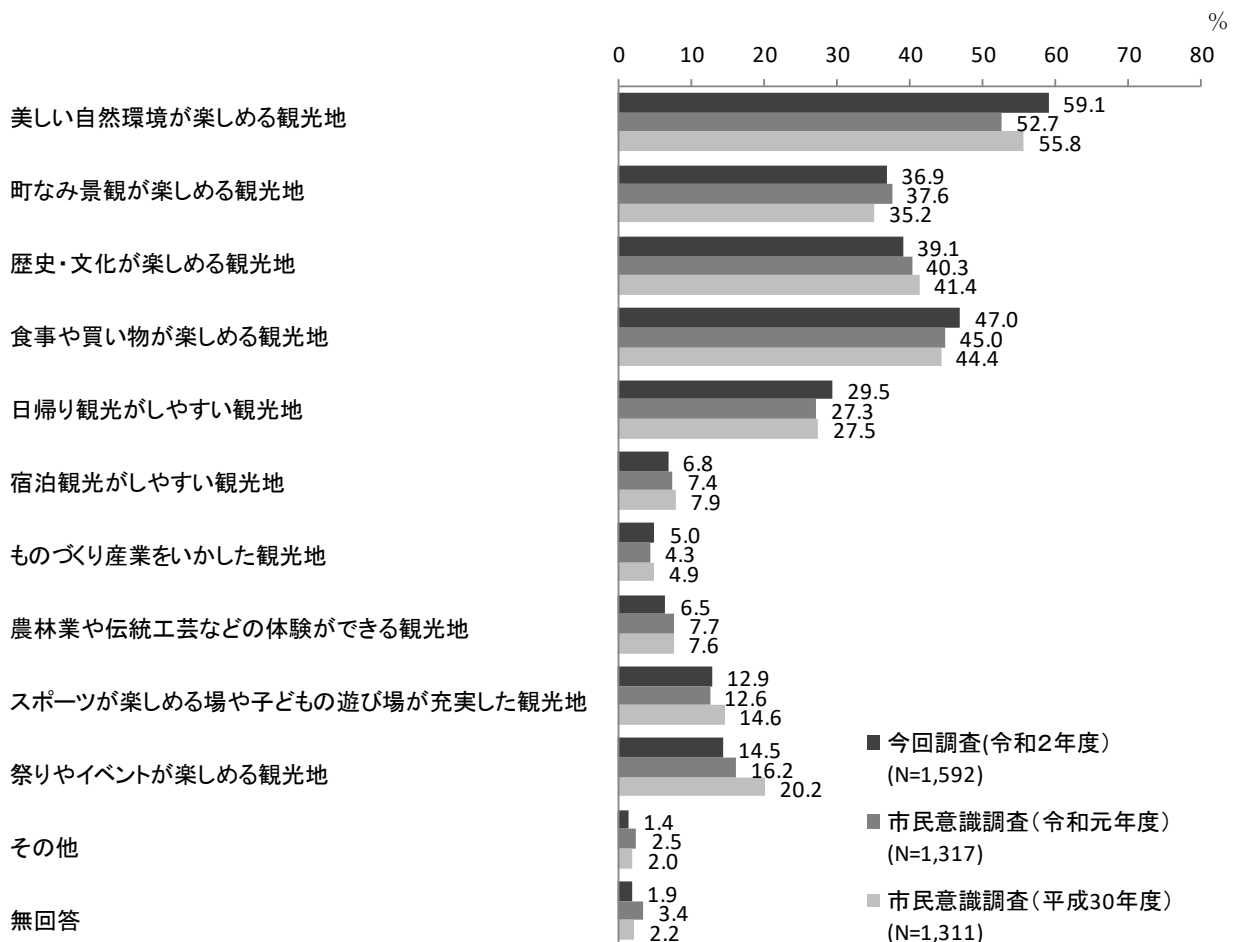
【居住地区別】



問9 あなたは、友人・知人を観光案内する場合に、どのような観光地を案内しますか。《あてはまるものすべてに○》

6割近くが「美しい自然環境が楽しめる観光地」

- 友人・知人を案内する観光地としては、「美しい自然環境が楽しめる観光地」が59.1%と最も多くあげられています。次いで、「食事や買い物が楽しめる観光地」が47.0%、「歴史・文化が楽しめる観光地」が39.1%、「町なみ景観が楽しめる観光地」が36.9%と続きます。
- 過去の調査と比較すると、自然環境、食事や買い物、日帰り観光などの割合が増加する一方で、祭りやイベント、歴史・文化などの割合が減少しています。
- 性別では、「美しい自然環境が楽しめる観光地」が最も多いのは共通していますが、特に男性は女性より「歴史・文化が楽しめる観光地」が、女性は男性より「食事や買い物が楽しめる観光地」や「町なみ景観が楽しめる観光地」が多くあげられています。
- 年代別では、40歳代までは「食事や買い物が楽しめる観光地」が、50歳以上は「美しい自然環境が楽しめる観光地」が最も多くあげられています。そのほか50歳以上で「歴史・文化が楽しめる観光地」、10歳代と30歳代で「祭りやイベントが楽しめる観光地」、30～40歳代で「スポーツが楽しめる場や子どもの遊び場が充実した観光地」がほかの年代より多くあげられています。
- 居住地区別では、五個荘地区では「町なみ景観が楽しめる観光地」が、そのほかの地区では「美しい自然環境が楽しめる観光地」が最も多くあげられています。そのほか、玉緒地区、平田地区、五個荘地区で「歴史・文化が楽しめる観光地」、市辺地区、南部地区で「食事や買い物が楽しめる観光地」、玉緒地区、蒲生地区、平田地区で「日帰り観光がしやすい観光地」、建部地区で「祭りやイベントが楽しめる観光地」がほかの地区より多くあげられています。



※令和元年度に選択肢の順番を変更したため、単純比較はできない。

【性別】

単位:%

区分	有効回答数(件)	美しい自然環境が楽しめる観光地	町なみ景観が楽しめる観光地	歴史・文化が楽しめる観光地	食事や買い物を楽しめる観光地	日帰り観光がしやすい観光地	宿泊観光がしやすい観光地	ものづくり産業をいかした観光地	農林業や伝統工芸などの体験ができる観光地	子どもが楽しめる遊び場が充実した観光地	スポーツが楽しめる場所	祭りやイベントが楽しめる観光地	その他	無回答
男性	749	56.2	33.4	46.6	43.3	28.2	7.5	4.1	6.1	13.2	13.2	2.1	1.3	
女性	816	62.4	40.3	32.4	51.8	31.1	6.1	5.9	6.6	12.7	15.9	0.7	1.8	

【年代別】

単位:%

区分	有効回答数(件)	美しい自然環境が楽しめる観光地	町なみ景観が楽しめる観光地	歴史・文化が楽しめる観光地	食事や買い物を楽しめる観光地	日帰り観光がしやすい観光地	宿泊観光がしやすい観光地	ものづくり産業をいかした観光地	農林業や伝統工芸などの体験ができる観光地	子どもが楽しめる遊び場が充実した観光地	スポーツが楽しめる場所	祭りやイベントが楽しめる観光地	その他	無回答
10歳代	58	41.4	29.3	15.5	55.2	24.1	10.3	0.0	3.4	17.2	25.9	1.7	0.0	
20歳代	131	44.3	32.8	13.7	67.2	29.0	7.6	2.3	3.8	14.5	12.2	1.5	0.0	
30歳代	174	54.6	39.7	26.4	69.5	33.9	8.6	4.6	5.7	22.4	20.7	0.6	0.0	
40歳代	259	52.9	32.0	30.9	57.9	31.3	5.0	2.3	5.0	20.5	17.8	1.2	1.2	
50歳代	252	63.1	35.7	44.4	49.6	29.4	6.7	3.6	4.8	7.9	13.1	1.2	1.6	
60歳代	344	67.7	43.3	50.6	36.6	25.6	7.0	7.8	8.7	9.9	11.3	2.3	1.7	
70歳以上	361	64.3	37.1	50.1	29.1	31.3	6.4	7.5	8.6	8.6	12.2	1.1	3.6	

【居住地区別】

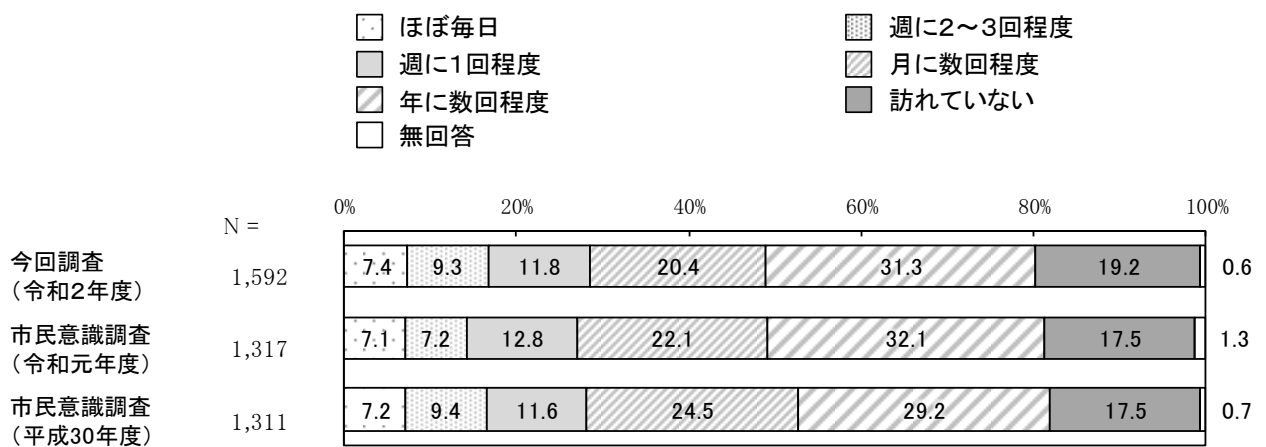
単位:%

区分	有効回答数(件)	美しい自然環境が楽しめる観光地	町なみ景観が楽しめる観光地	歴史・文化が楽しめる観光地	食事や買い物を楽しめる観光地	日帰り観光がしやすい観光地	宿泊観光がしやすい観光地	ものづくり産業をいかした観光地	農林業や伝統工芸などの体験ができる観光地	子どもが楽しめる遊び場が充実した観光地	スポーツが楽しめる場所	祭りやイベントが楽しめる観光地	その他	無回答
平田地区	37	59.5	37.8	48.6	43.2	35.1	8.1	5.4	8.1	13.5	10.8	0.0	0.0	
市辺地区	53	60.4	43.4	30.2	58.5	28.3	5.7	5.7	5.7	17.0	17.0	3.8	1.9	
玉緒地区	66	66.7	39.4	50.0	45.5	40.9	10.6	6.1	9.1	16.7	18.2	0.0	1.5	
御園地区	74	60.8	28.4	31.1	43.2	29.7	9.5	4.1	6.8	8.1	8.1	4.1	1.4	
建部地区	45	77.8	40.0	40.0	37.8	17.8	6.7	6.7	11.1	17.8	24.4	0.0	0.0	
中野地区	90	61.1	30.0	37.8	51.1	25.6	6.7	7.8	7.8	17.8	13.3	1.1	1.1	
八日市地区	189	55.6	39.2	37.6	51.3	24.9	7.9	3.7	5.3	9.5	13.2	4.2	1.1	
南部地区	73	65.8	37.0	39.7	57.5	34.2	9.6	1.4	1.4	16.4	13.7	0.0	1.4	
永源寺地区	84	72.6	25.0	38.1	38.1	27.4	8.3	8.3	9.5	10.7	11.9	1.2	2.4	
五箇荘地区	171	49.7	50.9	46.8	40.4	25.7	5.3	2.9	4.7	8.8	14.0	1.2	0.6	
愛東地区	55	63.6	30.9	40.0	38.2	25.5	5.5	1.8	5.5	12.7	10.9	1.8	1.8	
湖東地区	91	53.8	30.8	38.5	46.2	26.4	5.5	6.6	6.6	12.1	15.4	0.0	3.3	
能登川地区	381	58.3	39.6	38.8	47.2	30.7	6.3	6.3	6.3	11.8	14.2	0.8	2.1	
蒲生地区	167	57.5	32.3	36.5	50.3	37.1	5.4	4.2	7.2	18.6	18.0	0.6	2.4	
わからない	1	100.0	0.0	0.0	100.0	100.0	0.0	0.0	100.0	0.0	100.0	0.0	0.0	

問 10 あなたは、この1年間で近江鉄道八日市駅周辺（市役所周辺を含む。）にどの程度訪れましたか。《○1つ》

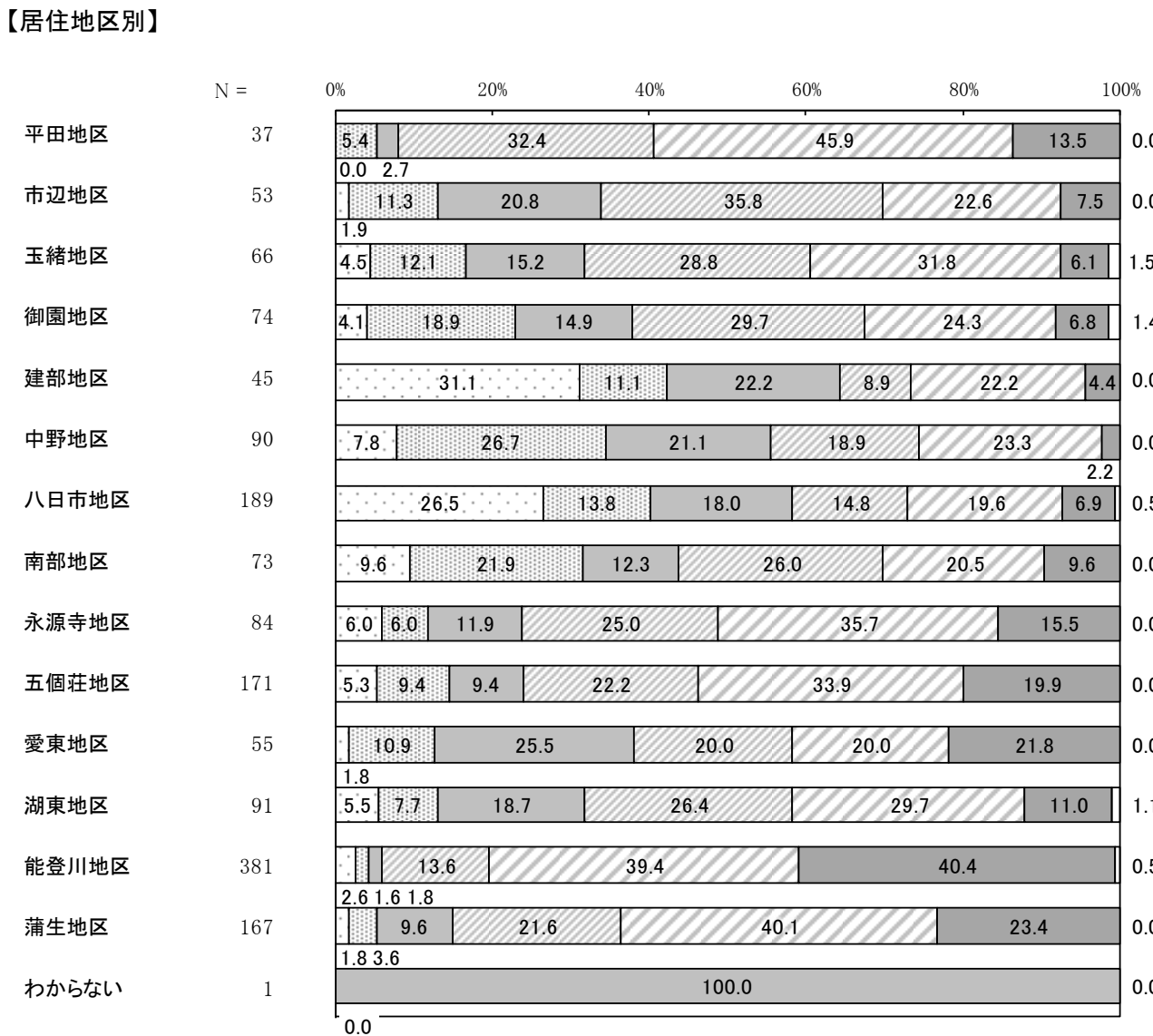
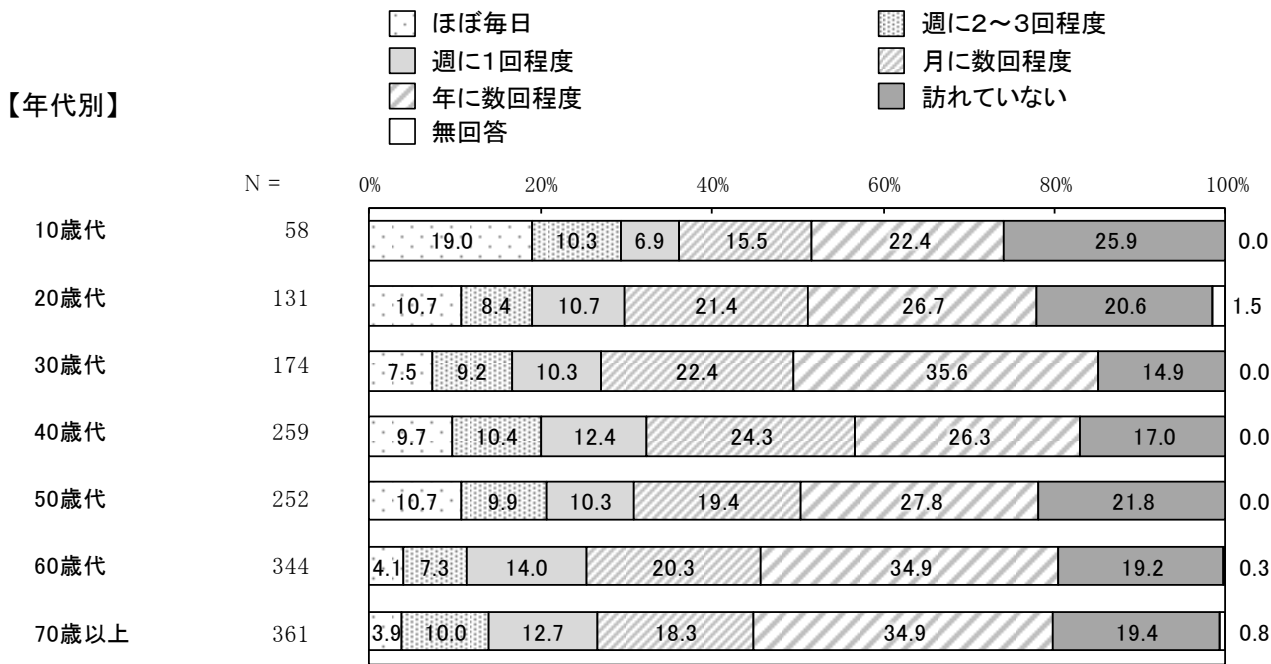
週1回以上訪れる人が3割近く、月に数回又は年に数回も含めると半数が来訪

- この1年間で近江鉄道八日市駅周辺を訪れた頻度は、週に1回以上訪れる人が28.5%と3割近くとなっています。また、「月に数回程度」と「年に数回程度」を合わせると51.7%となり、半数を超えています。
- 年代別では、10歳代は、「ほぼ毎日」訪れている人も「訪れていない」人も、割合がすべての年代の中で最も高くなっています。また、訪問頻度は、10歳代と40～50歳代で高くなっています。
- 居住地区別では、週1回以上訪れる人の割合が、建部地区、八日市地区、中野地区で高く、能登川地区、平田地区、蒲生地区で低くなっています。



【性別】

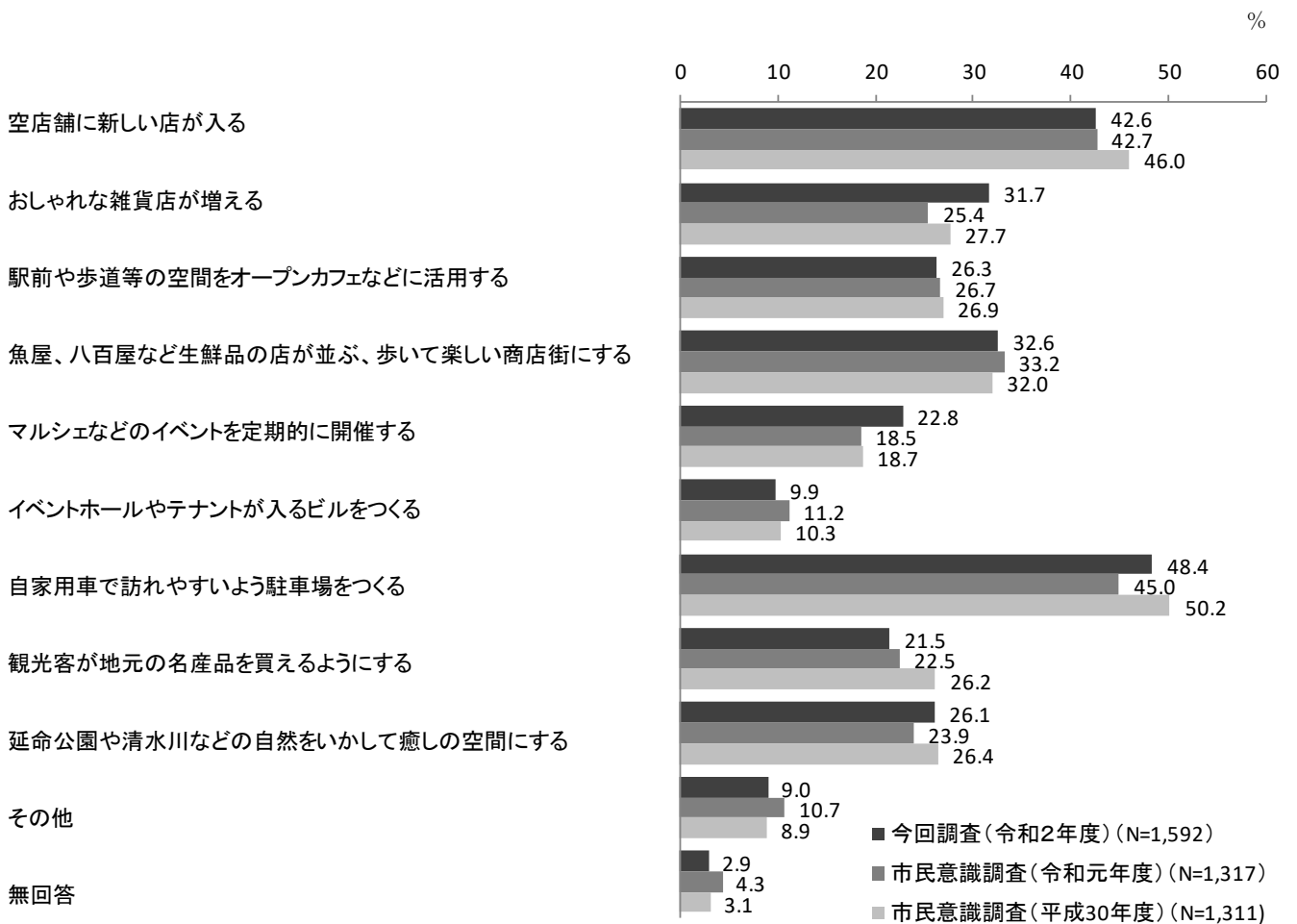




問 11 あなたは、八日市駅周辺を中心市街地が活性化するには、どのようなお店や施設、イベントなどの開催が必要だと思いますか。《あてはまるものすべてに○》

駐車場の整備、空店舗の解消が上位

- ・ 八日市駅周辺を中心市街地が活性化するために必要なことは、「自家用車で訪れやすいよう駐車場をつくる」が48.4%と最も多く、次いで「空店舗に新しい店が入る」が42.6%、「魚屋、八百屋など生鮮品の店が並ぶ、歩いて楽しい商店街にする」が32.6%、「おしゃれな雑貨店が増える」が31.7%と続きます。
- ・ 性別では、男女ともに最も多いのは駐車場の整備ですが、女性は男性より「おしゃれな雑貨店が増える」や「マルシェなどのイベントを定期的開催する」などが多くあげられています。
- ・ 年代別では、20歳代は「おしゃれな雑貨店が増える」が、10歳代と30～40歳代は「空店舗に新しい店が入る」が、50歳以上は「自家用車で訪れやすいよう駐車場をつくる」が最も多くなっています。そのほか、70歳以上で「魚屋、八百屋など生鮮品の店が並ぶ、歩いて楽しい商店街にする」や「観光客が地元の名産品を買えるようにする」が、30歳代で「マルシェなどのイベントを定期的開催する」がほかの年代より多くあげられています。
- ・ 居住地区別では、中野地区、建部地区、八日市地区、市辺地区、御園地区は「空店舗に新しい店が入る」が、そのほかの地区は「自家用車で訪れやすいよう駐車場をつくる」が最も多くなっています。



【性別】

単位：%

区分	有効回答数（件）	空店舗に新しい店が入る	おしゃれな雑貨店が増える	駅前や歩道等の空間を活用する	楽しい商店街にする	品屋、八百屋など生鮮品の店が並ぶ、歩いて	魚屋、八百屋など生鮮品を定期的に開催する	マルシェなどのイベントが入るビルやテナントが入るビルをつくる	自家駐車場をつくれる	観光客が地元の名産品を買いやすいようにする	の自然をいかして癒しの空間にする	延命公園や清水川などの	その他	無回答
男性	749	41.9	24.2	25.0	31.1	17.5	14.0	48.2	19.4	23.2	11.1	2.4		
女性	816	43.6	39.3	27.6	34.2	28.3	6.3	48.9	23.7	28.8	7.4	2.8		

【年代別】

単位：%

区分	有効回答数（件）	空店舗に新しい店が入る	おしゃれな雑貨店が増える	駅前や歩道等の空間を活用する	楽しい商店街にする	品屋、八百屋など生鮮品の店が並ぶ、歩いて	魚屋、八百屋など生鮮品を定期的に開催する	マルシェなどのイベントが入るビルやテナントが入るビルをつくる	自家駐車場をつくれる	観光客が地元の名産品を買いやすいようにする	の自然をいかして癒しの空間にする	延命公園や清水川などの	その他	無回答
10歳代	58	55.2	51.7	37.9	22.4	19.0	17.2	32.8	12.1	13.8	12.1	0.0		
20歳代	131	47.3	54.2	35.9	12.2	22.1	9.9	35.9	13.0	22.1	9.2	0.8		
30歳代	174	51.7	40.2	35.1	32.8	43.1	12.1	50.6	17.2	27.6	9.2	0.6		
40歳代	259	49.4	37.5	23.9	26.3	35.5	13.1	49.0	18.9	21.6	10.4	2.3		
50歳代	252	49.6	30.2	26.2	32.9	25.8	7.9	51.2	18.3	26.6	10.3	1.2		
60歳代	344	38.7	26.2	22.7	33.4	16.9	7.8	51.7	24.7	31.7	10.5	2.3		
70歳以上	361	29.6	18.6	22.4	45.7	8.6	8.9	49.6	29.6	27.1	5.0	6.4		

【居住地区別】

単位：%

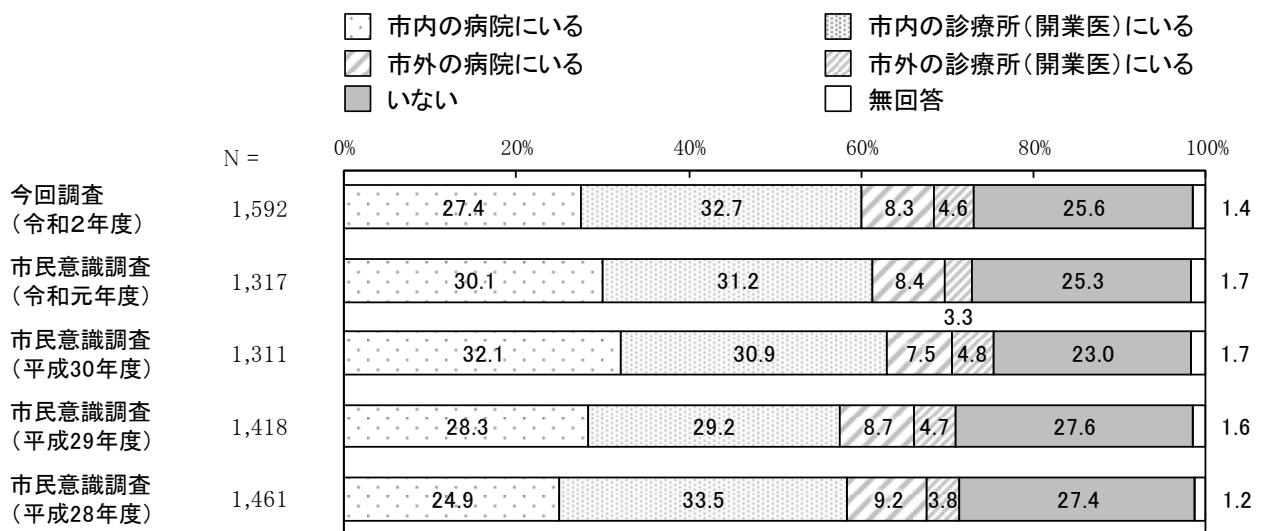
区分	有効回答数（件）	空店舗に新しい店が入る	おしゃれな雑貨店が増える	駅前や歩道等の空間を活用する	楽しい商店街にする	品屋、八百屋など生鮮品の店が並ぶ、歩いて	魚屋、八百屋など生鮮品を定期的に開催する	マルシェなどのイベントが入るビルやテナントが入るビルをつくる	自家駐車場をつくれる	観光客が地元の名産品を買いやすいようにする	の自然をいかして癒しの空間にする	延命公園や清水川などの	その他	無回答
平田地区	37	51.4	29.7	35.1	45.9	35.1	5.4	54.1	29.7	27.0	8.1	0.0		
市辺地区	53	50.9	37.7	20.8	47.2	28.3	9.4	49.1	22.6	37.7	5.7	1.9		
玉緒地区	66	33.3	30.3	28.8	31.8	21.2	16.7	60.6	36.4	31.8	7.6	0.0		
御園地区	74	50.0	33.8	31.1	37.8	20.3	10.8	44.6	23.0	31.1	10.8	1.4		
建部地区	45	55.6	33.3	24.4	42.2	37.8	11.1	31.1	22.2	42.2	11.1	0.0		
中野地区	90	58.9	28.9	31.1	32.2	26.7	11.1	47.8	26.7	33.3	10.0	0.0		
八日市地区	189	55.6	37.0	30.7	36.0	27.5	15.9	33.9	21.7	30.7	12.2	0.0		
南部地区	73	46.6	32.9	17.8	32.9	20.5	8.2	49.3	19.2	45.2	6.8	1.4		
永源寺地区	84	50.0	38.1	23.8	28.6	19.0	10.7	59.5	17.9	22.6	7.1	2.4		
五個荘地区	171	37.4	35.1	38.0	36.8	20.5	6.4	47.4	18.1	23.4	4.7	2.9		
愛東地区	55	38.2	29.1	34.5	34.5	21.8	18.2	58.2	30.9	23.6	10.9	1.8		
湖東地区	91	44.0	26.4	17.6	30.8	18.7	7.7	54.9	18.7	20.9	6.6	3.3		
能登川地区	381	30.7	27.8	18.9	27.6	20.7	7.9	44.9	18.1	17.8	12.9	6.3		
蒲生地区	167	40.7	30.5	26.9	28.1	22.2	7.2	61.1	22.8	24.0	4.2	1.8		
わからない	1	0.0	0.0	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	100.0	100.0	0.0	0.0		

(3) 健康や福祉について

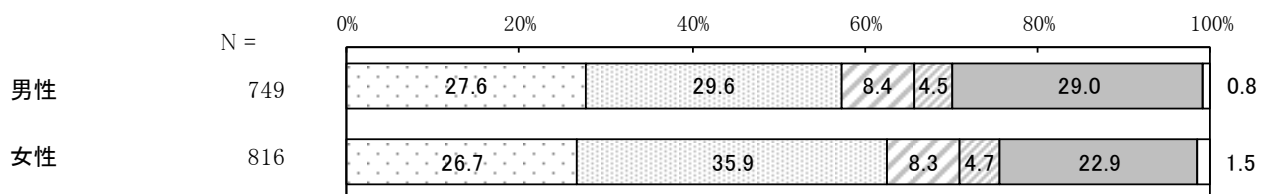
問 12 あなたには、日常的な診療や健康の管理をしてくれるお医者さん（かかりつけ医）はいますか。《○1つ》

6割が市内の病院や診療所にかかりつけ医がいる

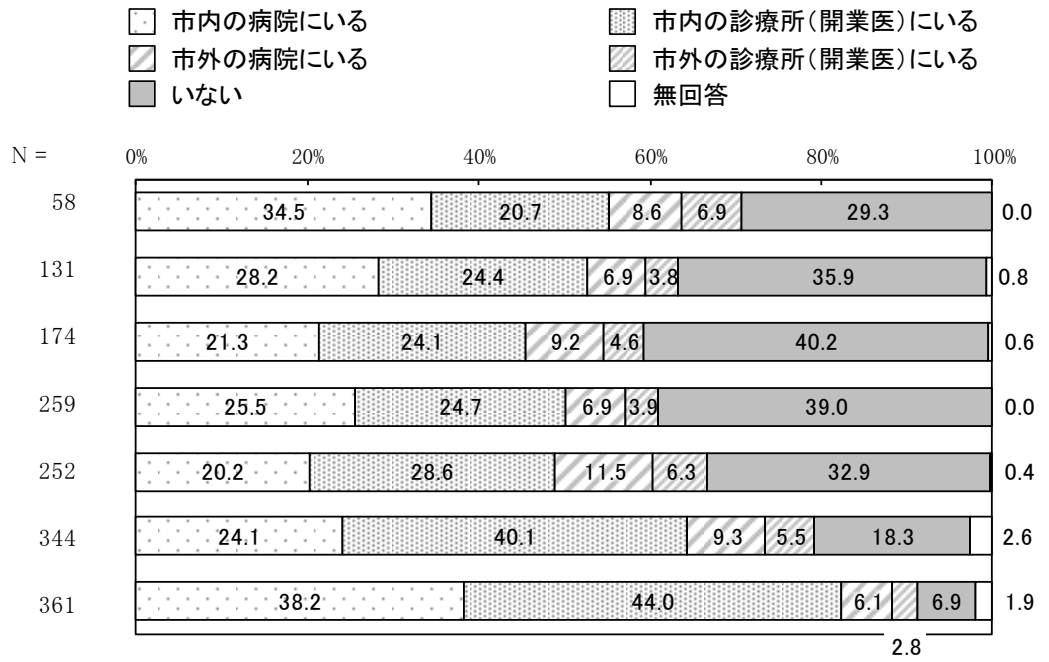
- ・ かかりつけ医がいるかどうかについては、「市内の診療所（開業医）にいる」が32.7%と最も多く、次の「市内の病院にいる」の27.4%と合わせると、60.1%が市内にいると回答しています。一方、「いない」と回答した人も25.6%と3割近くいます。
- ・ 過去の調査と比較すると、平成30年度以降、「市内の病院にいる」の割合がやや減少傾向にあります。
- ・ 年代別では、60歳以上で市外も含めてかかりつけ医がいる人が多く、70歳以上は9割以上（市内が8割以上）となっています。一方、20～40歳代は4割前後がかかりつけ医が「いない」と回答しています。
- ・ 居住地区別では、市外も含めてかかりつけ医がいる人の割合は、平田地区で9割近く、愛東地区、湖東地区、建部地区、市辺地区、玉緒地区、中野地区で8割前後と高くなっています。一方、八日市地区、御園地区でかかりつけ医がいない人が多くみられます。また、市辺地区、蒲生地区でかかりつけ医が市外にいる人が2割以上とほかの地区より多くなっています。



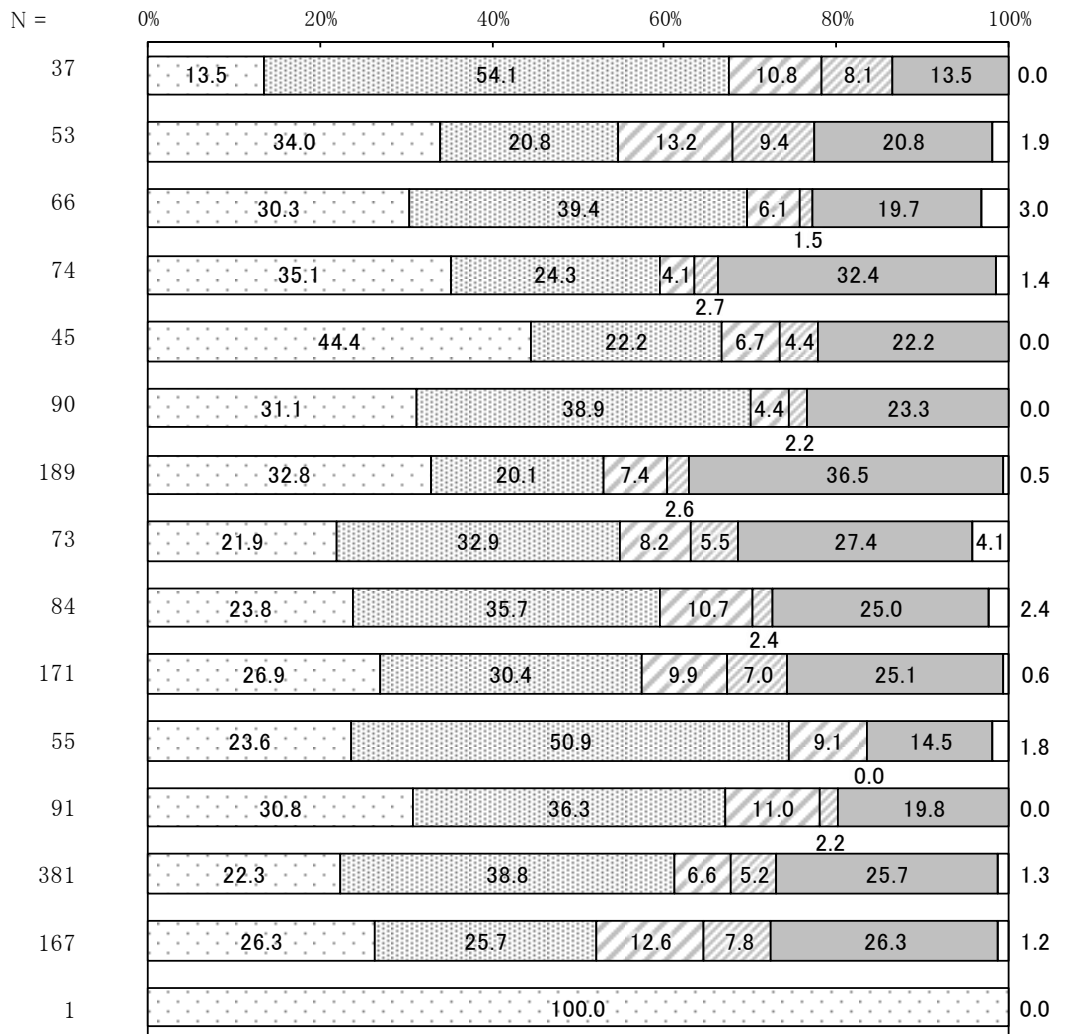
【性別】



【年代別】



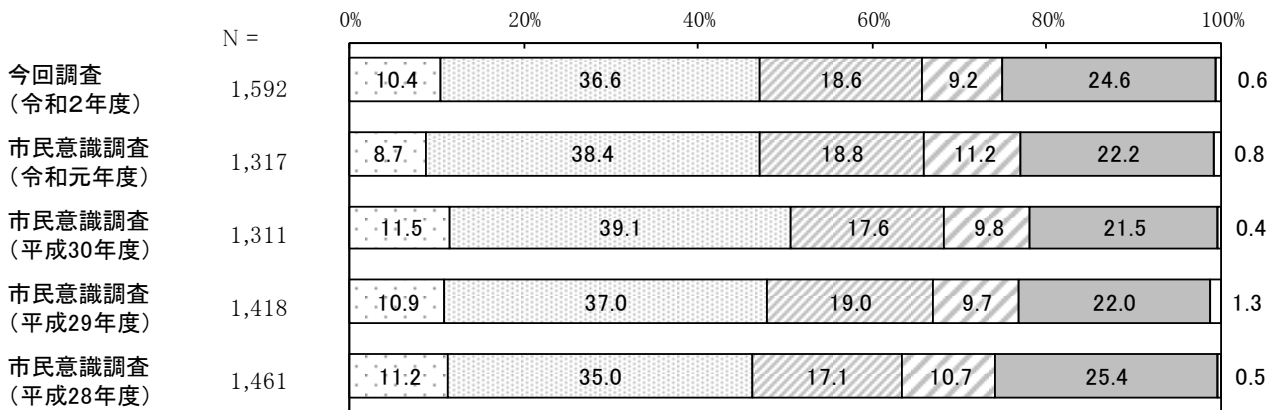
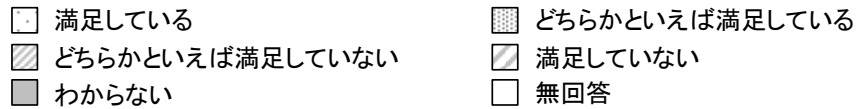
【居住地区別】



問 13 あなたは、病院や救急時の医療体制に満足していますか。《○1つ》

半数近くが満足、3割近くは満足していない

- ・ 病院や救急時の医療体制についての満足度については、「満足している」が10.4%、「どちらかといえば満足している」が36.6%で、これらを合わせると47.0%となり、半数近くの人が満足していると回答しています。一方、「どちらかといえば満足していない」と「満足していない」を合わせると27.8%で、3割近くとなっています。また、「わからない」と回答した人も24.6%と2割います。
- ・ 過去の調査と比較すると、不満（「どちらかといえば満足していない」と「満足していない」の合計）の割合が増加しています。
- ・ 年代別では、すべての年代で満足（「満足している」と「どちらかといえば満足している」の合計）の割合が不満（前述）より高くなっています。特に、10歳代と60歳以上で満足（前述）の割合が高くなっています。
- ・ 居住地区別では、玉緒地区で満足（前述）の割合が高く、御園地区で不満（前述）の割合がほかの地区より高くなっています。

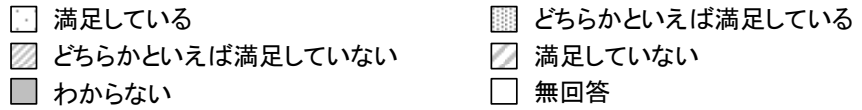


単位：%

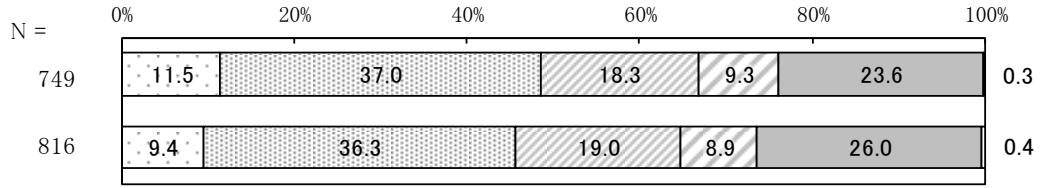
	満足*	不満*	差
①今回調査(令和2年度)	47.0	27.8	19.2
②市民意識調査(令和元年度)	47.1	30.0	17.1
③市民意識調査(平成30年度)	50.6	27.4	23.2
④市民意識調査(平成29年度)	47.9	28.7	19.2
⑤市民意識調査(平成28年度)	46.2	27.8	18.4
①-⑤	0.8	0.0	0.8

* 満足:「満足している」と「どちらかといえば満足している」の合計

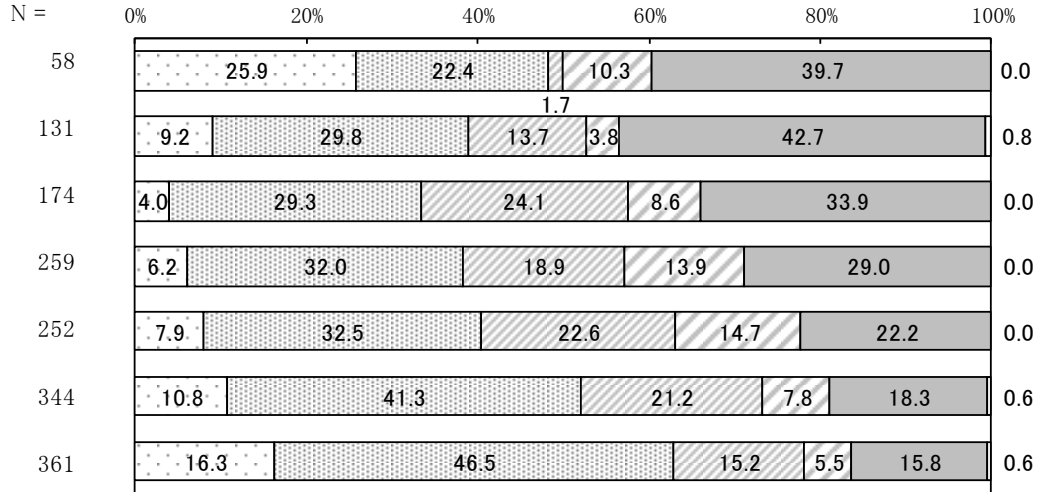
* 不満:「どちらかといえば満足していない」と「満足していない」の合計



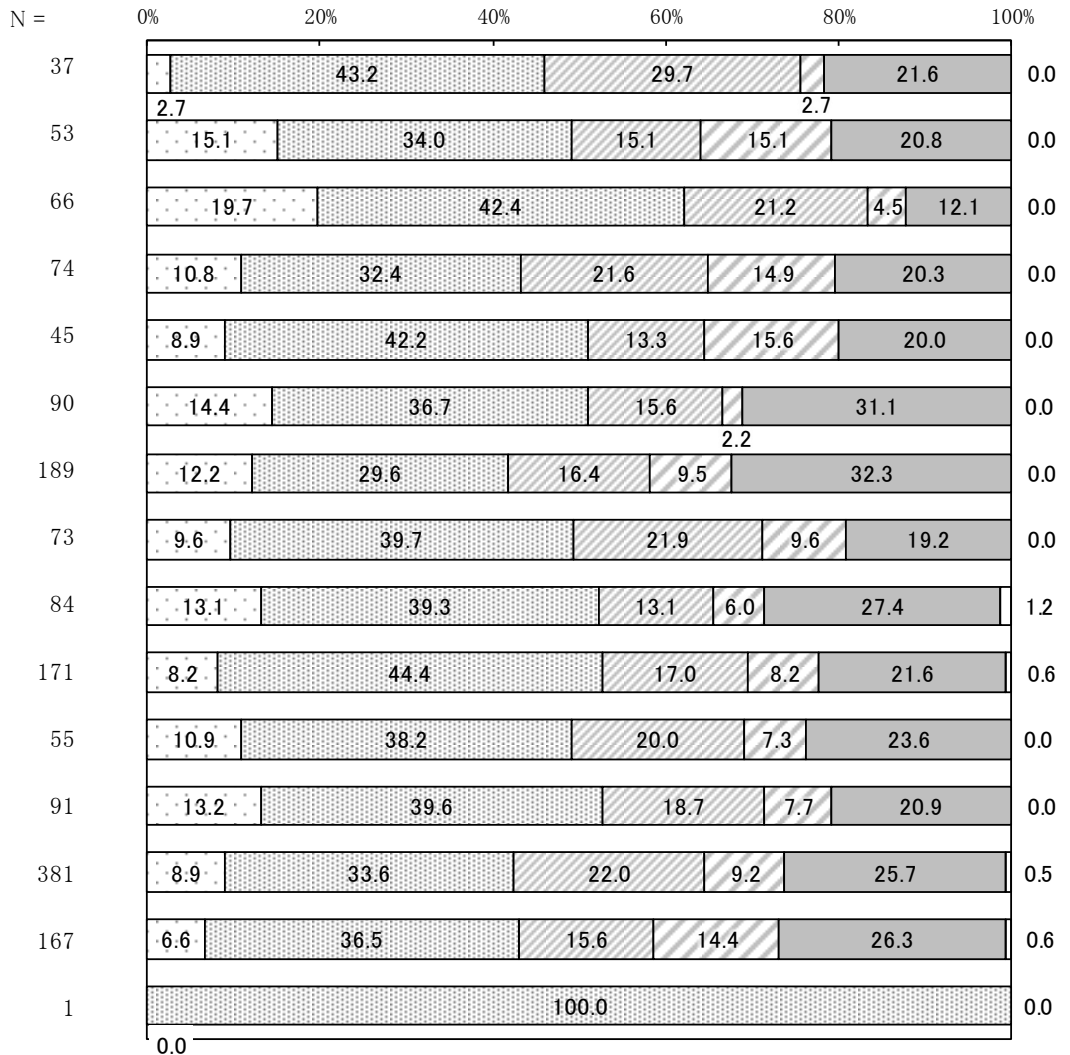
【性別】



【年代別】



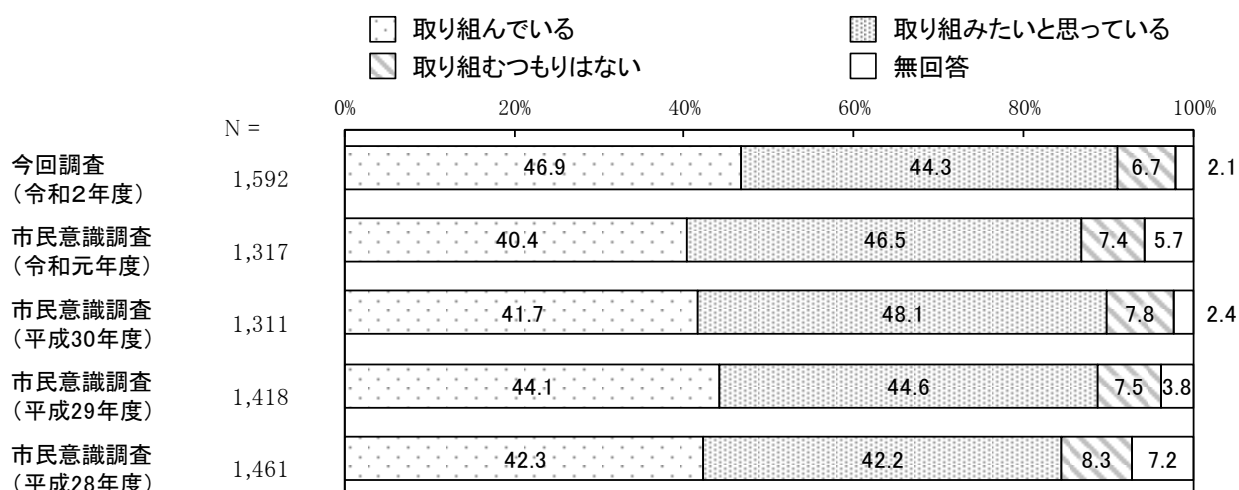
【居住地区別】



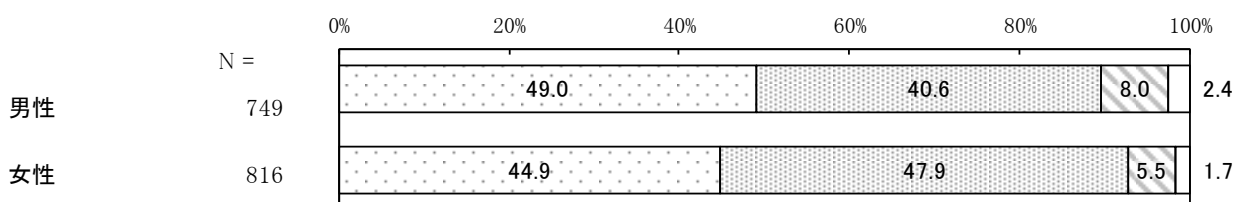
問 14 あなたは、自分の健康づくりのために何か取り組んでいますか。《○1つ》

半数近くが健康づくりを実践、取り組みたいを合わせると9割に

- ・ 自分の健康づくりのために何か取り組んでいるかについては、「取り組んでいる」が46.9%と最も多く、次の「取り組みたいと思っている」の44.3%を合わせると91.2%となり、9割の人が関心を持っていることが分かります。
- ・ 過去の調査と比較すると、自分の健康づくりのために何か「取り組んでいる」と回答した人の割合が、今回の調査で半数近くまで増加しています。
- ・ 性別では女性より男性で、年代別では50歳以上で、居住地区別では湖東地区、建部地区で、自分の健康づくりのために何か「取り組んでいる」人が多くみられます。

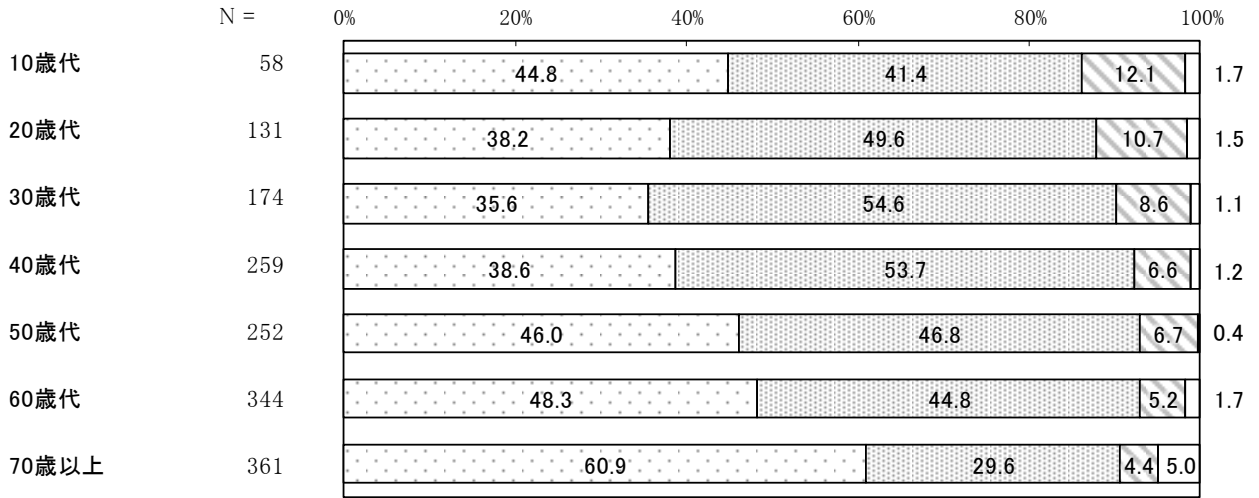


【性別】

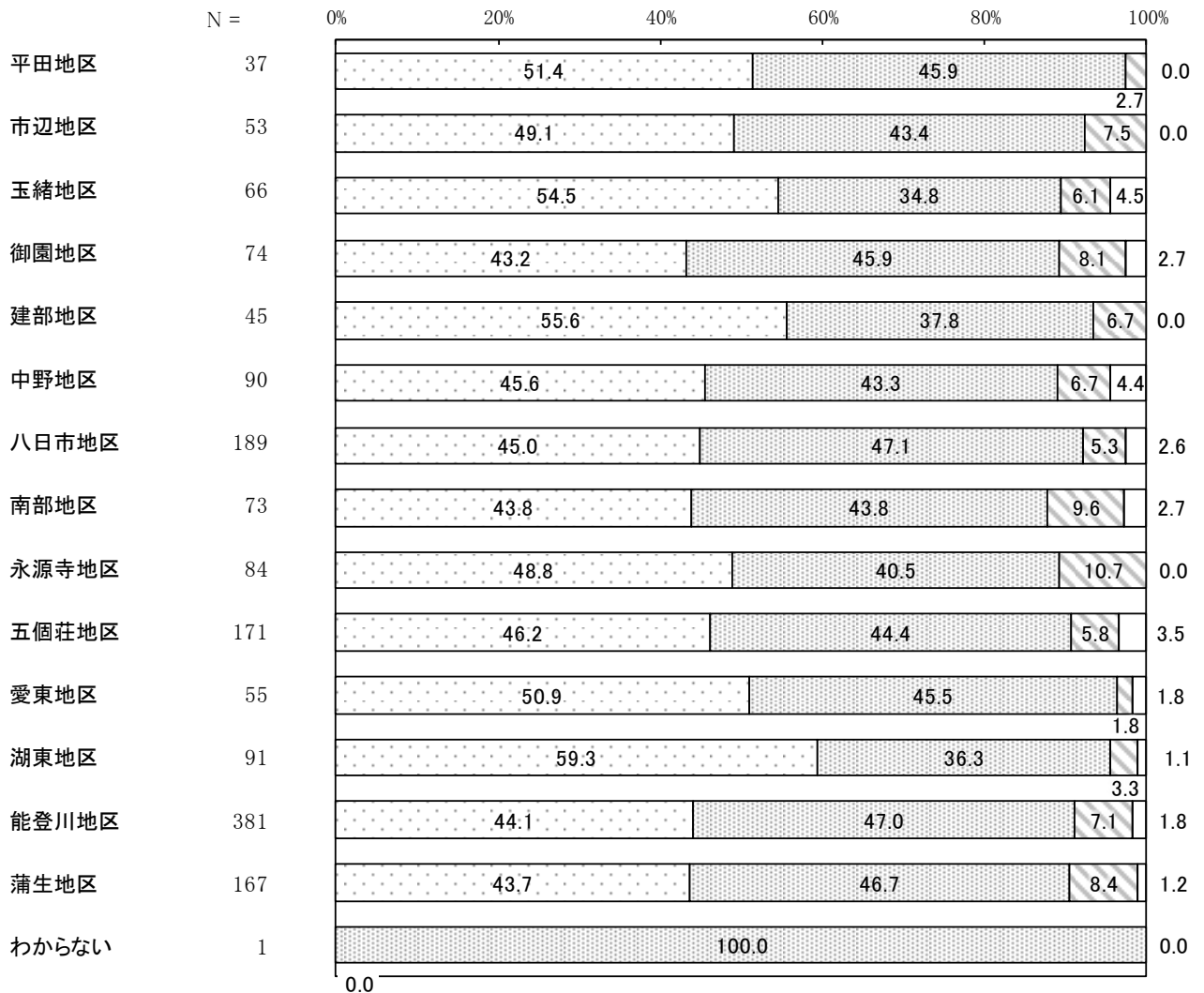


【年代別】

取り組んでいる 取り組みたいと思っている
 取り組むつもりはない 無回答



【居住地区別】

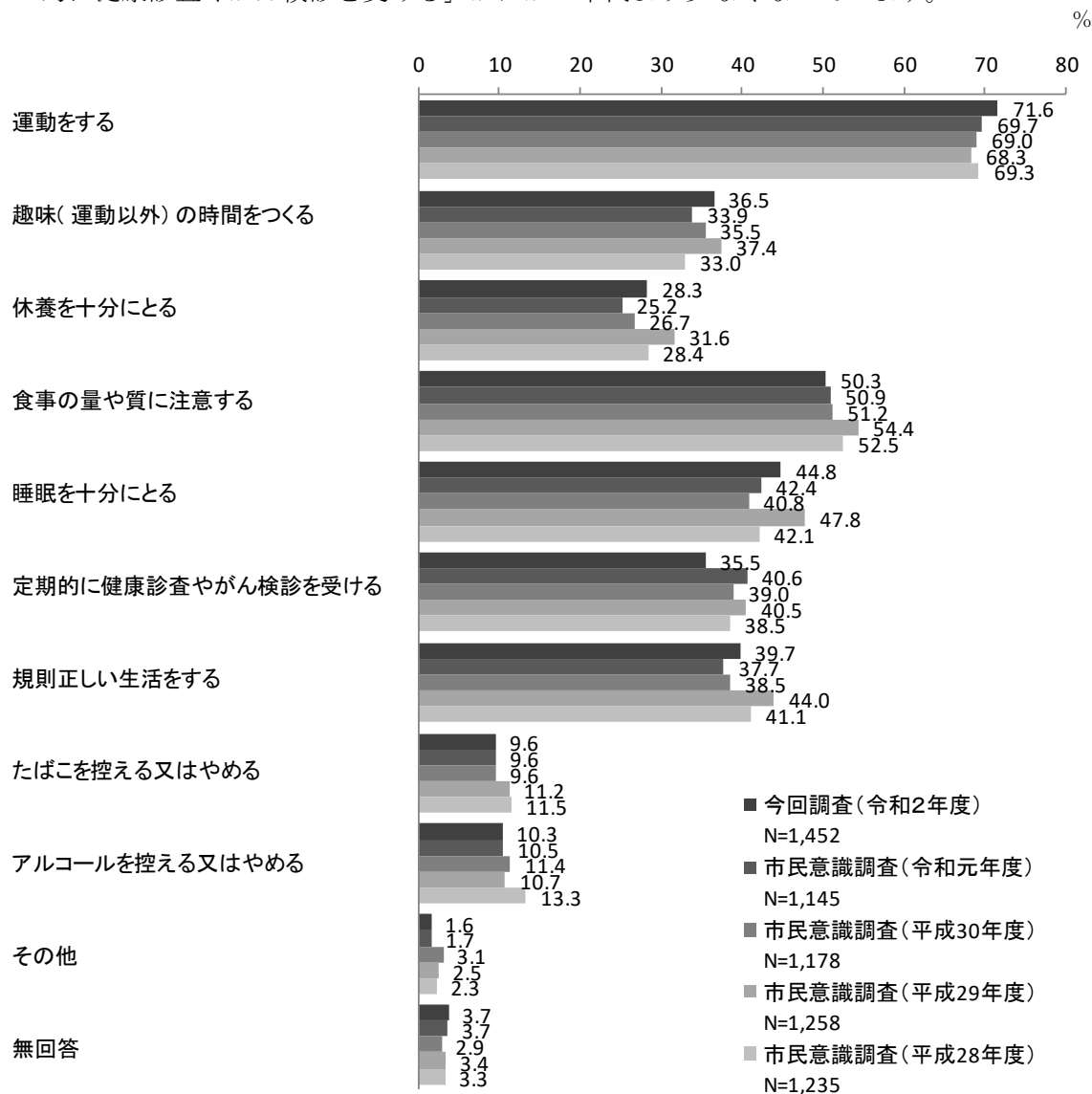


問 14-1 問 14 で「1. 取り組んでいる」「2. 取り組みたいと思っている」とお答えの方におたずねします。

具体的にどのような取組をしていますか、又は取り組みたいと思っていますか。《あてはまるものすべてに○》

「運動をする」、「食事の量や質に注意する」、「睡眠を十分にとる」が上位

- ・ 実際に取り組んでいる（取り組みたい）こととしては、「運動をする」が71.6%と最も多く、次いで「食事の量や質に注意する」が50.3%、「睡眠を十分にとる」が44.8%、「規則正しい生活をする」が39.7%、「趣味（運動以外）の時間をつくる」が36.5%、「定期的に健康診査やがん検診を受ける」が35.5%と続きます。
- ・ 性別では、男女ともに「運動をする」が最も多くなっていますが、女性が規則正しい生活や睡眠、食事、健診などをあげる人が男性より多く、男性は禁煙や禁酒などが女性より多くあげられています。
- ・ 年代別では、すべての年齢で「運動をする」が最も多くなっていますが、特に10歳代で8割みられます。そのほか、10歳代で「規則正しい生活をする」が、10～30歳代の比較的若い世代で「睡眠を十分にとる」が、40歳以上で「定期的に健康診査やがん検診を受ける」が、50歳代で「食事の量や質に注意する」がほかの年代より多くなっています。一方、10～20歳代で「定期的に健康診査やがん検診を受ける」がほかの年代より少なくなっています。



【性別】

単位:%

区分	有効回答数(件)	運動をする	の趣味(運動以外)の時間をつくる	休養を十分にとる	る食事の量や質に注意する	睡眠を十分にとる	ん定期的健康診査やが	規則正しい生活をする	めるたばこを控える又はやめる	はアルコールを控える又はやめる	その他	無回答
男性	671	73.9	36.7	26.5	47.4	41.1	32.2	33.8	14.3	15.2	1.6	4.5
女性	757	69.4	36.5	30.4	53.6	48.9	38.7	44.9	5.5	6.2	1.6	2.8

【年代別】

単位:%

区分	有効回答数(件)	運動をする	の趣味(運動以外)の時間をつくる	休養を十分にとる	る食事の量や質に注意する	睡眠を十分にとる	ん定期的健康診査やが	規則正しい生活をする	めるたばこを控える又はやめる	はアルコールを控える又はやめる	その他	無回答
10歳代	50	80.0	44.0	40.0	34.0	54.0	4.0	50.0	4.0	2.0	0.0	2.0
20歳代	115	66.1	37.4	41.7	43.5	59.1	12.2	33.0	7.0	7.0	0.0	4.3
30歳代	157	75.8	35.7	34.4	49.7	54.1	31.8	46.5	12.1	12.7	0.0	3.2
40歳代	239	72.4	35.6	31.4	49.8	47.3	38.9	33.1	9.2	11.3	0.0	3.3
50歳代	234	69.2	29.9	28.2	57.7	44.4	35.0	31.6	12.8	10.7	1.7	3.4
60歳代	320	70.3	36.3	22.5	52.5	38.1	37.2	43.1	10.6	10.6	2.8	3.4
70歳以上	327	72.5	41.3	22.6	49.5	39.1	46.5	45.0	7.0	10.4	3.1	4.6

【居住地区別】

単位:%

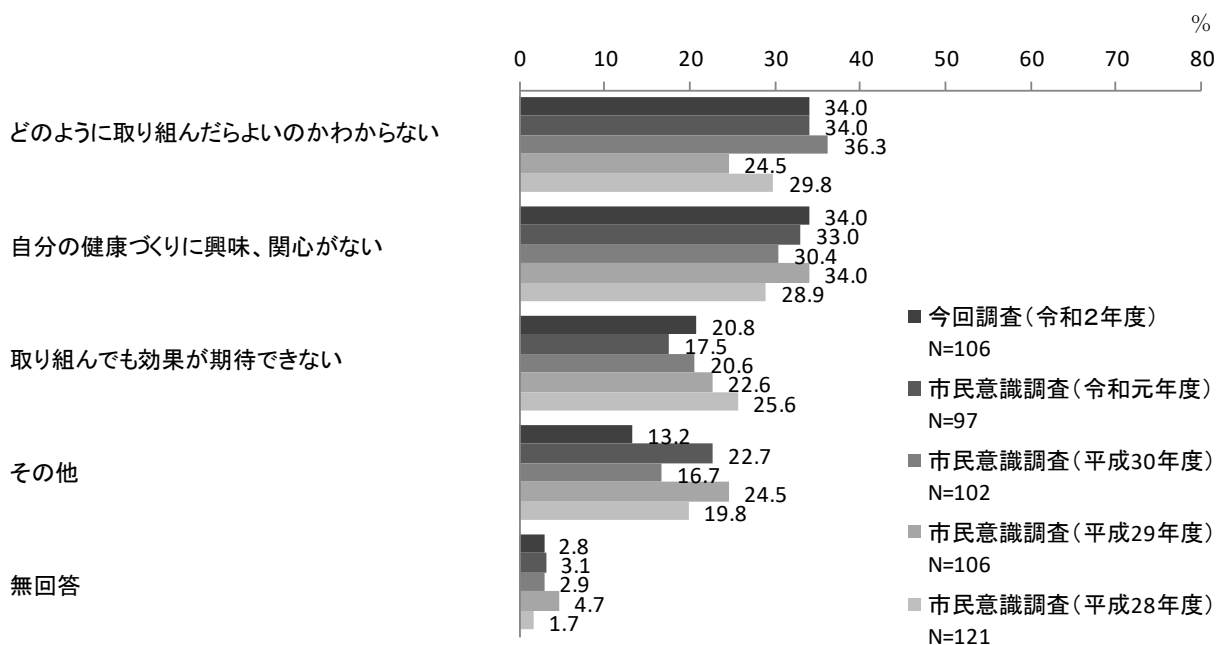
区分	有効回答数(件)	運動をする	の趣味(運動以外)の時間をつくる	休養を十分にとる	る食事の量や質に注意する	睡眠を十分にとる	ん定期的健康診査やが	規則正しい生活をする	めるたばこを控える又はやめる	はアルコールを控える又はやめる	その他	無回答
平田地区	36	61.1	44.4	22.2	36.1	44.4	33.3	50.0	8.3	11.1	0.0	8.3
市辺地区	49	59.2	46.9	42.9	57.1	55.1	38.8	51.0	10.2	10.2	2.0	2.0
玉緒地区	59	78.0	35.6	18.6	47.5	37.3	39.0	40.7	10.2	10.2	1.7	5.1
御園地区	66	69.7	37.9	25.8	43.9	42.4	34.8	40.9	9.1	4.5	3.0	1.5
建部地区	42	85.7	35.7	23.8	69.0	40.5	26.2	45.2	4.8	9.5	4.8	0.0
中野地区	80	80.0	40.0	32.5	46.3	48.8	36.3	35.0	7.5	10.0	1.3	3.8
八日市地区	174	70.7	40.2	33.9	49.4	48.3	23.6	41.4	13.2	13.8	2.3	4.0
南部地区	64	71.9	28.1	20.3	54.7	34.4	37.5	35.9	9.4	6.3	3.1	6.3
永源寺地区	75	69.3	34.7	24.0	54.7	37.3	42.7	41.3	9.3	9.3	4.0	2.7
五個荘地区	155	72.9	32.9	28.4	48.4	49.0	37.4	43.2	10.3	10.3	0.0	1.9
愛東地区	53	69.8	35.8	22.6	39.6	34.0	49.1	22.6	7.5	9.4	3.8	1.9
湖東地区	87	64.4	35.6	26.4	48.3	42.5	39.1	42.5	8.0	5.7	0.0	8.0
能登川地区	347	73.8	33.7	30.5	53.0	47.3	34.0	39.8	10.1	11.2	1.2	3.7
蒲生地区	151	66.9	39.7	26.5	50.3	45.0	38.4	35.1	7.9	11.3	0.7	4.0
わからない	1	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

問 14-2 問 14 で「3. 取り組むつもりはない」とお答えの方におたずねします。

その理由はどのようなことですか。《あてはまるものすべてに○》

取り組むつもりがない理由は、「どのように取り組んだらよいかわからない」、「自分の健康づくりに興味、関心がない」が上位

- ・ 自分の健康づくりに取り組むつもりはない人の理由としては、「どのように取り組んだらよいかわからない」と「自分の健康づくりに興味、関心がない」が34.0%と最も多く、次いで「取り組んでも効果が期待できない」が20.8%、「その他」が13.2%となっています。
- ・ 性別では、男性は「自分の健康づくりに興味、関心がない」、女性は「どのように取り組んだらよいかわからない」を理由にあげる人が最も多くなっています。
- ・ 年代別では、10歳代、40歳代、70歳以上は「どのように取り組んだらよいかわからない」、20～30歳代、50歳代は「自分の健康づくりに興味、関心がない」、60歳代は「取り組んでも効果が期待できない」を理由にあげる人が最も多くなっています。



【性別】

単位: %

区分	有効回答数(件)	どのように取り組んだらよいかわからない	自分の健康づくりに興味、関心がない	取り組んでも効果が期待できない	その他	無回答
男性	60	33.3	38.3	16.7	15.0	1.7
女性	45	35.6	28.9	26.7	8.9	4.4

【年代別】

単位: %

区 分	有効回答数 (件)	ら ど の よ う の か わ か ら ず 組 ん だ	味 自 、 分 関 の 健 心 康 が づ な い くり に 興	待 取 で り 可 組 能 ん な だ も 効 果 が 期	そ の 他	無 回 答
10歳代	7	57.1	14.3	0.0	28.6	0.0
20歳代	14	28.6	64.3	0.0	7.1	0.0
30歳代	15	26.7	46.7	26.7	0.0	6.7
40歳代	17	41.2	29.4	29.4	5.9	0.0
50歳代	17	23.5	47.1	23.5	11.8	0.0
60歳代	18	27.8	11.1	38.9	22.2	5.6
70歳以上	16	43.8	25.0	12.5	18.8	6.3

【居住地区別】

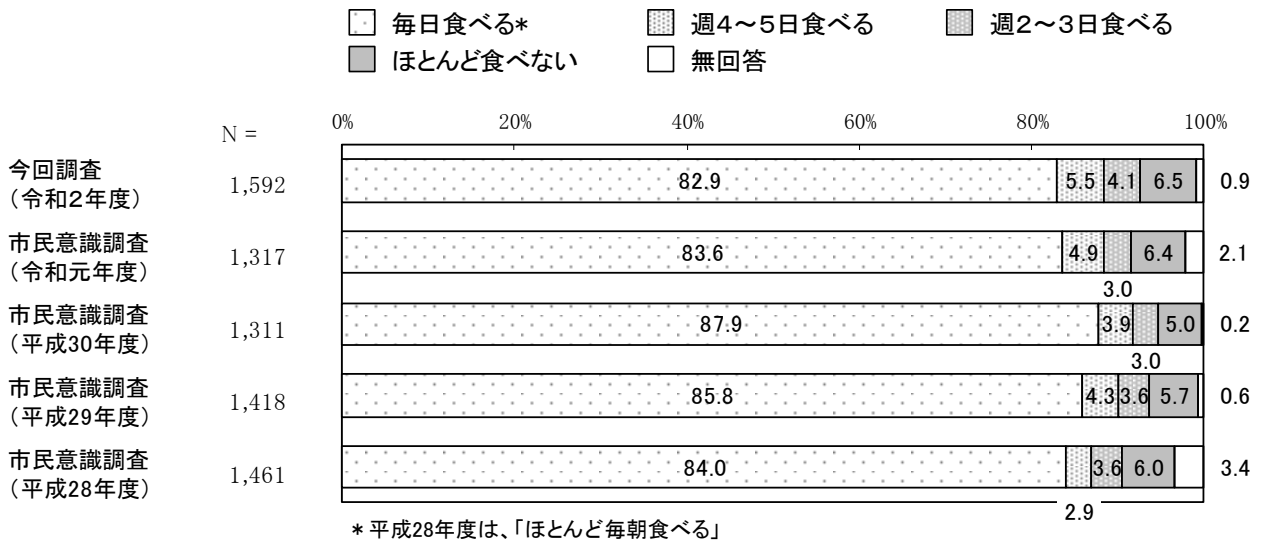
単位: %

区 分	有効回答数 (件)	ら ど の よ う の か わ か ら ず 組 ん だ	味 自 、 分 関 の 健 心 康 が づ な い くり に 興	待 取 で り 可 組 能 ん な だ も 効 果 が 期	そ の 他	無 回 答
平田地区	1	100.0	0.0	100.0	0.0	0.0
市辺地区	4	0.0	50.0	25.0	25.0	0.0
玉緒地区	4	25.0	25.0	25.0	0.0	25.0
御園地区	6	16.7	66.7	16.7	0.0	0.0
建部地区	3	33.3	33.3	33.3	0.0	0.0
中野地区	6	33.3	16.7	33.3	0.0	16.7
八日市地区	10	20.0	40.0	10.0	20.0	10.0
南部地区	7	42.9	42.9	14.3	14.3	0.0
永源寺地区	9	66.7	11.1	33.3	11.1	0.0
五個荘地区	10	20.0	30.0	30.0	20.0	0.0
愛東地区	1	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
湖東地区	3	66.7	0.0	0.0	33.3	0.0
能登川地区	27	40.7	33.3	18.5	11.1	0.0
蒲生地区	14	28.6	35.7	14.3	21.4	0.0
わからない	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

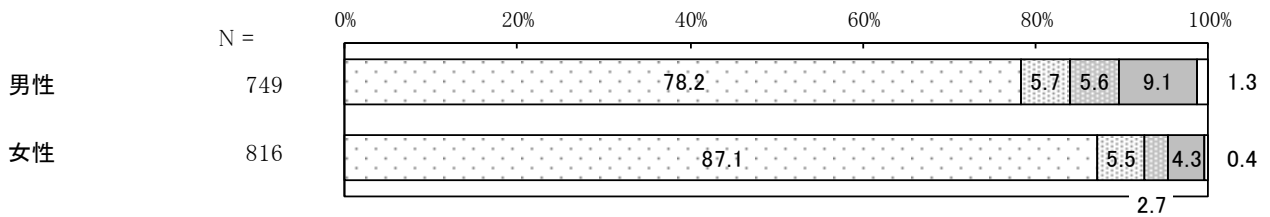
問 15 あなたは、朝食を食べていますか。《○1つ》

8割が朝食は「毎日食べる」

- ・ 朝食を食べているかについては、「毎日食べる」と回答した人が82.9%と、8割以上となっています。次いで、「ほとんど食べない」が6.5%、「週4～5日食べる」が5.5%、「週2～3日食べる」が4.1%と続きます。
- ・ 過去の調査と比較すると、平成30年度以降、朝食を毎日食べる人の割合が減少しています。
- ・ 性別では女性が、年代別では60歳以上で、居住地区別では平田地区、建部地区、湖東地区、愛東地区で、9割前後の人が朝食を毎日食べています（60歳以上は9割以上）。

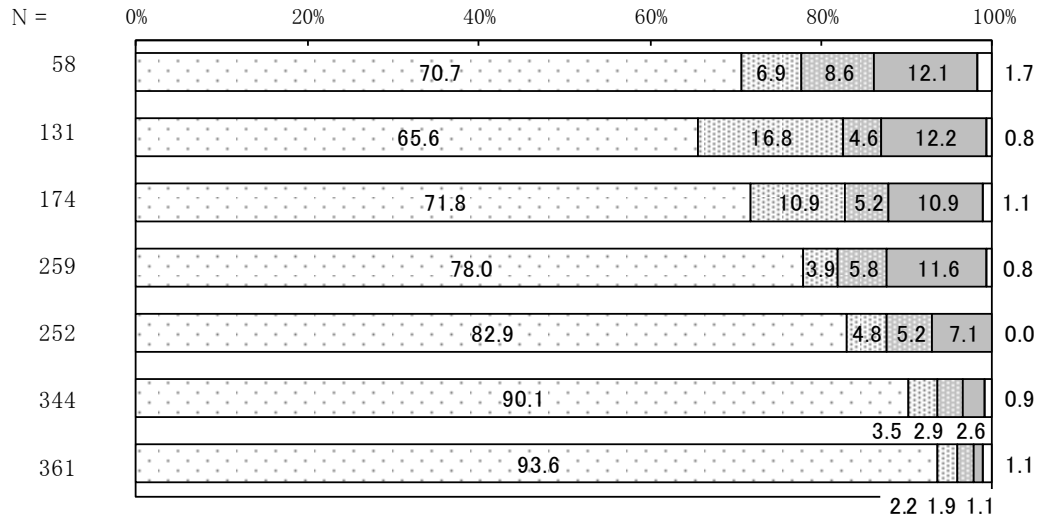


【性別】

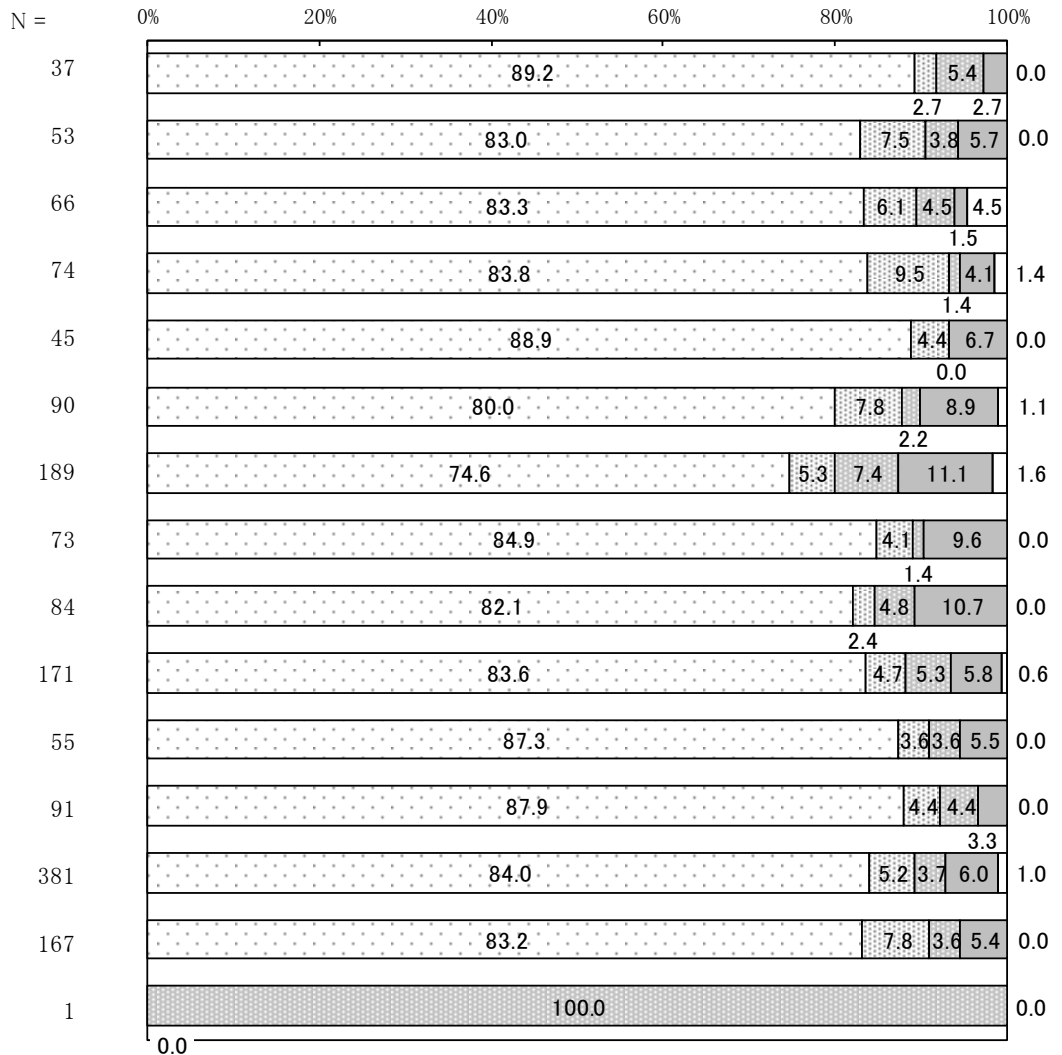


【年代別】

毎日食べる
 週4~5日食べる
 週2~3日食べる
 ほとんど食べない
 無回答



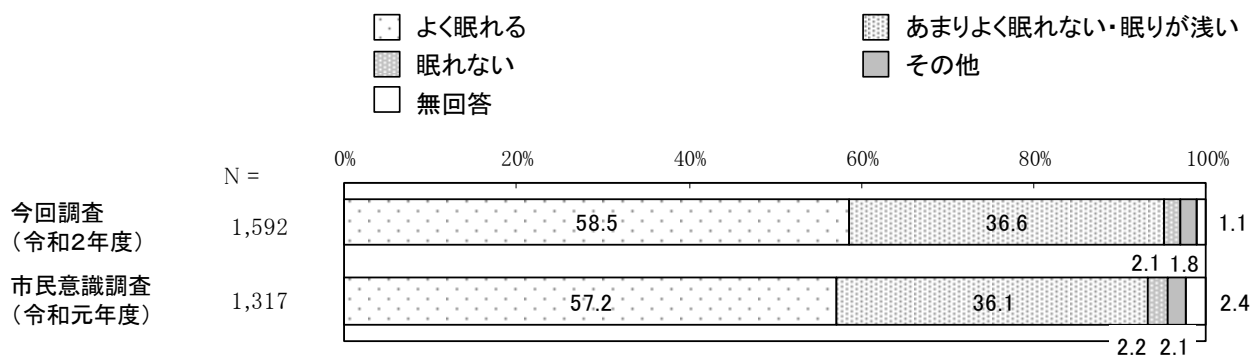
【居住地区別】



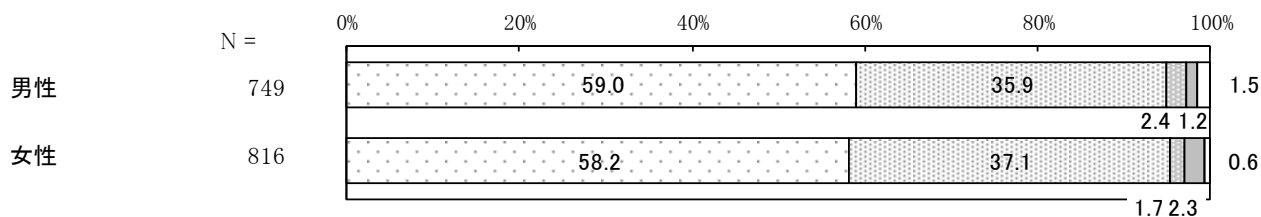
問 16 あなたはよく眠れますか。《○1つ》

6割近くが「よく眠れる」、一方「あまりよく眠れない・眠りが浅い」が4割近く

- よく眠れるかについては、「よく眠れる」と回答した人が58.5%と、6割近くになっています。一方、「あまりよく眠れない・眠りが浅い」は36.6%と4割近くとなっています。「眠れない」は2.1%とわずかです。
- 年代別では、いずれの年代も「よく眠れる」が最も多くなっており、10歳代で8割、20歳代で7割近くとなっています。一方、30歳以上は「あまりよく眠れない・眠りが浅い」が4割前後みられます。
- 居住地区別では、愛東地区を除き「よく眠れる」が最も多くなっており、湖東地区、永源寺地区、平田地区、能登川地区で6割を超えています。一方、「あまりよく眠れない・眠りが浅い」の割合が、愛東地区で最も多く半数、南部地区、御園地区、蒲生地区で4割みられます。

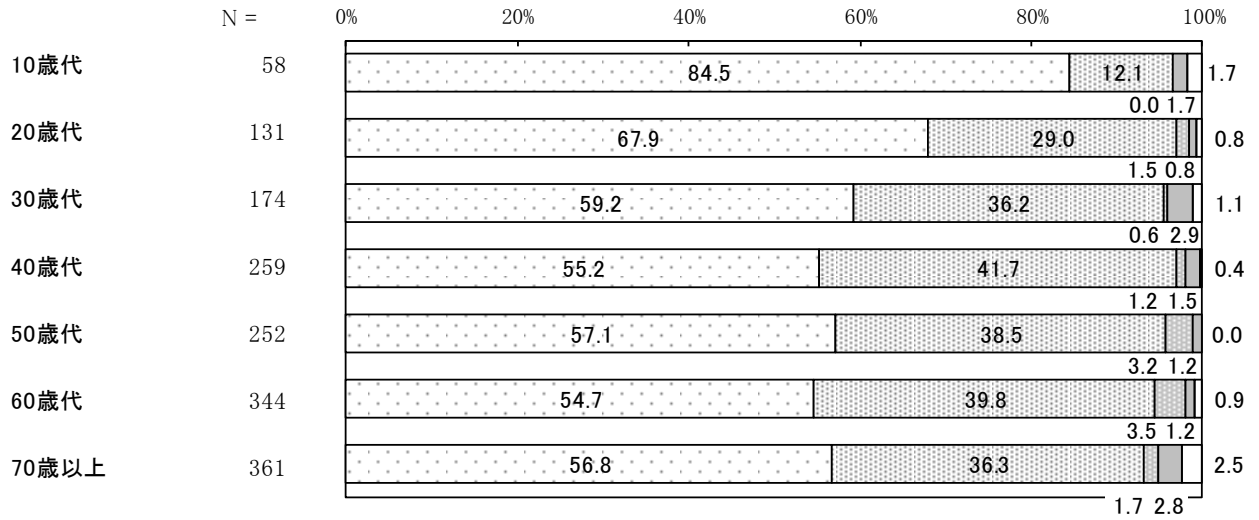


【性別】

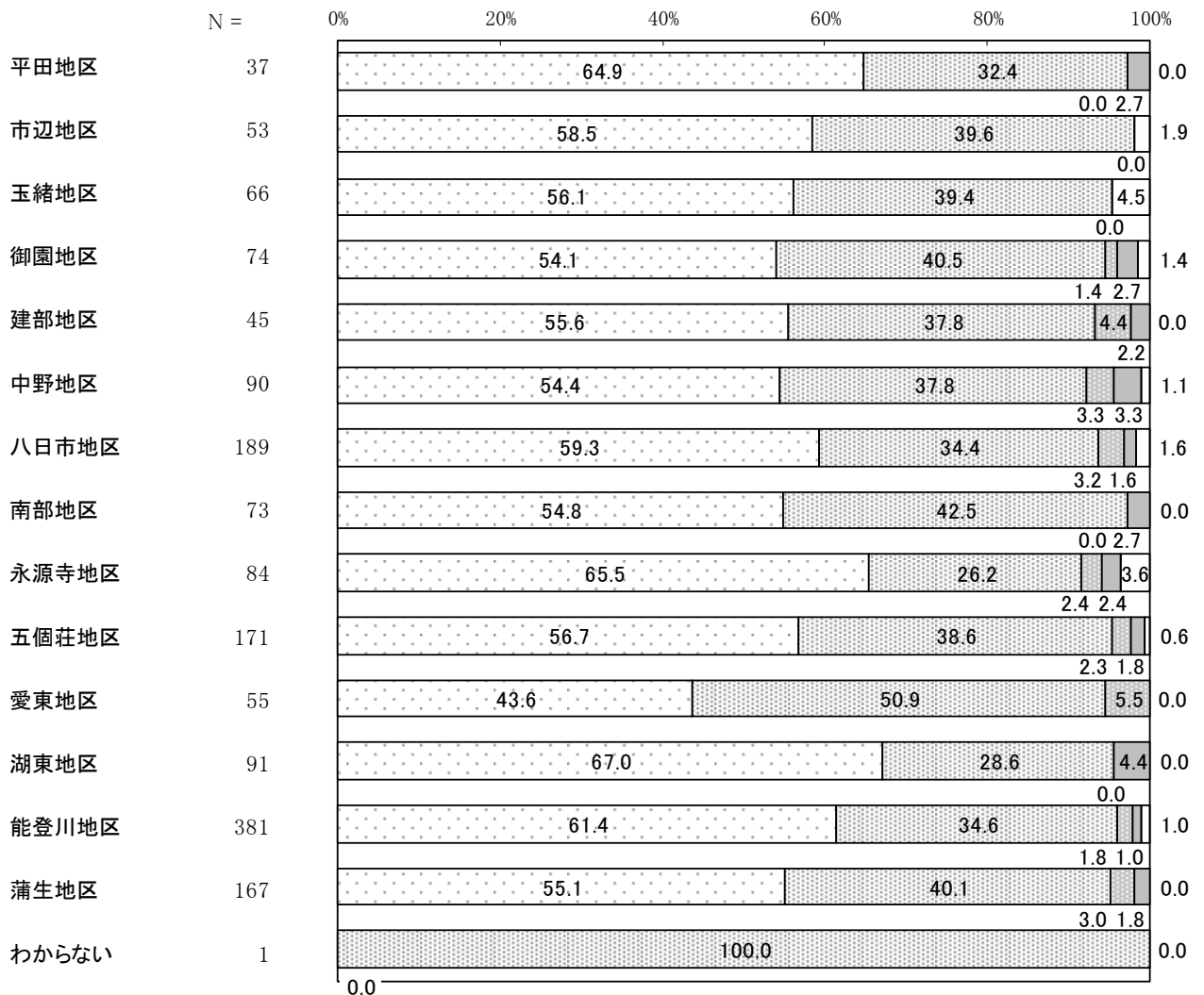




【年代別】



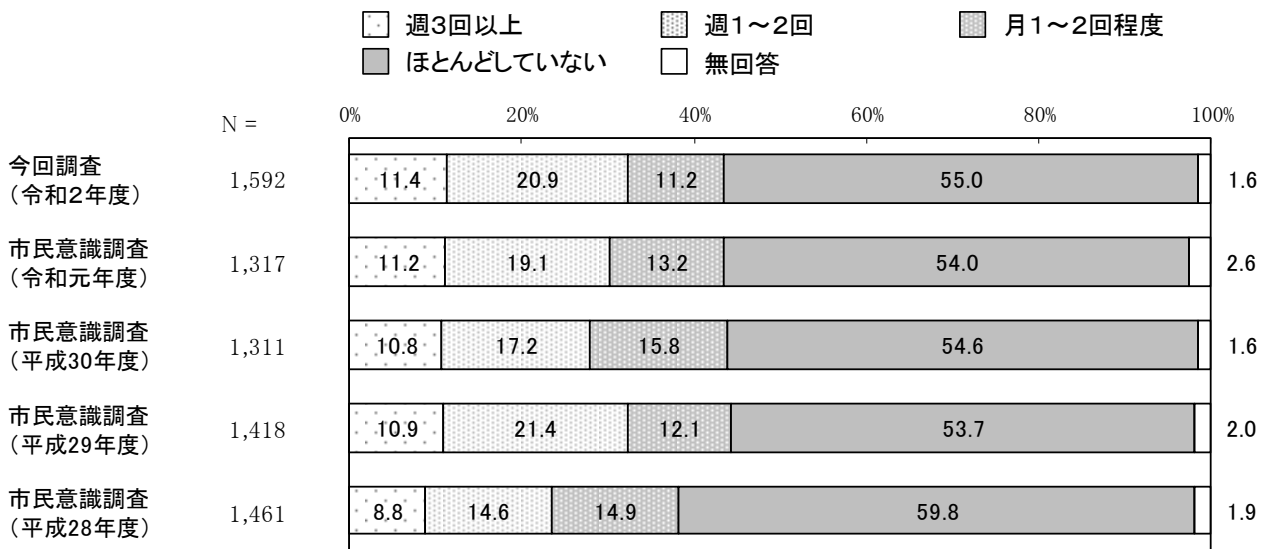
【居住地区別】



問 17 あなたは、スポーツやレクリエーション等の運動をどの程度行っていますか。《○1つ》

3割が週1回以上運動をしている、半数以上が「ほとんどしていない」

- ・ スポーツやレクリエーション等の運動をどの程度行っているかについては、「ほとんどしていない」が55.0%と最も多く、半数以上を占めています。次いで、「週1～2回」が20.9%、「週3回以上」が11.4%、「月1～2回程度」が11.2%と続きます。週1回以上運動をしている人は32.3%となっています。
- ・ 過去の調査と比較すると、変動があるものの「ほとんどしていない」と回答した人の割合が減少し、週1回以上運動をしている人の割合は増加しています。
- ・ 週1回以上運動をしている人の割合は、年代別では10歳代と70歳以上で、居住地区別では特に玉緒地区で高くなっています。
- ・ 一方、スポーツやレクリエーション等の運動をほとんどしていない人は、性別では女性、年代別では20歳代と50歳代、居住地区別では市辺地区で6割を超えています。



単位：%

	週1回以上運動をしている*	ほとんどしていない
①今回調査(令和2年度)	32.3	55.0
②市民意識調査(令和元年度)	30.3	54.0
③市民意識調査(平成30年度)	28.0	54.6
④市民意識調査(平成29年度)	32.3	53.7
⑤市民意識調査(平成28年度)	23.4	59.8
①-⑤	8.9	-4.8

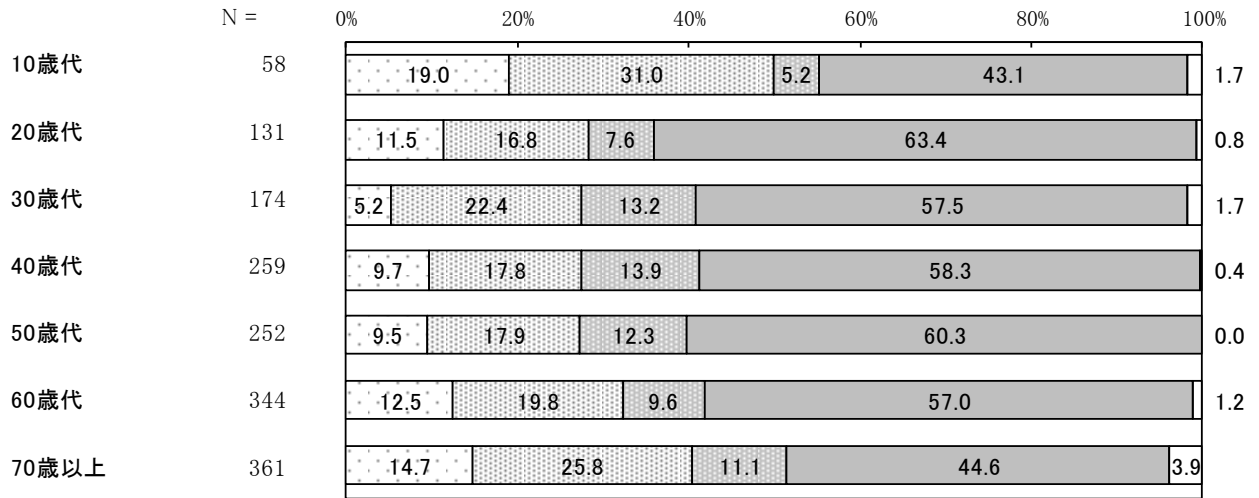
* 週1回以上運動をしている:「週3回以上」と「週1～2回」の合計

【性別】

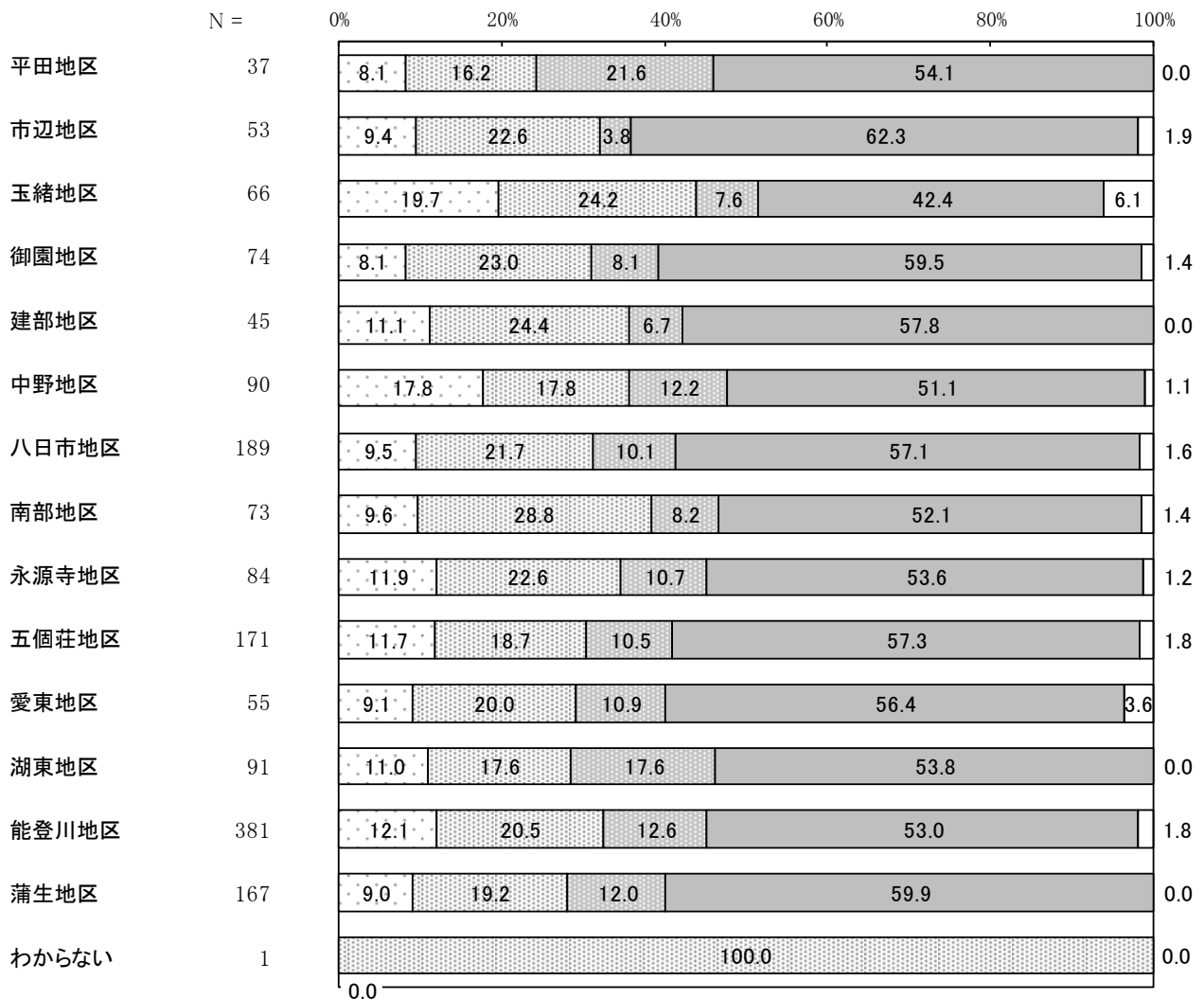


【年代別】

週3回以上
 週1～2回
 月1～2回程度
 ほとんどしていない
 無回答



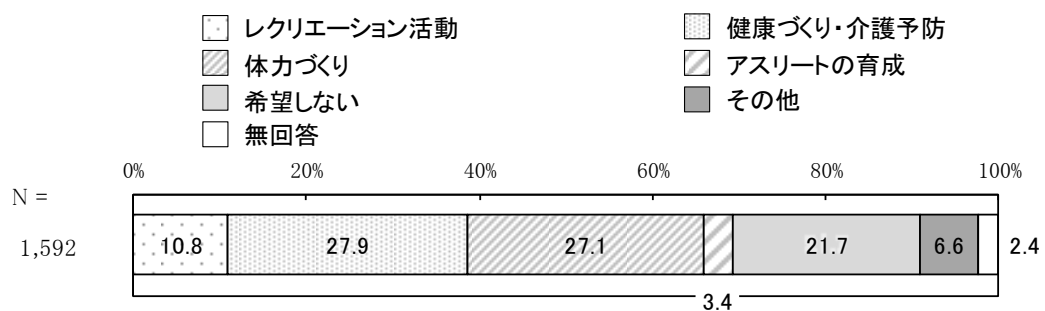
【居住地区別】



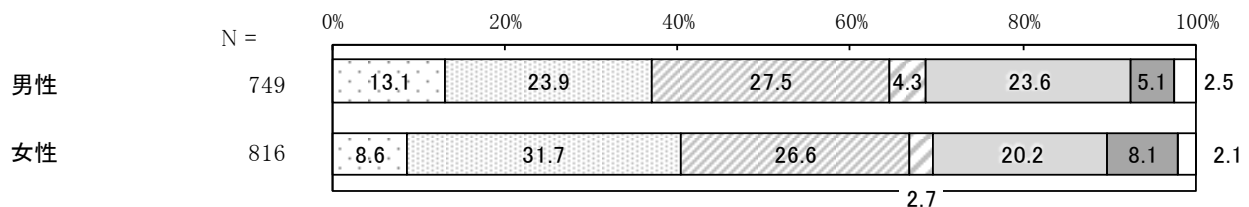
問 18 あなたは、社会体育施設（学校の運動場・体育館を除く。）で開催するスポーツ教室にどのような内容を希望されますか。《○1つ》

健康づくり・介護予防、体力づくりへの希望が多い

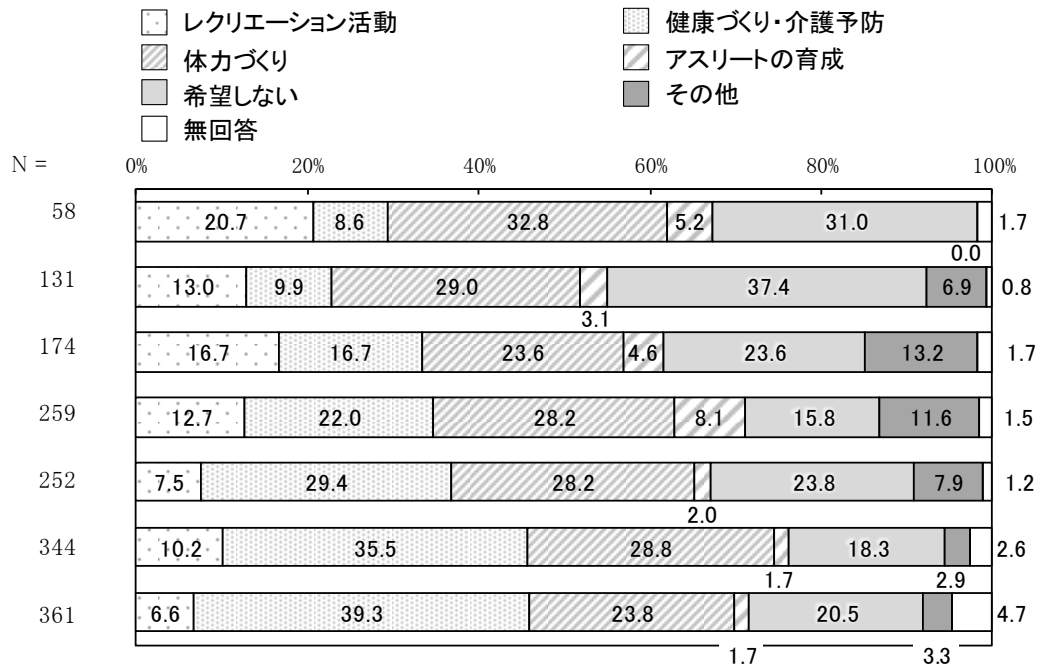
- ・ 社会体育施設で開催するスポーツ教室に希望される内容を聞いたところ、「健康づくり・介護予防」が27.9%と最も多く、次いで「体力づくり」が27.1%、「希望しない」が21.7%と続きます。
- ・ 性別では、男性は「体力づくり」が、女性は「健康づくり・介護予防」が最も多くなっています。
- ・ 年代別では、10歳代、30～40歳代は「体力づくり」が、50歳以上は「健康づくり・介護予防」が、20歳代は「希望しない」が最も多くなっています。30歳代は「希望しない」も同様に最も多くなっています。



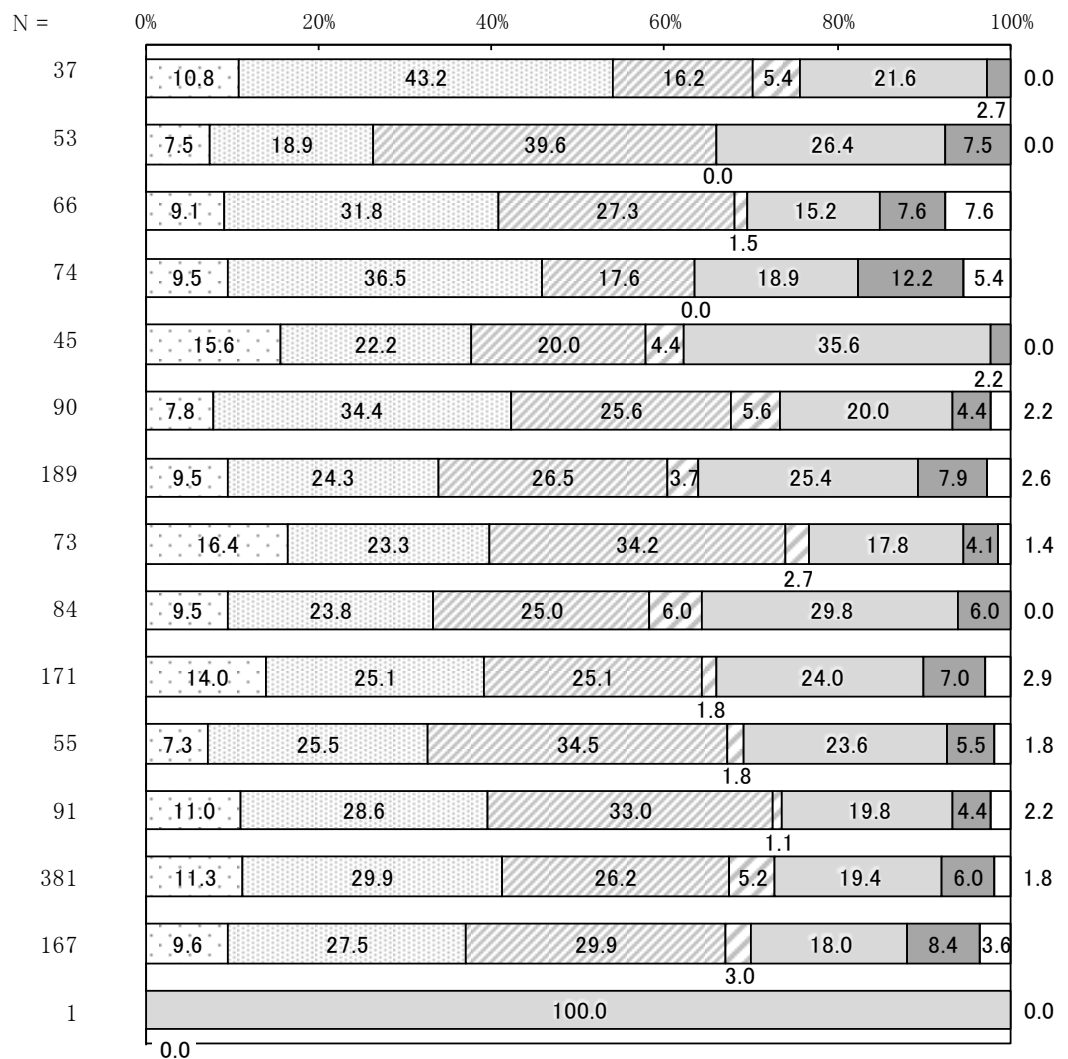
【性別】



【年代別】



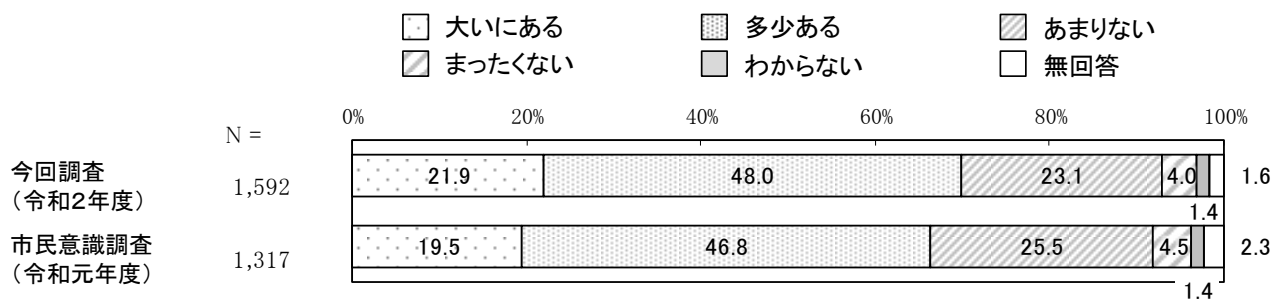
【居住地区別】



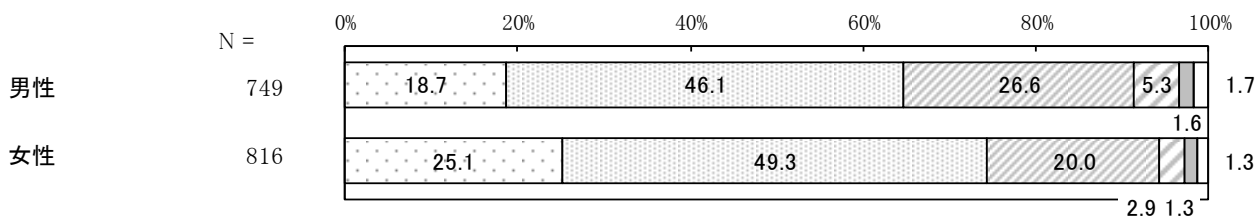
問 19 あなたはこの1箇月間に、不安、悩み、ストレスを感じましたか。《○1つ》

概ね7割が不安、悩み、ストレスを感じている

- この1箇月間に、不安、悩み、ストレスを感じたかどうかについては、「大いにある」が21.9%、「多少ある」が48.0%で、合わせて69.9%と概ね7割の人が不安、悩み、ストレスを感じたと回答しています。一方、「あまりない」と「まったくない」を合わせると27.1%で、3割近くの人が感じていないと回答しています。
- 前回の令和元年度調査と比較すると、不安、悩み、ストレスを感じたと回答した人の割合が増加しています。
- 性別では、女性は7割以上が不安、悩み、ストレスを感じている（「大いにある」と「多少ある」の合計）のに対し、男性は3割以上が感じていない（「あまりない」と「まったくない」の合計）と回答しています。
- 年代別では、30～50歳代で不安、悩み、ストレスを感じている人（前述）が7割を超えているのに対し、10歳代と60歳以上は3割以上が感じていない（前述）と回答しています。
- 居住地区別では、御園地区、永源寺地区、蒲生地区、中野地区、能登川地区、建部地区、五個荘地区、平田地区で7割以上が不安、悩み、ストレスを感じている（前述）のに対し、特に湖東地区で4割近くが感じていない（前述）と回答しています。

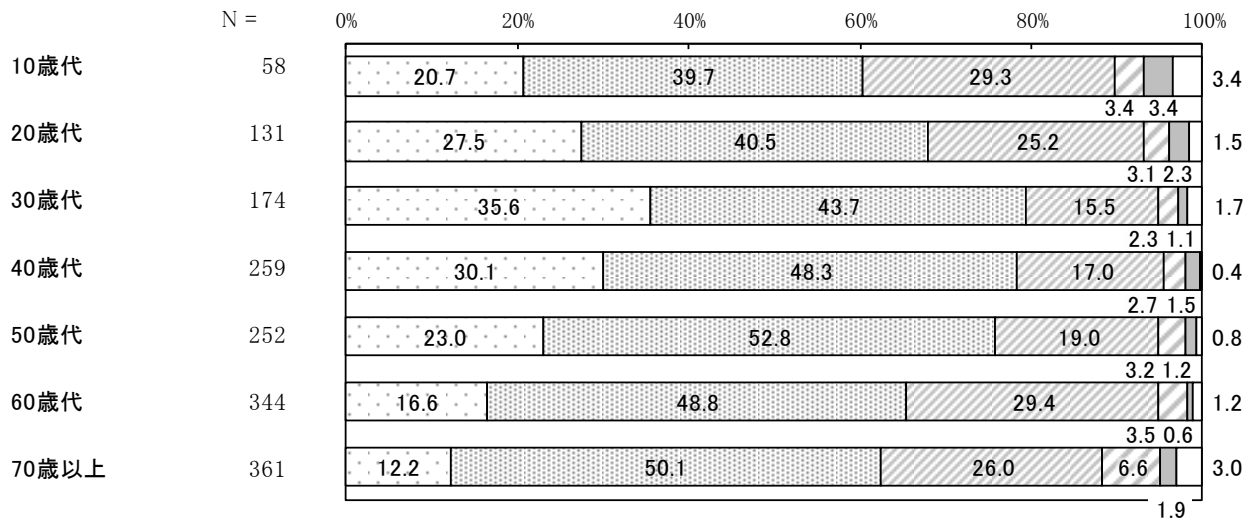


【性別】

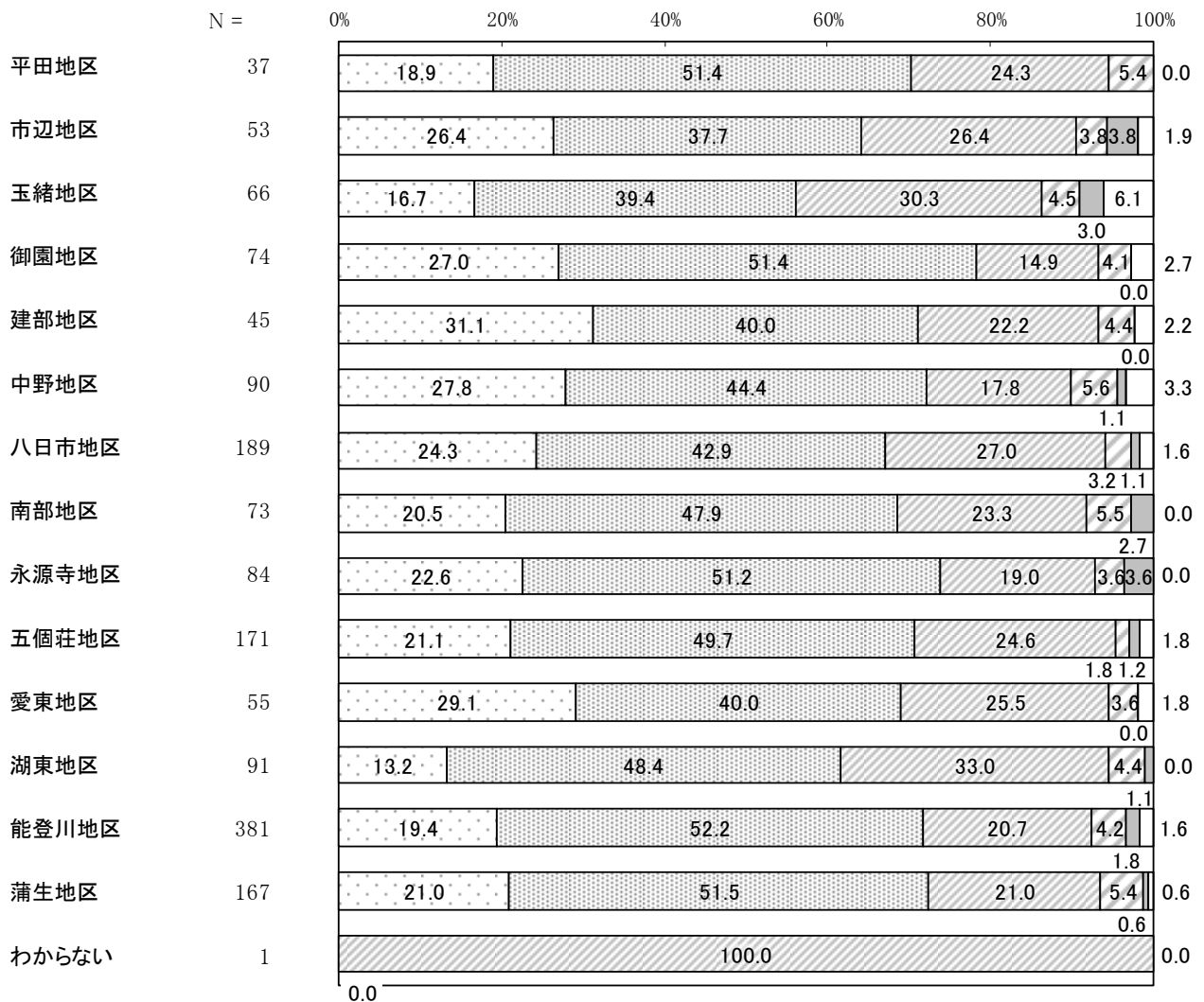


【年代別】

大いにある 多少ある あまりない
 まったくない わからない 無回答



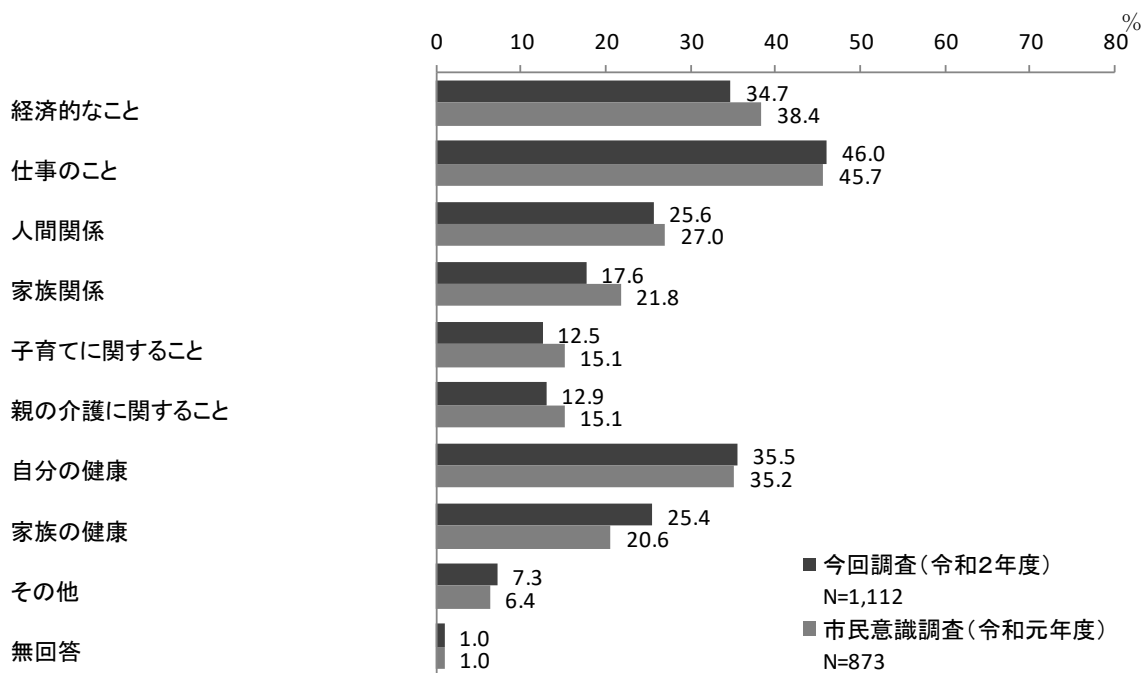
【居住地区別】



問 19-1 問 19 で「1. 大いにある」「2. 多少ある」とお答えの方におたずねします。
 あなたの不安、悩み、ストレスの原因は何ですか。《あてはまるものすべてに○》

半数近くが「仕事のこと」

- 不安、悩み、ストレスの原因としては、「仕事のこと」が46.0%と最も多く、半数近くとなっています。次いで「自分の健康」が35.5%、「経済的なこと」が34.7%、「人間関係」が25.6%、「家族の健康」が25.4%、「家族関係」が17.6%と続きます。
- 昨年度の調査と比較すると、「経済的なこと」や「家族関係」などが減少する一方で、新型コロナウイルス感染拡大の影響もあってか、「家族の健康」、「自分の健康」、「仕事のこと」をあげる人の割合が増加しています。
- 性別では、男女ともに「仕事のこと」が最も多くなっていますが、女性は男性より「子育てに関すること」や「家族関係」も多くあげられています。
- 年代別では、10歳代は「人間関係」、20～50歳代は「仕事のこと」、60歳以上は「自分の健康」が最も多くあげられています。そのほか、30～40歳代で「子育てに関すること」が、50歳代で「親の介護に関すること」がほかの年代より多くみられます。
- 居住地区別では、平田地区、市辺地区は「経済的なこと」が、永源寺地区、湖東地区は「自分の健康」が、そのほかの地区は「仕事のこと」が最も多くあげられています。



【性別】

区分	有効回答数(件)	原因									
		経済的なこと	仕事のこと	人間関係	家族関係	子育てに関すること	親の介護に関すること	自分の健康	家族の健康	その他	無回答
男性	485	35.3	56.9	25.4	12.0	7.0	13.0	35.7	22.3	7.6	0.8
女性	607	34.3	38.4	25.9	21.7	17.1	12.9	35.6	28.2	7.1	0.8

【年代別】

単位:%

区 分	有効回答数 (件)	経済的なこと	仕事のこと	人間関係	家族関係	子育てに関する こと	親の介護に関する こと	自分の健康	家族の健康	その他	無回答
10歳代	35	34.3	34.3	40.0	14.3	0.0	5.7	22.9	8.6	37.1	0.0
20歳代	89	34.8	69.7	32.6	16.9	10.1	4.5	21.3	14.6	7.9	0.0
30歳代	138	43.5	65.2	32.6	23.9	39.1	4.3	24.6	15.9	8.0	0.7
40歳代	203	38.4	71.9	27.1	17.2	24.1	13.8	24.6	19.2	3.9	0.0
50歳代	191	40.3	60.2	25.1	17.3	7.9	26.7	31.4	25.1	5.8	0.5
60歳代	225	31.6	30.7	22.2	17.8	3.1	20.4	39.6	28.9	6.2	1.8
70歳以上	225	24.9	7.6	19.6	15.6	1.8	2.2	59.6	40.4	7.1	1.8

【居住地区別】

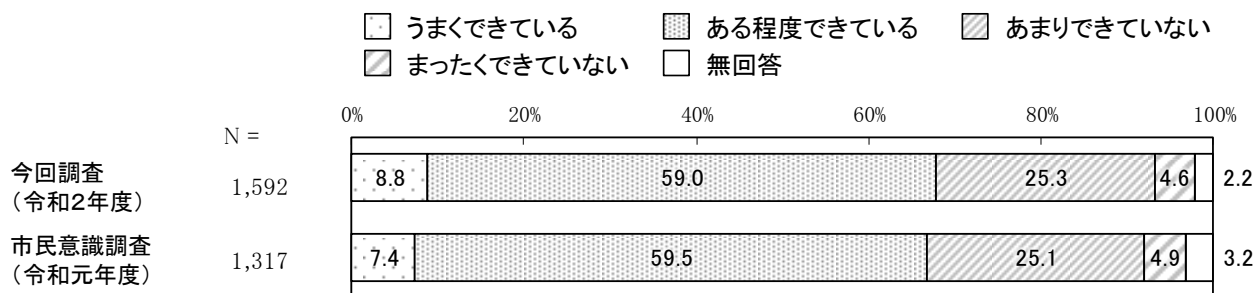
単位:%

区 分	有効回答数 (件)	経済的なこと	仕事のこと	人間関係	家族関係	子育てに関する こと	親の介護に関する こと	自分の健康	家族の健康	その他	無回答
平田地区	26	53.8	42.3	11.5	11.5	15.4	19.2	34.6	42.3	7.7	0.0
市辺地区	34	47.1	38.2	17.6	23.5	14.7	26.5	32.4	41.2	11.8	0.0
玉緒地区	37	37.8	54.1	29.7	29.7	8.1	10.8	27.0	29.7	2.7	0.0
御園地区	58	20.7	50.0	37.9	13.8	20.7	13.8	29.3	22.4	3.4	0.0
建部地区	32	34.4	46.9	37.5	9.4	15.6	9.4	37.5	18.8	0.0	0.0
中野地区	65	27.7	46.2	29.2	18.5	15.4	10.8	44.6	30.8	6.2	1.5
八日市地区	127	37.0	48.8	28.3	18.1	7.1	14.2	37.0	18.9	10.2	0.8
南部地区	50	42.0	44.0	26.0	28.0	6.0	10.0	34.0	24.0	4.0	2.0
永源寺地区	62	30.6	37.1	19.4	14.5	8.1	12.9	40.3	29.0	4.8	1.6
五個荘地区	121	37.2	44.6	19.8	19.0	11.6	7.4	35.5	19.0	4.1	1.7
愛東地区	38	39.5	42.1	21.1	26.3	10.5	13.2	31.6	26.3	10.5	2.6
湖東地区	56	30.4	33.9	28.6	16.1	10.7	17.9	37.5	25.0	3.6	0.0
能登川地区	273	34.1	48.7	25.6	13.9	15.0	12.1	36.3	26.4	8.4	1.5
蒲生地区	121	34.7	50.4	26.4	19.8	12.4	15.7	32.2	25.6	10.7	0.0
わからない	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

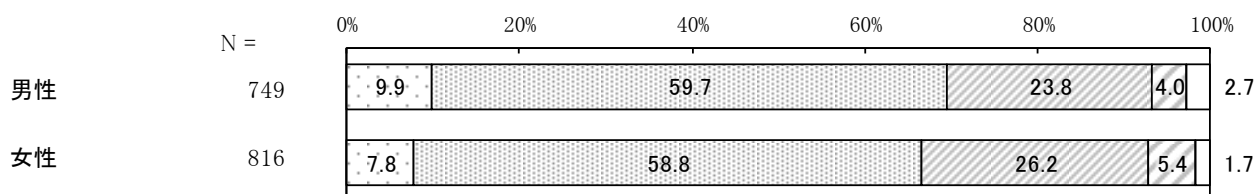
問 20 あなたの不安や悩み、ストレスは解消できていますか。《○1つ》

7割近くが、不安や悩み、ストレスの解消はできている

- 不安や悩み、ストレスが解消できているかどうかについては、「うまくできている」が8.8%、「ある程度できている」が59.0%で、これらを合わせると67.8%となり、7割近くの人が解消できていると回答しています。一方、「あまりできていない」と「まったくできていない」を合わせると29.9%で、概ね3割の人ができていないと回答しています。
- 年代別では、60歳以上で7割以上の方が不安や悩み、ストレスの解消ができている（「うまくできている」と「ある程度できている」の合計）と回答しているのに対し、30～40歳代は4割近くができていない（「あまりできていない」と「まったくできていない」の合計）と回答しています。
- 居住地区別では、湖東地区、南部地区、五個荘地区で7割以上の方が不安や悩み、ストレスの解消ができている（前述）と回答しているのに対し、特に御園地区と愛東地区で4割前後の方ができていない（前述）と回答しています。

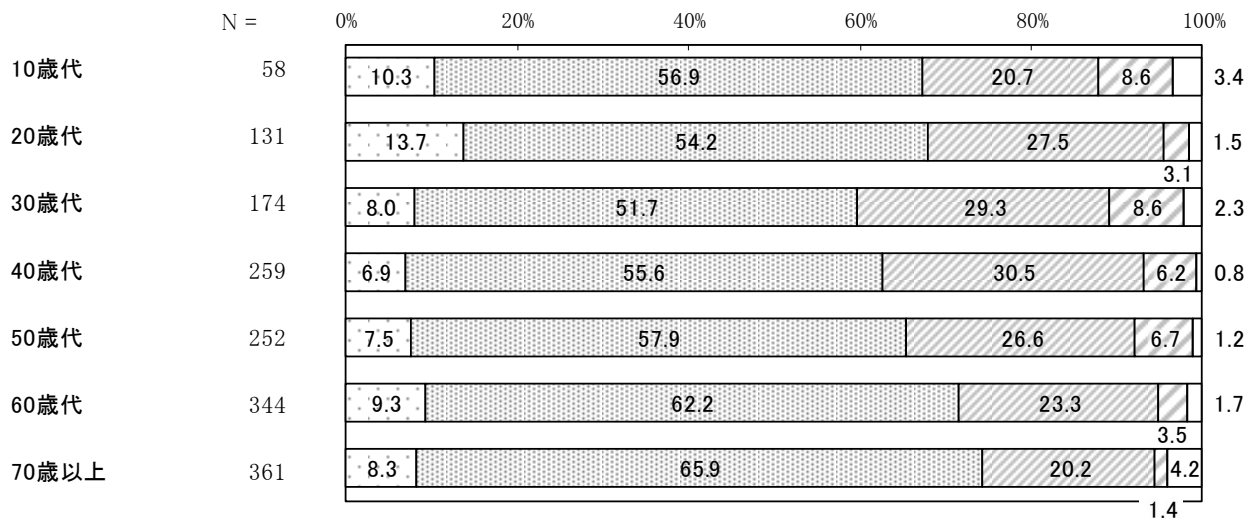


【性別】

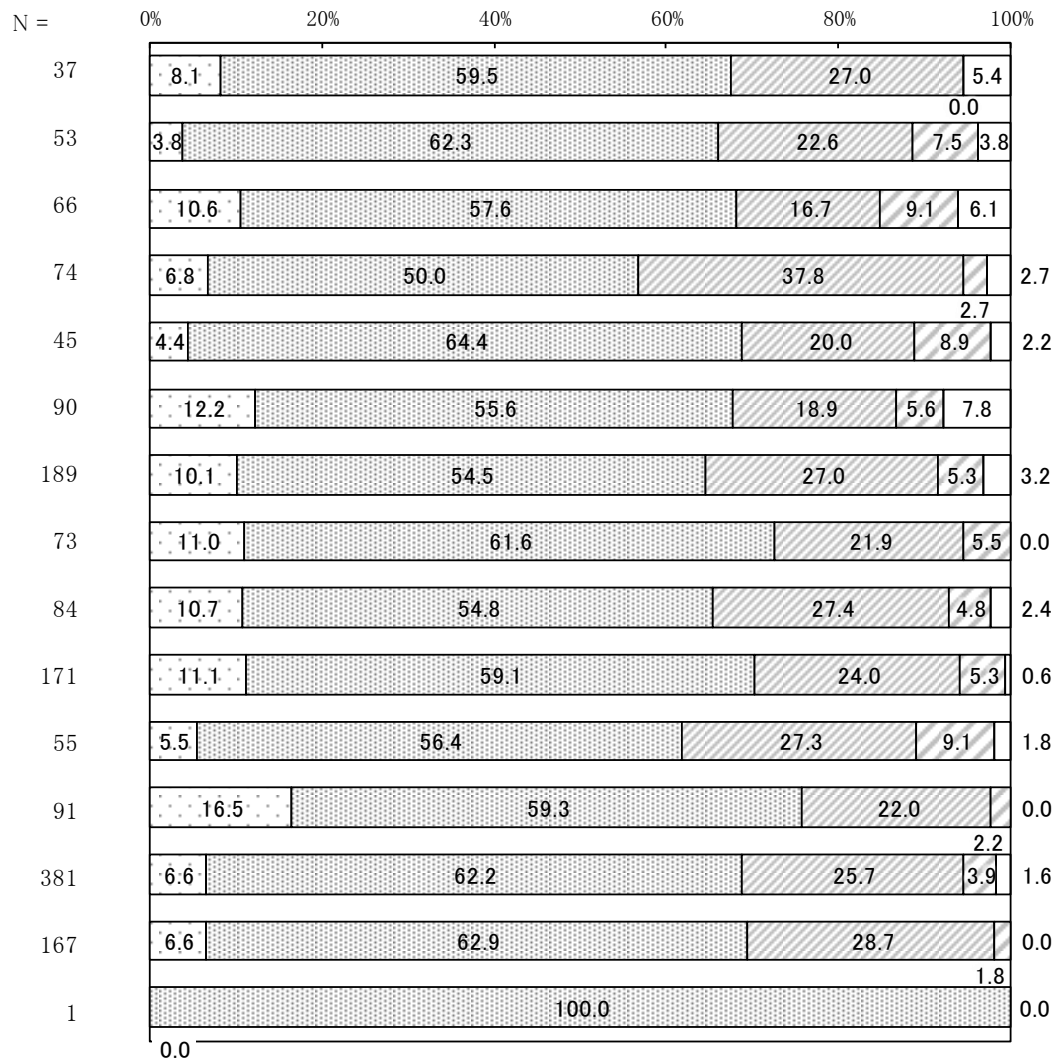


【年代別】

うまくできている
 ある程度できている
 あまりできていない
 まったくできていない
 無回答



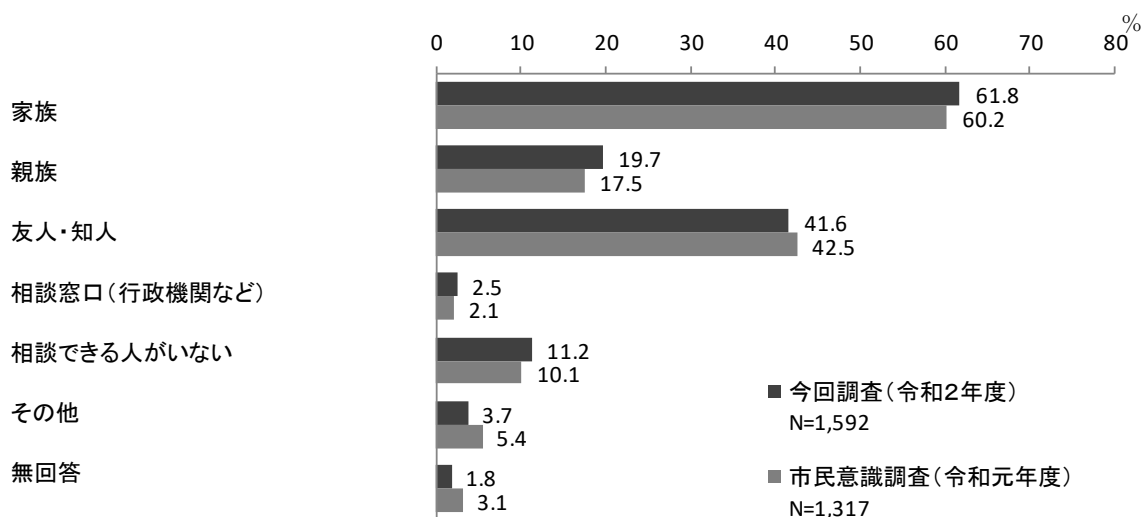
【居住地区別】



問 21 あなたは不安や悩み、ストレス等について相談したいとき、誰に相談しますか。《あてはまるものすべてに○》

6割が不安や悩み、ストレス等の相談相手は「家族」

- 不安や悩み、ストレス等の相談相手としては、「家族」と回答した人が61.8%と最も多く、次いで「友人・知人」が41.6%、「親族」が19.7%と続き、身近な人をあげる人が多くなっています。一方、「相談できる人がいない」は11.2%となっています。
- 性別では、男女ともに「家族」が最も多くあげられています。一方、女性より男性で「友人・知人」や「親族」が多くあげられています。一方、女性より男性で「相談できる人がいない」と回答した人が多くみられます。
- 年代別では、20歳代で「家族」と「友人・知人」が、そのほかの年代で「家族」が最も多くあげられています。そのほか、「友人・知人」は年齢が若いほど、「親族」は60歳以上で多くみられます。一方、50歳代で「相談できる人がいない」と回答した人が多くみられます。
- 居住地区別では、すべての地区で「家族」が最も多くあげられています。また特に、永源寺地区で「親族」が、南部地区で「友人・知人」が、愛東地区、建部地区、八日市地区で「相談できる人がいない」と回答した人がほかの地区より多くみられます。



【性別】

単位:%

区分	有効回答数 (件)	家族	親族	友人・知人	相談窓口 (行政機関な ど)	相談できる人が いない	その他	無回答
男性	749	59.7	14.4	31.9	3.1	15.4	3.7	2.1
女性	816	63.8	24.6	50.7	2.0	7.6	3.7	1.2

【年代別】

単位:%

区分	有効回答数 (件)	家族	親族	友人・知人	相談窓口 (行政機関な ど)	相談できる人が いない	その他	無回答
10歳代	58	74.1	8.6	67.2	0.0	5.2	0.0	1.7
20歳代	131	59.5	9.9	59.5	0.8	10.7	3.8	1.5
30歳代	174	67.2	19.5	53.4	2.3	13.8	3.4	2.3
40歳代	259	66.0	19.7	47.5	1.5	12.0	2.7	1.2
50歳代	252	55.2	16.3	40.5	2.4	16.3	4.0	0.4
60歳代	344	58.1	24.4	34.3	3.8	11.0	4.4	2.0
70歳以上	361	63.2	23.0	29.1	3.3	7.5	3.9	2.2

【居住地区別】

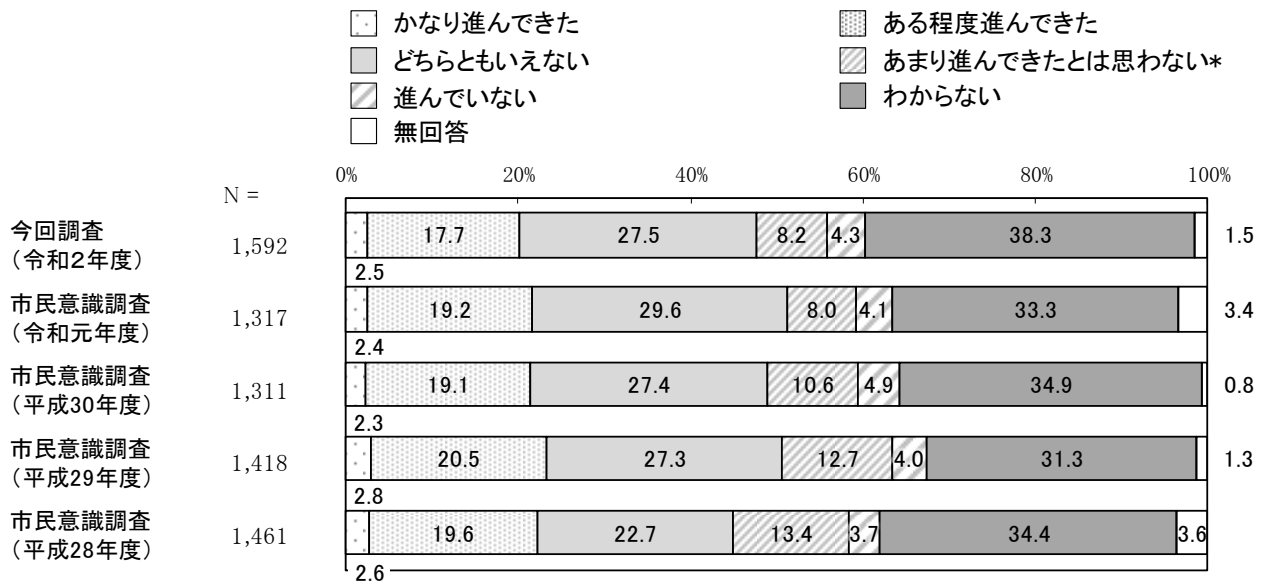
単位:%

区分	有効回答数 (件)	家族	親族	友人・知人	相談窓口 (行政機関な ど)	相談できる人が いない	その他	無回答
平田地区	37	70.3	24.3	40.5	2.7	8.1	2.7	0.0
市辺地区	53	73.6	11.3	39.6	3.8	7.5	3.8	0.0
玉緒地区	66	56.1	10.6	40.9	4.5	12.1	6.1	6.1
御園地区	74	67.6	21.6	37.8	4.1	9.5	4.1	1.4
建部地区	45	60.0	15.6	35.6	4.4	15.6	0.0	2.2
中野地区	90	64.4	17.8	37.8	4.4	7.8	5.6	1.1
八日市地区	189	58.7	18.5	39.7	3.2	15.3	3.7	2.6
南部地区	73	53.4	17.8	52.1	0.0	13.7	2.7	0.0
永源寺地区	84	52.4	26.2	41.7	4.8	9.5	4.8	1.2
五個荘地区	171	66.1	18.7	39.8	1.2	7.0	5.8	1.8
愛東地区	55	54.5	18.2	43.6	3.6	16.4	7.3	0.0
湖東地区	91	64.8	22.0	42.9	1.1	7.7	0.0	0.0
能登川地区	381	60.9	20.7	43.0	1.8	11.0	3.1	2.6
蒲生地区	167	65.3	22.8	43.7	1.8	13.8	2.4	0.0
わからない	1	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0

問 22 あなたは、東近江市民の障害者に対する理解は進んできたと思いますか。《○1つ》

理解が進んでいないと思う人が減少

- ・ 東近江市民の障害者に対する理解が進んできたと思うかについては、「かなり進んできた」が2.5%、「ある程度進んできた」が17.7%で、これらを合わせると20.2%となり、2割の人が進んできたと回答しています。一方、「あまり進んできたとは思わない」と「進んでいない」を合わせると12.5%となっています。なお、「わからない」と回答した人が38.3%となっています。
- ・ 過去の調査と比較すると、理解が進んでいないと思う人（「あまり進んできたとは思わない」と「進んでいない」の合計）が減少しています。
- ・ 年代別では60歳以上で、居住地区別では玉緒地区、南部地区、中野地区、永源寺地区、愛東地区で、障害者に対する理解が進んできたと思う人（「かなり進んできた」と「ある程度進んできた」の合計）が多くみられます。
- ・ 一方、40歳代で、障害者に対する理解が進んできたと思う人（前述）より進んでいないと思う人（前述）が多くみられます。



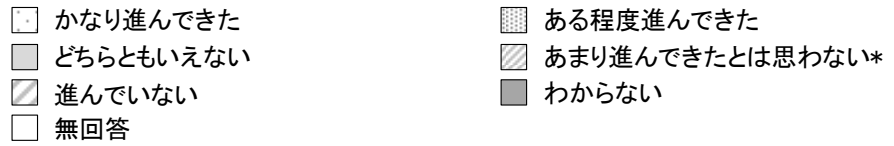
*平成28年度は「あまり進んできているとは思えない」、平成29～30年度は「あまり進んでいるとは思わない」

単位：%

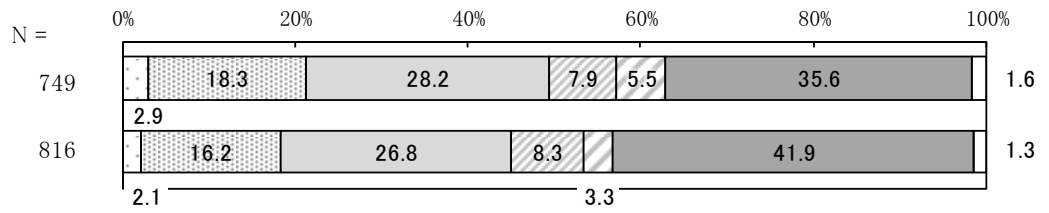
	進んできた*	進んでいない*	差
①今回調査(令和2年度)	20.2	12.5	7.7
②市民意識調査(令和元年度)	21.6	12.1	9.5
③市民意識調査(平成30年度)	21.4	15.5	5.9
④市民意識調査(平成29年度)	23.3	16.7	6.6
⑤市民意識調査(平成28年度)	22.2	17.1	5.1
①-⑤	-2.0	-4.6	2.6

* 進んできた:「かなり進んできた」と「ある程度進んできた」の合計

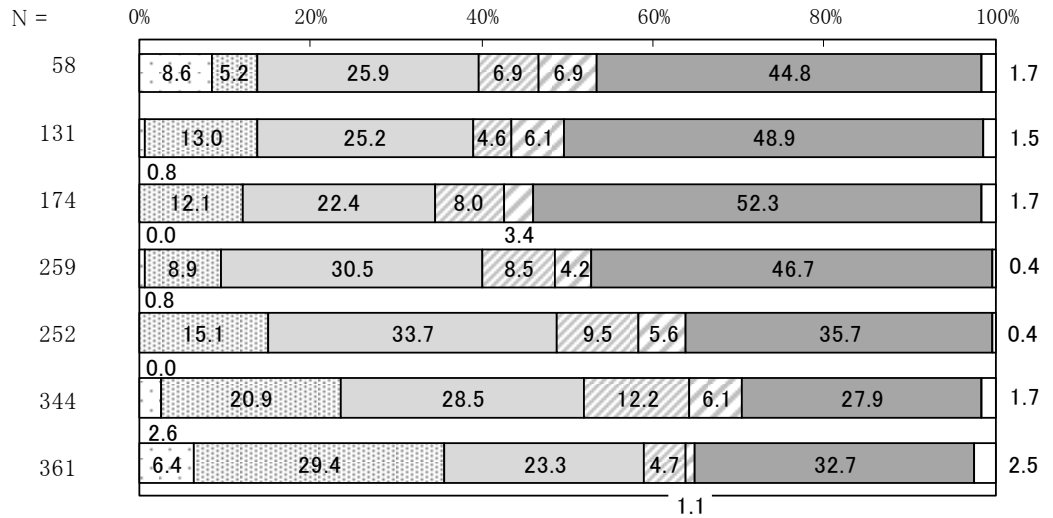
* 進んでいない:「あまり進んできたとは思わない」と「進んでいない」の合計



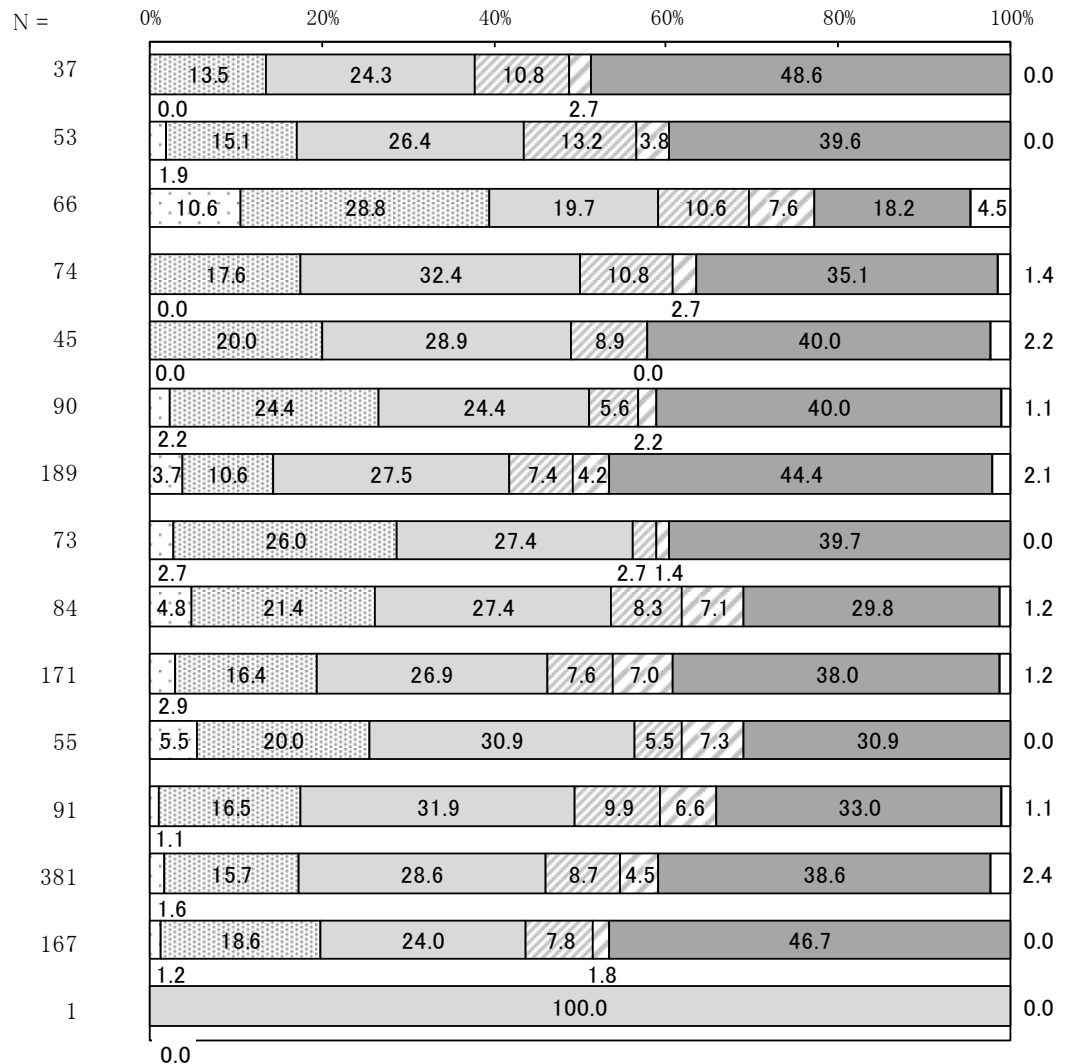
【性別】



【年代別】



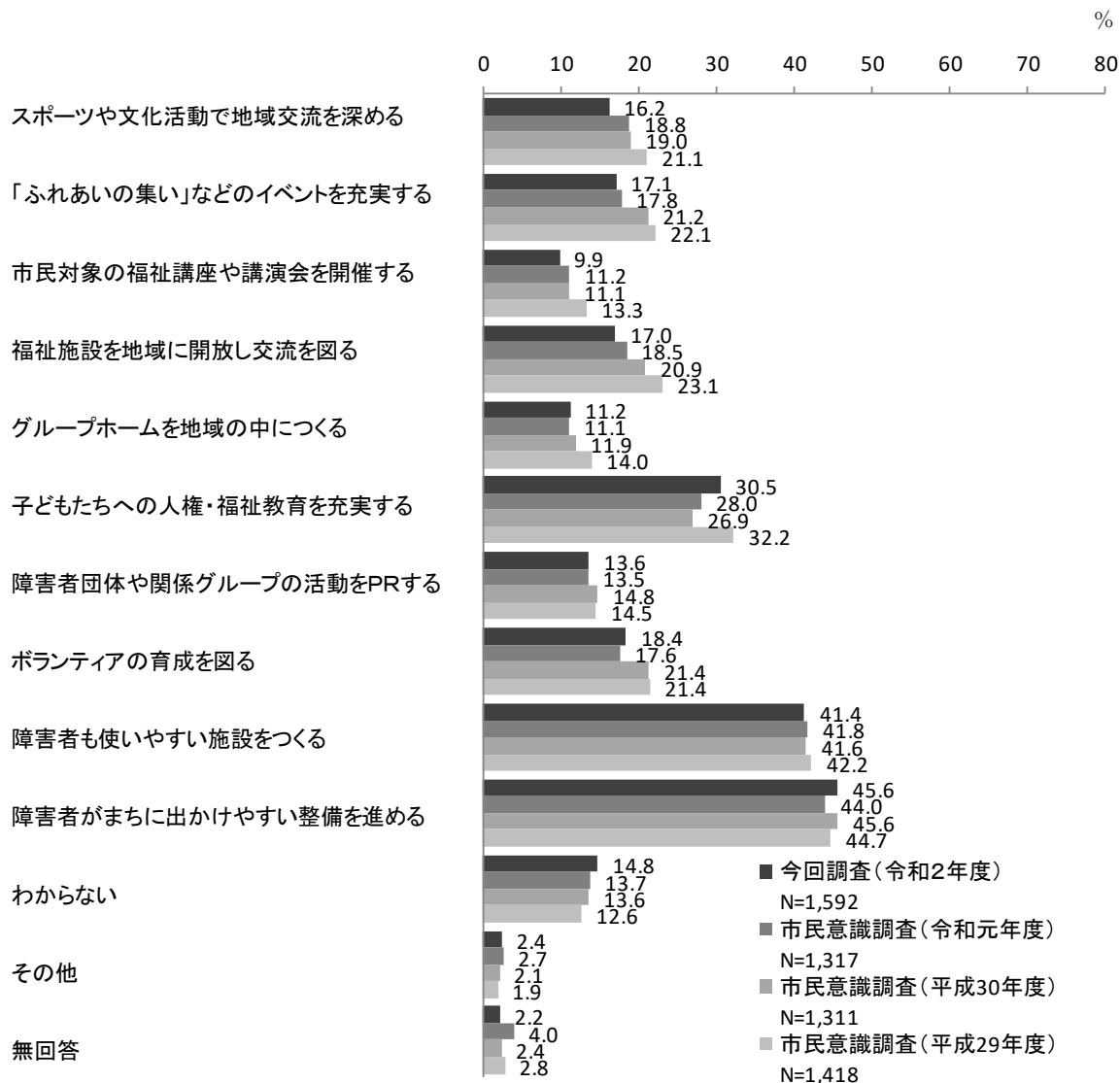
【居住地区別】



問 23 あなたは、障害者に対する理解を深めるために、今後どのようなことに特に力を入れるべきだと思いますか。《あてはまるものすべてに○》

特に力を入れるべき取組は、バリアフリーのまちづくりや施設整備

- ・ 障害者に対する理解を深めるために、今後どのようなことに特に力を入れるべきかについては、「障害者がまちに出かけやすい整備を進める」が45.6%と最も多く、次いで「障害者も使いやすい施設をつくる」が41.4%と、バリアフリーやユニバーサルデザインのまちづくりや施設整備をあげる人が多くなっています。
- ・ そのほか、「子どもたちへの人権・福祉教育を充実する」が30.5%、「ボランティアの育成を図る」が18.4%、「ふれあいの集い」などのイベントを充実する」が17.1%、「福祉施設を地域に開放し交流を図る」が17.0%、「スポーツや文化活動で地域交流を深める」が16.2%など、交流や支え合い等を通じたノーマライゼーションの実現をあげる人も多くみられます。
- ・ 年代別では、10歳代で「障害者も使いやすい施設をつくる」が、20歳以上で「障害者がまちに出かけやすい整備を進める」が最も多くあげられています。また、特に30～40歳代で「子どもたちへの人権・福祉教育を充実する」がほかの年代より多くあげられています。



【性別】

単位:%

区分	有効回答数(件)	スポーツや文化交流を深める	「ふれあいの集い」などのイベントを充実する	市民対象の福祉講座や講演会を開催する	福祉施設を地域に開放し交流を図る	グループホームを地域の中につくる	子どもたちへの人権・福祉教育を充実する	障害者団体や関係グループの活動をPRする	ボランティアの育成を図る	障害者も使いやすい施設をつくる	障害者がまちな出かけやすい整備を進める	わからない	その他	無回答
男性	749	17.6	18.6	10.0	17.2	9.5	30.3	16.2	18.4	40.3	43.9	14.7	3.1	1.7
女性	816	15.2	15.8	9.8	16.7	11.9	31.0	11.4	18.4	42.4	47.3	14.8	2.0	2.5

【年代別】

単位:%

区分	有効回答数(件)	スポーツや文化交流を深める	「ふれあいの集い」などのイベントを充実する	市民対象の福祉講座や講演会を開催する	福祉施設を地域に開放し交流を図る	グループホームを地域の中につくる	子どもたちへの人権・福祉教育を充実する	障害者団体や関係グループの活動をPRする	ボランティアの育成を図る	障害者も使いやすい施設をつくる	障害者がまちな出かけやすい整備を進める	わからない	その他	無回答
10歳代	58	20.7	17.2	8.6	12.1	3.4	31.0	13.8	13.8	41.4	32.8	15.5	5.2	1.7
20歳代	131	13.0	11.5	8.4	13.0	7.6	32.1	16.0	14.5	45.0	45.8	16.8	2.3	1.5
30歳代	174	22.4	14.4	5.2	12.1	6.9	40.2	9.2	11.5	47.7	49.4	14.9	2.3	1.7
40歳代	259	14.7	12.7	6.9	14.7	10.0	36.3	13.1	17.4	44.8	47.5	17.4	2.3	0.4
50歳代	252	12.7	18.7	9.1	20.6	11.9	29.4	15.1	19.0	44.4	50.0	14.3	2.0	0.4
60歳代	344	15.1	18.9	10.8	18.0	12.2	30.8	15.4	22.4	40.4	48.3	12.2	2.9	1.7
70歳以上	361	18.3	20.8	15.0	20.2	14.7	22.4	12.5	20.8	33.2	38.5	14.7	2.2	5.5

【居住地区別】

単位:%

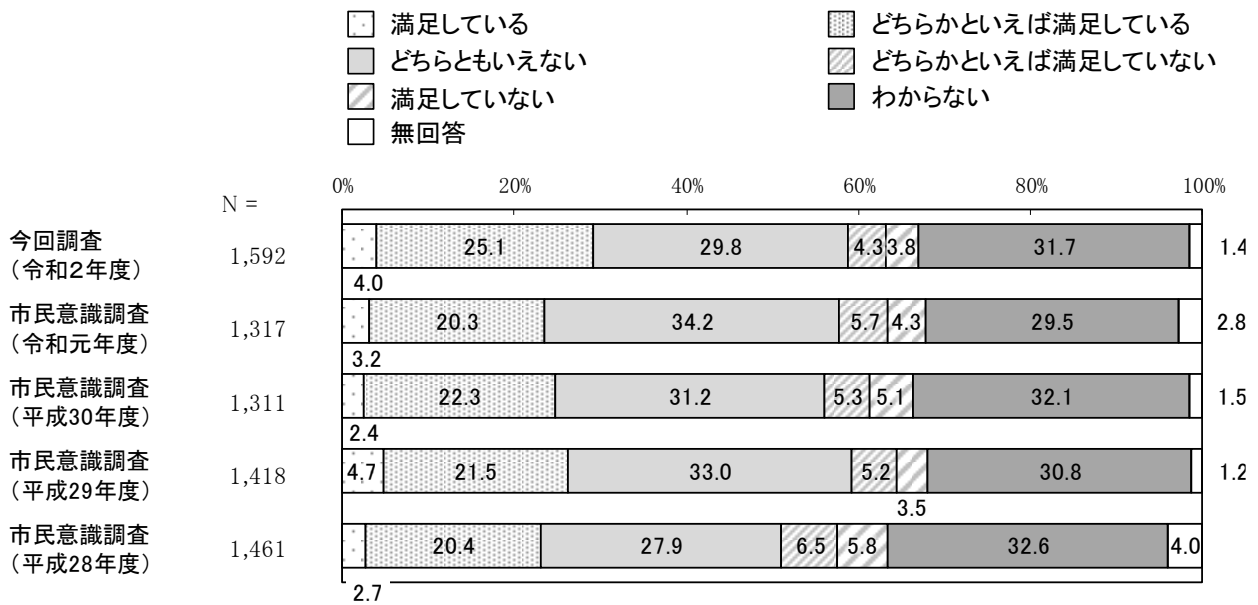
区分	有効回答数(件)	スポーツや文化交流を深める	「ふれあいの集い」などのイベントを充実する	市民対象の福祉講座や講演会を開催する	福祉施設を地域に開放し交流を図る	グループホームを地域の中につくる	子どもたちへの人権・福祉教育を充実する	障害者団体や関係グループの活動をPRする	ボランティアの育成を図る	障害者も使いやすい施設をつくる	障害者がまちな出かけやすい整備を進める	わからない	その他	無回答
平田地区	37	21.6	29.7	13.5	2.7	8.1	16.2	16.2	16.2	43.2	54.1	8.1	0.0	0.0
市辺地区	53	17.0	17.0	5.7	18.9	5.7	32.1	9.4	17.0	49.1	56.6	17.0	1.9	1.9
玉緒地区	66	27.3	24.2	13.6	24.2	13.6	34.8	15.2	25.8	45.5	47.0	7.6	3.0	4.5
御園地区	74	13.5	14.9	10.8	28.4	14.9	33.8	13.5	14.9	33.8	48.6	10.8	2.7	4.1
建部地区	45	11.1	20.0	8.9	17.8	6.7	42.2	20.0	11.1	42.2	40.0	17.8	4.4	2.2
中野地区	90	16.7	20.0	11.1	14.4	14.4	31.1	11.1	23.3	43.3	48.9	15.6	1.1	2.2
八日市地区	189	10.1	13.8	6.9	15.9	10.1	33.3	15.3	22.2	45.0	41.8	15.3	2.1	1.6
南部地区	73	17.8	17.8	11.0	12.3	13.7	38.4	17.8	20.5	35.6	45.2	20.5	1.4	1.4
永源寺地区	84	19.0	21.4	14.3	16.7	14.3	23.8	14.3	21.4	44.0	47.6	16.7	4.8	2.4
五個荘地区	171	21.6	15.8	4.7	21.6	11.1	29.2	11.7	21.1	38.0	50.9	12.3	0.6	2.3
愛東地区	55	10.9	16.4	10.9	20.0	12.7	25.5	7.3	12.7	36.4	43.6	9.1	5.5	3.6
湖東地区	91	22.0	17.6	12.1	17.6	7.7	33.0	17.6	17.6	48.4	45.1	5.5	2.2	0.0
能登川地区	381	14.7	15.7	11.5	14.2	10.8	29.4	15.2	16.0	40.2	44.4	16.0	2.6	2.6
蒲生地区	167	15.0	15.6	8.4	16.2	11.4	28.7	8.4	16.2	39.5	40.7	21.0	3.6	1.2
わからない	1	0.0	0.0	100.0	100.0	100.0	0.0	0.0	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0

(4) 環境や暮らしについて

問 24 あなたは、東近江市の自然環境保全の取組について満足していますか。《○1つ》

3割近くが満足、6割が「どちらともいえない」又は「わからない」

- ・ 東近江市の自然環境保全の取組についての満足度は、「わからない」が31.7%と最も多く、次いで「どちらともいえない」が29.8%、これらを合わせると61.5%となっています。
- ・ 「満足している」が4.0%、「どちらかといえば満足している」が25.1%、これらを合わせると29.1%となり、3割近くの人が満足しています。一方、「どちらかといえば満足していない」と「満足していない」を合わせると8.1%で、1割未満となっています。
- ・ 過去の調査と比較すると、変動があるものの満足（「満足している」と「どちらかといえば満足している」の合計）の割合が増加し、不満（「どちらかといえば満足していない」と「満足していない」の合計）の割合が減少しており、評価は上がっています。
- ・ 年代別では、満足（前述）の割合が、10歳代、30歳代、70歳以上で高く、40歳代で低くなっています。また、20歳代で「わからない」の割合が半数と高くなっています。
- ・ 居住地区別では、市辺地区、玉緒地区、南部地区で満足（前述）の割合が高く、永源寺地区、建部地区、御園地区で不満（前述）の割合が高くなっています。

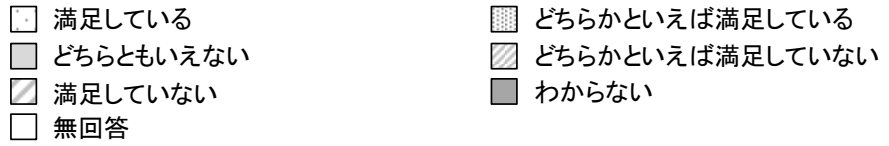


単位: %

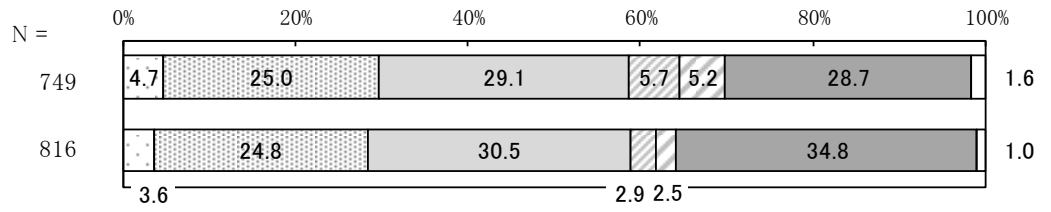
	満足*	不満*	差
①今回調査(令和2年度)	29.1	8.1	21.0
②市民意識調査(令和元年度)	23.5	10.0	13.5
③市民意識調査(平成30年度)	24.7	10.4	14.3
④市民意識調査(平成29年度)	26.2	8.7	17.5
⑤市民意識調査(平成28年度)	23.1	12.3	10.8
①-⑤	6.0	-4.2	10.2

* 満足:「満足している」と「どちらかといえば満足している」の合計

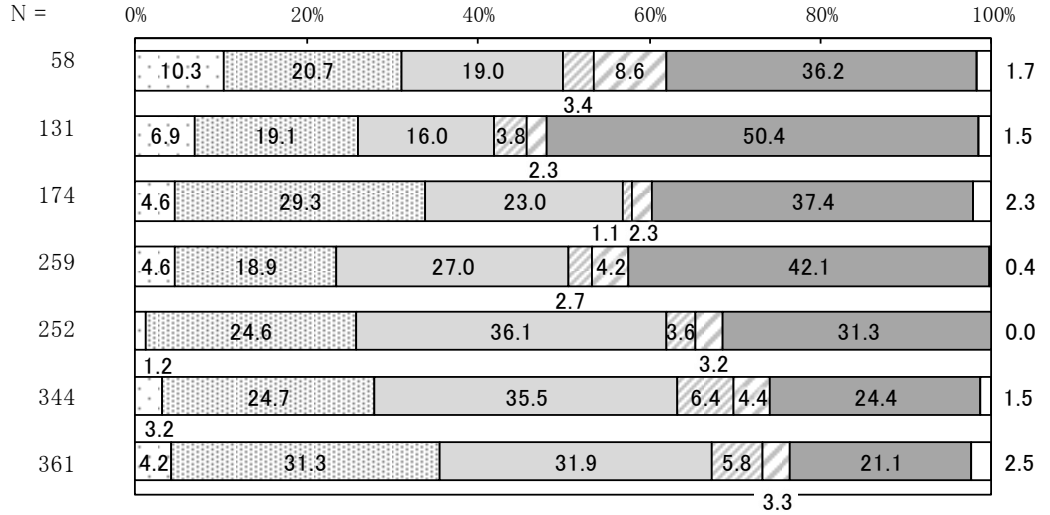
* 不満:「どちらかといえば満足していない」と「満足していない」の合計



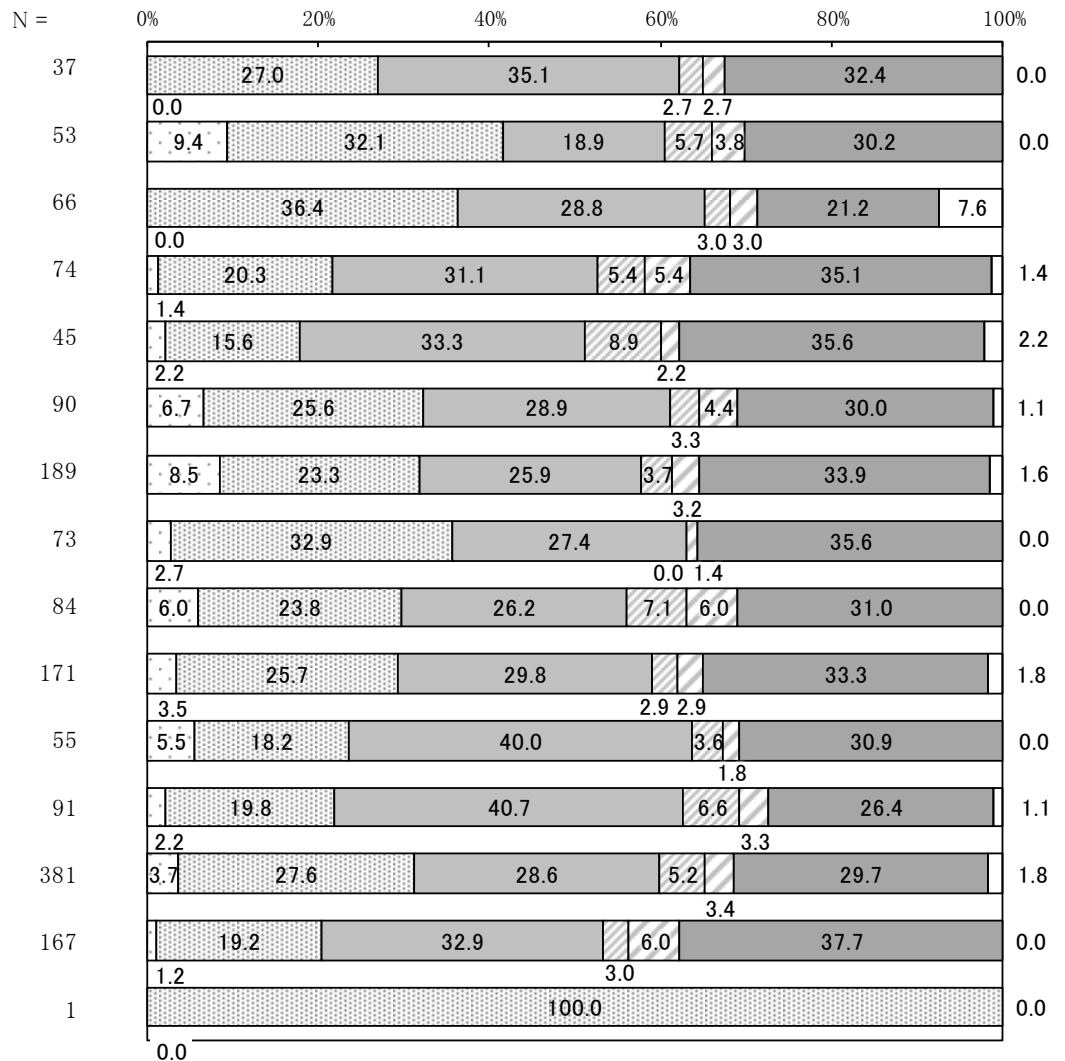
【性別】



【年代別】



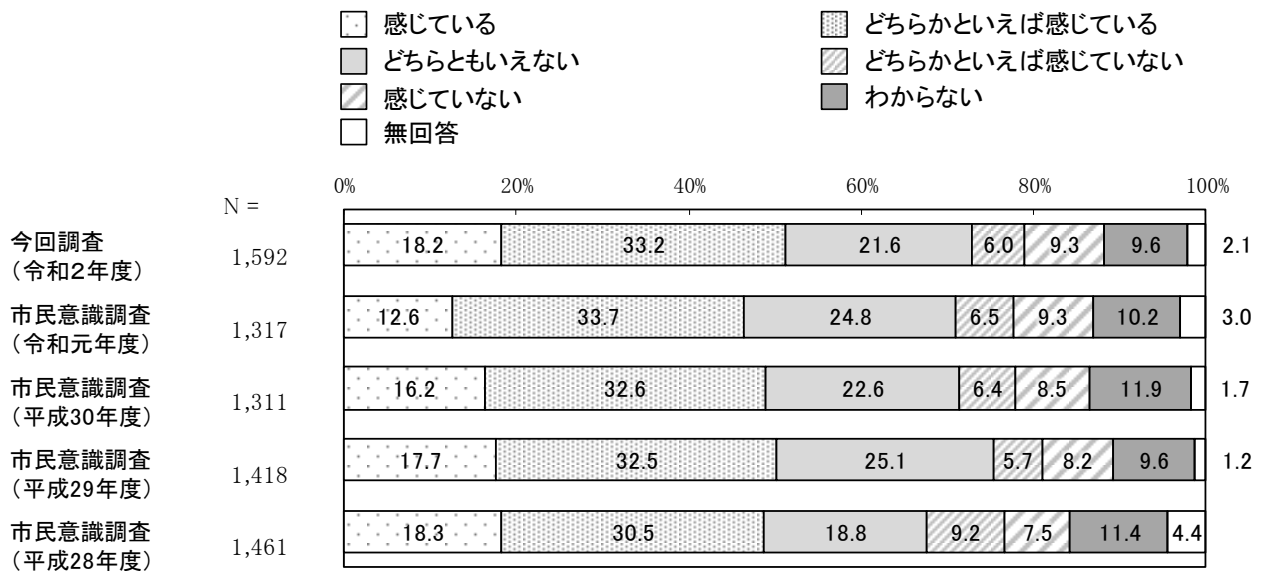
【居住地区別】



問 25 あなたは、暮らしや仕事等日々の営みの中で自然環境との関わりを感じていますか。《○1つ》

半数が自然環境との関わりを感じている

- ・ 日々の営みの中で自然環境との関わりを感じているかについては、「感じている」が 18.2%、「どちらかといえば感じている」が 33.2%で、これらを合わせると 51.4%となり、半数の人が自然環境との関わりを感じています。一方、「どちらかといえば感じていない」と「感じていない」を合わせると 15.3%となっています。また、「どちらともいえない」が 21.6%、「わからない」が 9.6%となっています。
- ・ 過去の調査と比較すると、自然環境との関わりを「感じている」人の割合は、平成 29 年度以降減少していましたが、今回調査で増加しました。
- ・ 性別では女性より男性で、年代別では 50 歳以上で、居住地区別では愛東地区、玉緒地区、湖東地区、建部地区で、自然環境との関わりを感じている人（「感じている」と「どちらかといえば感じている」の合計）が多くみられます。

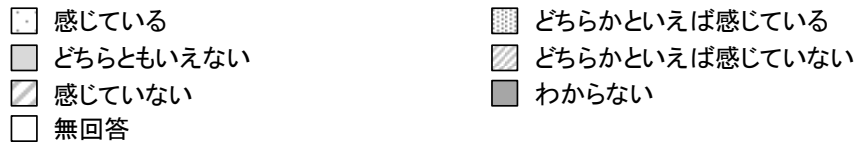


単位：%

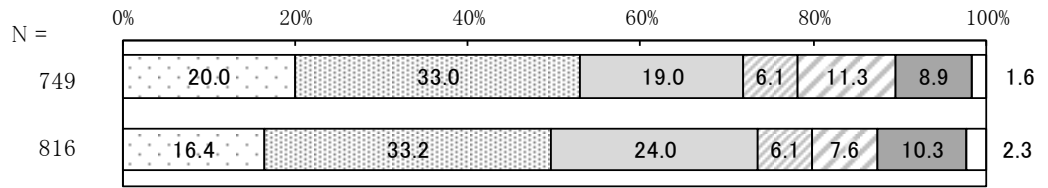
	感じている*	感じていない*	差
①今回調査(令和2年度)	51.4	15.3	36.1
②市民意識調査(令和元年度)	46.3	15.8	30.5
③市民意識調査(平成30年度)	48.8	14.9	33.9
④市民意識調査(平成29年度)	50.2	13.9	36.3
⑤市民意識調査(平成28年度)	48.8	16.7	32.1
①-⑤	2.6	-1.4	4.0

* 感じている:「感じている」と「どちらかといえば感じている」の合計

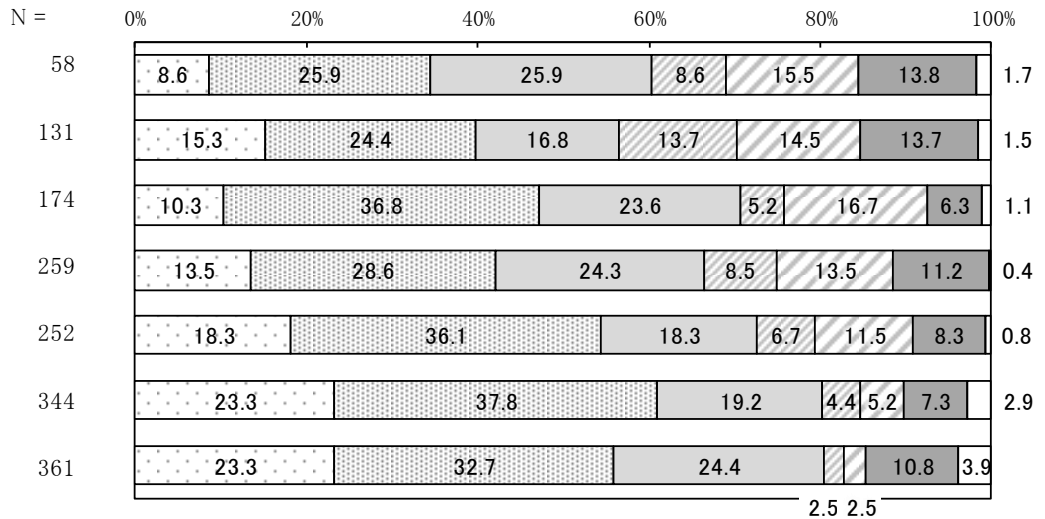
* 感じていない:「どちらかといえば感じていない」と「感じていない」の合計



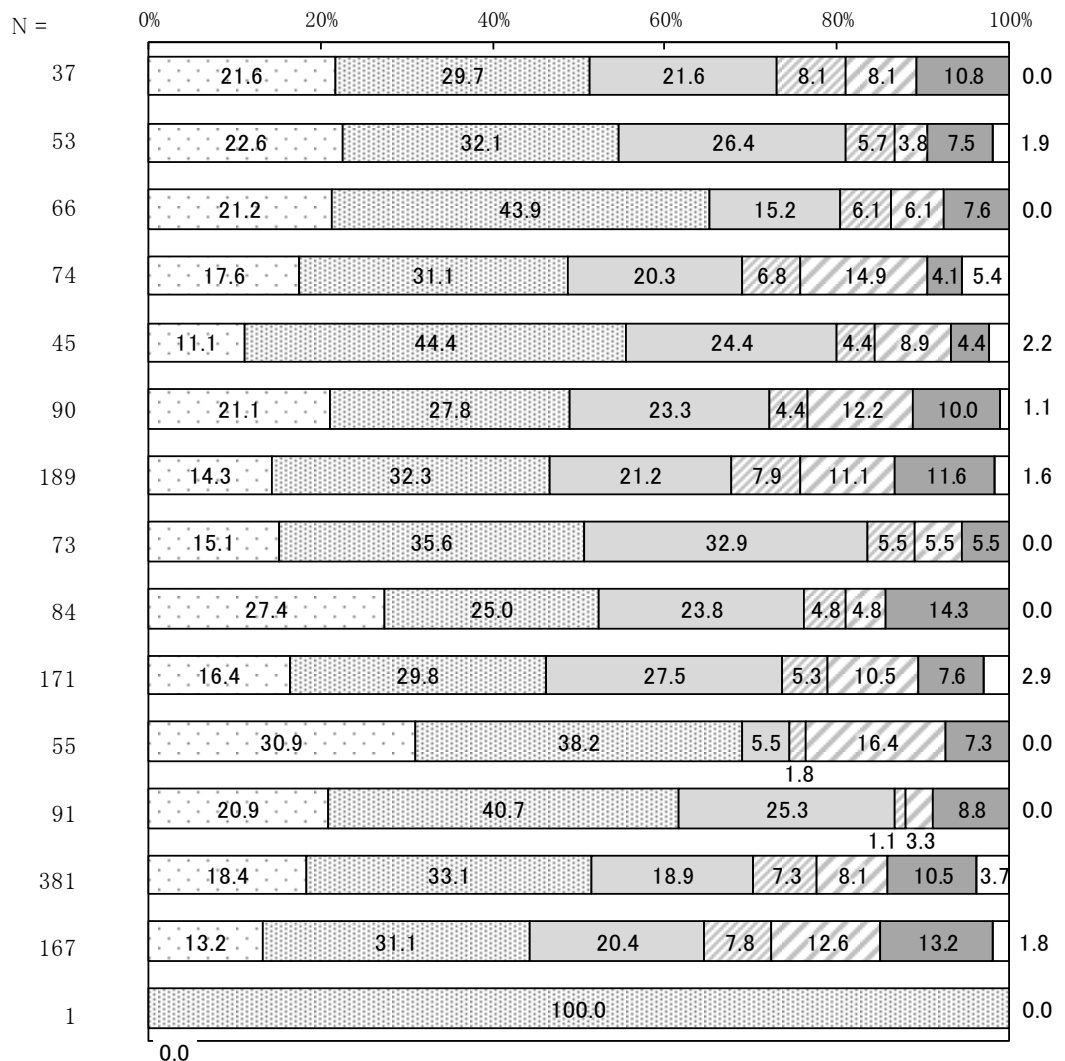
【性別】



【年代別】



【居住地区別】

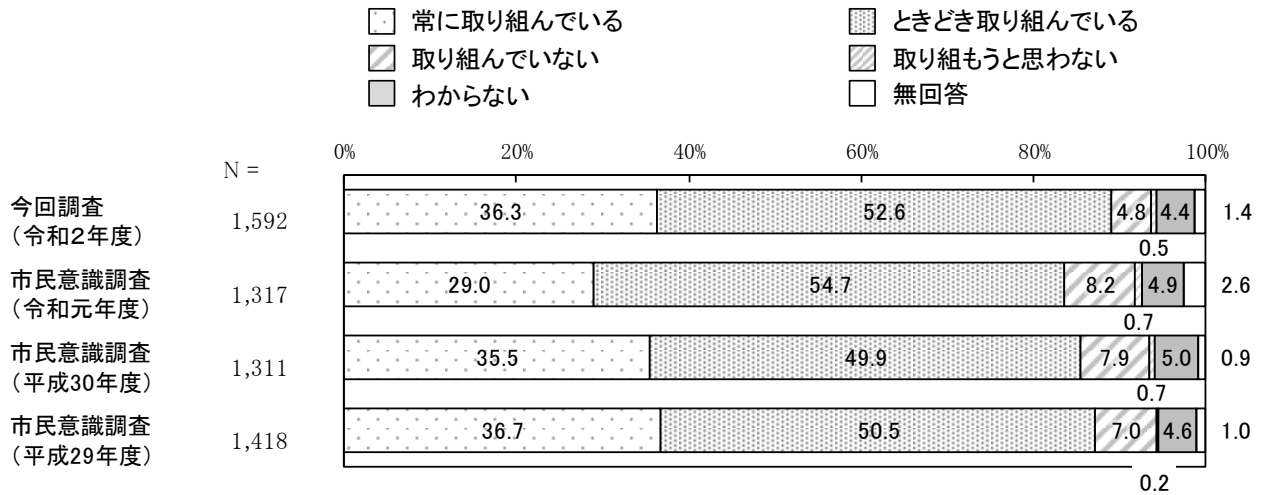


問 26 あなたは、次の低炭素・資源循環型の取組を行っていますか。

①あなたは、環境にやさしい取組を行っていますか。(使用していない電気の消灯、マイバツクの持参、省エネ機器の選択、自転車や公共交通機関の利用等)《○1つ》

9割近くが環境にやさしい取組を行っている

- ・ 環境にやさしい取組の実施状況については、「常に取り組んでいる」が36.3%、「ときどき取り組んでいる」が52.6%で、これらを合わせると88.9%となり、9割近くの人が取り組んでいると回答しています。一方、「取り組んでいない」は4.8%、「取り組もうと思わない」は0.5%とわずかでした。
- ・ 過去の調査と比較すると、環境にやさしい取組を「常に取り組んでいる」と回答した人の割合は減少傾向を示していましたが、今回調査で増加しました。
- ・ 性別では男性より女性で、年代別では60歳以上で、居住地区別では建部地区、市辺地区、玉緒地区で、環境にやさしい取組を「常に取り組んでいる」人が多くみられます。

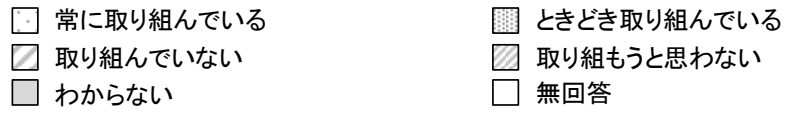


単位：%

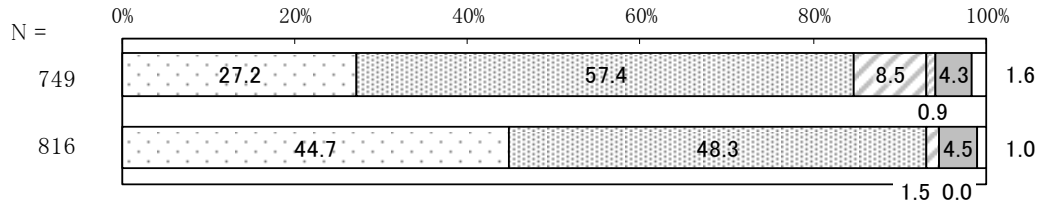
	取り組んでいる*	取り組んでいない*	差
①今回調査(令和2年度)	88.9	5.3	83.6
②市民意識調査(令和元年度)	83.7	8.9	74.8
③市民意識調査(平成30年度)	85.4	8.6	76.8
④市民意識調査(平成29年度)	87.2	7.2	80.0
①-④	1.7	-1.9	3.6

* 取り組んでいる:「常に取り組んでいる」と「ときどき取り組んでいる」の合計

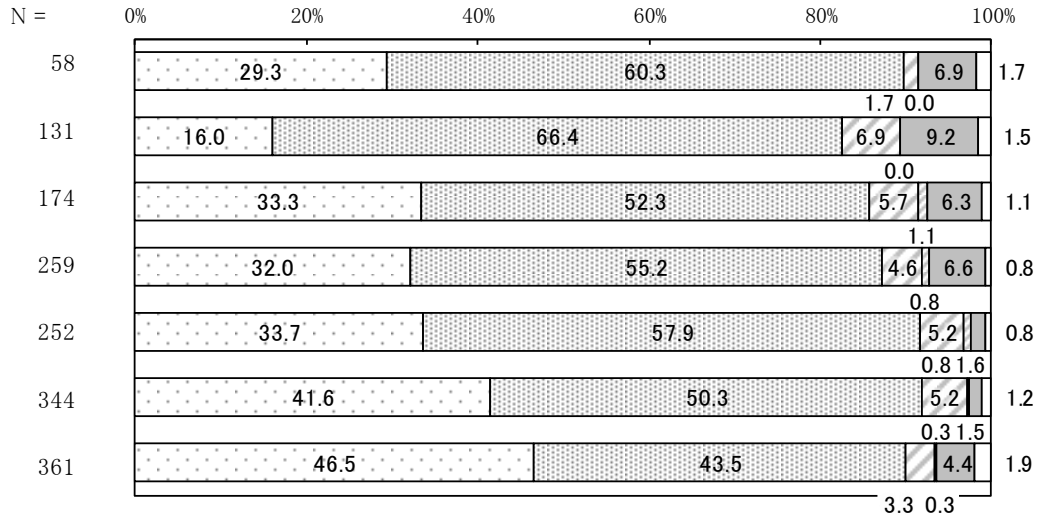
* 取り組んでいない:「取り組んでいない」と「取り組もうと思わない」の合計



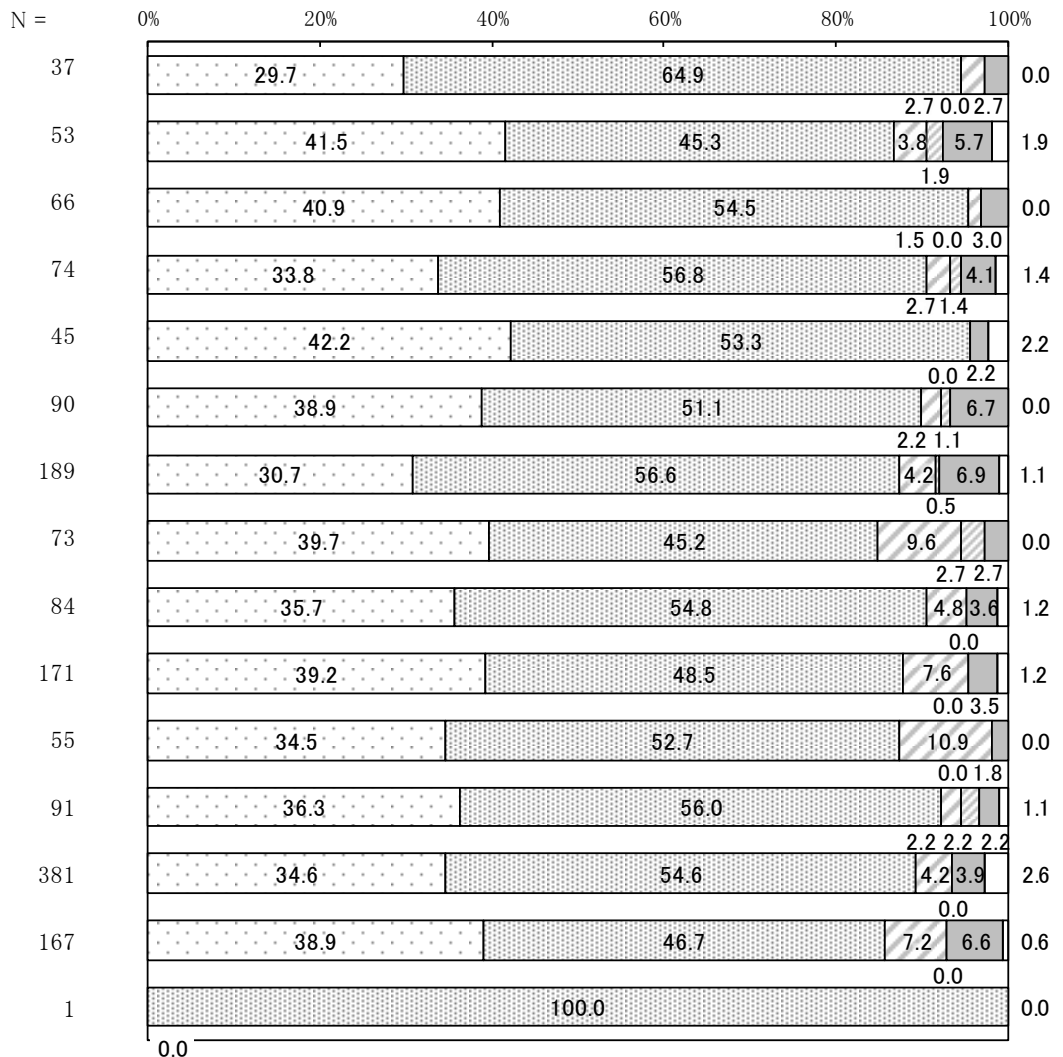
【性別】



【年代別】



【居住地区別】



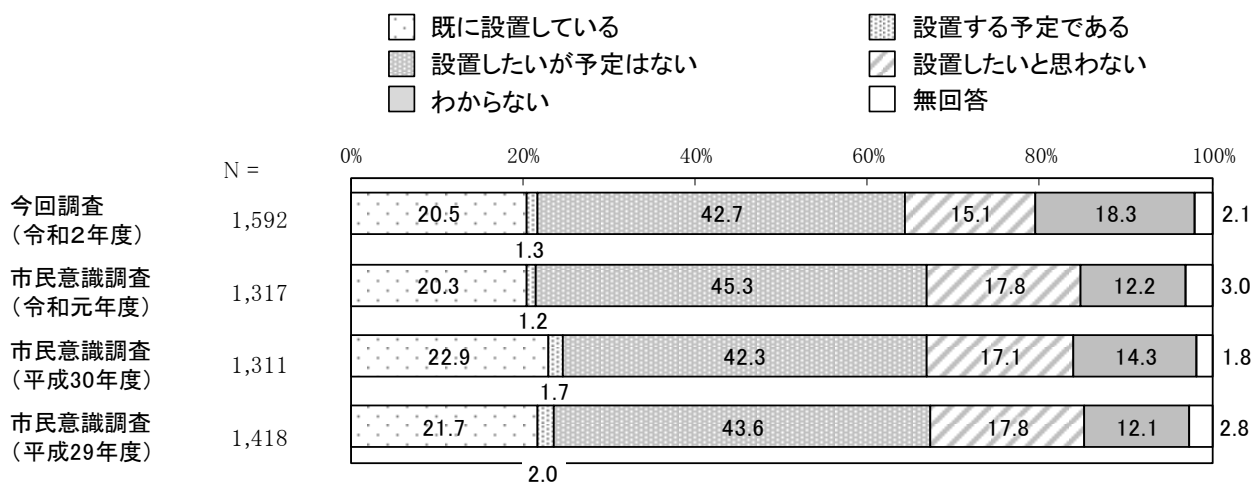
問 26 あなたは、次の低炭素・資源循環型の取組を行っていますか。

②あなたは、自宅に再生可能エネルギー・省エネ設備を設置していますか。(太陽光発電や
コージェネレーションシステム、蓄電システム、太陽熱温水器、雨水貯留施設の設置等)
《○1つ》

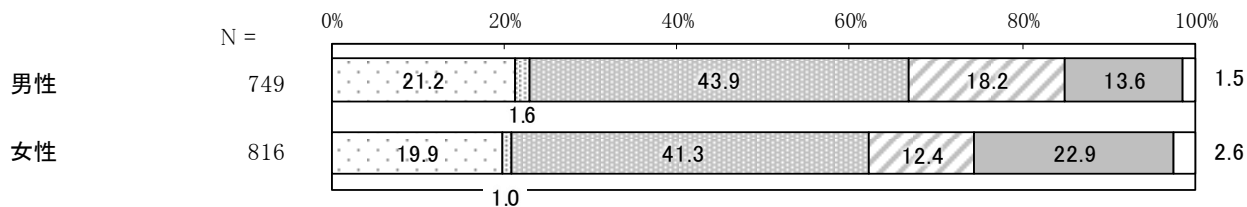
※コージェネレーションシステム(熱電併給)…天然ガス、石油等を燃料として発電し、その際に
生じる廃熱も同時に回収し、有効利用するシステム

2割が設置(予定含む)、設置したいも含めると6割

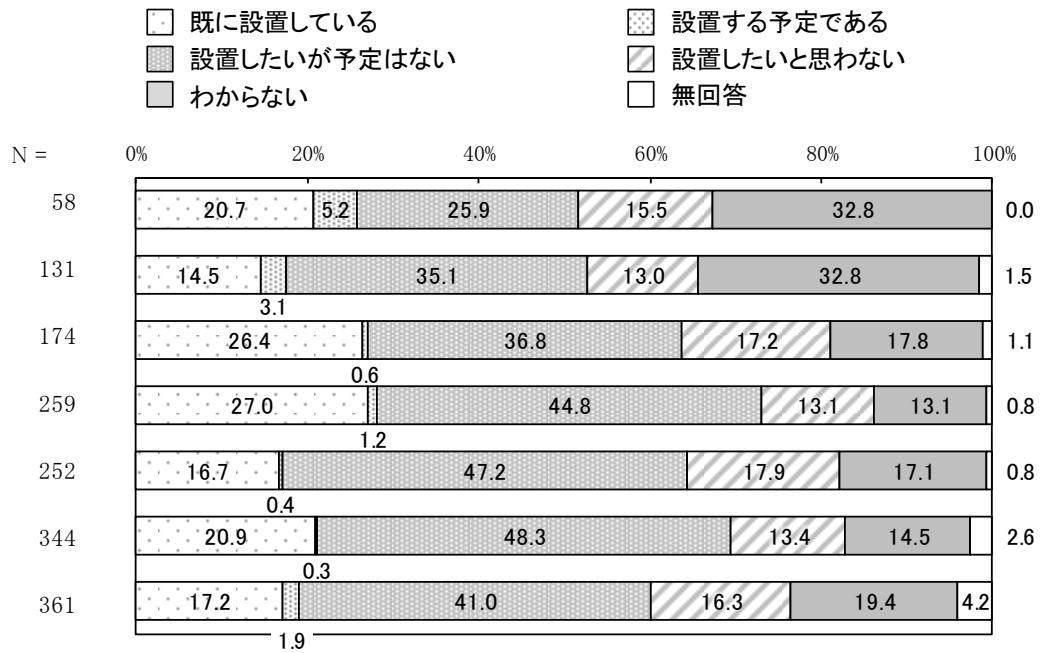
- ・ 自宅に再生可能エネルギー・省エネ設備を設置しているかについては、「既に設置している」が20.5%、「設置する予定である」が1.3%で、これらを合わせると21.8%となり、2割の人が設置しています(予定含む)。また、「設置したいが予定はない」は42.7%で、これも合わせると64.5%と6割になります。一方、「設置したいと思わない」は15.1%となっています。
- ・ 「既に設置している」と回答した人は、性別では男性、年代別では30~40歳代、居住地区別では愛東地区、玉緒地区、中野地区、平田地区、蒲生地区で多くみられます。また、「設置する予定である」と「設置したいが予定はない」も含めた設置希望者は、年代別では40歳代で、居住地区別では平田地区、愛東地区で7割以上となっています。



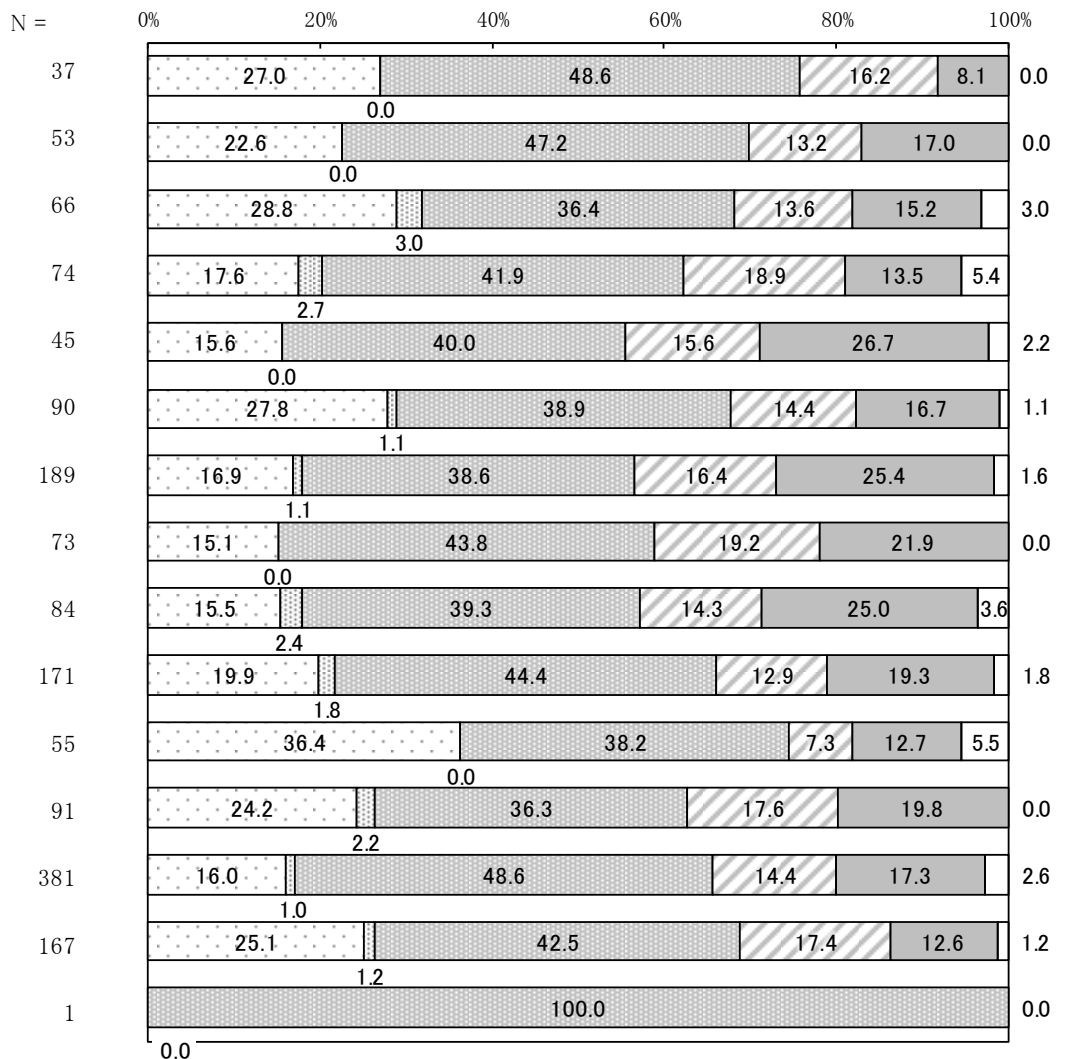
【性別】



【年代別】



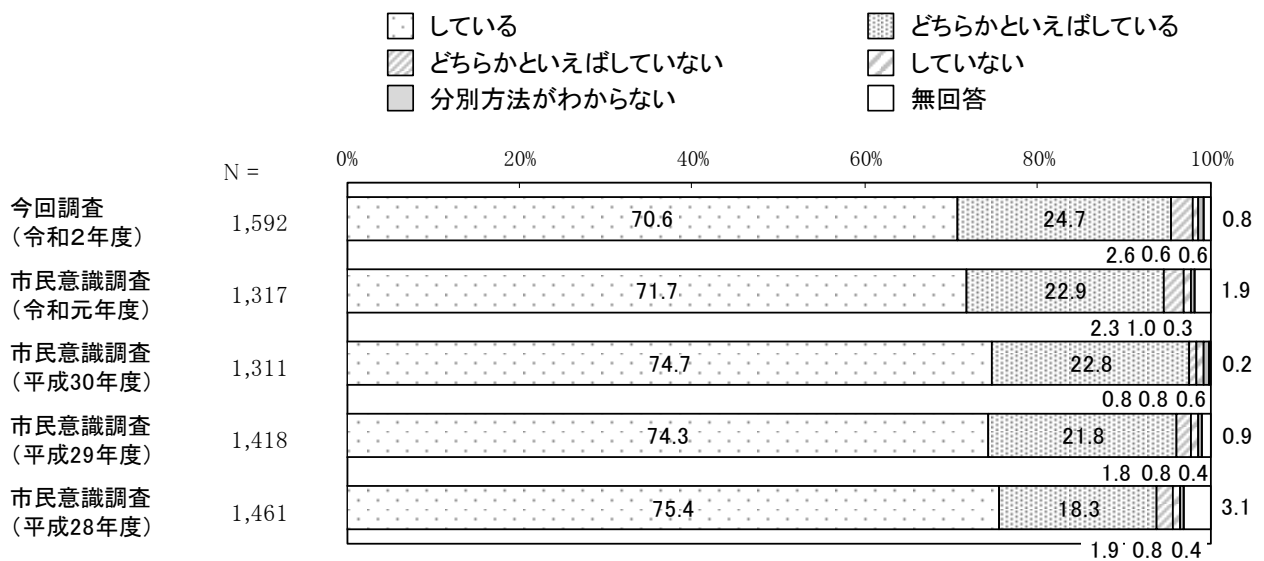
【居住地区別】



問 27 あなたは、ごみと資源の分別をしていますか。《○1つ》

ほとんどの人がごみと資源の分別をしている

- ・ ごみと資源の分別をしているかについては、「している」が70.6%と最も多く、次の「どちらかといえばしている」の24.7%と合わせると95.3%となり、ほとんどの人が分別をしています。一方、「どちらかといえばしていない」、「していない」、「分別方法がわからない」の3つを合わせても、わずか3.8%となっています。
- ・ 過去の調査と比較すると、平成30年度以降やや減少していますが、ごみと資源の分別をしている人は7割以上、「どちらかといえばしている」を合わせると9割以上となっています。
- ・ 性別では男性より女性で、年代別では50歳以上で、居住地区別では愛東地区、玉緒地区、建部地区、中野地区で、ごみと資源の分別を「している」人が多くみられます。



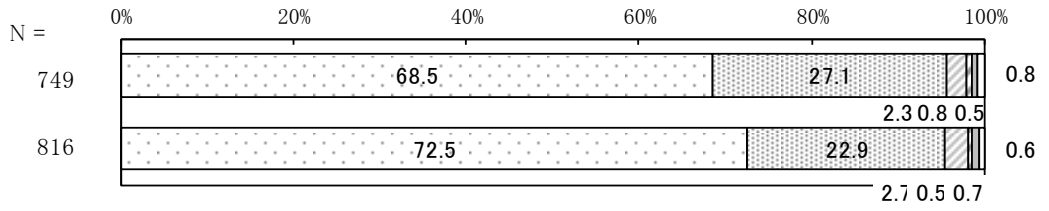
	している*	していない*	差
①今回調査(令和2年度)	95.3	3.8	91.5
②市民意識調査(令和元年度)	94.6	3.6	91.0
③市民意識調査(平成30年度)	97.5	2.2	95.3
④市民意識調査(平成29年度)	96.1	3.0	93.1
⑤市民意識調査(平成28年度)	93.7	3.1	90.6
①-⑤	1.6	0.7	0.9

*している:「している」と「どちらかといえばしている」の合計

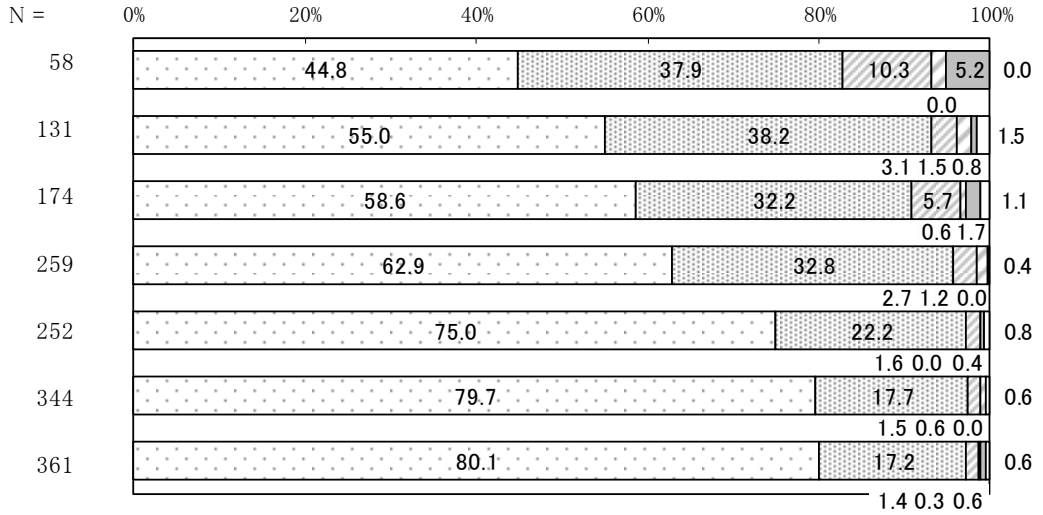
*していない:「どちらかといえばしていない」、「していない」、「分別方法がわからない」の合計

- している
- どちらかといえばしている
- どちらかといえばしていない
- していない
- 分別方法がわからない
- 無回答

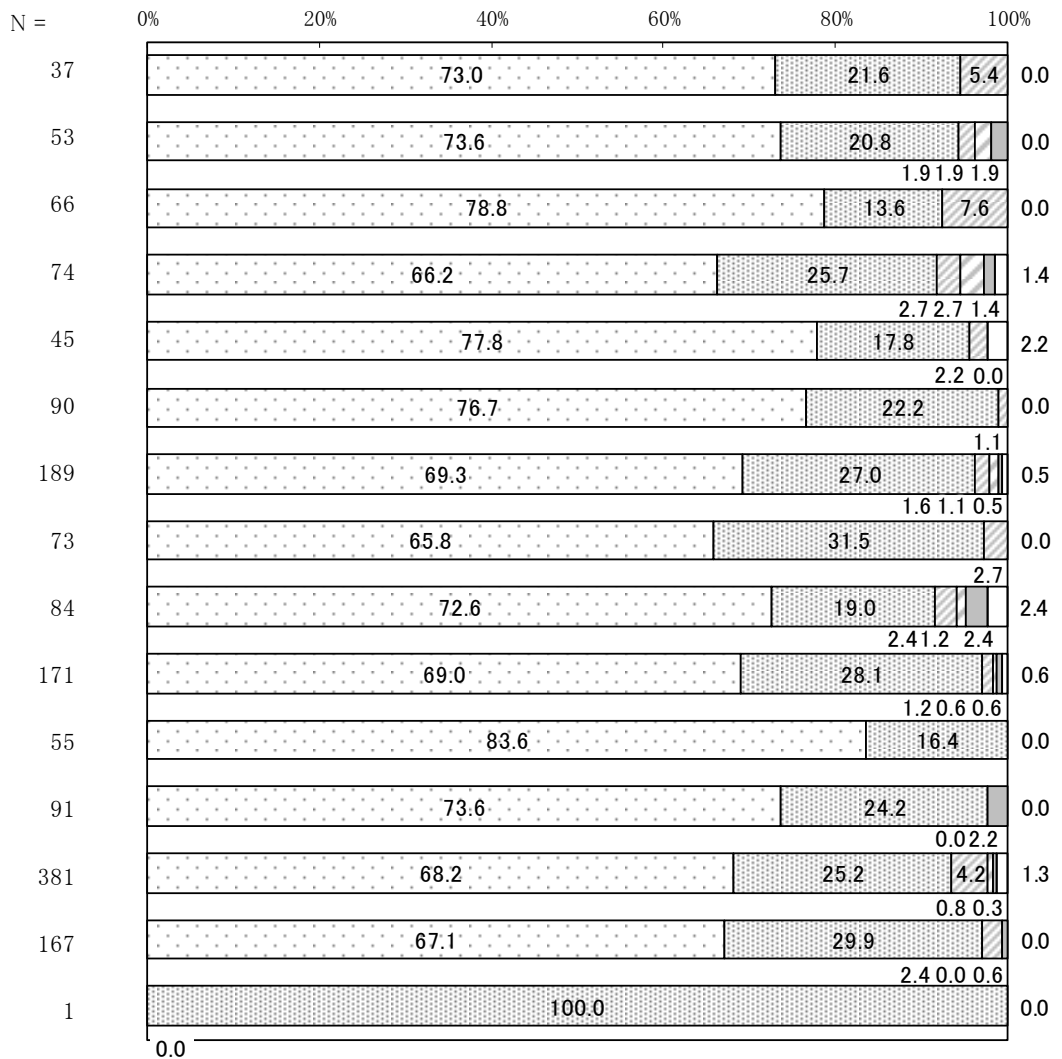
【性別】



【年代別】



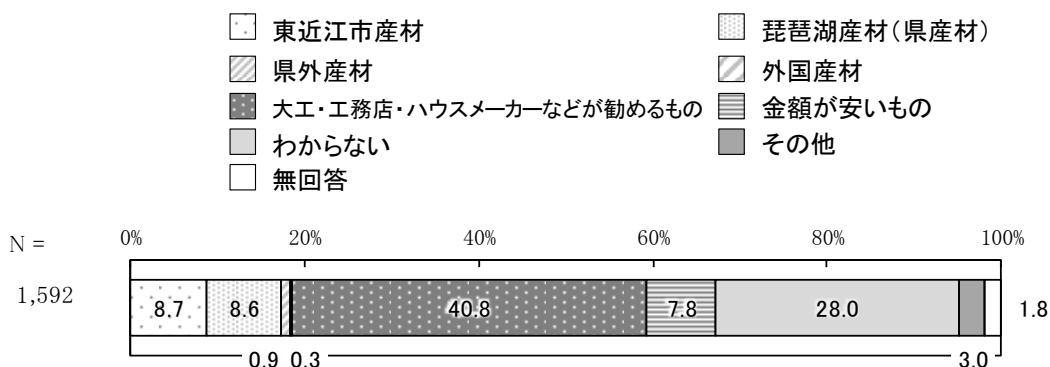
【居住地区別】



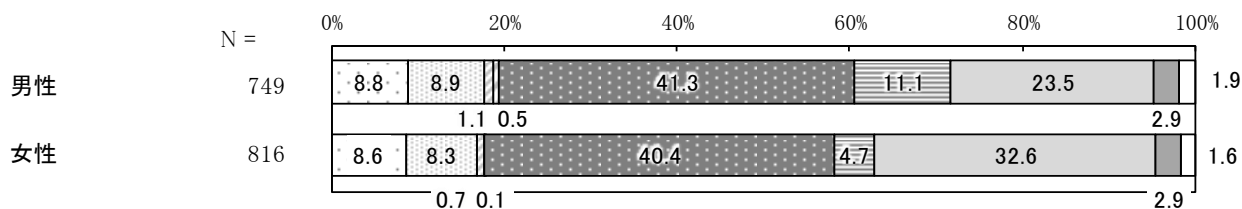
問 28 あなたは、御自身で今後木造住宅を建てるとしたら、材料にはどのようなものを選びたいと思いますか。《○1つ》

4割が大工・工務店等が勧めるもの、県産材も含む地元産材は2割近く

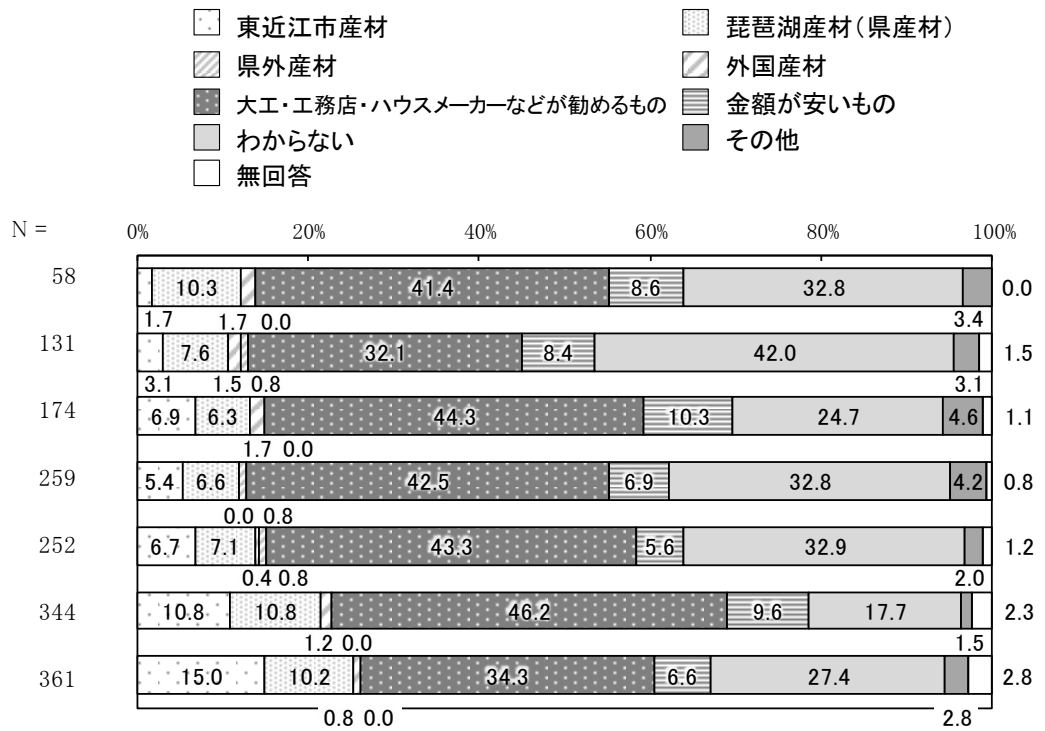
- ・ 今後木造住宅を建てるとしたら、どのような材料を選びたいかを聞いたところ、「大工・工務店・ハウスメーカーなどが勧めるもの」が40.8%と最も多く、次いで「わからない」が28.0%と続きます。
- ・ 具体的にあげられた材料としては、「東近江市産材」が8.7%と最も多く、次いで「琵琶湖産材（県産材）」が8.6%、「金額が安いもの」が7.8%となっています。「東近江市産材」と「琵琶湖産材（県産材）」を合わせた地元産材は17.3%になります。
- ・ 年代別では、20歳代で「わからない」が、そのほかの年代で「大工・工務店・ハウスメーカーなどが勧めるもの」が最も多くなっています。「東近江市産材」は60歳以上で、「琵琶湖産材（県産材）」は10歳代と60歳以上で1割以上みられます。
- ・ 居住地区別では、永源寺地区で「わからない」が、そのほかの地区で「大工・工務店・ハウスメーカーなどが勧めるもの」が最も多くなっています。中野地区は両者が最も多くなっています。「東近江市産材」は市辺地区、南部地区で2割近く、「琵琶湖産材（県産材）」は中野地区、愛東地区、平田地区、玉緒地区で1割以上みられます。



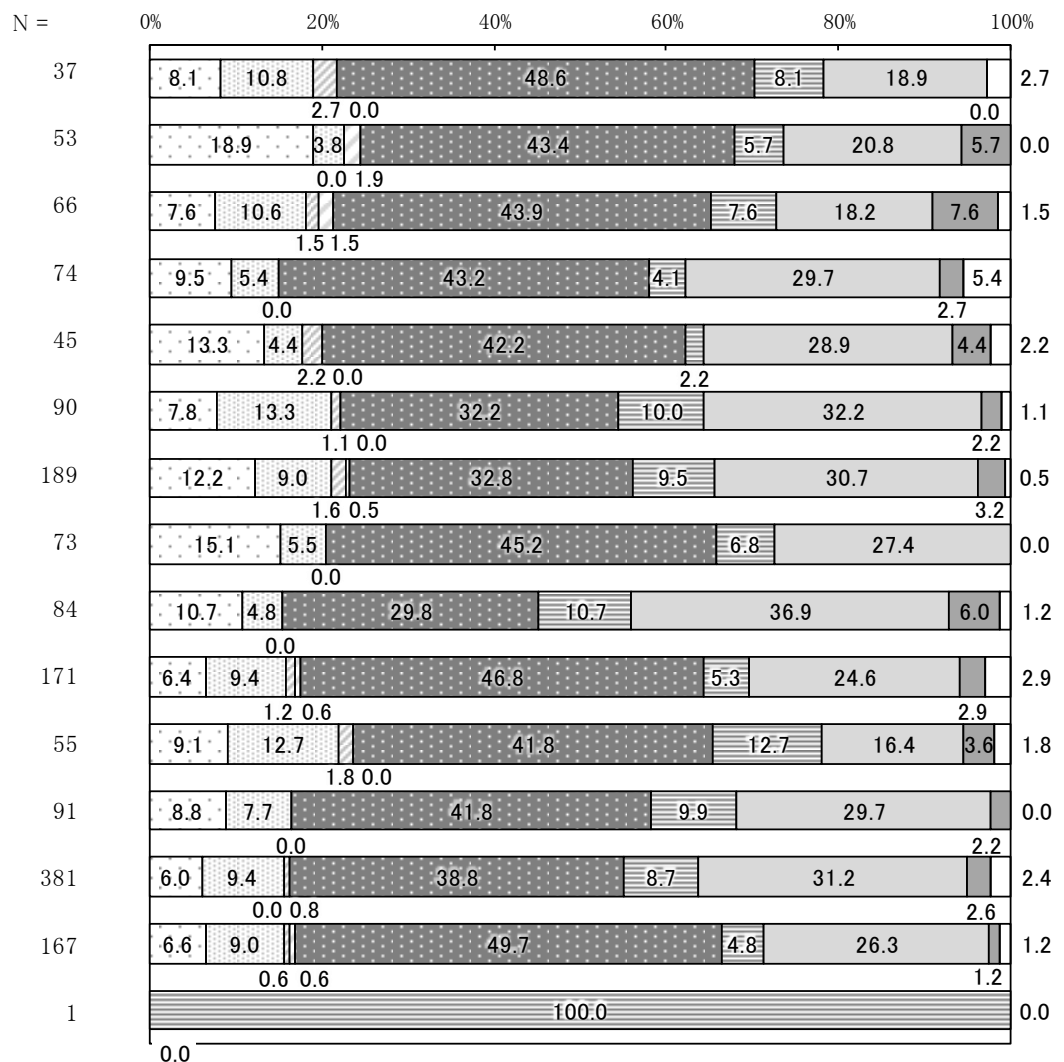
【性別】



【年代別】



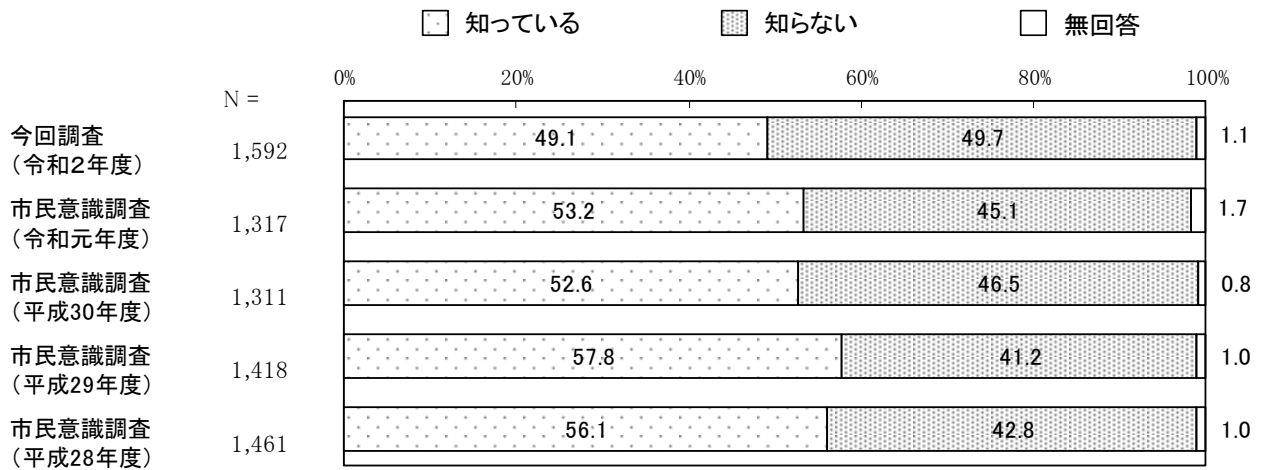
【居住地区別】



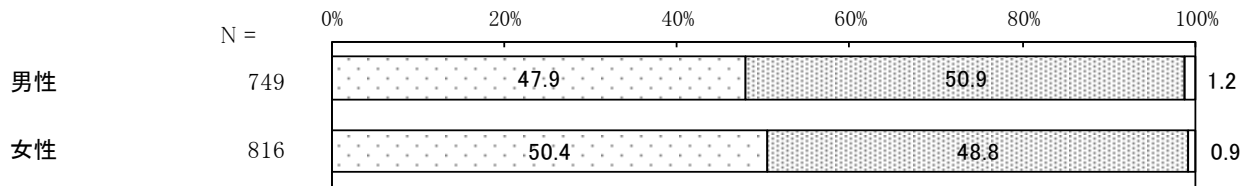
問 29 あなたは、消費者トラブルに巻きこまれたときや、多重債務に陥ったときの相談窓口として、市役所内に消費生活センターがあることを知っていますか。《○1つ》

半数近くが「知っている」、認知度は49.1%

- ・ 市役所内に消費生活センターがあることを知っているかについては、「知っている」が49.1%、「知らない」が49.7%と、半数近くの人を知っています。
- ・ 過去の調査と比較すると、変動があるものの、平成29年度以降認知度は減少しています。
- ・ 年代別では、20歳代の認知度が3割未満で最も低く、20歳以上で年齢が上がるほど認知度が高くなる傾向がみられます。
- ・ 居住地区別では、愛東地区、平田地区、玉緒地区、建部地区で認知度が6割前後と高くなっています。一方、「知らない」と回答した人の割合は、中野地区、御園地区、八日市地区で6割前後と高くなっています。

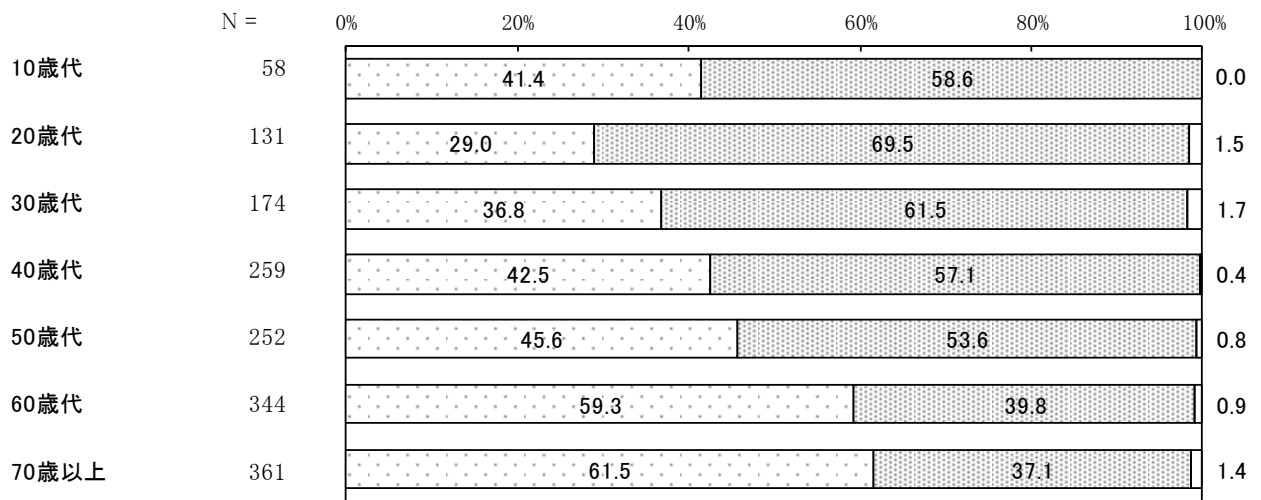


【性別】

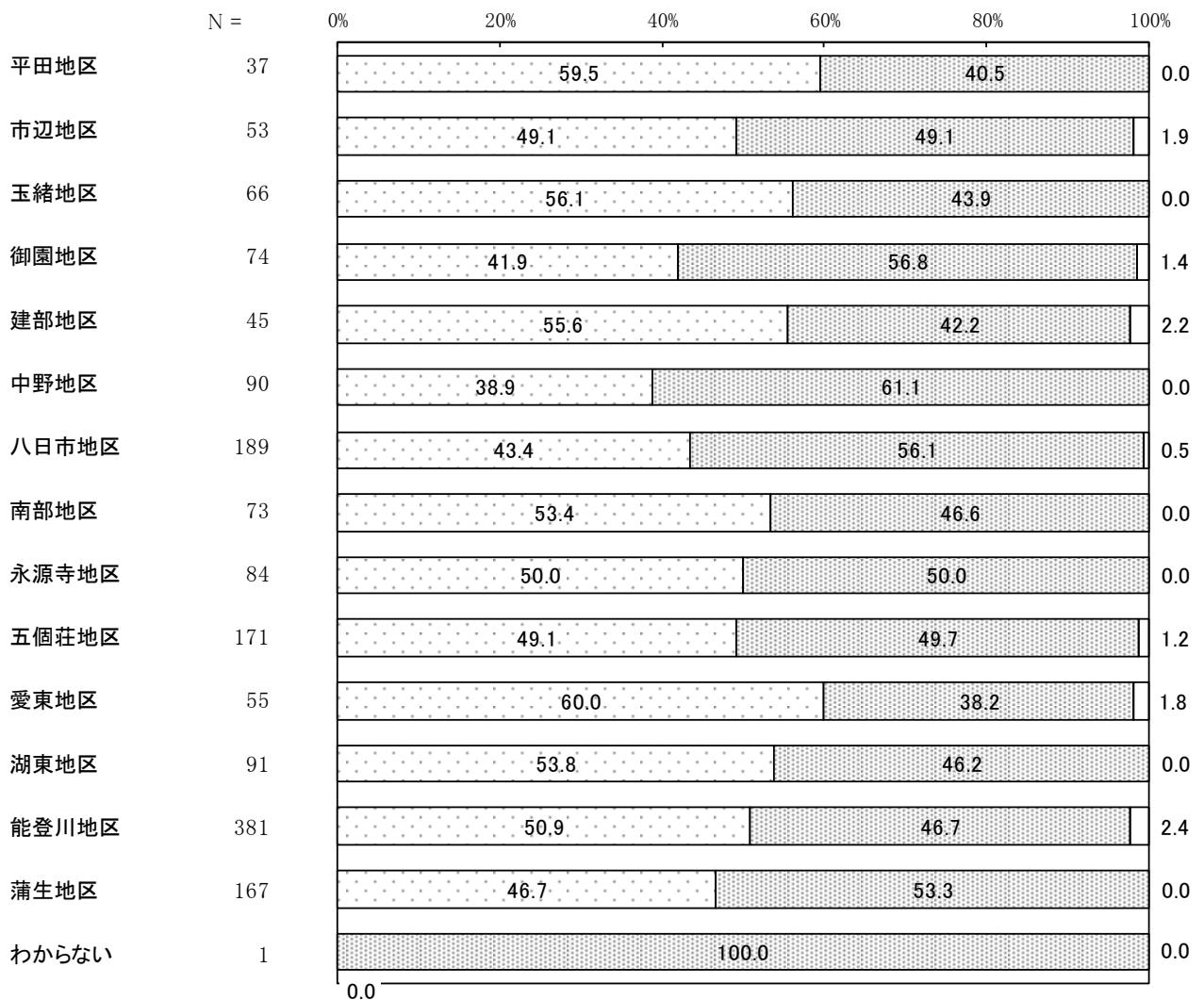


【年代別】

□ 知っている □ 知らない □ 無回答



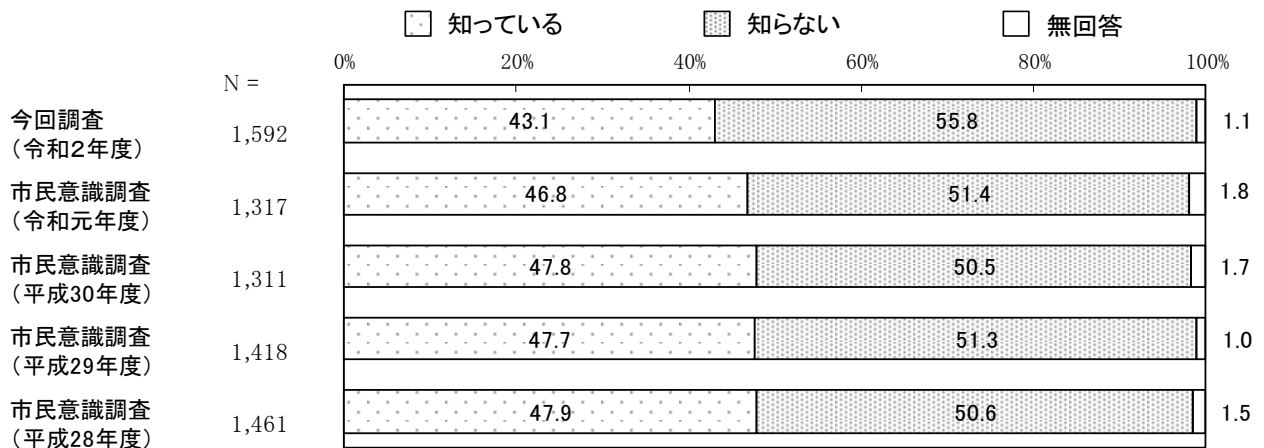
【居住地区別】



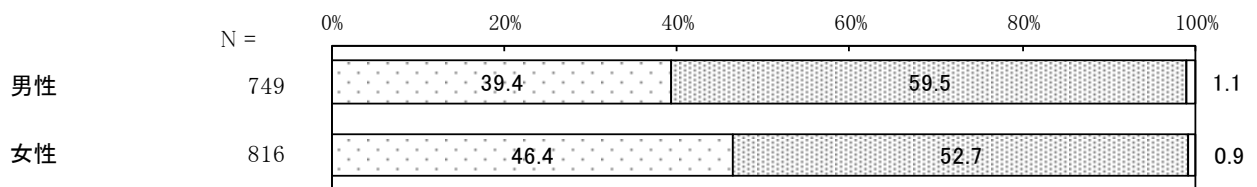
問 30 あなたは、市役所内の市民生活相談課で、暮らしの困りごとに関して法律相談や登記相談等を受けられることを知っていますか。《○1つ》

6割近くが「知らない」

- ・ 市役所内の市民生活相談課で法律相談や登記相談等を受けられることについては、「知っている」が43.1%、「知らない」が55.8%と、知らない人が多くなっています。
- ・ 性別では男性より女性で、年代別では20歳代の認知度が2割未満で最も低く、20歳以上で年齢が上がるほど認知度が高くなる傾向がみられます。
- ・ 居住地区別では、永源寺地区、建部地区で認知度が6割近くと高く、八日市地区、御園地区、蒲生地区で4割未満と低くなっています。

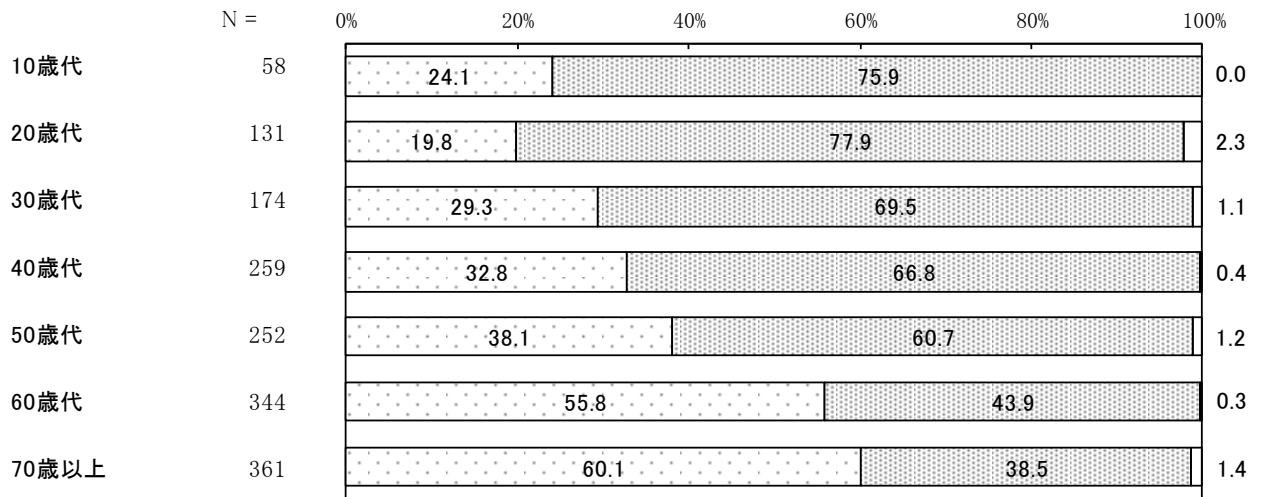


【性別】

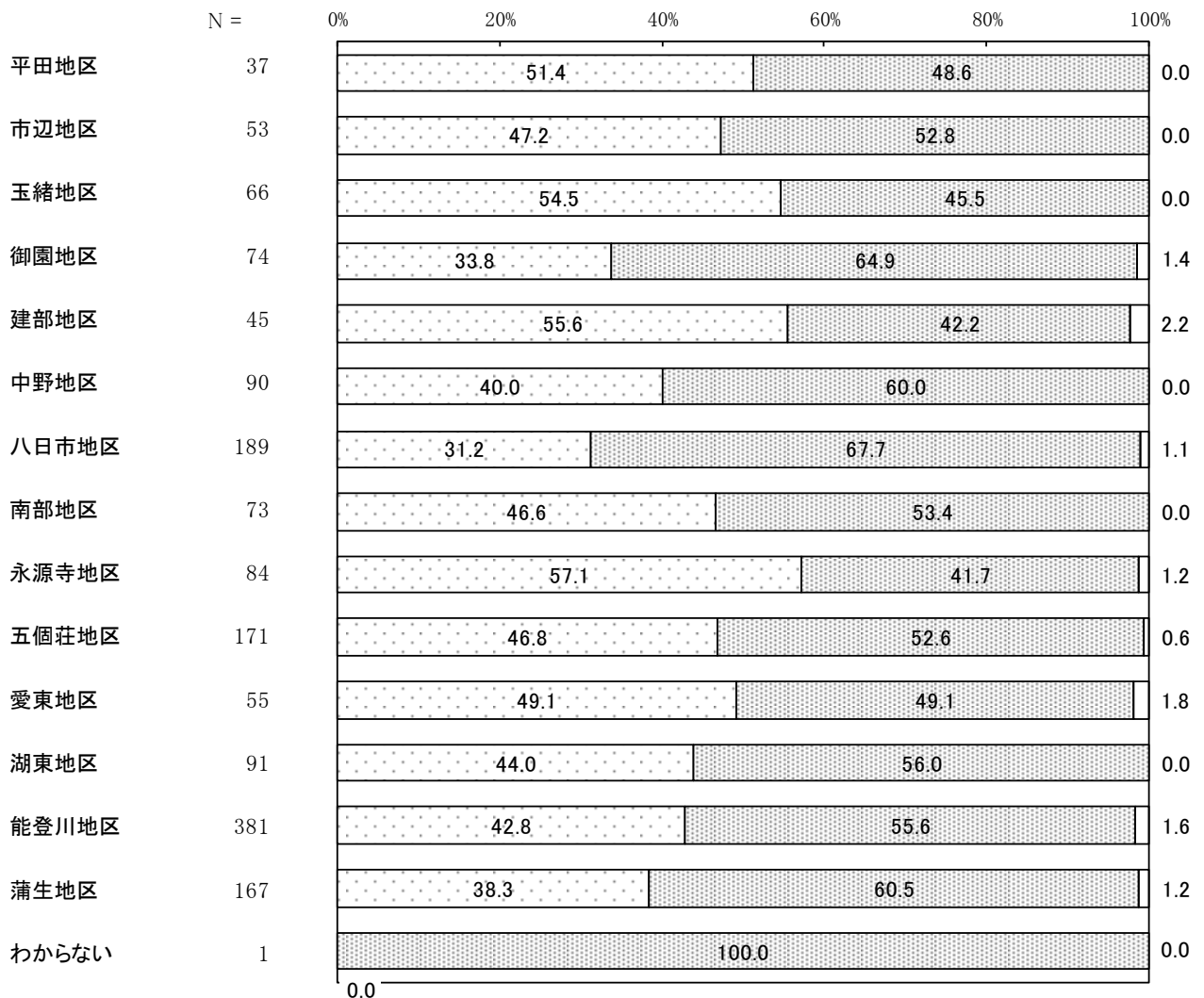


【年代別】

知っている
 知らない
 無回答



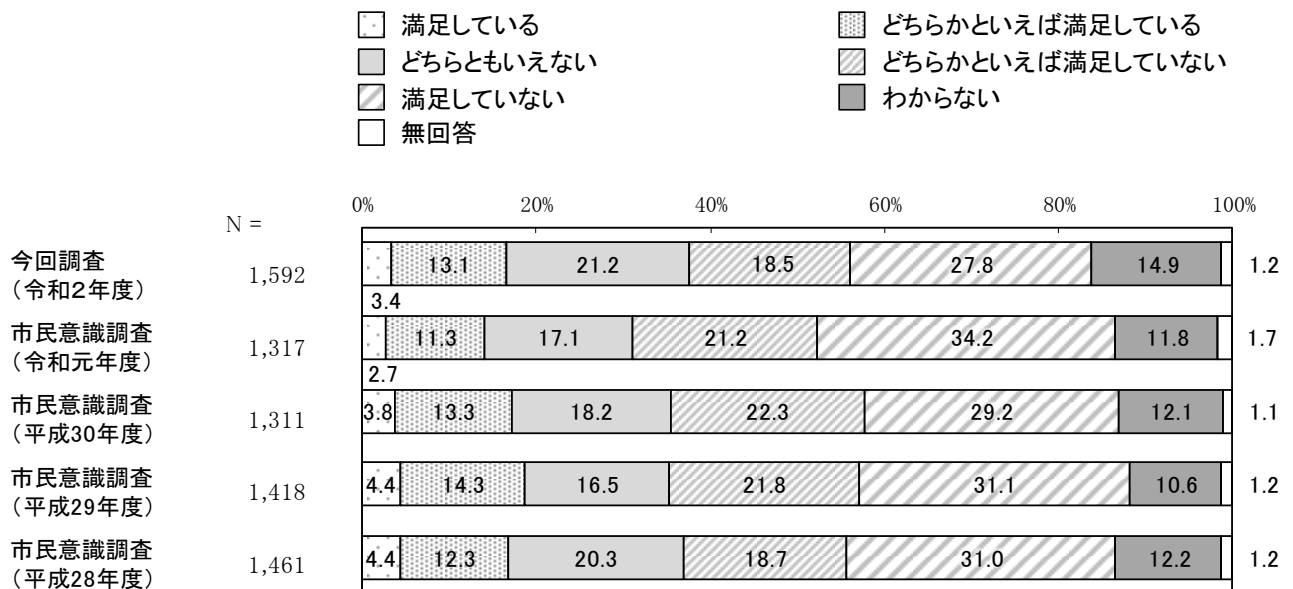
【居住地区別】



問 31 あなたは、市内の鉄道やバス等の公共交通に対して満足していますか。《○1つ》

半数近くが満足していない

- 公共交通に対する満足度については、「満足していない」が27.8%、「どちらかといえば満足していない」が18.5%で、これらを合わせると46.3%となり、半数近くの人が満足していないと回答しています。一方、「満足している」と「どちらかといえば満足している」を合わせると16.5%となり、2割近くは満足しています。
- 過去の調査と比較すると、満足していない人（「どちらかといえば満足していない」と「満足していない」の合計）の割合が増加していましたが、今回調査で減少しました。
- 性別、年代別、居住地区別のいずれも、満足している人（「満足している」と「どちらかといえば満足している」の合計）の割合よりも満足していない人（前述）の割合が高くなっています。
- 年代別では50歳代まで（特に10歳代と50歳代）で、居住地区別では建部地区、平田地区、湖東地区、蒲生地区、五個荘地区、永源寺地区で満足していない人（前述）の割合が高くなっています。

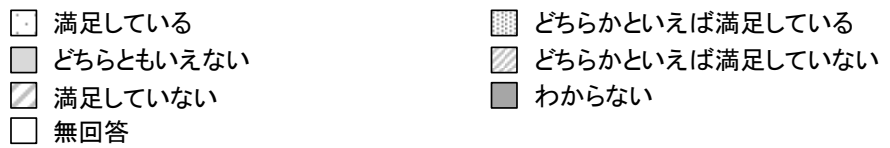


単位: %

	満足*	不満*	差
①今回調査(令和2年度)	16.5	46.3	-29.8
②市民意識調査(令和元年度)	14.0	55.4	-41.4
③市民意識調査(平成30年度)	17.1	51.5	-34.4
④市民意識調査(平成29年度)	18.7	52.9	-34.2
⑤市民意識調査(平成28年度)	16.7	49.7	-33.0
①-⑤	-0.2	-3.4	3.2

* 満足:「満足している」と「どちらかといえば満足している」の合計

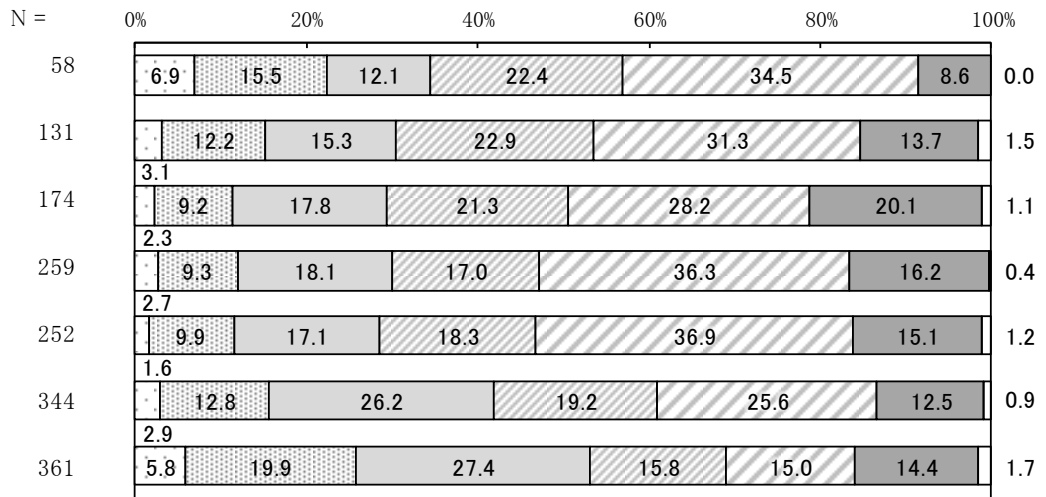
* 不満:「どちらかといえば満足していない」と「満足していない」の合計



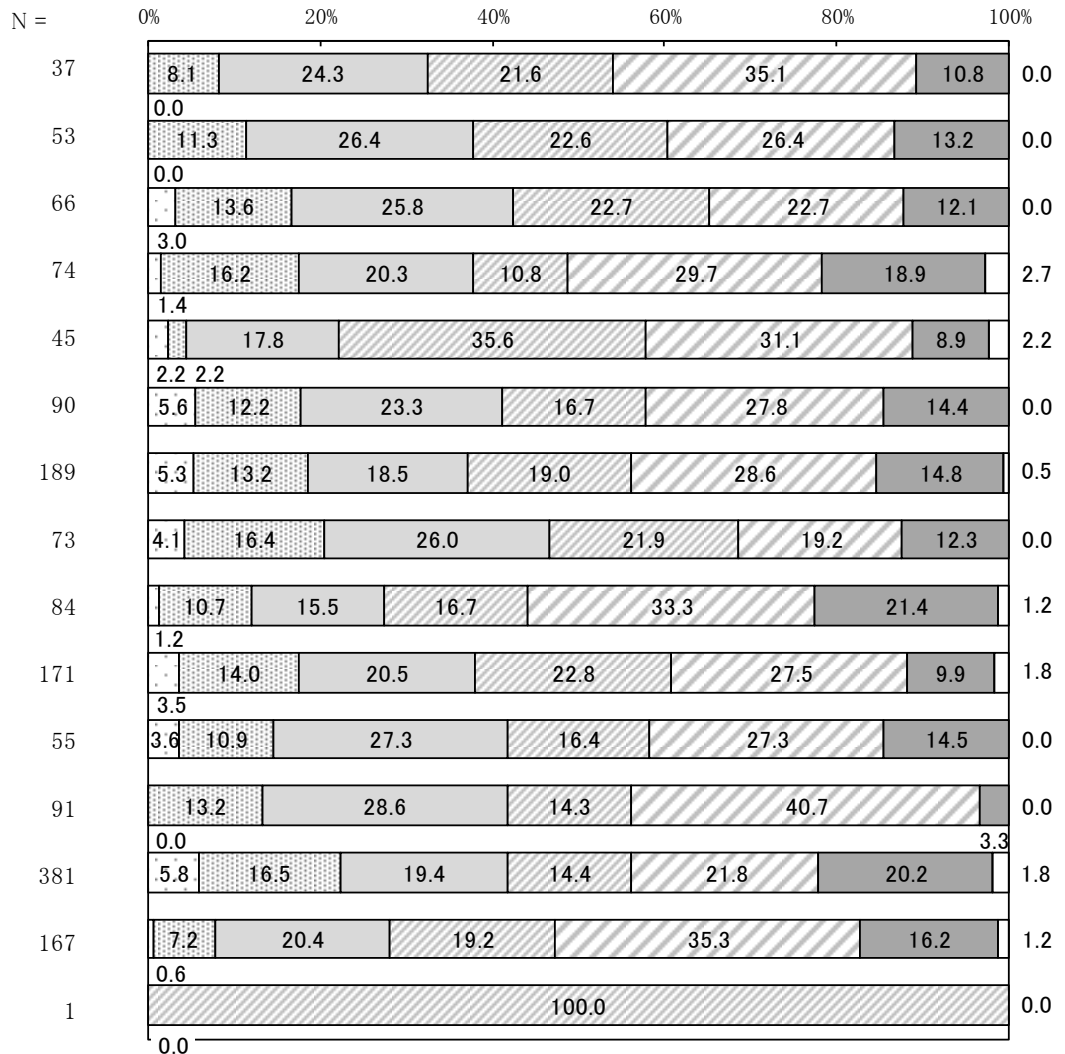
【性別】



【年代別】



【居住地区別】

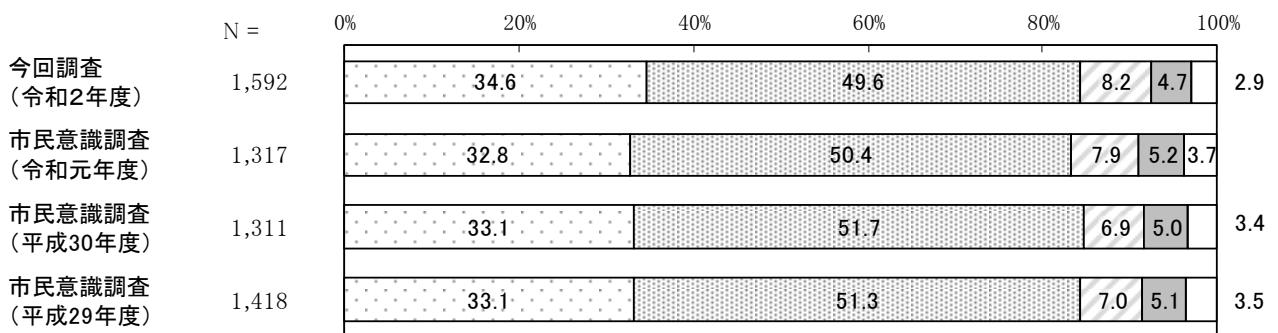
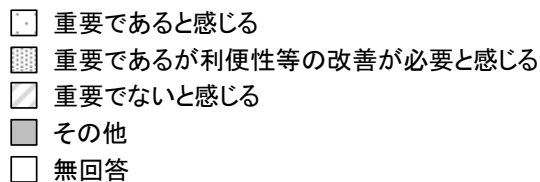


問 32 市内には近江鉄道の駅が 13 箇所あり、全線を将来にわたって存続させていくために、令和元年 11 月から、事業者、県及び沿線の市や町などが一緒になって、様々な議論をしているところです。

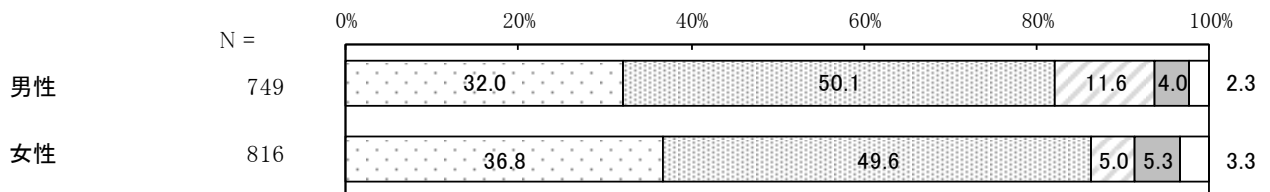
あなたは、近江鉄道線についてどう感じていますか。《○1つ》






8割が重要と感じている、半数近くが改善を望む

- ・ 近江鉄道線については、「重要であるが利便性等の改善が必要と感じる」が 49.6%と最も多く、次いで「重要であると感じる」が 34.6%と続きます。これらを合わせると 84.2%となり、8割の人が近江鉄道は重要であると考えています。
- ・ 年代別では 20 歳代と 50 歳代で、居住地区別では市辺地区、南部地区、玉緒地区、中野地区、平田地区、愛東地区で、重要であると感じている人（「重要であると感じる」と「重要であるが利便性等の改善が必要と感じる」の合計）が多くみられます。

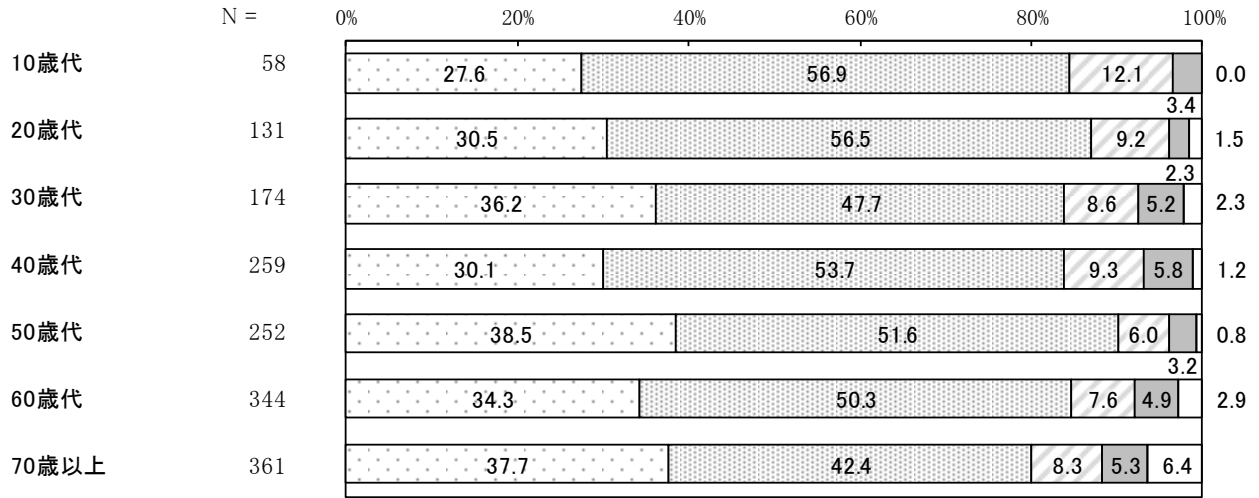


【性別】

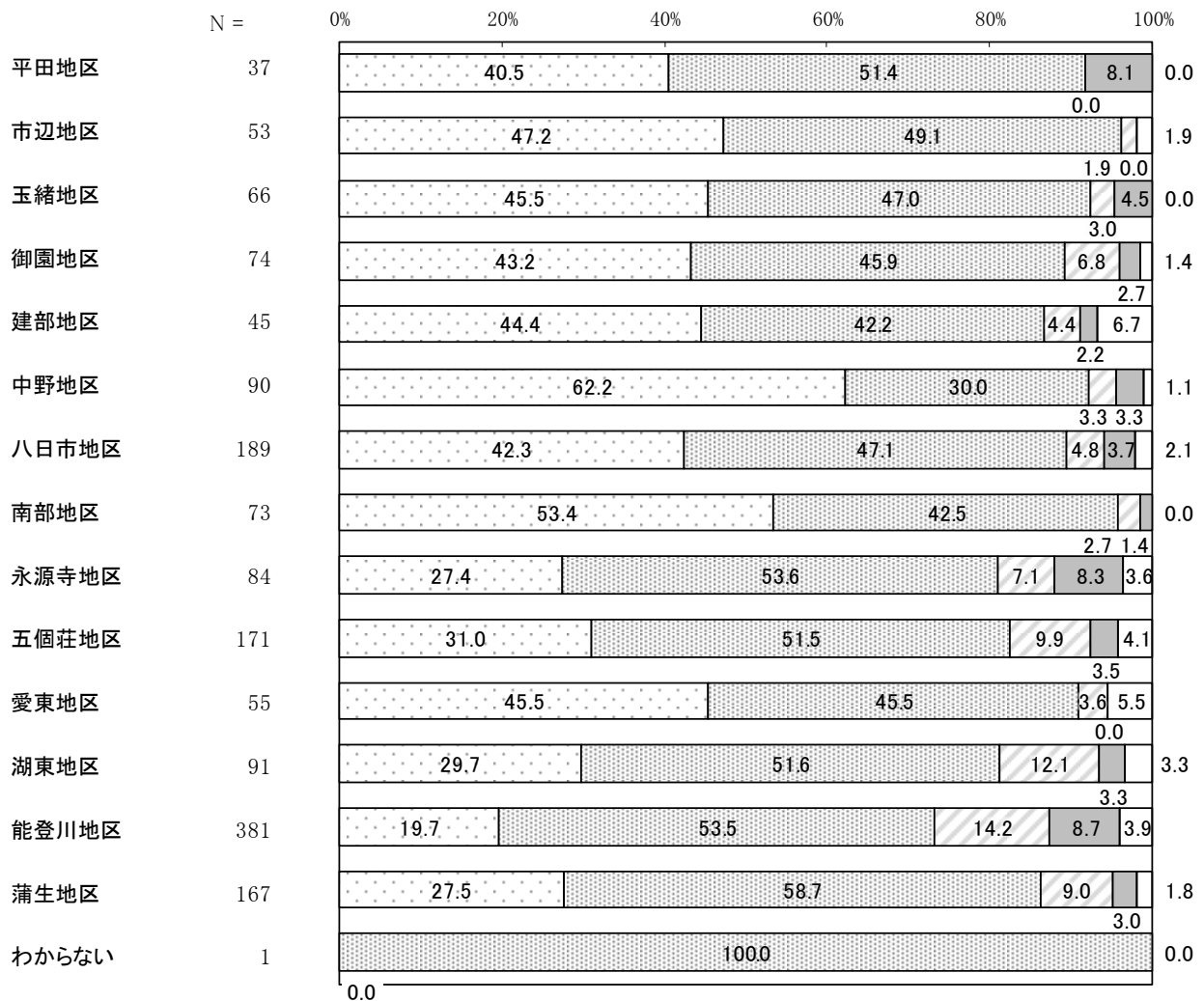


-  重要であると感じる
-  重要であるが利便性等の改善が必要と感じる
-  重要でないと感じる
-  その他
-  無回答

【年代別】



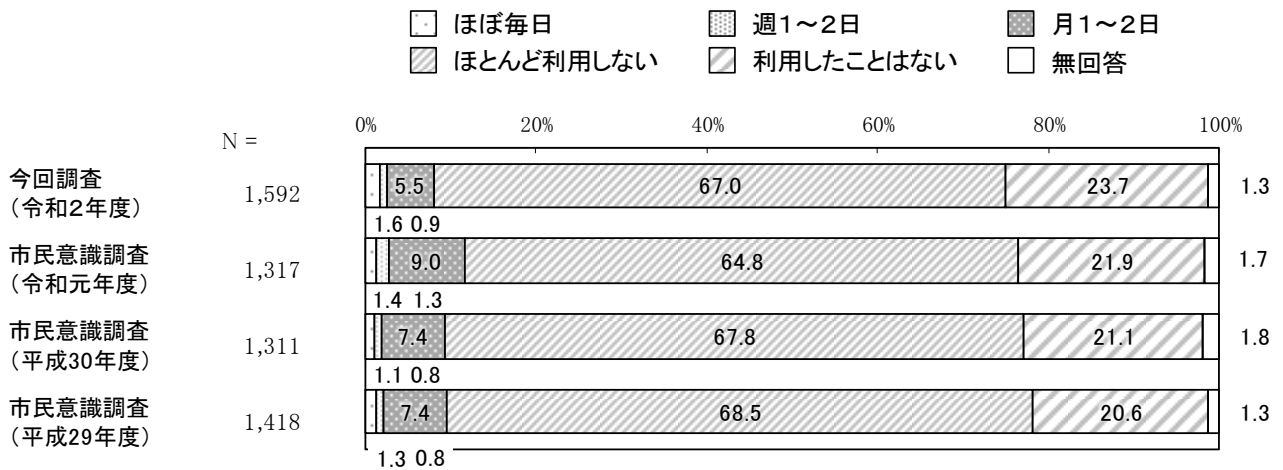
【居住地区別】



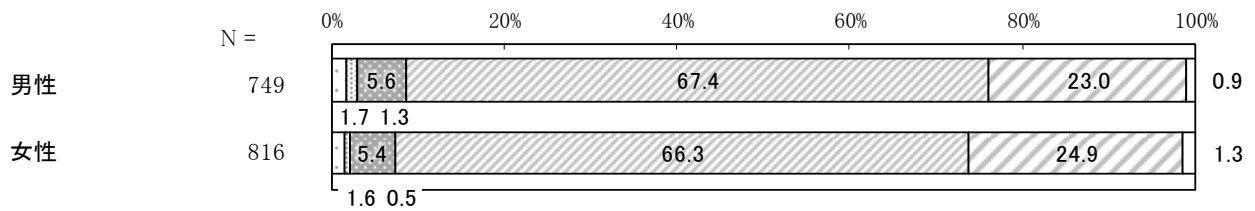
問 33 あなたは、近江鉄道をどの程度利用しますか。《○1つ》

9割が利用していない

- ・ 近江鉄道の利用頻度については、「ほとんど利用しない」が67.0%と最も多く、次の「利用したことはない」の23.7%を合わせると90.7%となり、9割の人が利用していないと回答しています。一方、利用している人は8.0%で、その内訳は「月1～2日」が5.5%と最も多く、次いで「ほぼ毎日」が1.6%、「週1～2日」が0.9%となっています。
- ・ 年代別では10歳代で3割、居住地区別では八日市地区、建部地区、市辺地区、南部地区、中野地区で2割前後と比較的によく利用されています。

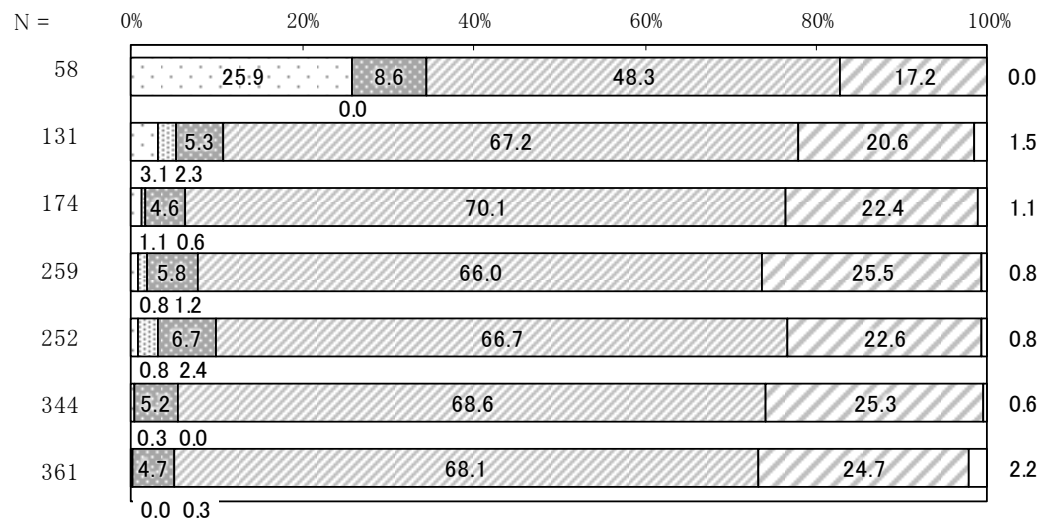


【性別】

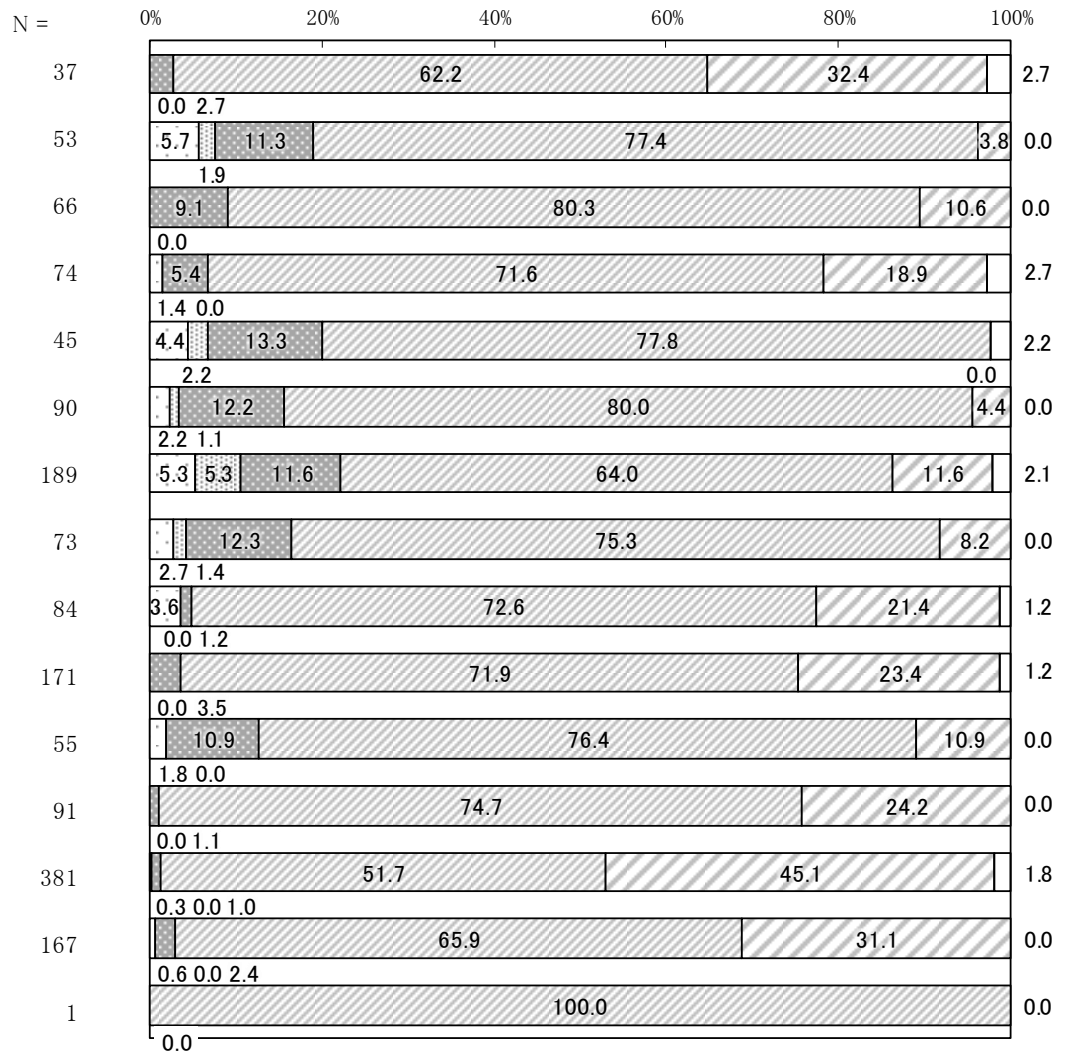


【年代別】

ほぼ毎日
 週1~2日
 月1~2日
 ほとんど利用しない
 利用したことはない
 無回答



【居住地区別】

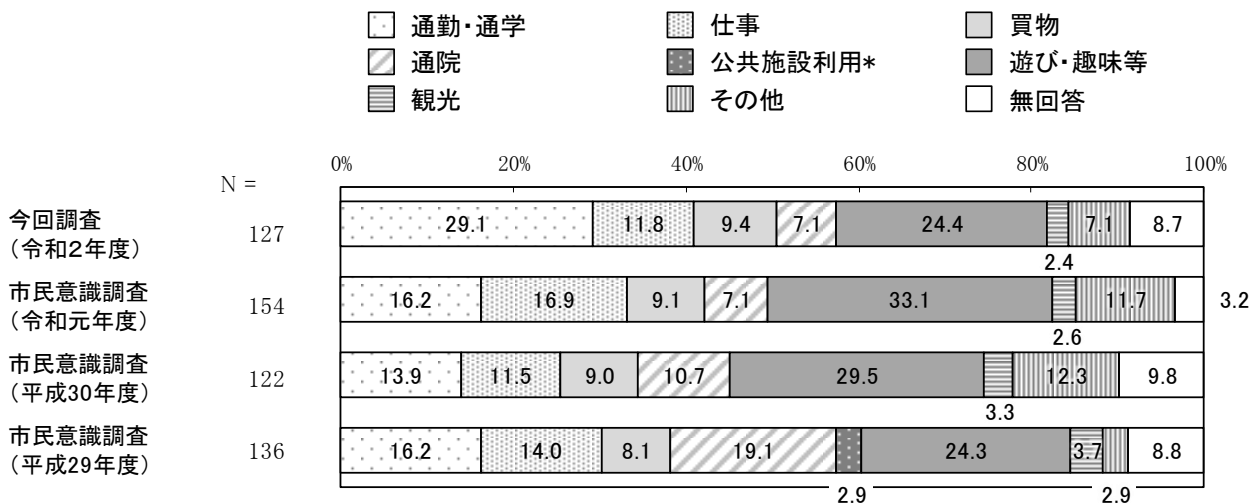


問 33-1 問 33 で「1. ほぼ毎日」「2. 週 1～2 日」「3. 月 1～2 日」とお答えの方におたずね
 します。

近江鉄道を利用する目的は何ですか。《○1つ》

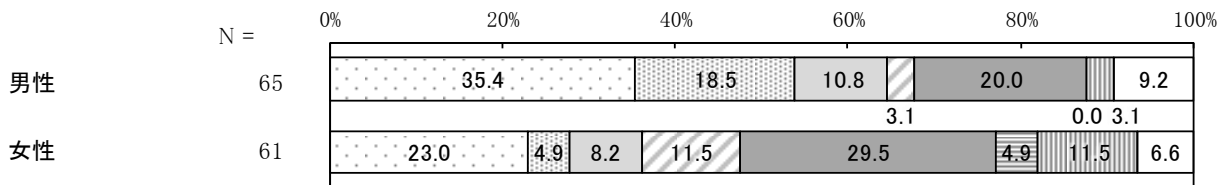
近江鉄道の利用目的は「通勤・通学」、「遊び・趣味等」、「仕事」

- ・ 近江鉄道の利用目的は、「通勤・通学」が 29.1%と最も多く、次いで「遊び・趣味等」が 24.4%、「仕事」が 11.8%、「買物」が 9.4%と続きます。
- ・ 過去の調査と比較すると、平成 30 年度以降、「通勤・通学」の割合が大きく増加しています。
- ・ 性別では、男性は「通勤・通学」が、女性は「遊び・趣味等」での利用が最も多くなっていますが、男性は女性より「仕事」での利用が、女性は男性より「通院」での利用が多くみられます。
- ・ 年代別では、10～20 歳代で「通勤・通学」が、40 歳代は「仕事」が、30 歳代と 50 歳以上は「遊び・趣味等」が最も多くなっています。そのほか、30 歳代と 50 歳代では「買物」もほかの年代より多くみられます。

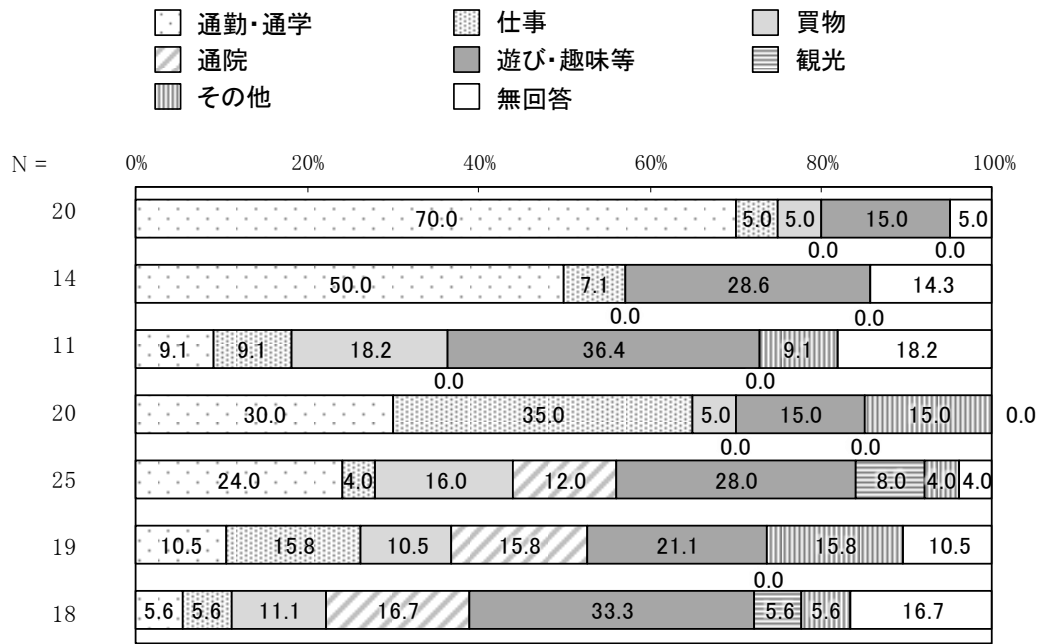


*平成30年度以降は「公共施設利用」の選択肢を削除

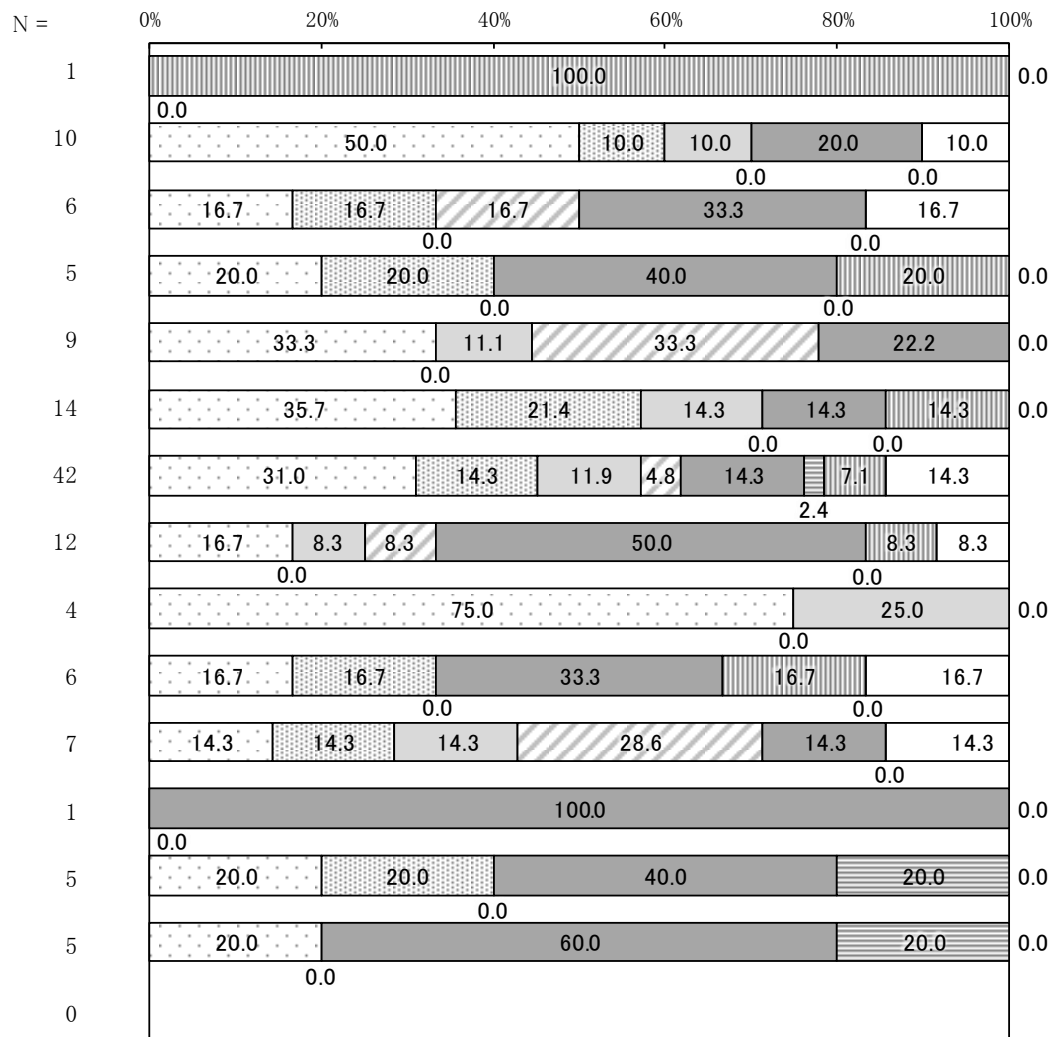
【性別】



【年代別】



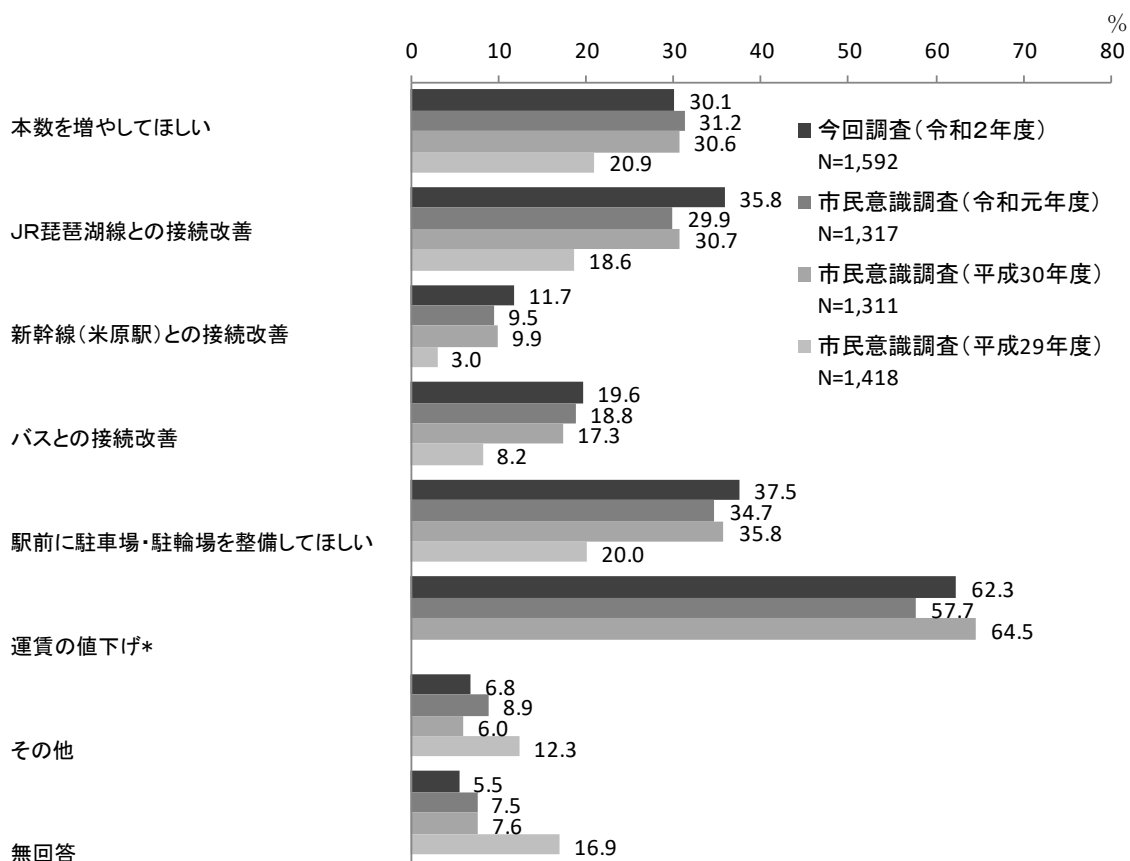
【居住地区別】



問 34 あなたは、近江鉄道を利用する場合、どのようなことを希望されますか。《あてはまるものすべてに○》

近江鉄道への希望は、運賃の値下げが6割

- ・ 近江鉄道を利用する場合の希望を聞いたところ、「運賃の値下げ」が62.3%と最も多く、次いで「駅前に駐車場・駐輪場を整備してほしい」が37.5%、「JR琵琶湖線との接続改善」が35.8%、「本数を増やしてほしい」が30.1%と続きます。
- ・ 年代別では、すべての年代で「運賃の値下げ」が最も多くなっていますが、10歳代で本数の増加、20歳代と40歳代でJRとの接続改善、50歳代でバスとの接続改善も多くあげられています。
- ・ 居住地区別では、愛東地区で「駅前に駐車場・駐輪場を整備してほしい」が、そのほかの地区で「運賃の値下げ」が最も多くなっています。そのほか、市辺地区、建部地区で本数の増加、平田地区、建部地区、中野地区でJRとの接続改善、玉緒地区で新幹線との接続改善、湖東地区、蒲生地区、平田地区でバスとの接続改善、南部地区、御園地区で駐車場等の整備をあげる人がほかの地区より多くみられます。



*平成30年度から追加

※平成29年度は1つ選択

【性別】

単位：%

区分	有効回答数（件）	本数を増やしてほしい	J R 琵琶湖線との接続改善	新幹線（米原駅）との接続改善	バスとの接続改善	駅前には駐車場・駐輪場を整備してほしい	運賃の値下げ	その他	無回答
男性	749	30.4	37.8	13.8	19.9	38.1	59.3	8.3	4.8
女性	816	30.5	33.9	9.8	19.1	37.5	65.2	5.5	5.9

【年代別】

単位：%

区分	有効回答数（件）	本数を増やしてほしい	J R 琵琶湖線との接続改善	新幹線（米原駅）との接続改善	バスとの接続改善	駅前には駐車場・駐輪場を整備してほしい	運賃の値下げ	その他	無回答
10歳代	58	51.7	44.8	8.6	17.2	20.7	81.0	3.4	0.0
20歳代	131	44.3	47.3	9.9	18.3	27.5	80.9	4.6	1.5
30歳代	174	40.8	42.0	12.1	16.1	33.9	68.4	8.6	2.9
40歳代	259	36.7	45.9	10.8	19.7	34.7	68.3	6.9	1.9
50歳代	252	35.3	36.5	13.9	25.4	44.4	69.4	5.6	2.4
60歳代	344	22.1	31.4	10.5	20.1	42.2	57.6	8.1	4.4
70歳以上	361	16.3	23.8	13.6	18.0	39.1	46.0	6.6	14.1

【居住地区別】

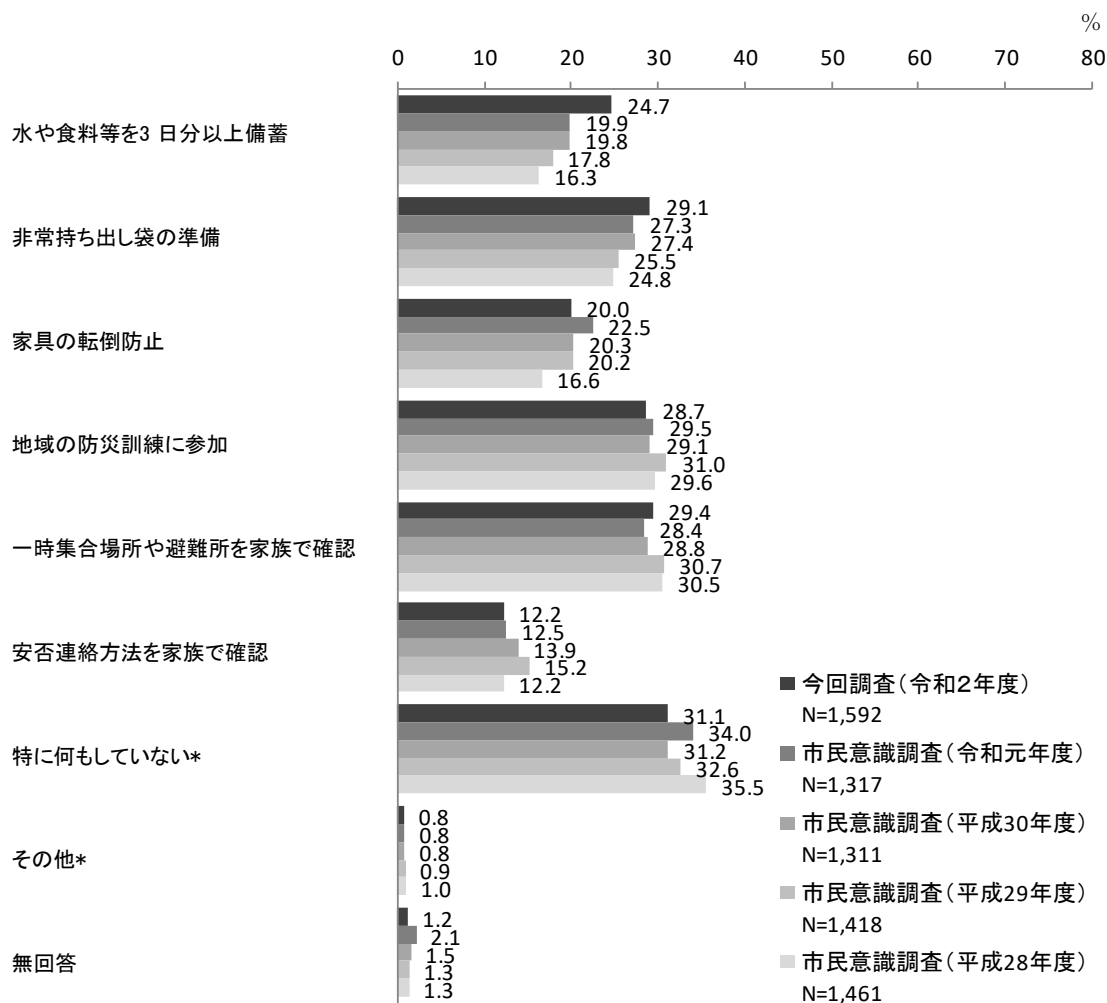
単位：%

区分	有効回答数（件）	本数を増やしてほしい	J R 琵琶湖線との接続改善	新幹線（米原駅）との接続改善	バスとの接続改善	駅前には駐車場・駐輪場を整備してほしい	運賃の値下げ	その他	無回答
平田地区	37	21.6	45.9	8.1	27.0	48.6	70.3	2.7	5.4
市辺地区	53	47.2	39.6	7.5	9.4	37.7	75.5	5.7	3.8
玉緒地区	66	25.8	28.8	21.2	21.2	54.5	68.2	1.5	1.5
御園地区	74	25.7	27.0	12.2	18.9	56.8	59.5	5.4	5.4
建部地区	45	44.4	44.4	17.8	24.4	40.0	64.4	8.9	8.9
中野地区	90	37.8	40.0	16.7	6.7	44.4	66.7	6.7	1.1
八日市地区	189	38.1	39.2	17.5	10.6	30.2	73.0	6.3	3.2
南部地区	73	35.6	38.4	16.4	12.3	60.3	61.6	5.5	1.4
永源寺地区	84	26.2	21.4	15.5	17.9	52.4	64.3	7.1	2.4
五個荘地区	171	30.4	31.6	4.1	21.6	29.2	64.9	4.1	5.8
愛東地区	55	32.7	38.2	14.5	21.8	67.3	58.2	5.5	5.5
湖東地区	91	20.9	33.0	11.0	30.8	48.4	58.2	5.5	2.2
能登川地区	381	19.9	39.4	5.8	20.7	21.3	54.3	10.5	10.5
蒲生地区	167	39.5	33.5	15.6	29.3	35.9	61.1	6.6	3.0
わからない	1	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0

問 35 あなたは、地震等の災害に備えてどのような準備をしていますか。《あてはまるものすべてに○》

7割近くが何らかの災害への備えをしている

- ・ 災害への備えについては、「特に何もしていない」が31.1%と最も多く、次いで「一時集合場所や避難所を家族で確認」が29.4%、「非常持ち出し袋の準備」が29.1%、「地域の防災訓練に参加」が28.7%、「水や食料等を3日分以上備蓄」が24.7%と続きます。何らかの災害への備えをしている人は67.7%であり、7割近くとなっています。
- ・ 過去の調査と比較すると、「水や食料等を3日分以上備蓄」、「非常持ち出し袋の準備」などの割合が年々増加し、「特に何もしていない」の割合は変動があるものの減少傾向にあります。
- ・ 性別では、男性は「特に何もしていない」が、女性は「非常持ち出し袋の準備」が最も多くあげられています。
- ・ 年代別では、40歳代までは「特に何もしていない」が、50歳代では「非常持ち出し袋の準備」が、60歳以上では「地域の防災訓練に参加」が最も多くあげられています。
- ・ 居住地区別では、五個荘地区、玉緒地区、南部地区で「非常持ち出し袋の準備」が、愛東地区、湖東地区、永源寺地区、能登川地区、平田地区で「地域の防災訓練に参加」が、そのほかの地区で「特に何もしていない」が最も多くあげられています。南部地区では、「特に何もしていない」も同様に最も多くあげられています。



*令和2年度に順番入れ替え

【性別】

単位：%

区分	有効回答数（件）	水や食料等を3日分以上備蓄	非常持ち出し袋の準備	家具の転倒防止	地域の防災訓練に参加	一時集合場所や避難所を家族で確認	安否連絡方法を家族で確認	特に何もしていない	その他	無回答
男性	749	23.9	24.4	19.6	30.4	29.5	12.4	33.6	0.3	1.1
女性	816	25.4	33.3	20.2	27.5	29.8	12.3	28.7	1.2	1.1

【年代別】

単位：%

区分	有効回答数（件）	水や食料等を3日分以上備蓄	非常持ち出し袋の準備	家具の転倒防止	地域の防災訓練に参加	一時集合場所や避難所を家族で確認	安否連絡方法を家族で確認	特に何もしていない	その他	無回答
10歳代	58	17.2	19.0	10.3	6.9	20.7	15.5	56.9	1.7	0.0
20歳代	131	13.7	28.2	12.2	5.3	16.8	9.2	46.6	1.5	1.5
30歳代	174	25.9	24.7	15.5	10.3	16.1	9.8	39.7	1.1	2.3
40歳代	259	28.6	25.1	20.1	22.0	29.0	11.2	31.7	0.0	0.4
50歳代	252	27.4	30.6	17.1	29.8	29.0	17.5	29.4	0.4	1.2
60歳代	344	27.6	31.4	25.3	39.8	36.3	11.9	23.3	0.9	0.6
70歳以上	361	22.2	33.5	23.0	43.2	35.7	11.6	25.8	0.8	1.4

【居住地区別】

単位：%

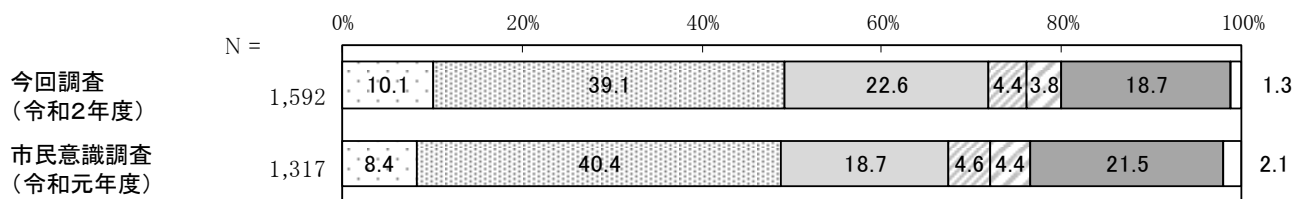
区分	有効回答数（件）	水や食料等を3日分以上備蓄	非常持ち出し袋の準備	家具の転倒防止	地域の防災訓練に参加	一時集合場所や避難所を家族で確認	安否連絡方法を家族で確認	特に何もしていない	その他	無回答
平田地区	37	16.2	27.0	21.6	37.8	18.9	8.1	32.4	0.0	0.0
市辺地区	53	30.2	20.8	22.6	24.5	32.1	9.4	34.0	3.8	0.0
玉緒地区	66	27.3	36.4	22.7	27.3	27.3	19.7	28.8	0.0	0.0
御園地区	74	25.7	24.3	16.2	13.5	23.0	10.8	37.8	0.0	4.1
建部地区	45	24.4	26.7	13.3	20.0	22.2	8.9	35.6	0.0	2.2
中野地区	90	22.2	25.6	18.9	7.8	21.1	14.4	41.1	1.1	0.0
八日市地区	189	27.5	23.8	14.3	14.3	26.5	15.3	36.0	0.5	1.6
南部地区	73	30.1	35.6	20.5	23.3	24.7	13.7	35.6	0.0	1.4
永源寺地区	84	17.9	23.8	15.5	39.3	31.0	10.7	34.5	1.2	1.2
五個荘地区	171	22.8	36.8	21.6	30.4	31.0	9.9	28.1	0.0	0.6
愛東地区	55	20.0	41.8	20.0	50.9	25.5	5.5	25.5	0.0	0.0
湖東地区	91	26.4	26.4	16.5	46.2	41.8	11.0	18.7	0.0	1.1
能登川地区	381	26.0	30.4	22.3	38.8	36.0	11.8	26.2	1.3	1.6
蒲生地区	167	21.6	28.1	23.4	21.0	24.0	14.4	37.1	1.2	0.0
わからない	1	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

(5) 子育てや教育関連の取組について

問 36 あなたは、東近江市は子育てをするのに良い環境であると思いますか。《○1つ》

半数近くが子育てをするのに良い環境だと思っている

- ・ 東近江市が子育てをするのに良い環境かどうかについては、「そう思う」が 10.1%、「どちらかといえばそう思う」が 39.1%で、これらを合わせると 49.2%となり、半数近くの人が子育てをするのに良い環境であると思うと回答しています。
- ・ 一方で、4割が「わからない」又は「どちらともいえない」と回答しています。
- ・ 年代別では、10歳代、40歳代、60歳以上は半数以上が子育てをするのに良い環境だと思う（「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合計）と回答しています。また、10～20歳代は「わからない」と回答した人の割合が高くなっています。
- ・ 居住地区別では、南部地区、中野地区は6割近くが子育てをするのに良い環境だと思う（前述）と回答しています。

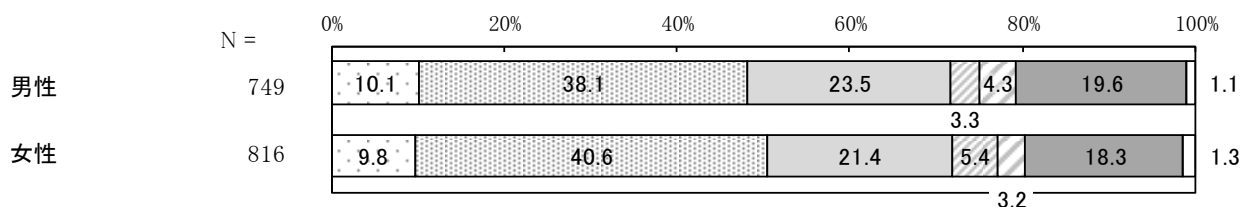


単位：%

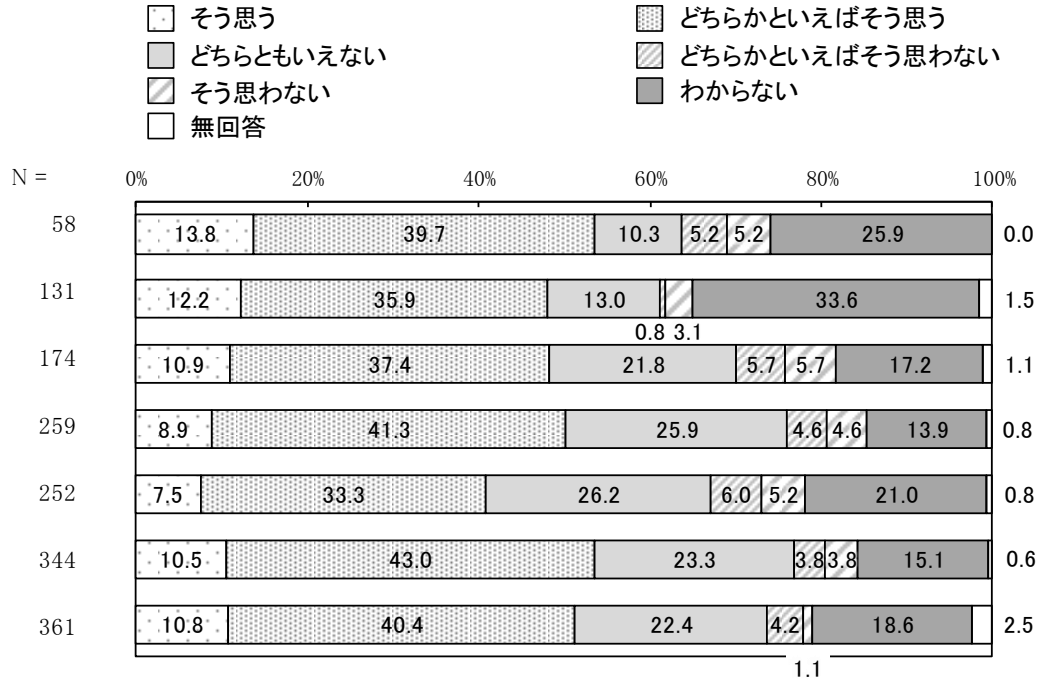
	そう思う*	そう思わない*	差
①今回調査(令和2年度)	49.2	8.2	41.0
②市民意識調査(令和元年度)	48.8	9.0	39.8
①-②	0.4	-0.8	1.2

* そう思う:「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合計
 * そう思わない:「どちらかといえばそう思わない」と「そう思わない」の合計

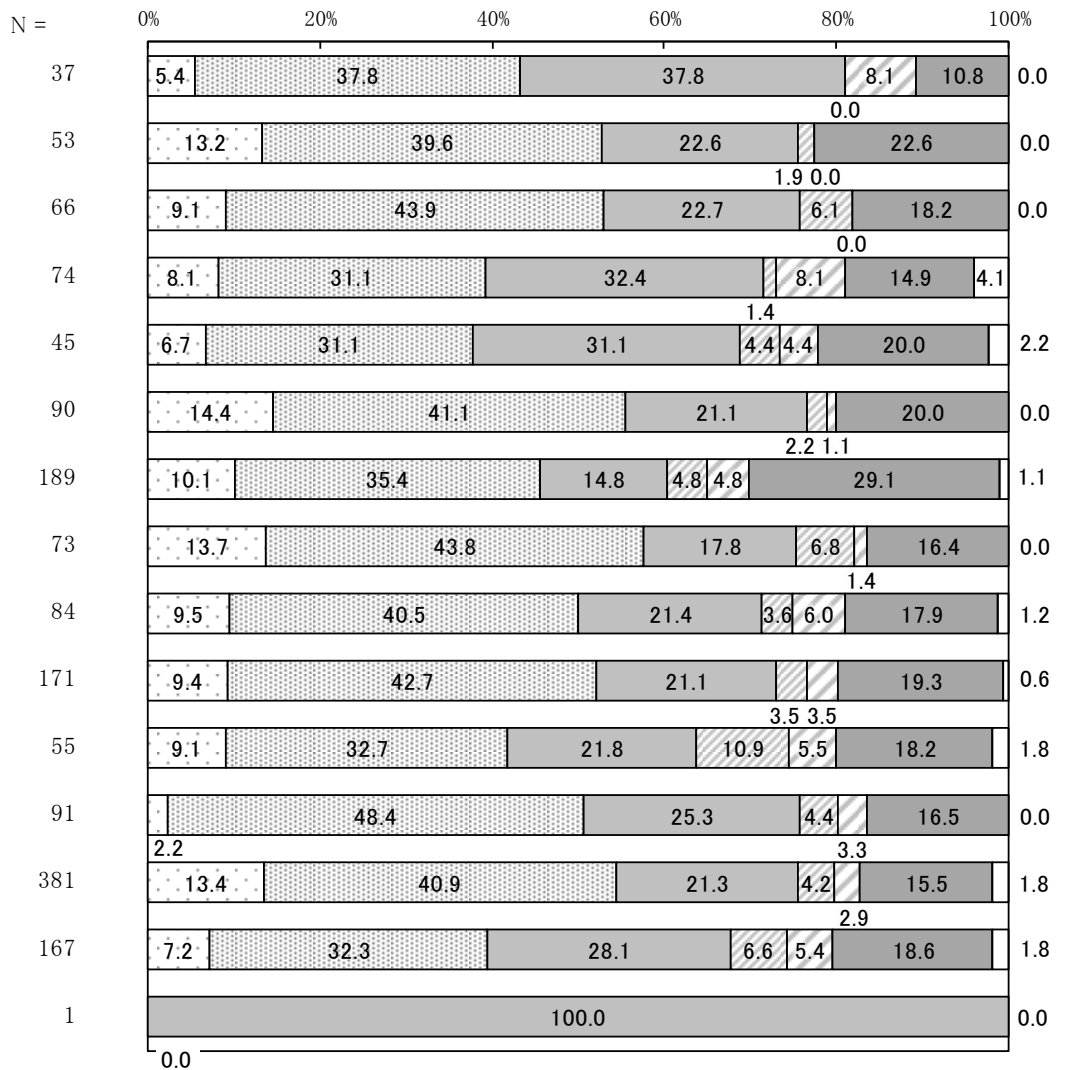
【性別】



【年代別】



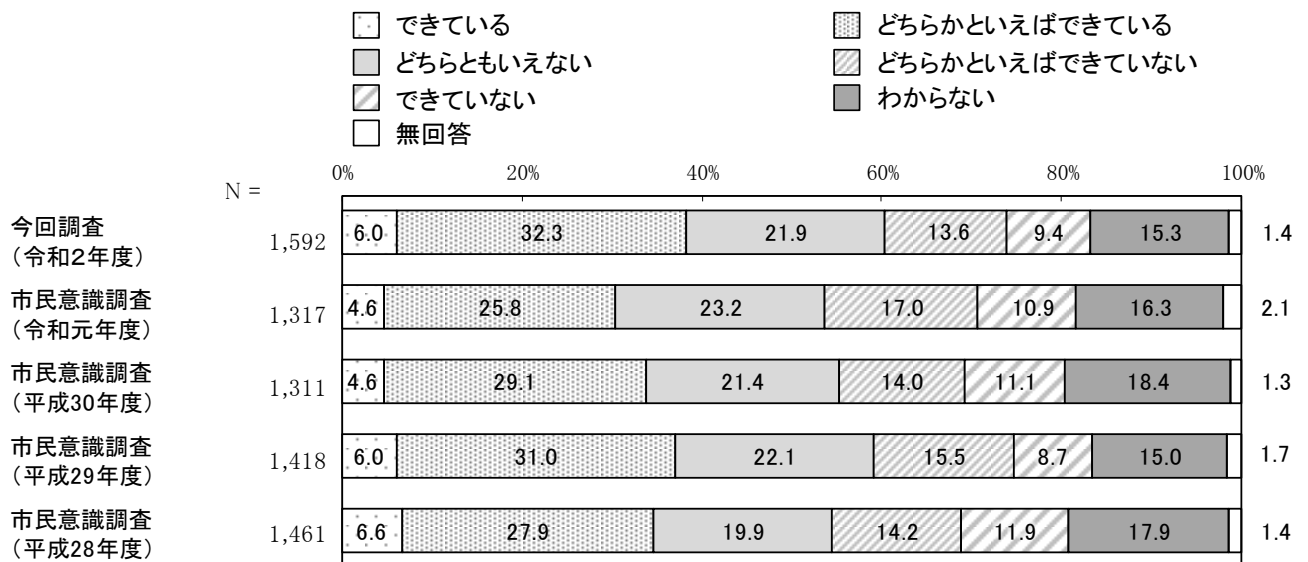
【居住地区別】



問 37 あなたは、市内において児童・生徒の通学路の安全は確保できていると思いますか。《○1つ》

4割近くが通学路の安全は確保できている

- ・ 通学路の安全確保については、「できている」と「どちらかといえばできている」を合わせると38.3%となり、4割近くの人ができていると考えています。「どちらかといえばできていない」と「できていない」を合わせると23.0%であり、通学路の安全確保はできていると考えている人の割合が高くなっています。
- ・ 年代別では、30歳代で通学路の安全確保ができていない（「どちらかといえばできていない」と「できていない」の合計）と考えている人が、できている（「できている」と「どちらかといえばできている」の合計）と考えている人より多くなっています。一方、10歳代と70歳以上で通学路の安全確保ができている（前述）と考えている人が多くなっています。
- ・ 居住地区別では、平田地区、玉緒地区、愛東地区でできている（前述）と考えている人が多く、御園地区でできていない（前述）と考えている人ができている（前述）と考えている人より多くなっています。



単位：%

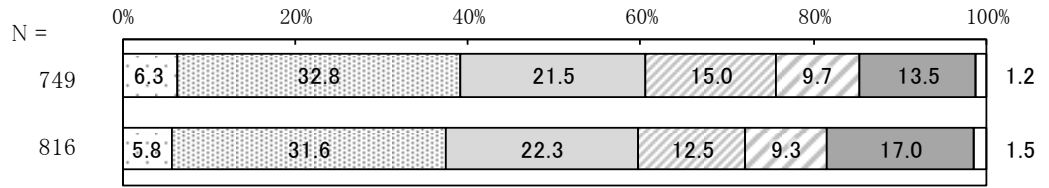
	できている*	できていない*	差
①今回調査(令和2年度)	38.3	23.0	15.3
②市民意識調査(令和元年度)	30.4	27.9	2.5
③市民意識調査(平成30年度)	33.7	25.1	8.6
④市民意識調査(平成29年度)	37.0	24.2	12.8
⑤市民意識調査(平成28年度)	34.5	26.1	8.4
①－⑤	3.8	-3.1	6.9

* できている:「できている」と「どちらかといえばできている」の合計

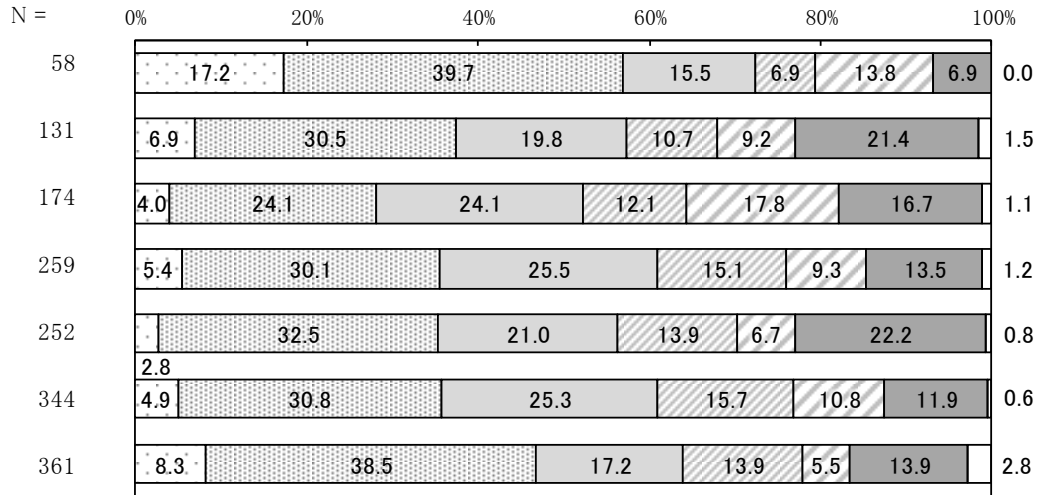
* できていない:「どちらかといえばできていない」と「できていない」の合計

- できている
- どちらともいえない
- できていない
- 無回答
- どちらかといえばできている
- どちらかといえばできていない
- わからない

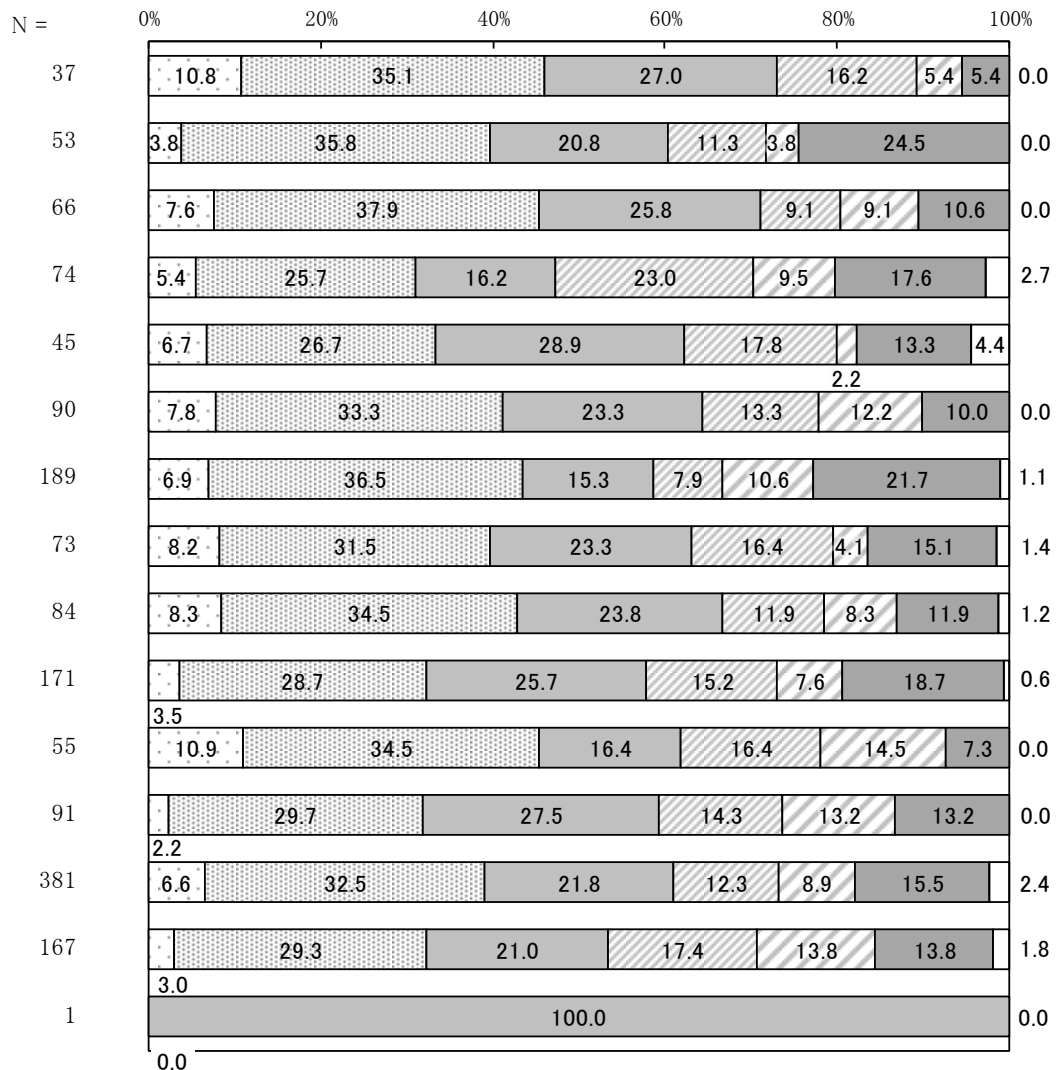
【性別】



【年代別】



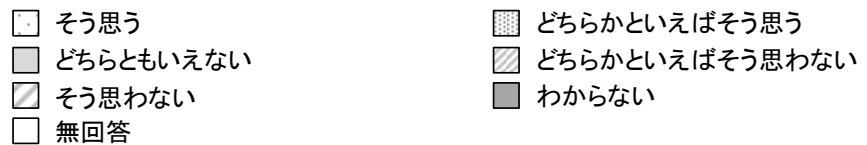
【居住地区別】



問 38 あなたは、「東近江市は人権が尊重されるまち」になっていると思いますか。《○1つ》

人権が尊重されるまちになっていると思う人は2割、「わからない」人は3割

- ・ 東近江市は人権が尊重されるまちになっていると思う人（「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合計）の割合は24.5%で、そう思わない人（「どちらかといえばそう思わない」と「そう思わない」の合計）の割合（12.1%）より高くなっています。
- ・ 一方、人権が尊重されるまちになっているか「わからない」と回答した人は、32.0%と最も多くなっています。
- ・ 年代別では10歳代と60歳以上で3割前後、居住地区別では玉緒地区で4割近く、愛東地区で3割が、人権が尊重されるまちになっている（前述）と回答しています。一方、建部地区、御園地区では、人権が尊重されるまちになっているとは思わない人の方が多くなっています。



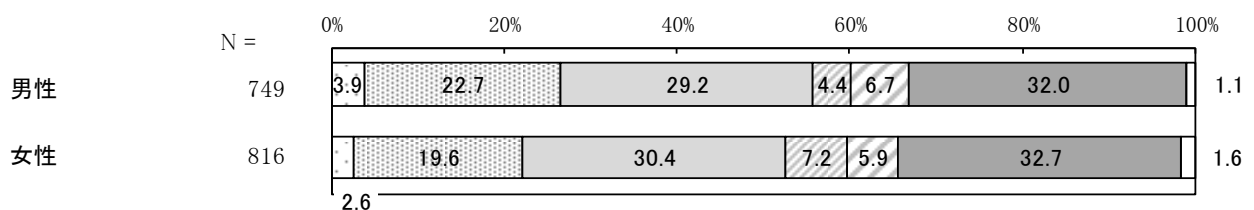
単位：％

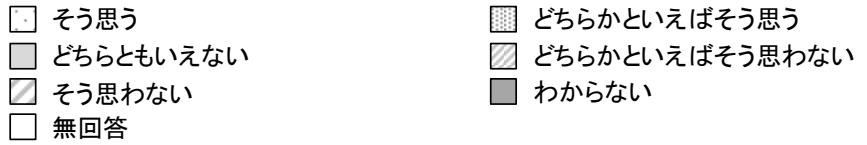
	そう思う*	そう思わない*	差
①今回調査(令和2年度)	24.5	12.1	12.4
②市民意識調査(令和元年度)	22.8	11.4	11.4
③市民意識調査(平成30年度)	24.9	13.6	11.3
④市民意識調査(平成29年度)	25.9	11.3	14.6
①－④	-1.4	0.8	-2.2

* そう思う:「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合計

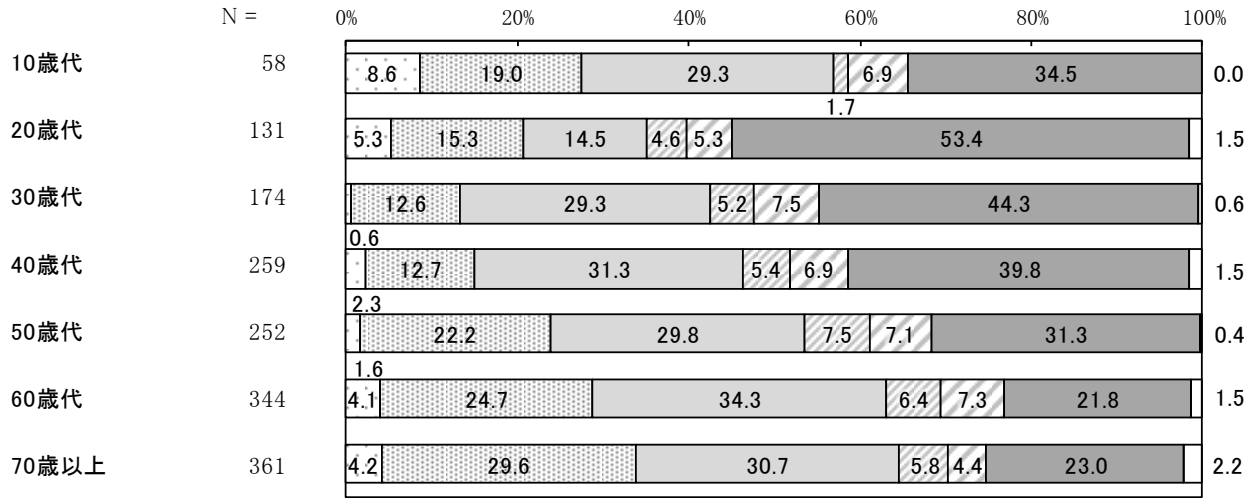
* そう思わない:「どちらかといえばそう思わない」と「そう思わない」の合計

【性別】

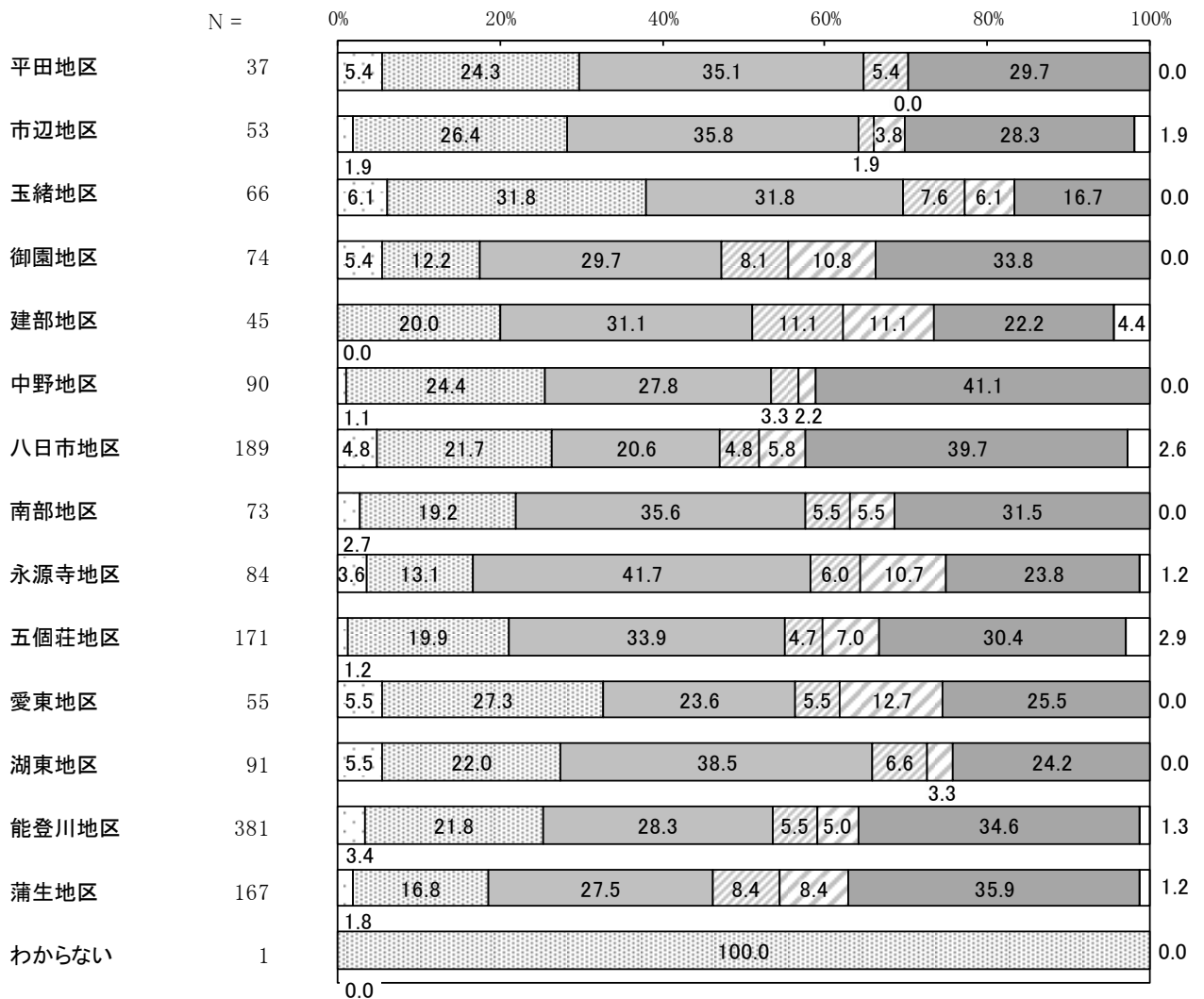




【年代別】



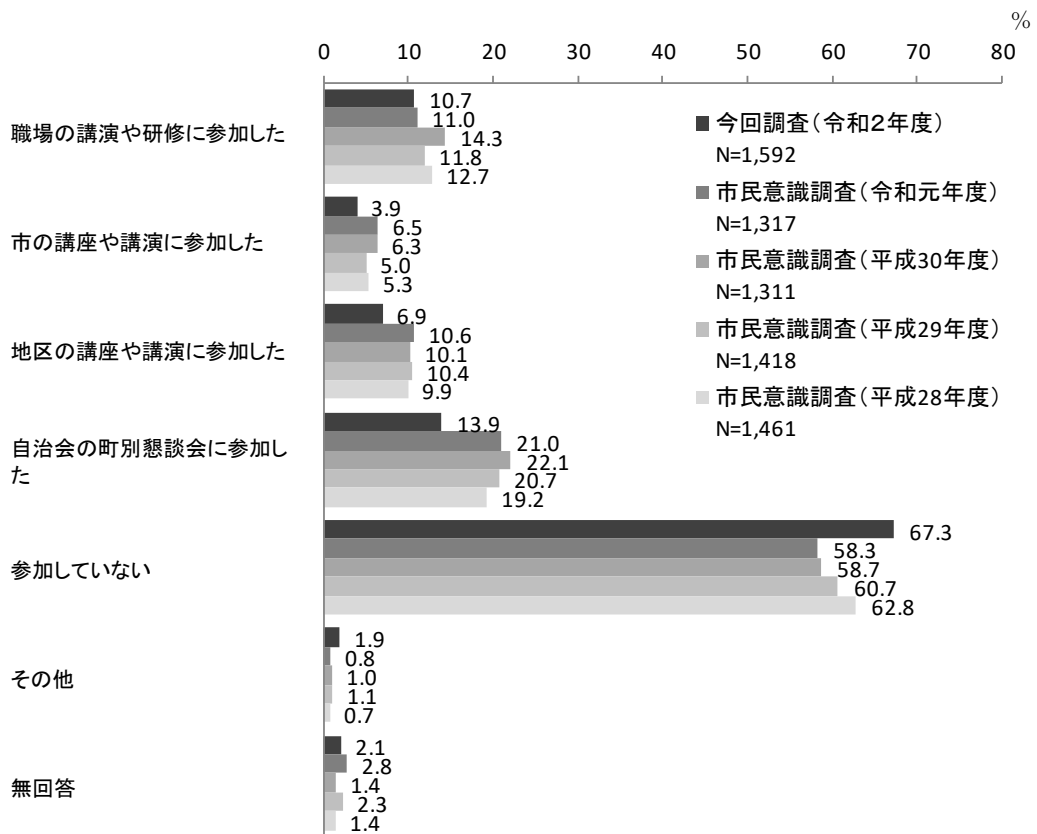
【居住地区別】



問 39 あなたは、この1年間に職場、市又は地区等が開催する人権に関する講座や講演、研修等に参加しましたか。《あてはまるものすべてに○》

講座や講演、研修等に参加した人は3割

- ・ この1年間に人権に関する講座や講演、研修等に参加したかどうかについては、参加した人の割合は30.6%、「参加していない」が67.3%、無回答が2.1%となっています。参加した講座等の内容は、「自治会の町別懇談会」が13.9%と最も多く、次いで「職場の講演や研修」が10.7%、「地区の講座や講演」が6.9%、「市の講座や講演」が3.9%と続きます。
- ・ 過去の調査と比較すると、「参加していない」の割合は徐々に減少していましたが、今年度は新型コロナウイルス感染防止のため講座等の開催が見送られたことなどもあり増加しています。
- ・ 性別、年代別、居住地区別のいずれも、すべて「参加していない」が最も多くなっています。
- ・ 性別では、女性より男性で人権に関する講座等に参加した人の割合が高く、自治会の町別懇談会などへの参加が多くみられます。
- ・ 年代別では、年齢が上がるほど人権に関する講座等に参加した人の割合が高くなり、自治会の町別懇談会、地区の講座や講演などへの参加割合が高くなる傾向がみられます。



【性別】

単位:%

区分	有効回答数(件)	職場の講演や研修に参加した	市の講座や講演に参加した	地区の講座や講演に参加した	自治会の町別懇談会に参加した	参加していない	その他	無回答
男性	749	11.5	4.5	8.3	18.0	62.9	2.4	1.6
女性	816	10.0	3.3	5.6	10.0	71.4	1.5	2.5

【年代別】

単位:%

区分	有効回答数(件)	職場の講演や研修に参加した	市の講座や講演に参加した	地区の講座や講演に参加した	自治会の町別懇談会に参加した	参加していない	その他	無回答
10歳代	58	6.9	1.7	1.7	3.4	87.9	3.4	0.0
20歳代	131	13.7	2.3	0.0	0.0	82.4	0.8	1.5
30歳代	174	9.8	0.0	1.1	3.4	85.6	0.0	1.1
40歳代	259	19.7	3.1	2.3	3.1	71.8	1.9	2.3
50歳代	252	17.5	4.8	7.5	13.5	61.1	2.4	1.2
60歳代	344	8.7	4.9	9.9	21.8	59.0	3.8	1.7
70歳以上	361	1.7	5.8	13.0	26.3	58.4	1.1	3.6

【居住地区別】

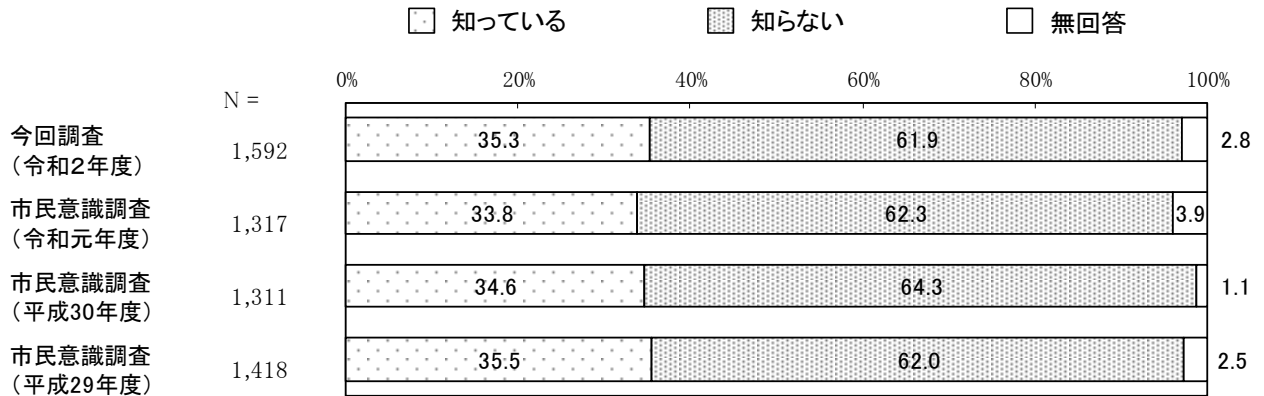
単位:%

区分	有効回答数(件)	職場の講演や研修に参加した	市の講座や講演に参加した	地区の講座や講演に参加した	自治会の町別懇談会に参加した	参加していない	その他	無回答
平田地区	37	2.7	0.0	5.4	32.4	59.5	8.1	0.0
市辺地区	53	13.2	3.8	13.2	22.6	56.6	0.0	3.8
玉緒地区	66	16.7	6.1	9.1	24.2	47.0	3.0	1.5
御園地区	74	4.1	5.4	6.8	23.0	67.6	2.7	2.7
建部地区	45	11.1	4.4	8.9	22.2	55.6	2.2	4.4
中野地区	90	13.3	2.2	4.4	10.0	75.6	1.1	0.0
八日市地区	189	10.1	4.8	4.8	5.8	78.3	1.1	2.6
南部地区	73	11.0	5.5	9.6	4.1	72.6	1.4	1.4
永源寺地区	84	11.9	3.6	6.0	16.7	65.5	2.4	1.2
五個荘地区	171	9.9	4.1	3.5	11.1	70.2	1.8	2.3
愛東地区	55	5.5	3.6	9.1	20.0	69.1	0.0	1.8
湖東地区	91	9.9	6.6	12.1	23.1	58.2	1.1	0.0
能登川地区	381	12.1	3.1	7.3	13.1	64.6	2.4	2.6
蒲生地区	167	10.2	1.8	5.4	9.0	73.1	2.4	1.8
わからない	1	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0

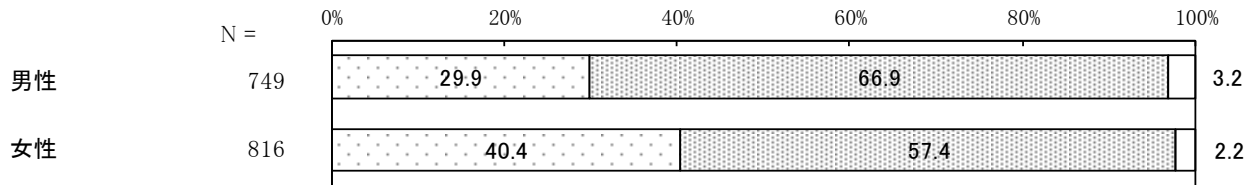
問 40 あなたは、オレンジリボンが児童虐待防止のシンボルマークであると知っていますか。
《○1つ》

認知度は4割近く、6割が「知らない」

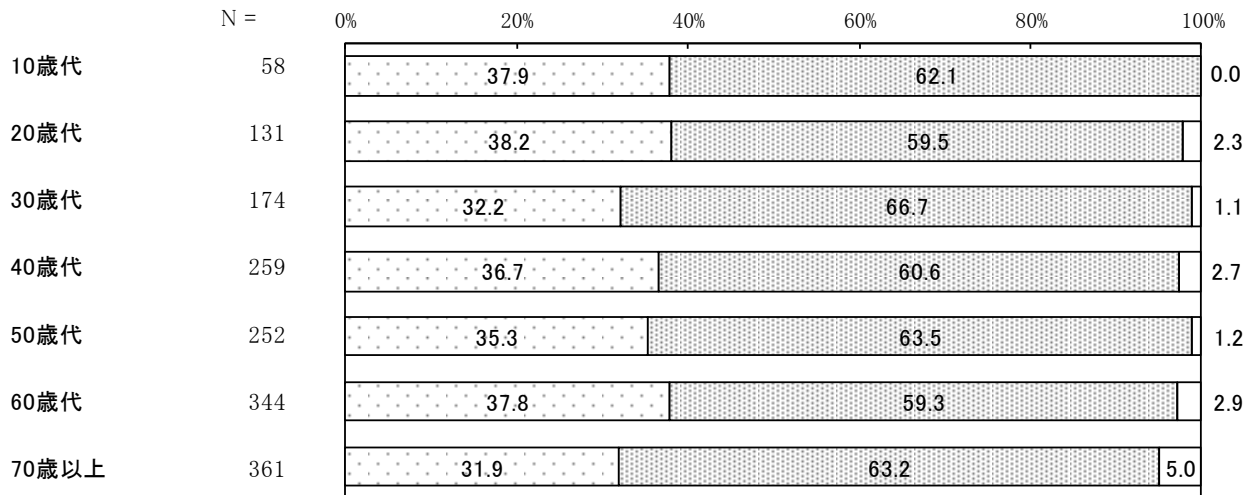
- ・ オレンジリボン(児童虐待防止のシンボルマーク)の認知度については、「知っている」が35.3%、「知らない」が61.9%と、知らない人が多くなっています。
- ・ 性別では男性より女性で、年代別では10～20歳代と60歳代で、居住地区別では平田地区、建部地区、玉緒地区、湖東地区、能登川地区で、認知度が高くなっています。



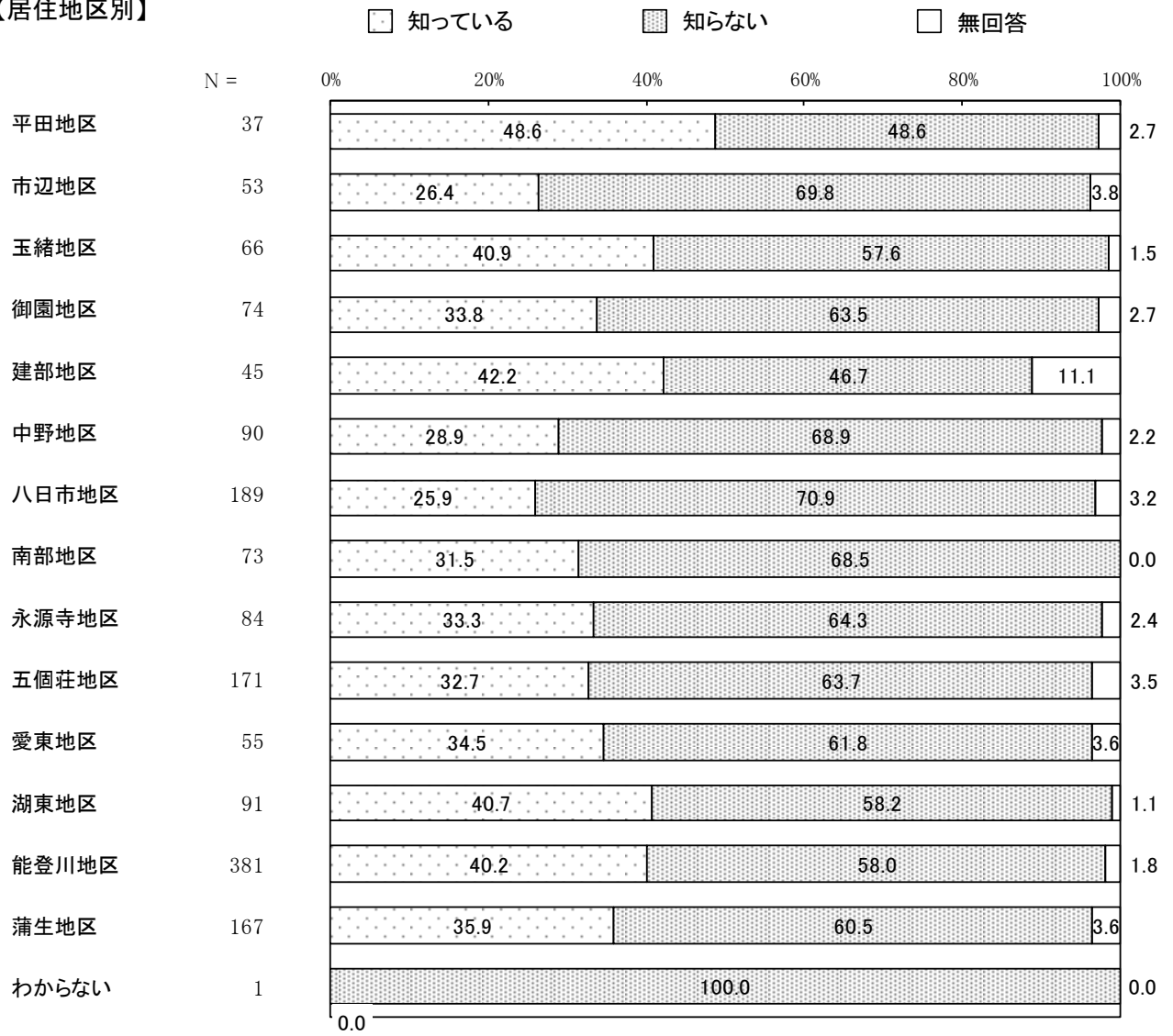
【性別】



【年代別】



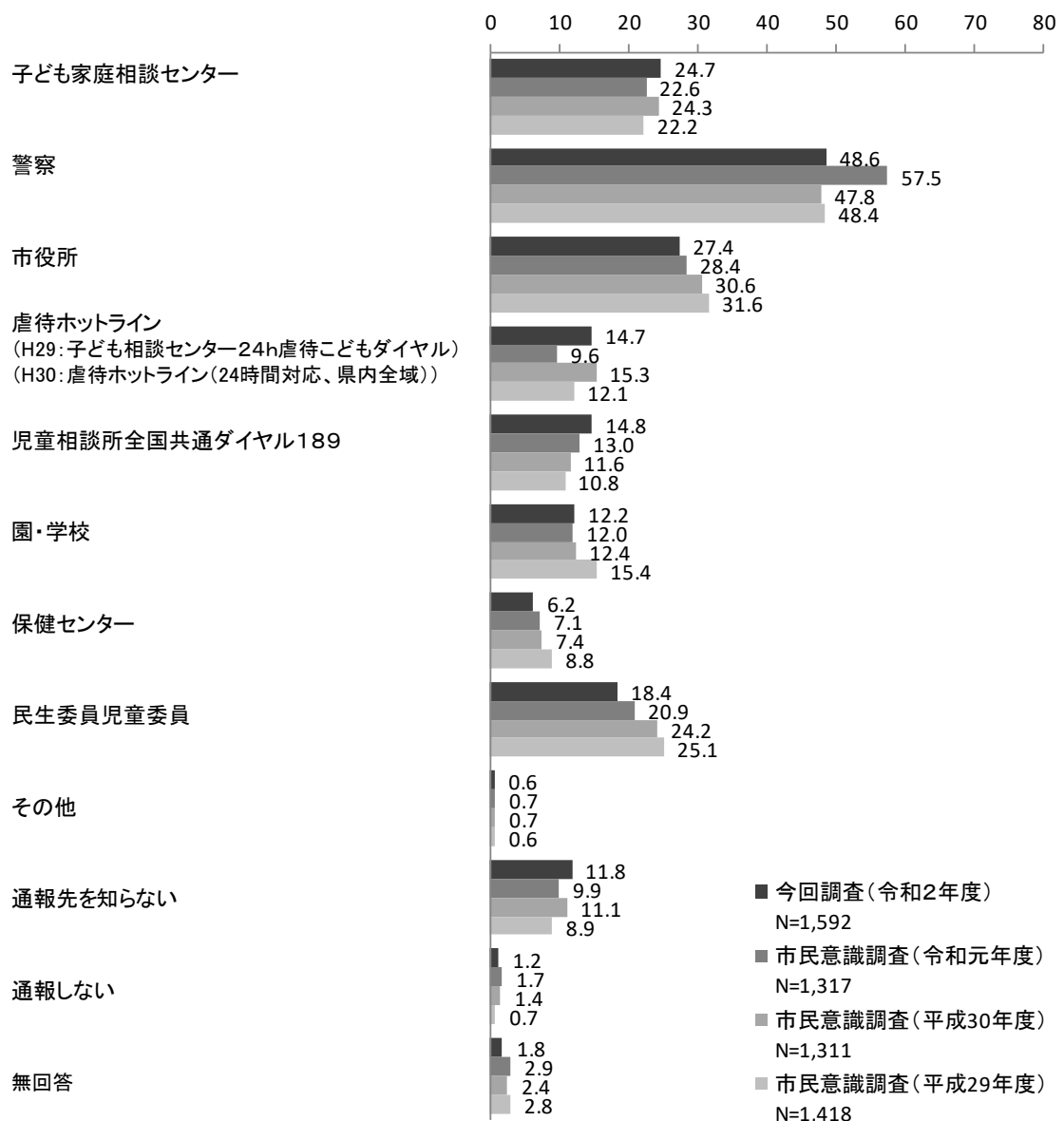
【居住地区別】



問 41 あなたは、児童虐待が疑われるときに、どこに通報しますか。《あてはまるものすべてに○》

通報先は、警察、市役所、子ども家庭相談センター、民生委員児童委員等

- ・ 児童虐待が疑われるときの通報先については、「警察」が48.6%と最も多く、次いで「市役所」が27.4%、「子ども家庭相談センター」が24.7%、「民生委員児童委員」が18.4%と続きます。一方、「通報先を知らない」は11.8%と1割、「通報しない」は1.2%となっています。
- ・ 過去の調査と比較すると、「市役所」、「民生委員児童委員」などの割合が減少傾向にあり、「児童相談所全国共通ダイヤル189」の割合が増加傾向にあります。
- ・ 性別、年代別、愛東地区を除く居住地区別のすべてで「警察」が最も多くなっています。愛東地区は「民生委員児童委員」が最も多くなっています。
- ・ 年代別では、「警察」は10～20歳代で、「市役所」と「民生委員児童委員」は60歳以上で、「虐待ホットライン」は10歳代で、「児童相談所全国共通ダイヤル189」は10～20歳代で、「保健センター」は30歳代でほかの年代より多くあげられています。
- ・ 居住地区別では、「警察」は八日市地区、平田地区、中野地区で6割近くみられ、玉緒地区、中野地区で「市役所」がほかの地区より多くあげられています。一方、南部地区では「通報先を知らない」が概ね2割とほかの地区より多くみられます。



【性別】

単位:%

区分	有効回答数(件)	子ども家庭相談センター	警察	市役所	虐待ホットライン	児童相談所全国共通ダイヤル189	園・学校	保健センター	民生委員児童委員	その他	通報先を知らない	通報しない	無回答
男性	749	23.8	53.3	29.2	14.6	15.1	12.7	4.3	17.4	0.7	11.7	1.5	1.2
女性	816	25.7	44.2	25.5	15.0	14.1	12.0	8.1	19.4	0.5	12.0	0.9	2.1

【年代別】

単位:%

区分	有効回答数(件)	子ども家庭相談センター	警察	市役所	虐待ホットライン	児童相談所全国共通ダイヤル189	園・学校	保健センター	民生委員児童委員	その他	通報先を知らない	通報しない	無回答
10歳代	58	34.5	60.3	12.1	22.4	24.1	17.2	6.9	3.4	1.7	6.9	0.0	0.0
20歳代	131	26.0	55.0	19.8	16.8	21.4	9.2	6.9	3.8	0.0	11.5	0.8	1.5
30歳代	174	28.7	43.1	28.7	17.2	18.4	14.4	13.8	1.7	1.1	13.8	1.1	0.6
40歳代	259	23.2	49.4	25.1	17.8	11.2	14.3	5.4	3.9	0.0	15.4	0.8	1.5
50歳代	252	23.4	49.6	27.4	17.1	15.9	10.3	5.6	11.9	1.2	13.1	2.8	0.4
60歳代	344	24.7	50.9	30.8	13.4	13.7	11.0	4.4	29.1	0.3	10.5	1.2	2.6
70歳以上	361	23.0	44.0	30.5	8.3	12.2	12.7	4.7	39.3	0.6	10.0	0.8	2.8

【居住地区別】

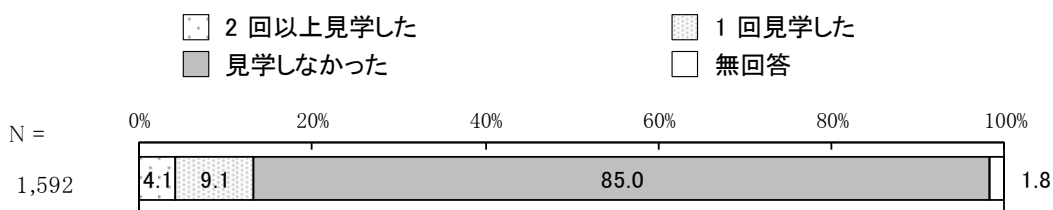
単位:%

区分	有効回答数(件)	子ども家庭相談センター	警察	市役所	虐待ホットライン	児童相談所全国共通ダイヤル189	園・学校	保健センター	民生委員児童委員	その他	通報先を知らない	通報しない	無回答
平田地区	37	35.1	56.8	24.3	10.8	10.8	16.2	5.4	18.9	2.7	5.4	2.7	0.0
市辺地区	53	24.5	43.4	20.8	17.0	18.9	15.1	3.8	22.6	0.0	17.0	3.8	0.0
玉緒地区	66	24.2	48.5	36.4	12.1	13.6	13.6	4.5	31.8	0.0	9.1	0.0	0.0
御園地区	74	27.0	52.7	29.7	9.5	23.0	10.8	9.5	9.5	0.0	13.5	0.0	1.4
建部地区	45	22.2	40.0	28.9	13.3	17.8	17.8	8.9	17.8	0.0	6.7	2.2	4.4
中野地区	90	22.2	55.6	35.6	8.9	11.1	6.7	1.1	11.1	1.1	10.0	2.2	0.0
八日市地区	189	27.0	58.7	25.4	17.5	14.8	6.9	6.3	6.9	0.0	10.1	1.6	2.1
南部地区	73	27.4	52.1	23.3	19.2	17.8	11.0	11.0	11.0	0.0	19.2	0.0	0.0
永源寺地区	84	26.2	41.7	22.6	13.1	8.3	11.9	3.6	17.9	0.0	16.7	1.2	2.4
五個荘地区	171	23.4	47.4	25.1	18.1	16.4	7.6	5.8	22.2	0.6	12.9	1.2	2.3
愛東地区	55	21.8	38.2	30.9	12.7	16.4	10.9	9.1	40.0	3.6	3.6	0.0	1.8
湖東地区	91	24.2	45.1	34.1	13.2	14.3	19.8	8.8	25.3	0.0	14.3	0.0	0.0
能登川地区	381	23.6	46.5	27.6	16.0	14.2	15.0	6.3	21.3	0.5	9.4	1.0	3.1
蒲生地区	167	23.4	47.9	23.4	13.2	14.4	13.2	4.8	16.2	1.2	16.8	1.2	0.6
わからない	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0

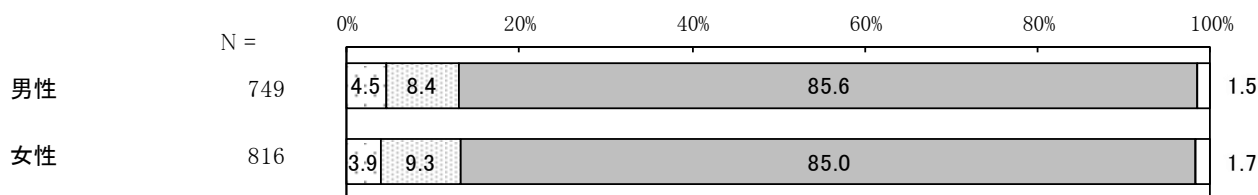
問 42 博物館では、様々な展示を実施しています。あなたはこの1年間に、市内の公立博物館の展示を見学されましたか。《○1つ》

9割近くが見学しなかった

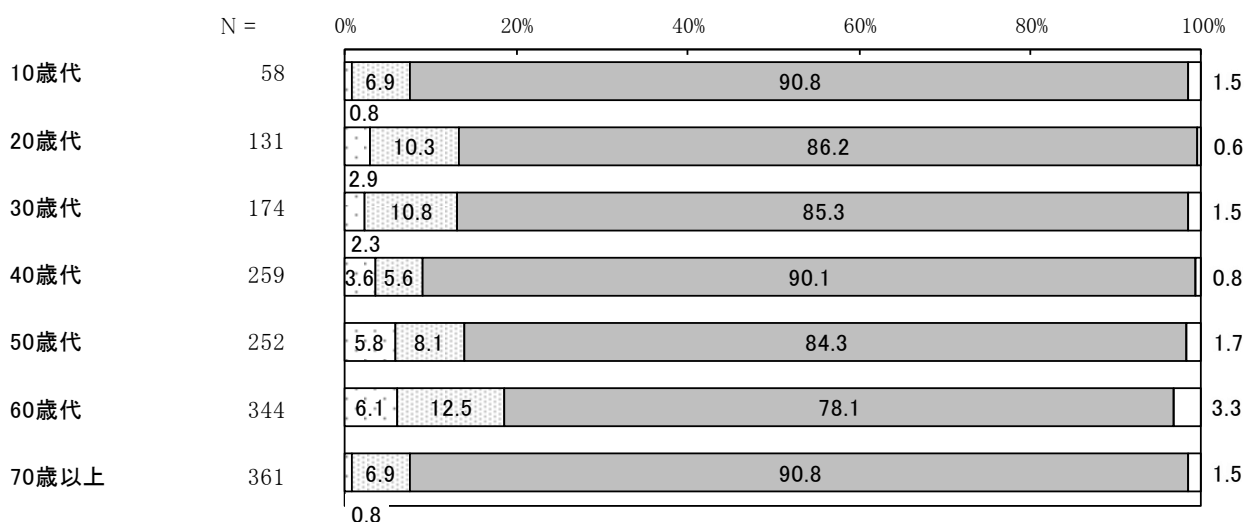
- ・ 市内の公立博物館の展示を見学したかについては、「見学しなかった」が85.0%と最も多く、「2回以上見学した」が4.1%、「1回見学した」が9.1%となっています。今年度は、新型コロナウイルスの感染拡大による外出自粛なども影響していることが考えられます。
- ・ 性別、年代別、居住地区別のいずれも、すべて「見学しなかった」が最も多くなっています。
- ・ 年代別では60歳代で、居住地区別では能登川地区で、見学した人（「2回以上見学した」と「1回見学した」の合計）が2割前後となっています。



【性別】

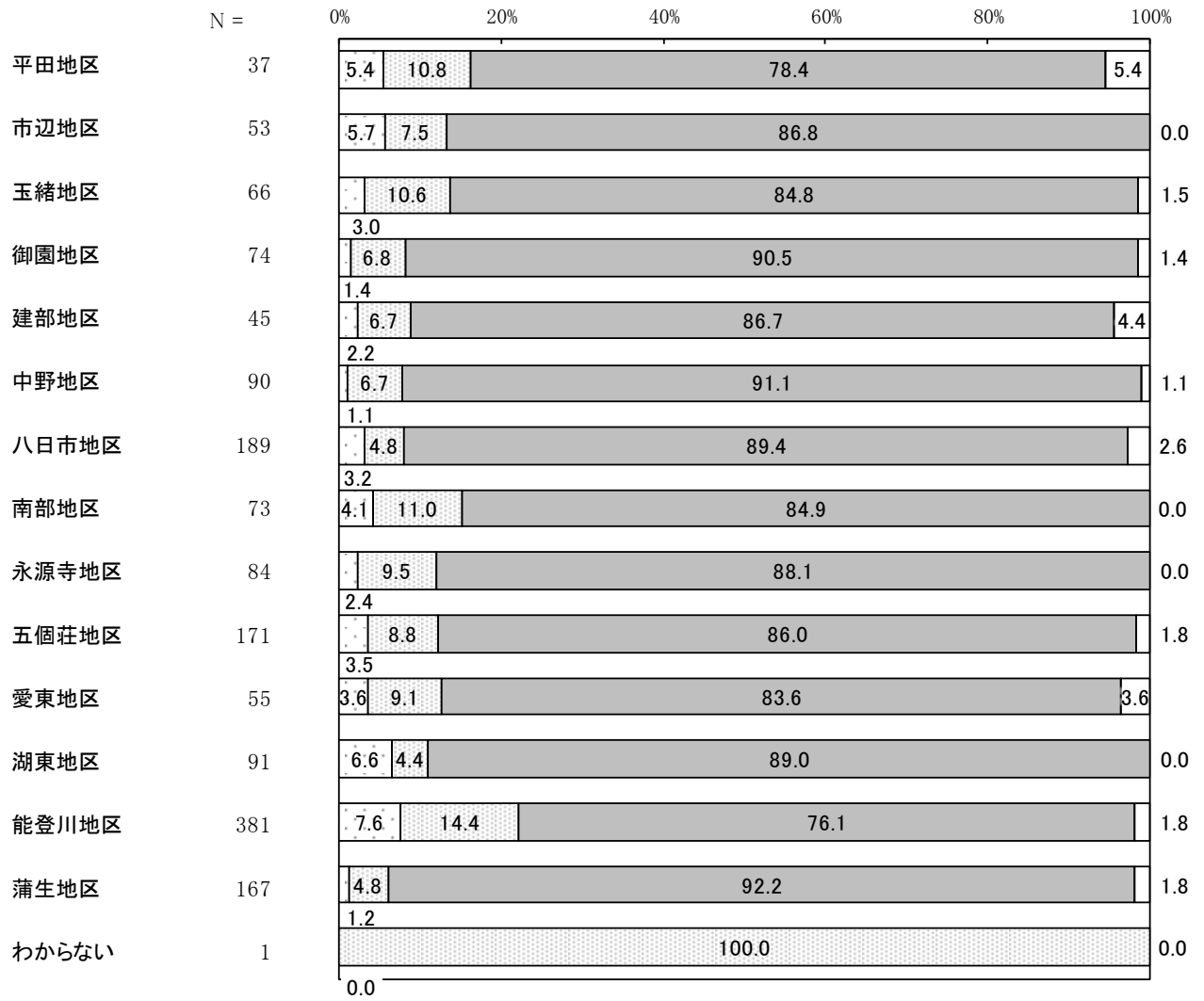


【年代別】



【居住地区別】

2 回以上見学した
 1 回見学した
 見学しなかった
 無回答



(6) 都市整備について

問 43 市内の都市基盤の整備に対する満足度をお答えください。《①～⑤それぞれの項目に○1つ》

総合評価は、河川、主要幹線道路、雨水排水、公園、地域の生活道路の順

- ・ 都市基盤の整備に対する満足度については、満足（「満足」と「どちらかといえば満足」の合計）の割合と、不満（「どちらかといえば不満」と「不満」の合計）の割合を比べると、いずれも満足の割合が高くなっています。
- ・ 満足（前述）とする人が多い順に並べると、①主要幹線道路の整備、②地域の生活道路の整備、⑤公園の整備、④雨水排水の整備、③河川の整備となっています。一方、不満（前述）とする人が多い項目は②地域の生活道路の整備、①主要幹線道路の整備、⑤公園の整備となっています。
- ・ 満足と不満の両方からみた総合的な評価（加重平均）の高い順は、③河川の整備、①主要幹線道路の整備、④雨水排水の整備、⑤公園の整備、②地域の生活道路の整備となっています。
- ・ 過去の調査と比較すると、総合評価では、変動はあるものの、⑤公園の整備はマイナス評価が続いていましたが、プラス評価へと転じており、評価があがっています。一方、②地域の生活道路の整備は、マイナス評価が続いています。

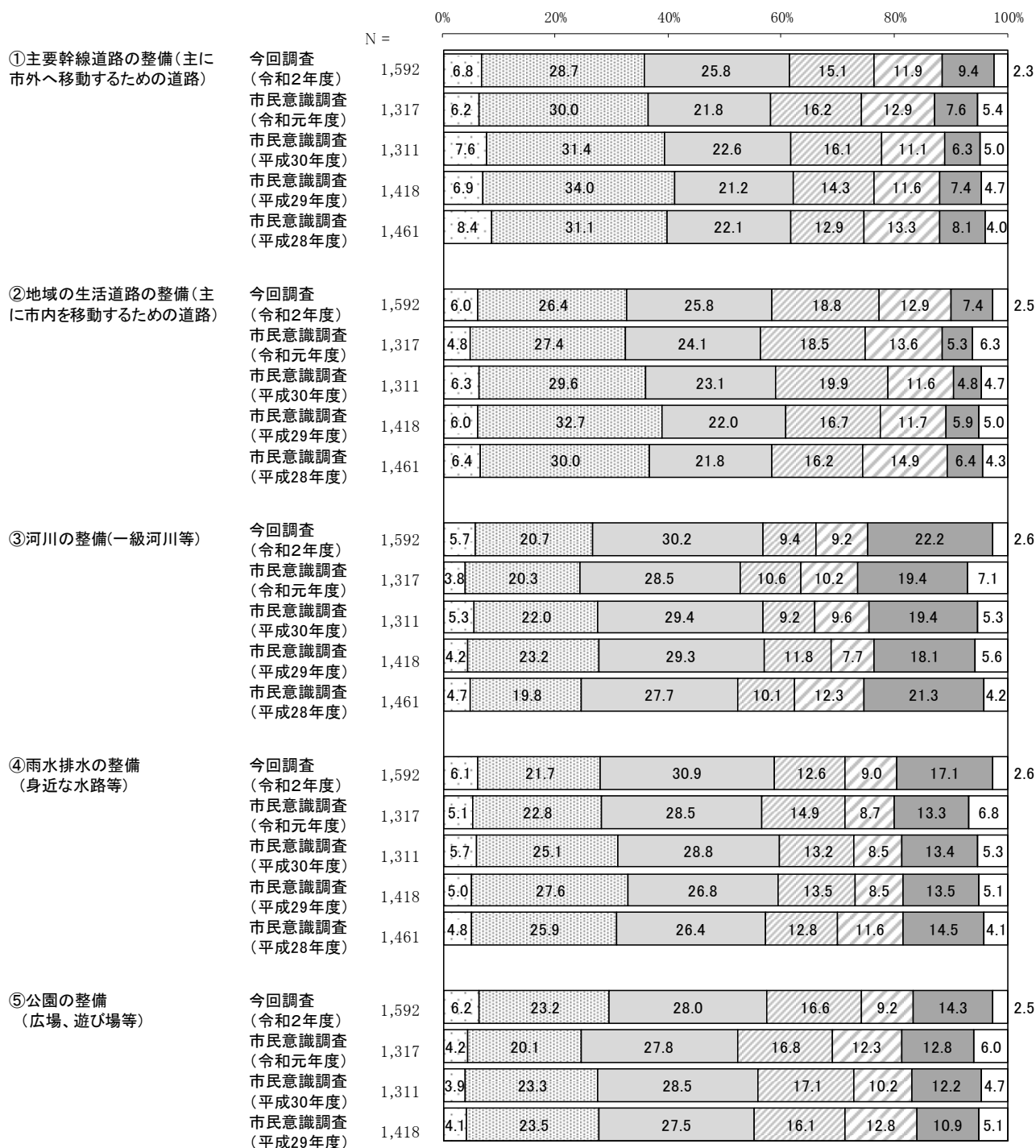
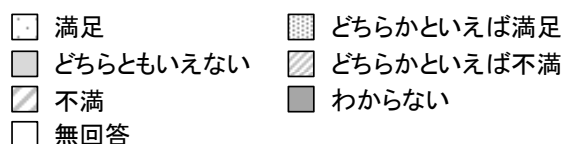
	満足*	不満*	加重平均*
①主要幹線道路の整備(主に市外へ移動するための道路)	35.5% (-0.7)	27.0% (-2.1)	0.033
②地域の生活道路の整備(主に市内を移動するための道路)	32.4% (+0.2)	31.7% (-0.4)	-0.062
③河川の整備(一級河川等)	26.4% (+2.3)	18.6% (-2.2)	0.042
④雨水排水の整備(身近な水路等)	27.8% (-0.1)	21.6% (-2.0)	0.031
⑤公園の整備(広場、遊び場等)	29.4% (+5.1)	25.8% (-3.3)	0.006

* 満足:「満足」と「どちらかといえば満足」の合計

* 不満:「どちらかといえば満足していない」と「満足していない」の合計

* 加重平均:「満足」は+2点、「どちらかといえば満足」は+1点、「どちらかといえば不満」は-1点、「不満」は-2点、「どちらともいえない」と「わからない」は0点として加算し、その平均値を出したもの。値が大きいほど満足度が高く、値が小さいほど満足度が低いといえる。

※満足と不満の()内の数値は令和元年度調査との差を示している。



①主要幹線道路の整備

- ・ 性別では、女性の満足度(加重平均による総合評価、以下同様)が男性より高くなっています(男性はマイナス評価)。
- ・ 年代別では、40歳代までで年齢が若いほど満足度が高く、50～60歳代は年齢が上がるほど満足度が低くなっています(50～60歳代はマイナス評価)。
- ・ 居住地区別では、八日市地区、市辺地区などで満足度が高く、平田地区、愛東地区、御園地区な

どで満足度が低く（マイナス評価）なっています。

②地域の生活道路の整備

- ・ 性別では、女性の満足度が男性より高くなっています（男性はマイナス評価）。
- ・ 年代別では、20歳代までで年齢が若いほど満足度が高く、30歳以上で満足度が低く（マイナス評価）なっています。
- ・ 居住地区別では、建部地区、南部地区で満足度が高く、平田地区、御園地区、愛東地区、市辺地区などで満足度が低く（マイナス評価）なっています。

③河川の整備

- ・ 性別では、女性の満足度が男性より高くなっています（男性はマイナス評価）。
- ・ 年代別では、50歳代までで年齢が若いほど満足度が高い傾向があり、60歳以上で満足度が低く（マイナス評価）なっています。
- ・ 居住地区別では、八日市地区、南部地区で満足度が高く、平田地区、愛東地区などで満足度が低く（マイナス評価）なっています。

④雨水排水の整備

- ・ 性別では、女性の満足度が男性より高くなっています（男女ともにプラス評価）。
- ・ 年代別では、50歳代までで年齢が若いほど満足度が高く、60歳以上で満足度が低く（マイナス評価）なっています。
- ・ 居住地区別では、永源寺地区、八日市地区で満足度が高く、平田地区、中野地区、御園地区などで満足度が低く（マイナス評価）なっています。

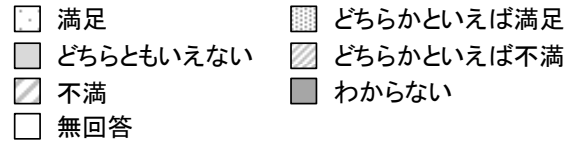
⑤公園の整備

- ・ 性別では、女性の満足度が男性より高くなっています（男性はマイナス評価）。
- ・ 年代別では、10歳代は満足度が高くなっていますが、30歳代と50～60歳代では満足度が低く（マイナス評価）なっています。
- ・ 居住地区別では、湖東地区、五個荘地区で満足度が高く、御園地区、永源寺地区、平田地区などで満足度が低く（マイナス評価）なっています。

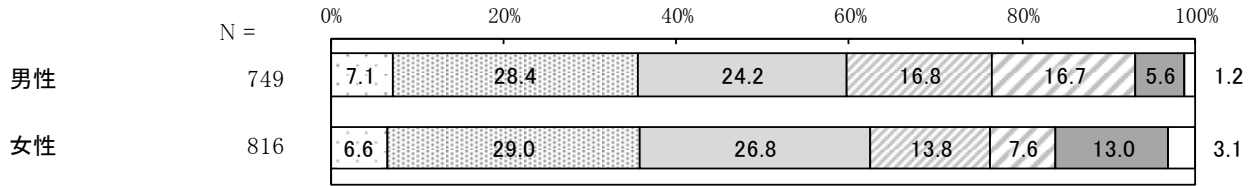
■性別・年代別・居住地区別の比較(加重平均)

	①主要幹線道路	②地域の生活道路	③河川	④雨水排水	⑤公園
全体	0.033	-0.062	0.042	0.031	0.006
男性	-0.076	-0.167	-0.027	0.020	-0.041
女性	0.132	0.029	0.102	0.048	0.048
10歳代	0.431	0.345	0.483	0.379	0.293
20歳代	0.298	0.130	0.282	0.206	0.061
30歳代	0.057	-0.080	0.190	0.080	-0.017
40歳代	0.023	-0.054	0.228	0.054	0.054
50歳代	-0.075	-0.119	0.079	0.040	-0.032
60歳代	-0.140	-0.221	-0.195	-0.047	-0.108
70歳以上	0.108	-0.003	-0.122	-0.066	0.055
平田地区	-0.595	-0.514	-0.378	-0.189	-0.162
市辺地区	0.132	-0.151	0.094	0.038	0.019
玉緒地区	-0.061	0.030	-0.136	-0.091	-0.106
御園地区	-0.108	-0.203	-0.108	-0.149	-0.270
建部地区	0.044	0.244	0.067	-0.089	0.022
中野地区	-0.033	-0.122	0.044	-0.167	0.067
八日市地区	0.148	0.069	0.317	0.138	-0.011
南部地区	0.082	0.192	0.247	-0.014	0.041
永源寺地区	0.036	-0.107	0.000	0.190	-0.167
五個荘地区	0.029	-0.012	0.082	0.105	0.199
愛東地区	-0.109	-0.182	-0.218	-0.109	-0.127
湖東地区	0.121	0.000	0.066	0.077	0.297
能登川地区	0.089	-0.131	-0.052	0.050	0.042
蒲生地区	-0.042	-0.102	0.102	0.036	-0.144

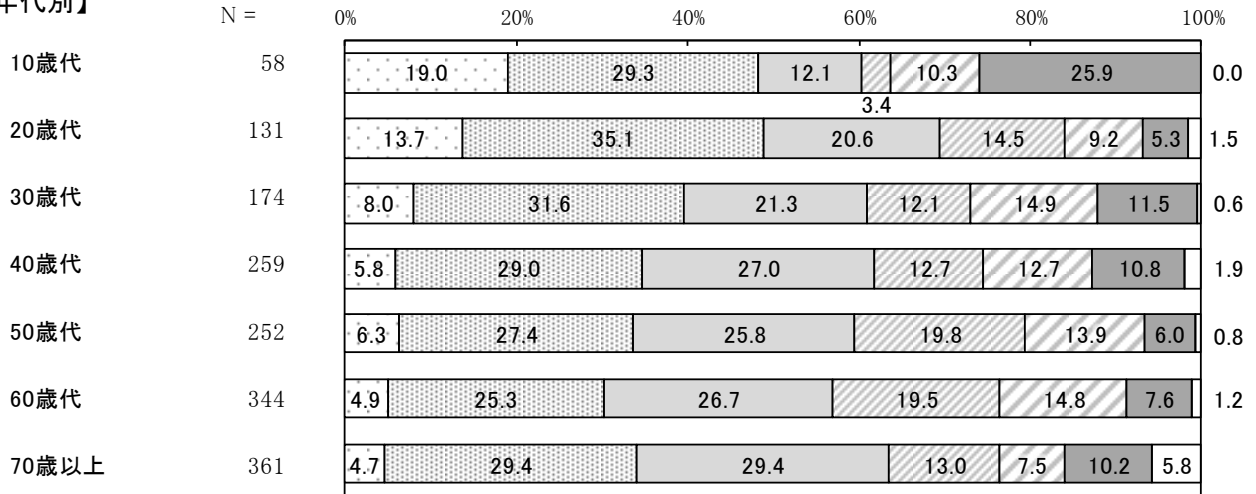
①主要幹線道路の整備(主に市外へ移動するための道路)



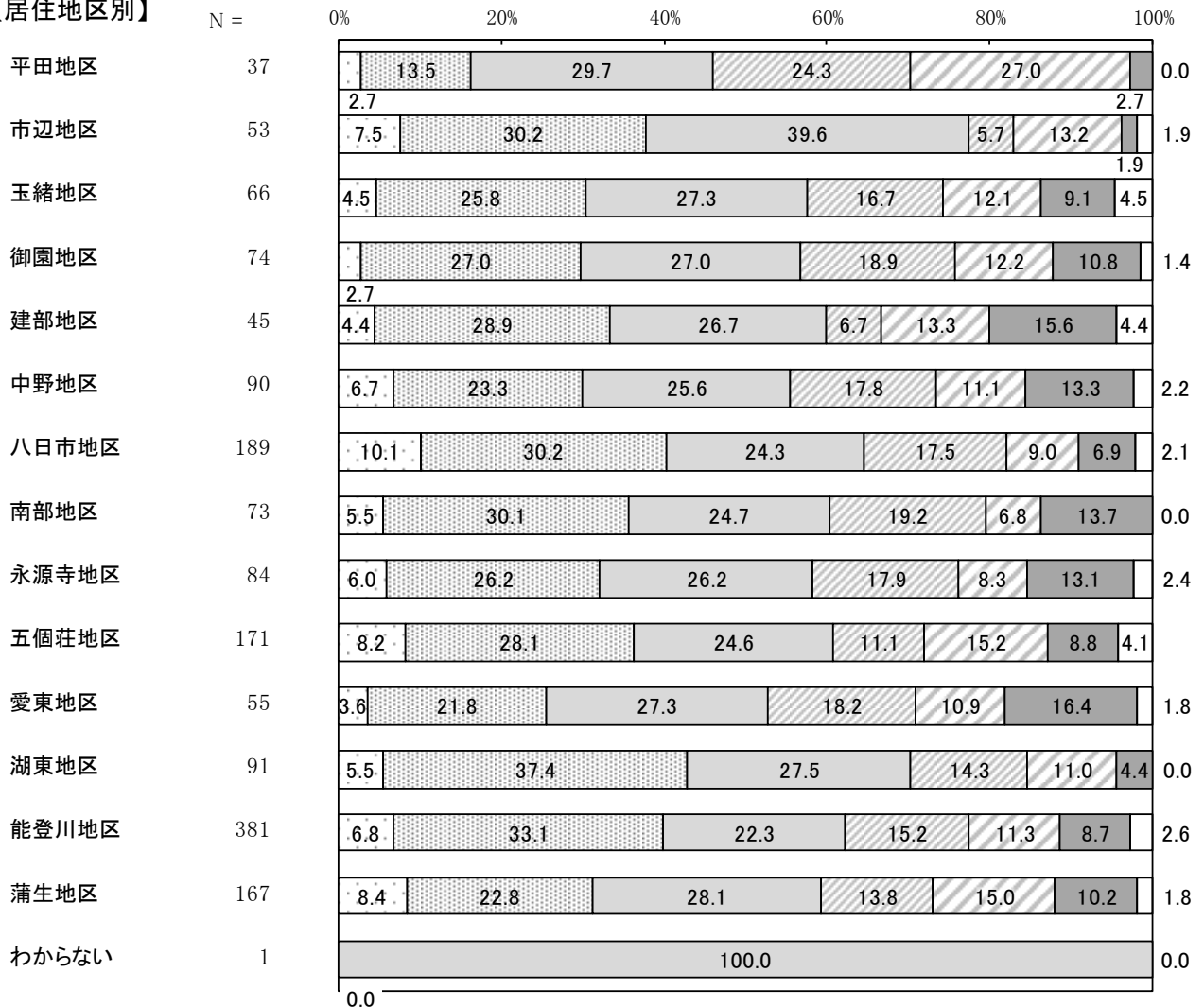
【性別】



【年代別】



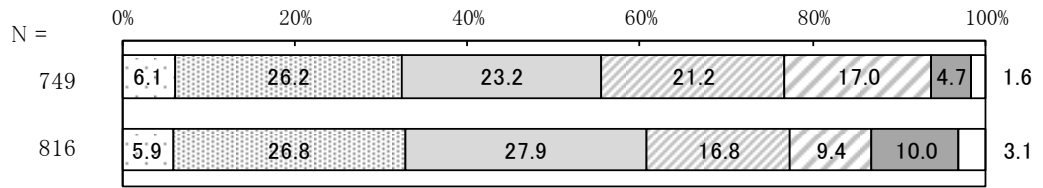
【居住地区別】



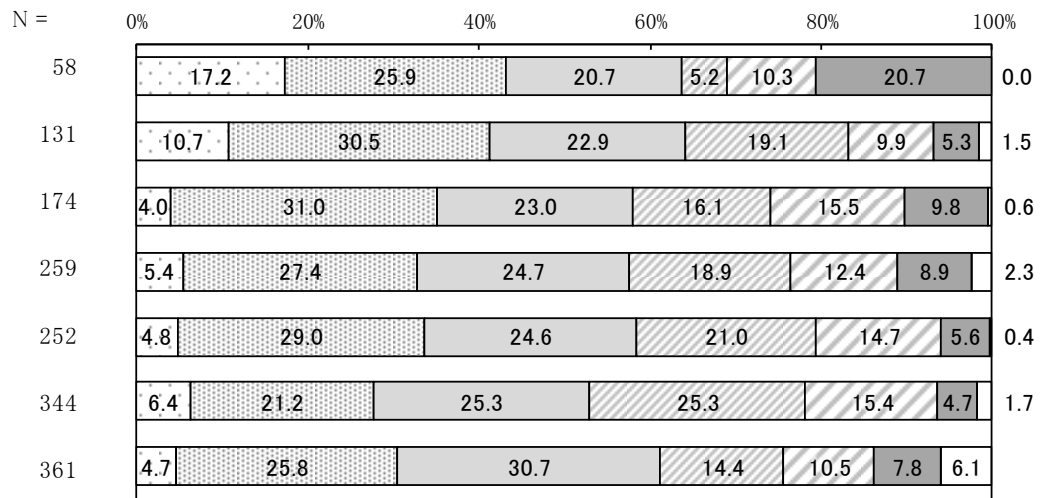
②地域の生活道路の整備(主に市内を移動するための道路)



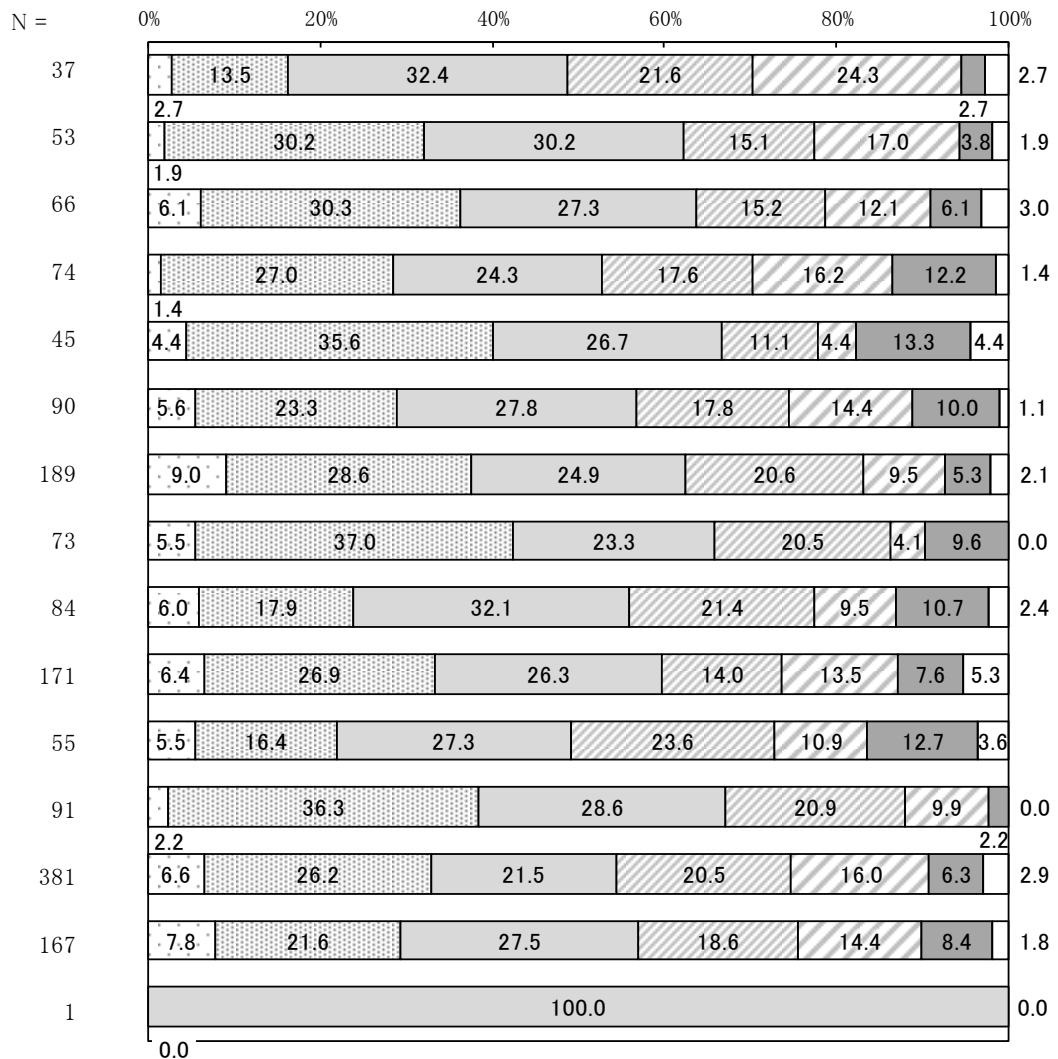
【性別】



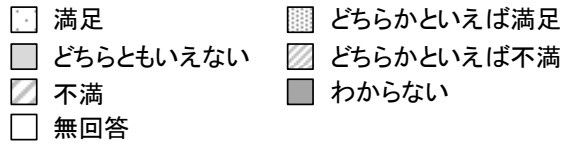
【年代別】



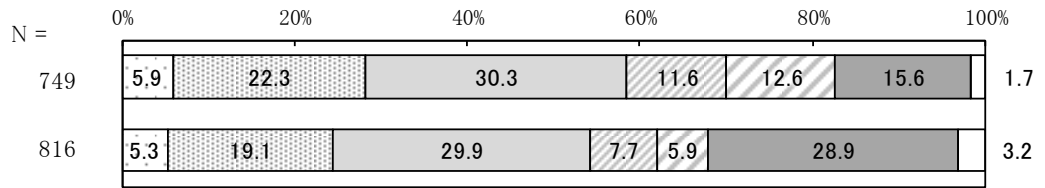
【居住地区別】



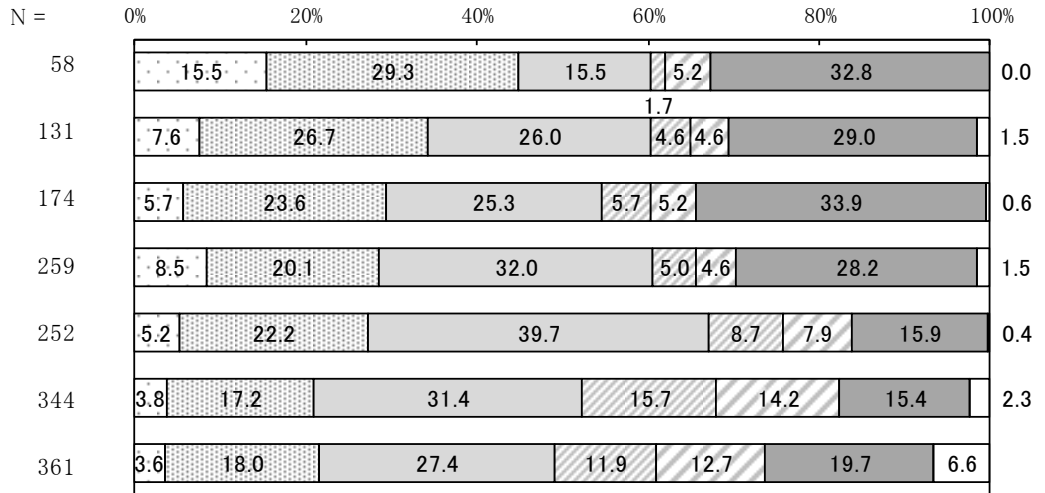
③河川の整備(一級河川等)



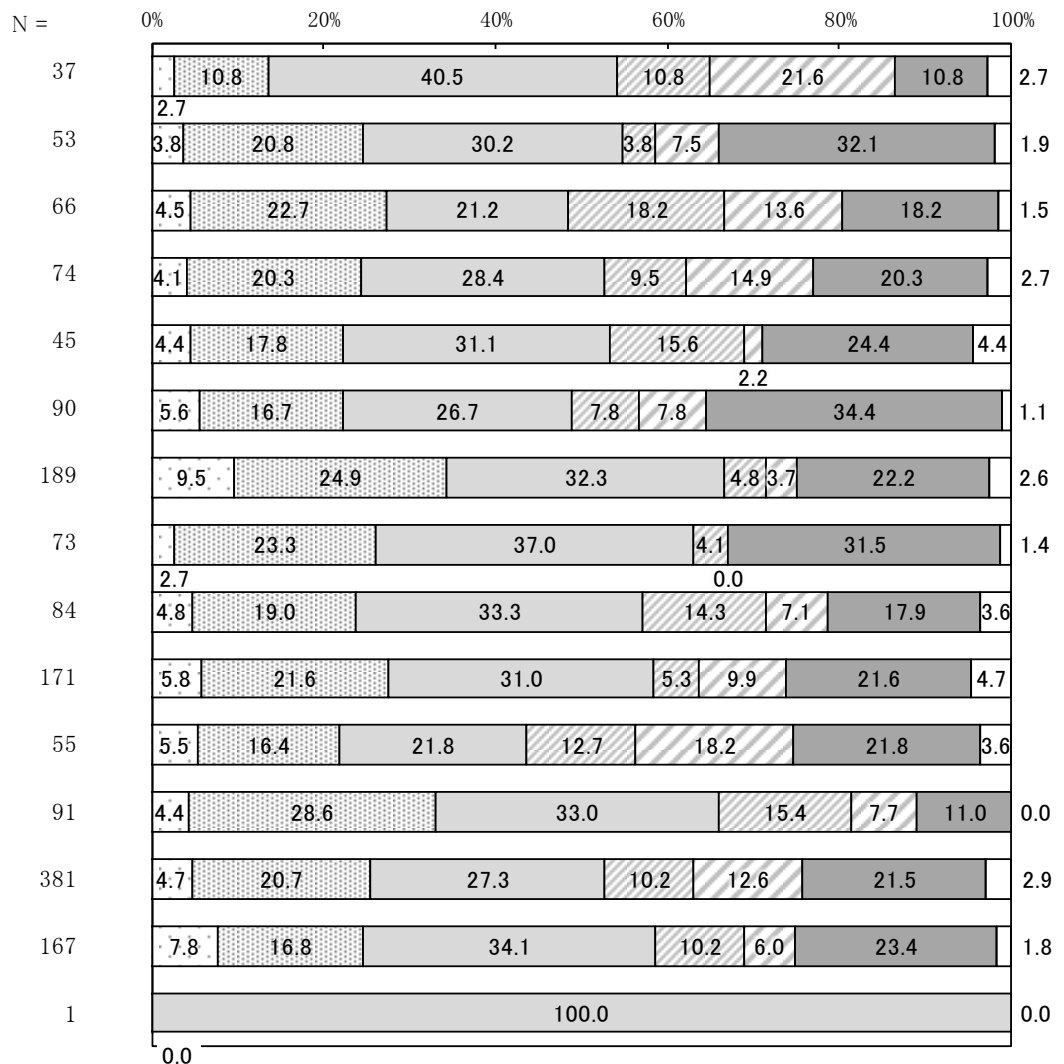
【性別】



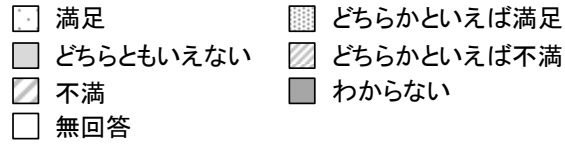
【年代別】



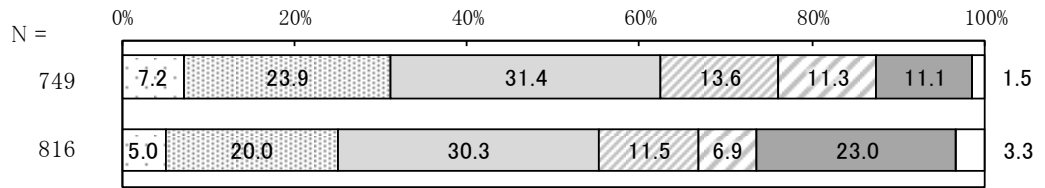
【居住地区別】



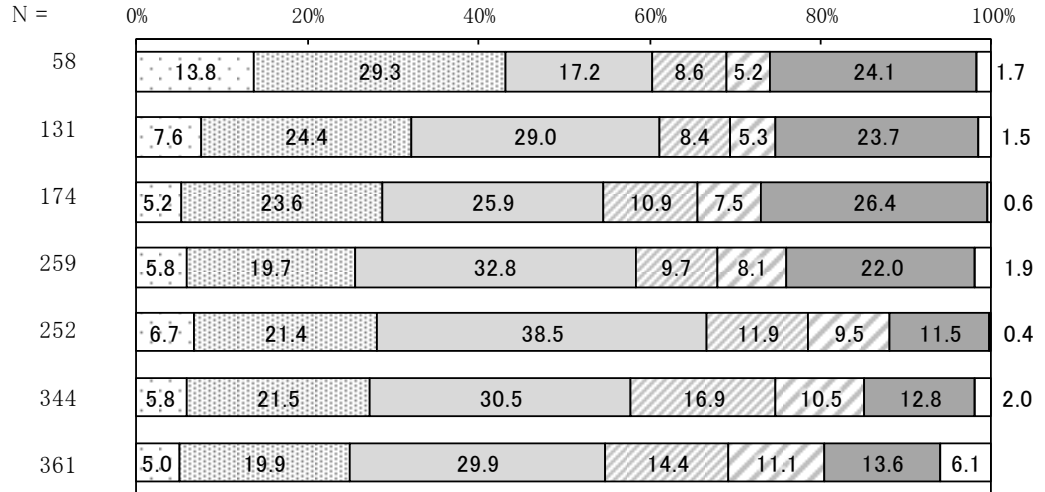
④雨水排水の整備(身近な水路等)



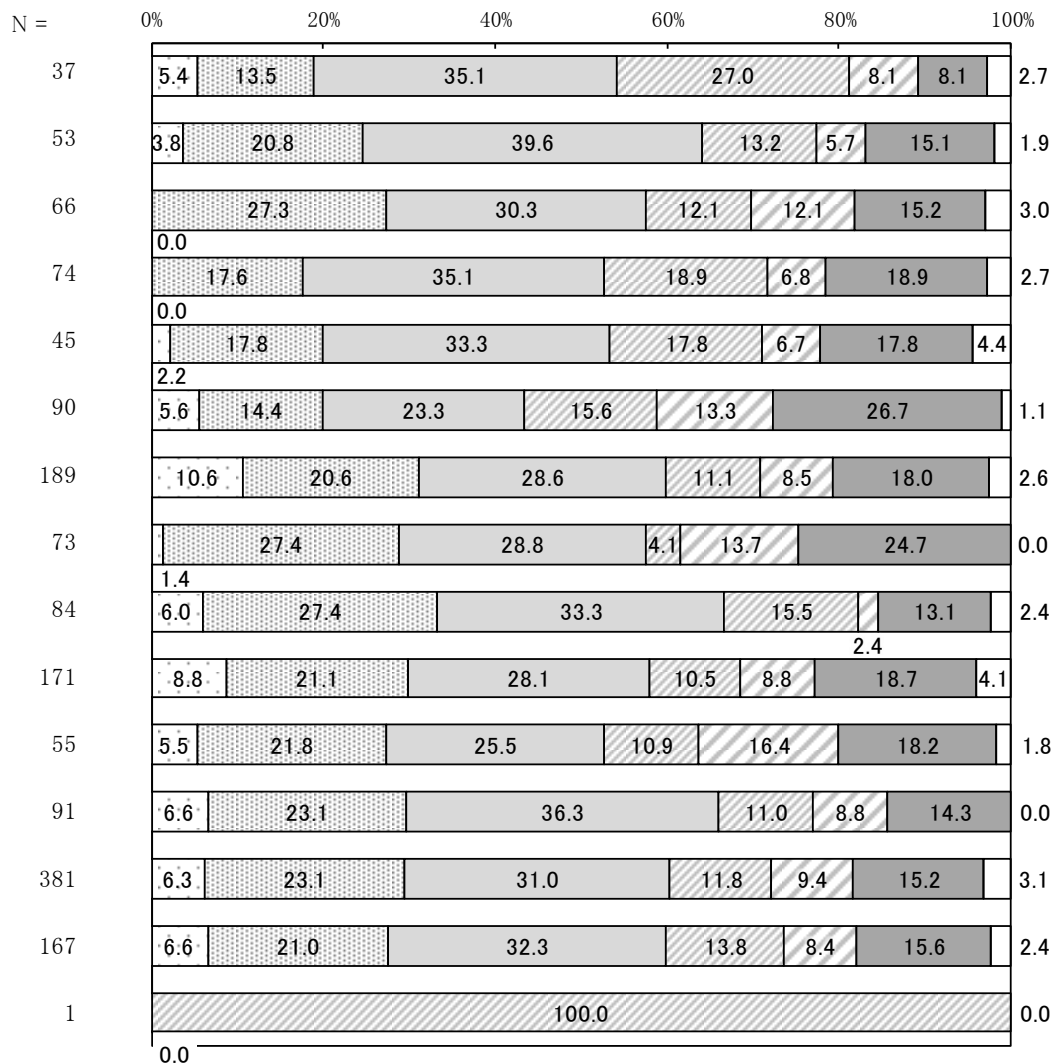
【性別】



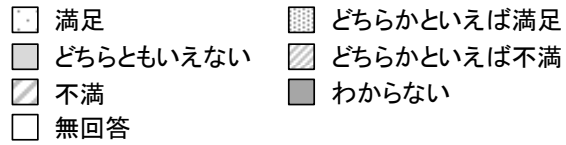
【年代別】



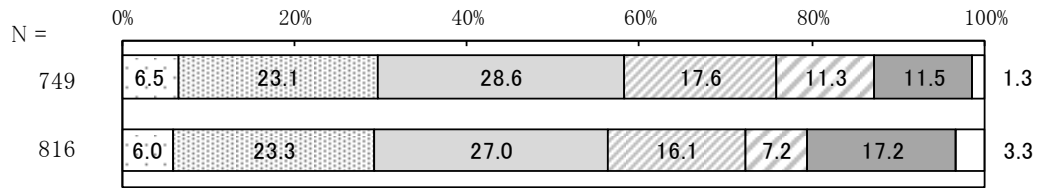
【居住地区別】



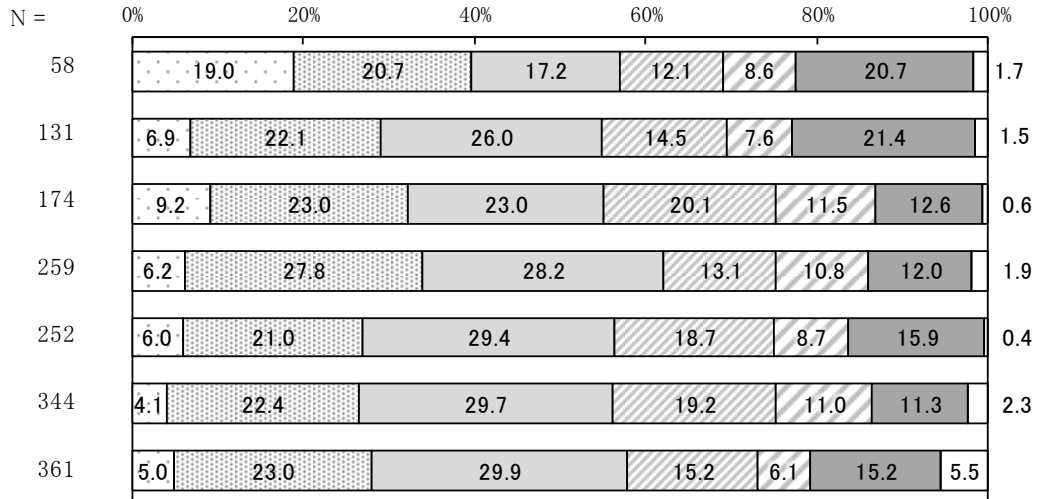
⑤公園の整備(広場、遊び場等)



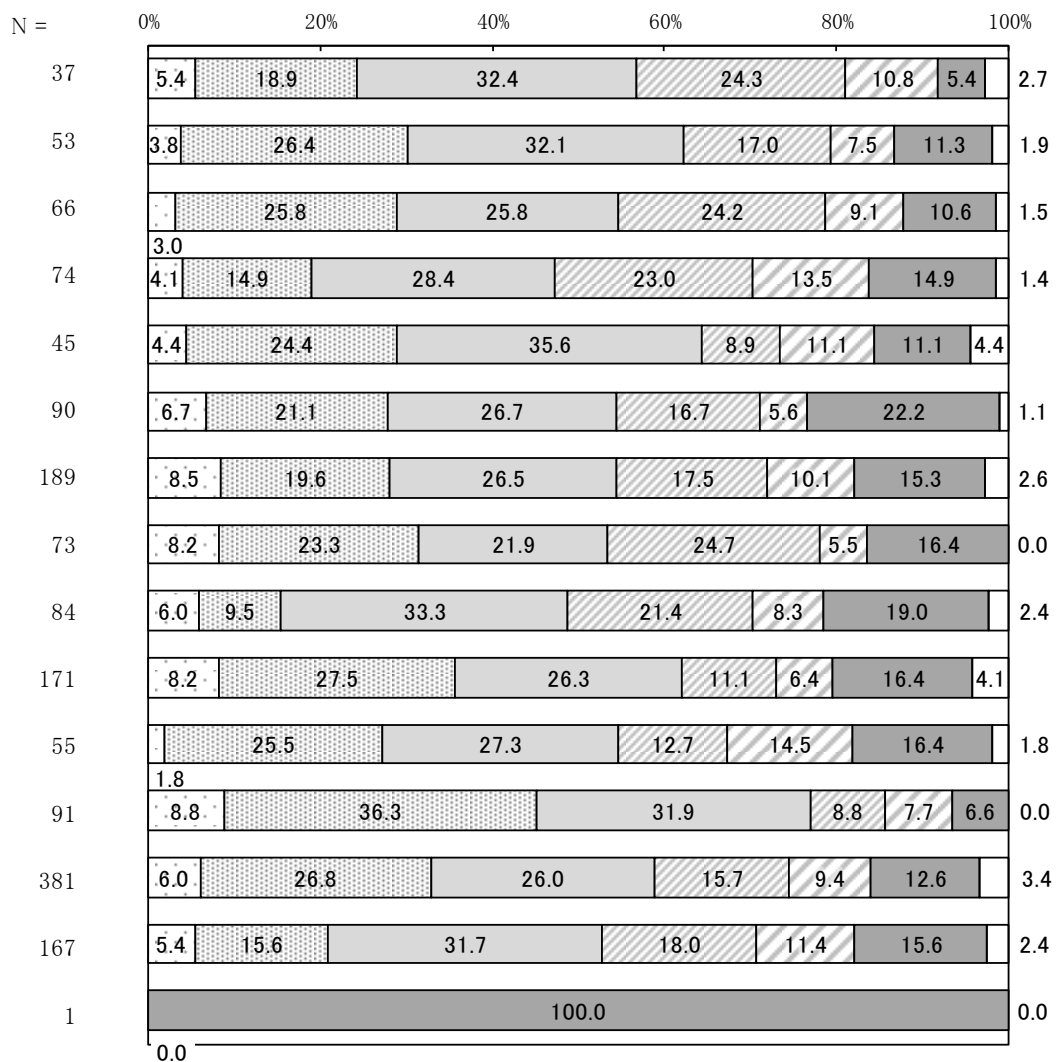
【性別】



【年代別】



【居住地区別】



(7) 購買状況等について

問 44 あなたは、日頃、食品や日用雑貨品、衣料品を主にどこで購入しますか。《①～③それぞれの項目に○1つ》

食品は8割、日用雑貨品は7割が市内で購入、衣料品は半数近くが市外で購入

- 食品、日用雑貨品、衣料品の購入先は、主に「東近江市内」で購入している人が①食品は8割(82.7%)、②日用雑貨品は7割(74.3%)となっています。一方、③衣料品については、半数近く(47.4%)が市外(カタログ通販やネットショッピングを除く)で購入しており、その内訳としては「近江八幡市」が19.0%、「その他県内市町」が15.9%、「県外」が5.7%、「彦根市」が5.3%などとなっています。
- 過去の調査と比較すると、変動があるものの、特に③衣料品の購入先で「市内」の割合が減少しています。また、③衣料品の「ネットショッピング」の割合の増加も注目されます。

単位：%

		全 体	市 内	近江八幡市	彦根市	甲賀市	その他 県内市町	県外	カタログ 通販	ネット ショッピング	その他	無回答
①食品	今回調査 (令和2年度)	1,592	82.7	3.2	2.1	2.2	5.4	0.3	0.4	0.2	0.8	2.8
	市民意識調査 (令和元年度)	1,317	81.5	3.2	2.7	2.2	3.6	0.2	0.5	0.4	1.4	4.3
	市民意識調査 (平成30年度)	1,311	79.8	3.2	2.4	2.6	4.1	0.3	0.5	0.5	0.9	5.6
	市民意識調査 (平成29年度)	1,418	84.1	2.5	2.3	2.0	3.7	0.3	0.4	0.1	0.6	4.1
	市民意識調査 (平成28年度)	1,461	82.3	2.9	1.7	2.3	2.9	0.1	1.2	0.2	0.7	5.7
②日用雑貨品	今回調査 (令和2年度)	1,592	74.3	5.5	2.9	2.4	6.5	0.6	0.5	2.9	0.6	3.8
	市民意識調査 (令和元年度)	1,317	73.3	6.2	2.9	1.7	6.1	0.4	0.4	3.0	1.1	5.1
	市民意識調査 (平成30年度)	1,311	70.9	5.9	4.0	2.9	5.3	1.1	0.4	2.2	0.8	6.5
	市民意識調査 (平成29年度)	1,418	76.1	6.1	3.7	2.1	4.7	0.6	0.4	1.1	0.6	4.6
	市民意識調査 (平成28年度)	1,461	74.5	6.0	2.9	2.0	4.7	0.8	0.9	1.6	0.4	6.4
③衣料品	今回調査 (令和2年度)	1,592	35.5	19.0	5.3	1.5	15.9	5.7	2.6	8.5	1.1	4.9
	市民意識調査 (令和元年度)	1,317	36.6	14.2	6.2	1.7	16.7	6.9	2.6	6.1	1.9	7.1
	市民意識調査 (平成30年度)	1,311	39.8	14.6	4.9	2.1	14.1	6.0	2.7	4.9	1.1	9.7
	市民意識調査 (平成29年度)	1,418	42.7	15.7	6.0	1.6	14.6	6.7	2.0	4.2	1.0	5.5
	市民意識調査 (平成28年度)	1,461	41.1	15.1	4.9	1.6	14.6	7.4	2.9	3.6	1.2	7.6

①食品

- 性別、年代別、居住地区別のいずれも、すべて「市内」が最も多くなっています。
- 年代別では、市内で購入している人の割合が、70歳以上で9割近く、40歳代までで8割となっています。
- 居住地区別では、市内で購入している人の割合が、南部地区、玉緒地区、八日市地区、愛東地区、中野地区で9割以上となっています。そのほか、平田地区で「近江八幡市」が、蒲生地区で「甲賀市」が、湖東地区で「その他県内市町」が、ほかの地区より多くみられます。

②日用雑貨品

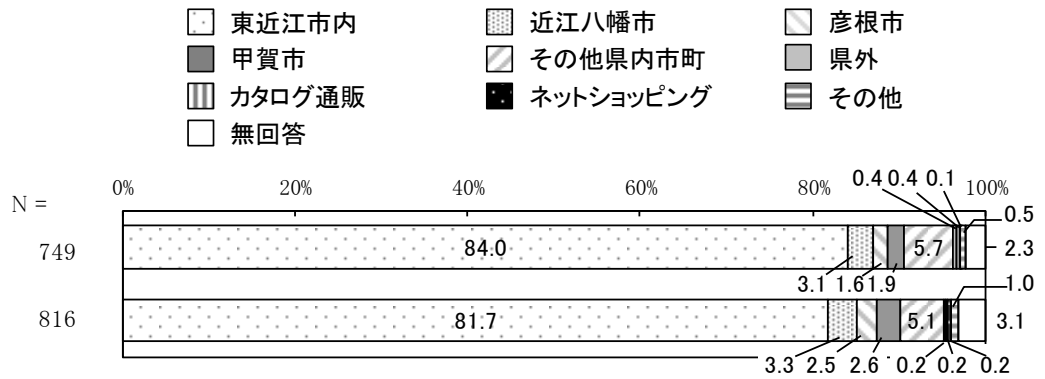
- ・ 性別、年代別、居住地区別のいずれも、すべて「市内」が最も多くなっています。
- ・ 年代別では、市内で購入している人の割合が、40歳代と60歳以上は8割前後となっています。そのほか、10～20歳代で「近江八幡市」が、50歳代で「その他県内市町」がほかの年代より多くみられます。
- ・ 居住地区別では、市内で購入している人の割合が、玉緒地区、南部地区、愛東地区で9割近くとなっています。そのほか、平田地区で「近江八幡市」が、蒲生地区で「甲賀市」が、湖東地区で「その他県内市町」が、ほかの地区より多くみられます。

③衣料品

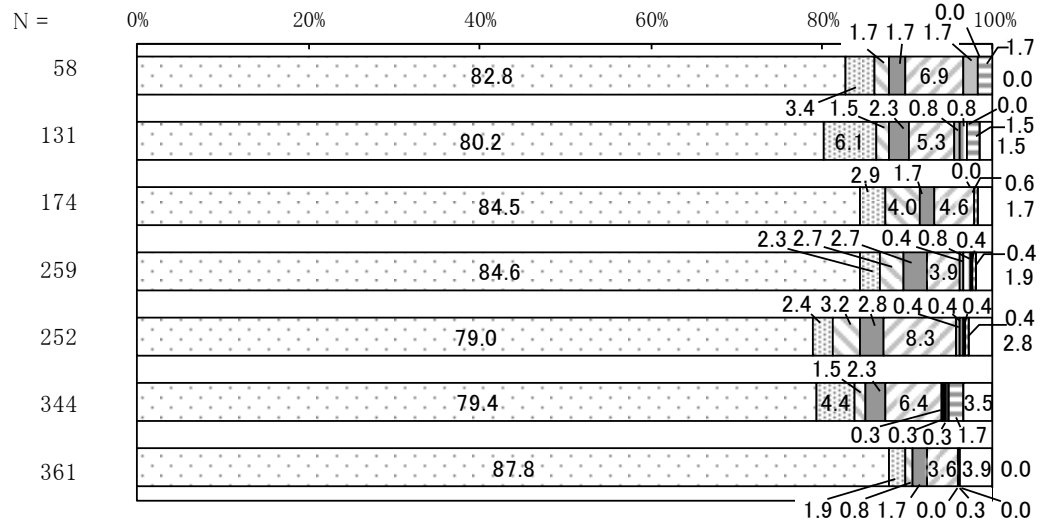
- ・ 年代別では、10歳代と30歳代で「近江八幡市」が、40歳代で「その他県内市町」が、そのほかの年代は「市内」が最も多くなっています。30歳以上で年齢が上がるほど市内の割合が高くなる傾向があり、70歳以上は6割となっています。
- ・ 居住地区別では、平田地区で「近江八幡市」が、蒲生地区で「その他県内市町」が、そのほかの地区で「市内」が最も多くなっています。そのほか、湖東地区でも「その他県内市町」が、能登川地区で「彦根市」が、永源寺地区で「県外」と「ネットショッピング」がほかの地区より多くみられます。

①食品

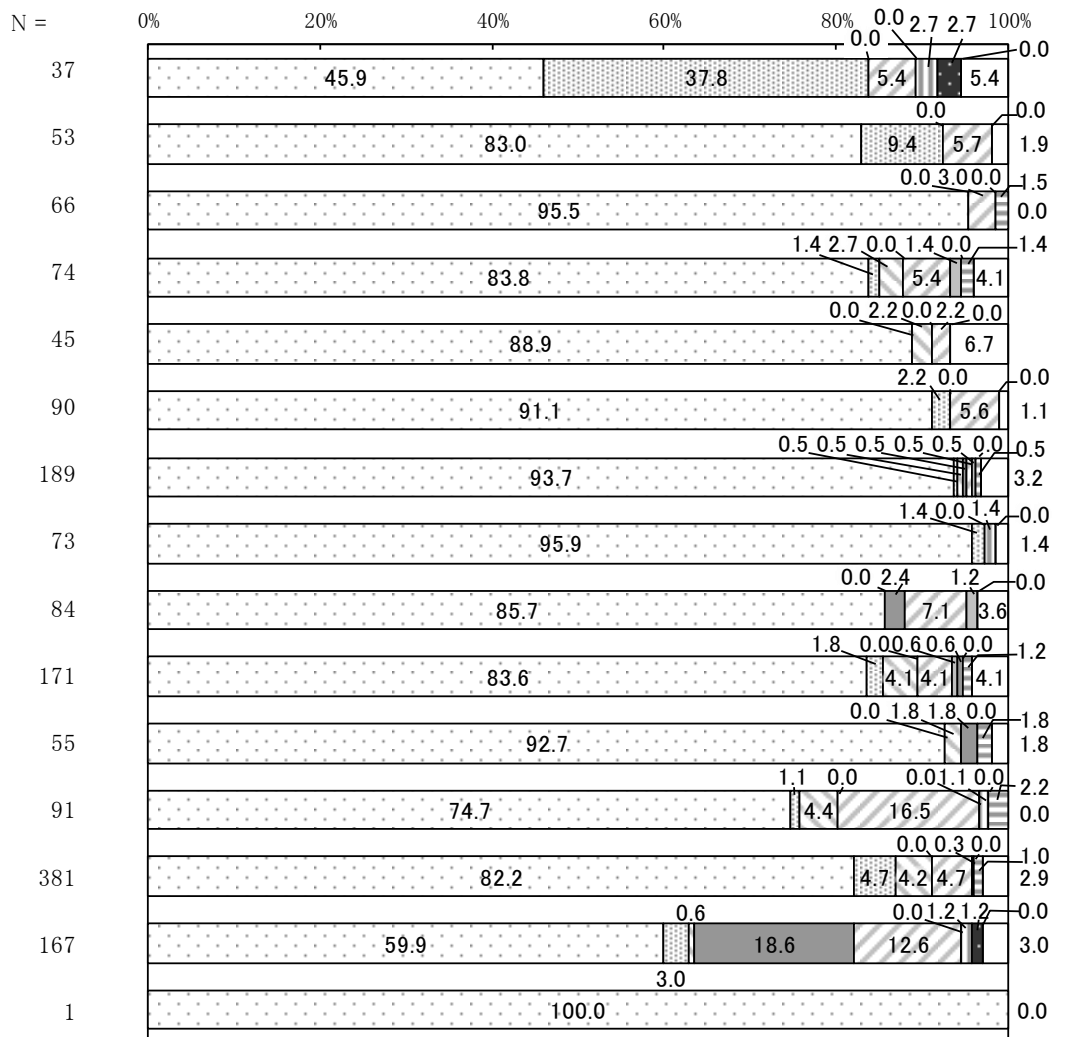
【性別】



【年代別】

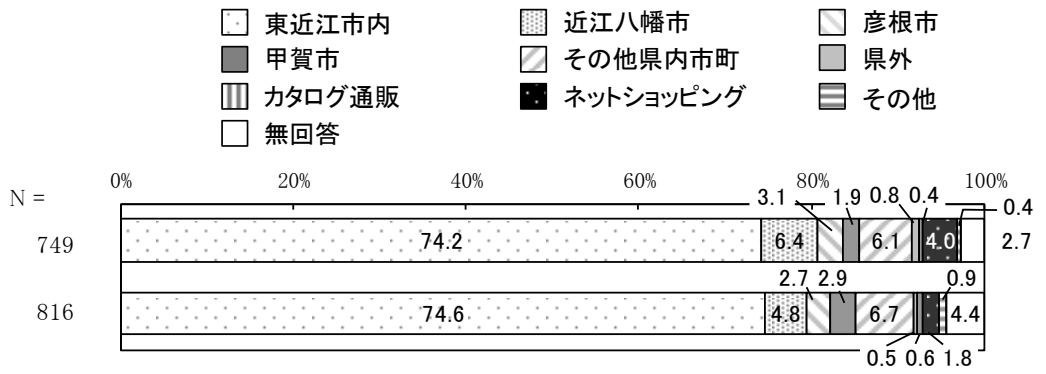


【居住地区別】

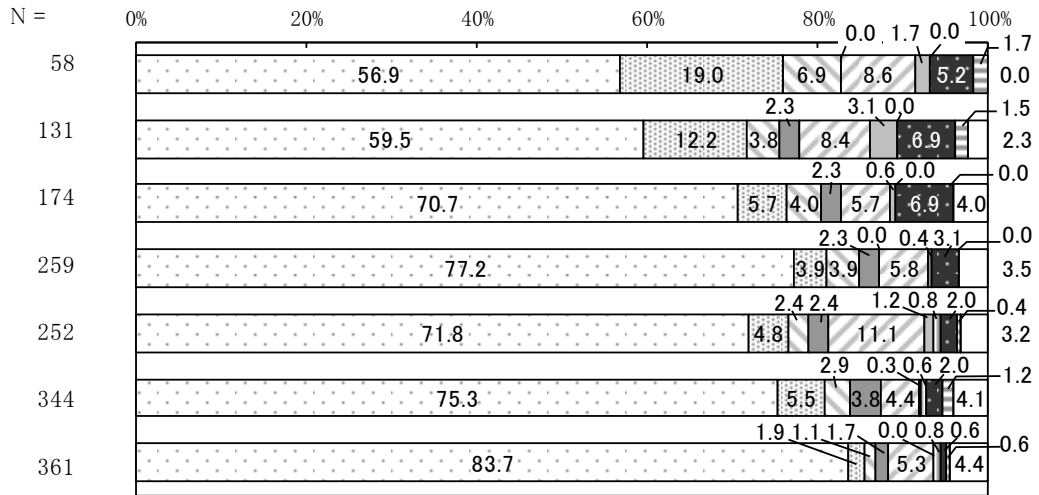


②日用雑貨品

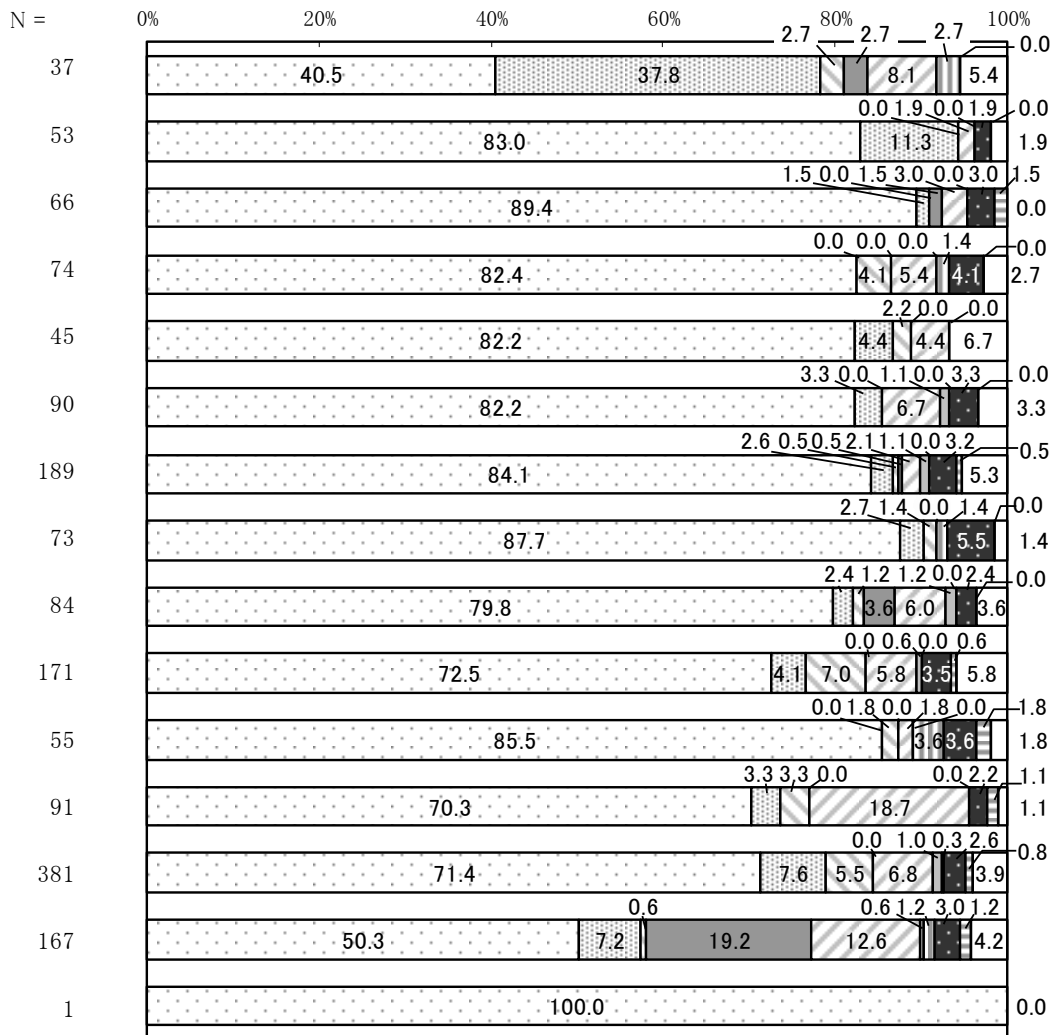
【性別】



【年代別】

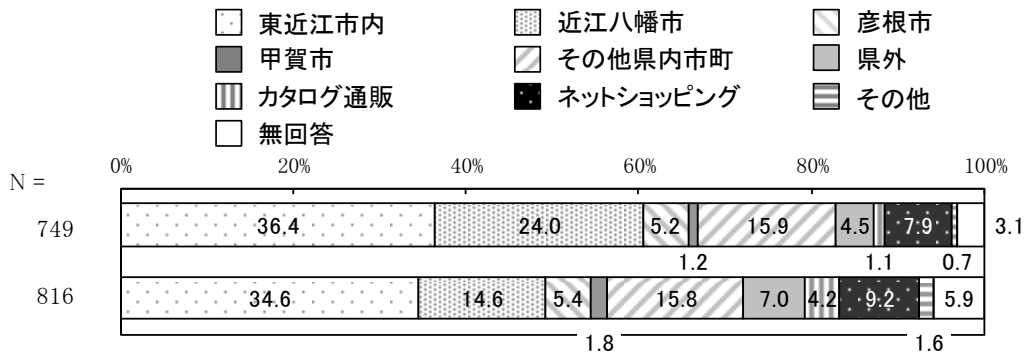


【居住地区別】

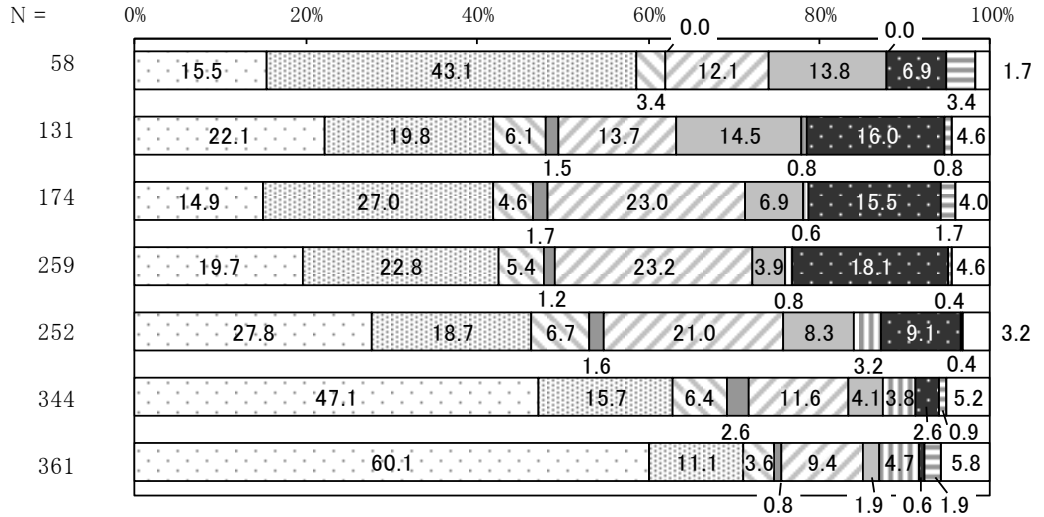


③衣料品

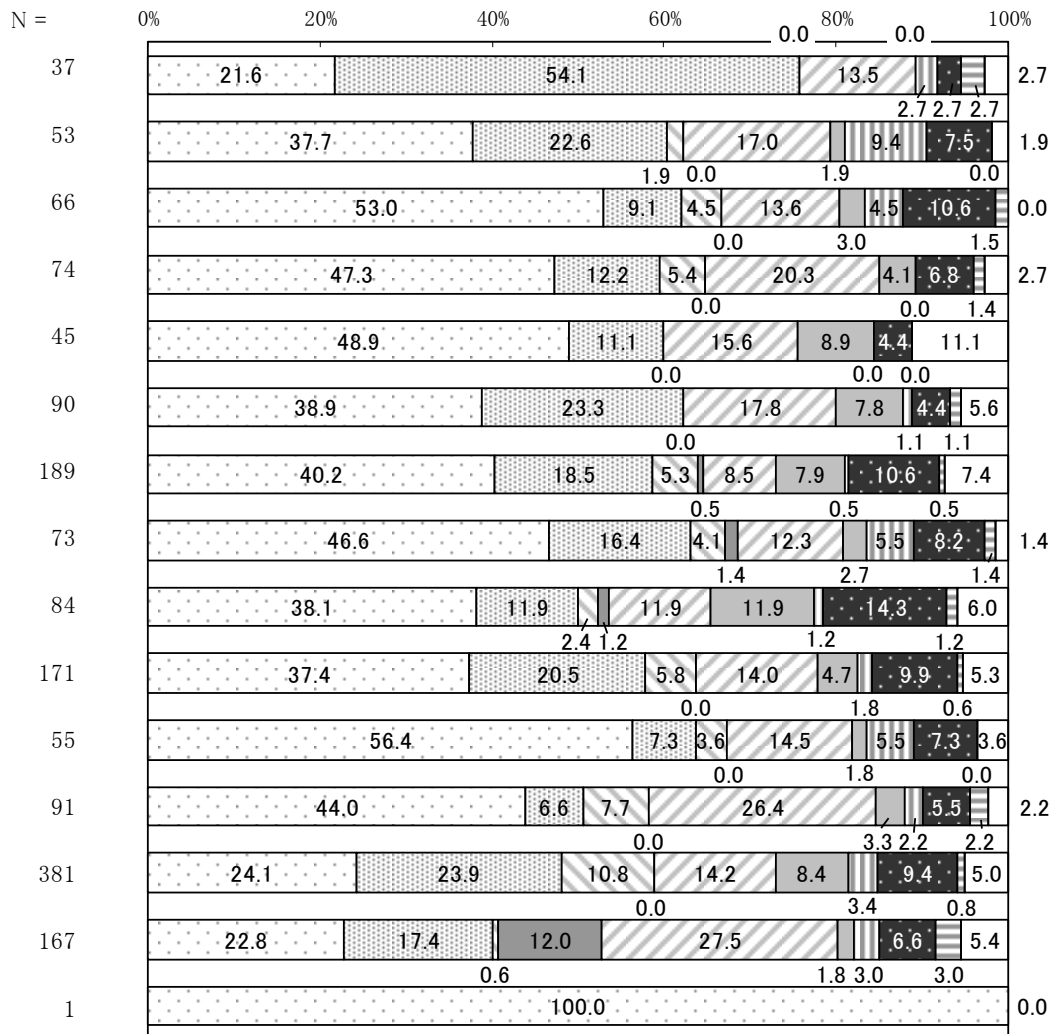
【性別】



【年代別】



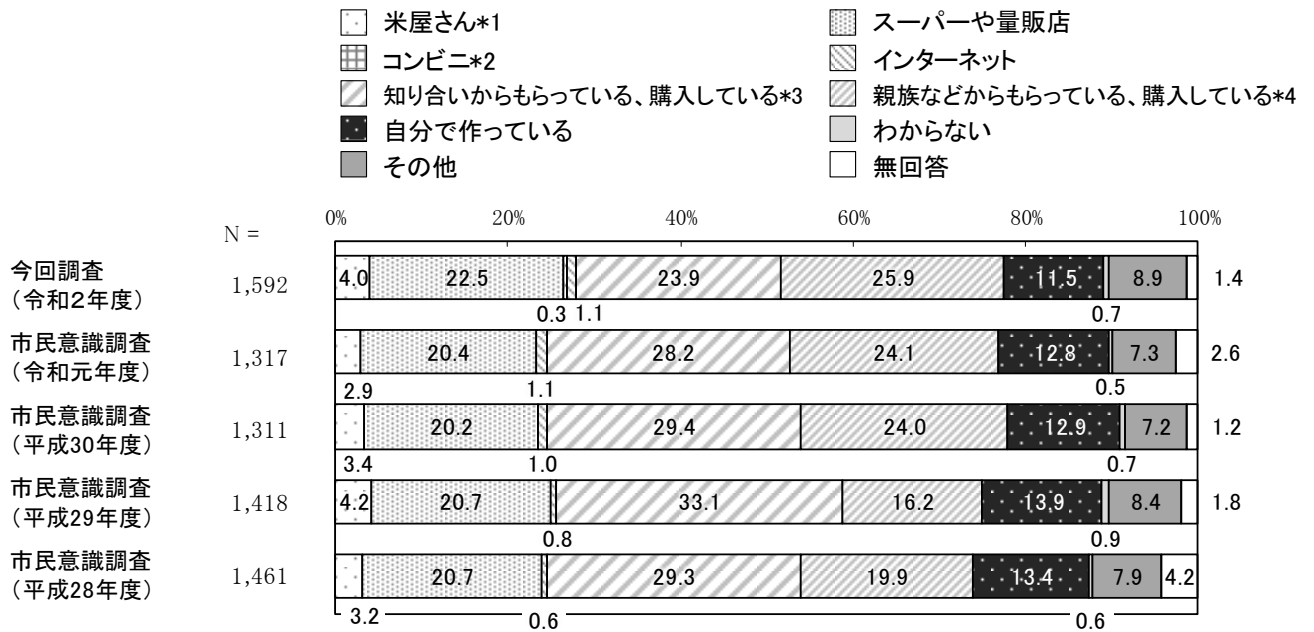
【居住地区別】



問 45 あなたの家庭では、お米を主にどこから購入等していますか。《○1つ》

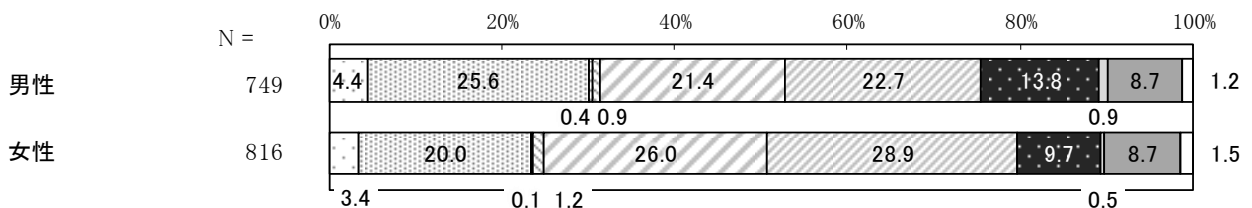
米の購入先は、親族、知り合い、スーパーや量販店の順

- ・ 米の購入先については、「親族などからもらっている、購入している」が25.9%で最も多く、次いで「知り合いからもらっている、購入している」が23.9%、「スーパーや量販店」が22.5%と続きます。「自分で作っている」は11.5%と1割程度です。
- ・ 性別では、男性は「スーパーや量販店」が、女性は「親族などからもらっている、購入している」が最も多くなっています。
- ・ 年代別では、10～40歳代で「親族などからもらっている、購入している」が、50歳代で「スーパーや量販店」が、60歳以上で「知り合いからもらっている、購入している」が最も多くあげられています。
- ・ 居住地区別では、八日市地区で「スーパーや量販店」が、中野地区、永源寺地区、蒲生地区、建部地区、能登川地区で「親族などからもらっている、購入している」が、愛東地区、平田地区で「自分で作っている」が、そのほかの地区で「知り合いからもらっている、購入している」が最も多くあげられています。

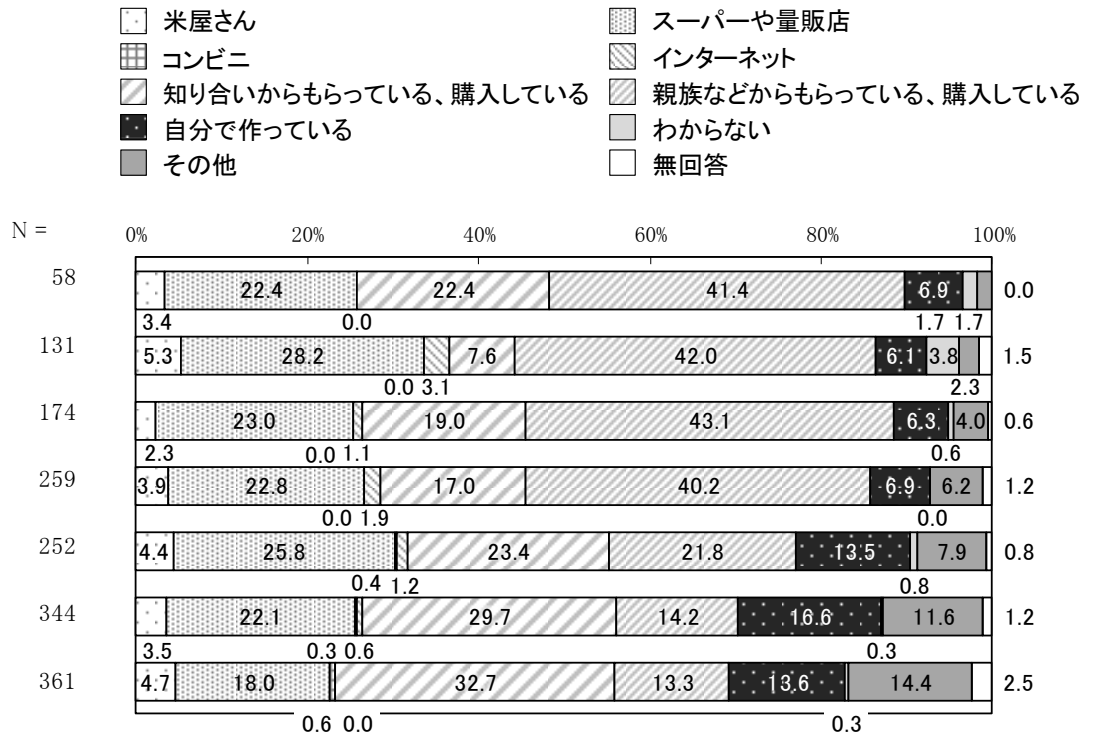


*1 平成28年度は「街のお米屋さん」、平成29年度は「お米屋さん」
 *2 令和2年度から追加
 *3 平成29年度までは「知り合いなどから購入している」、令和元年度までは「知り合いから購入している」
 *4 平成29年度までは「親戚などから貰っている」、令和元年度までは「親戚などからもらっている、購入している」

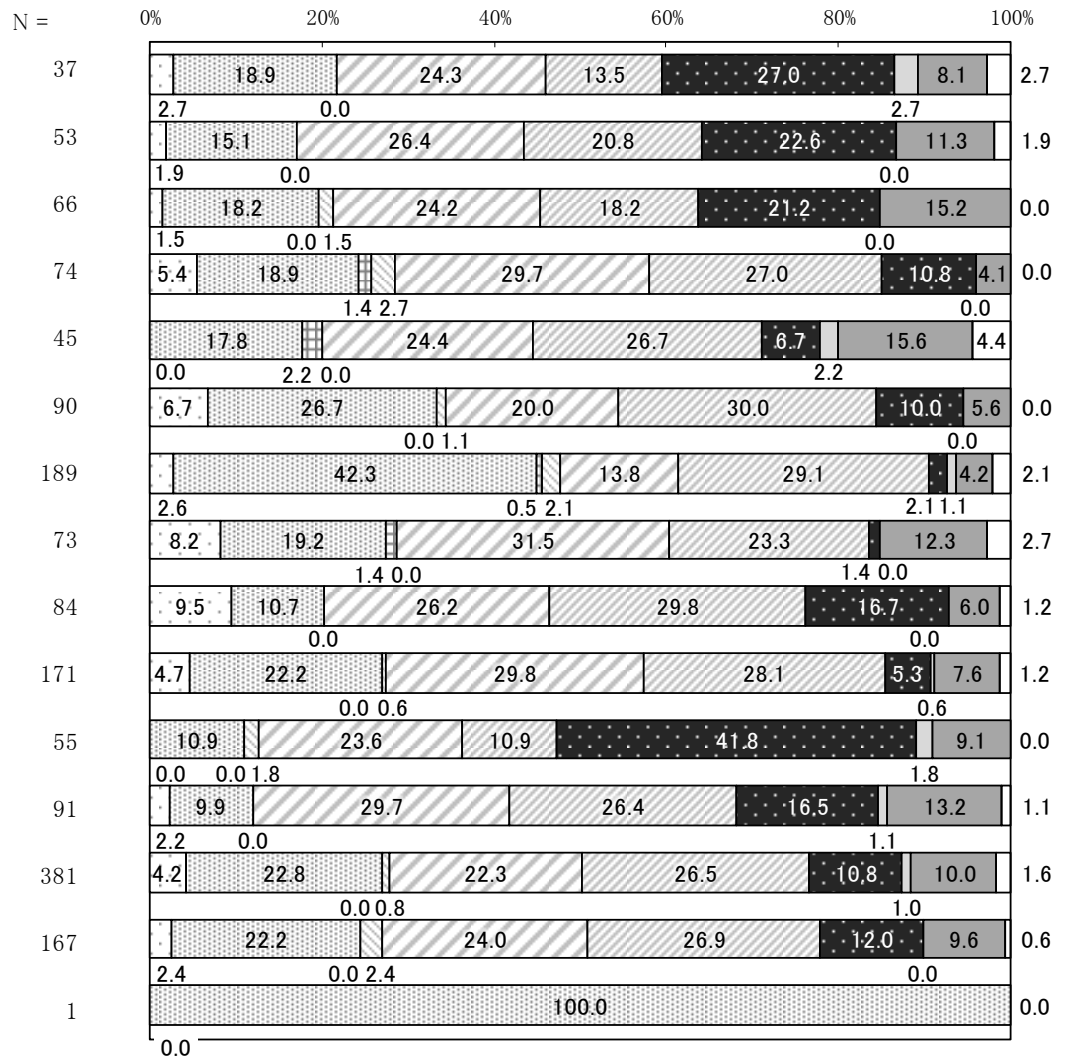
【性別】



【年代別】



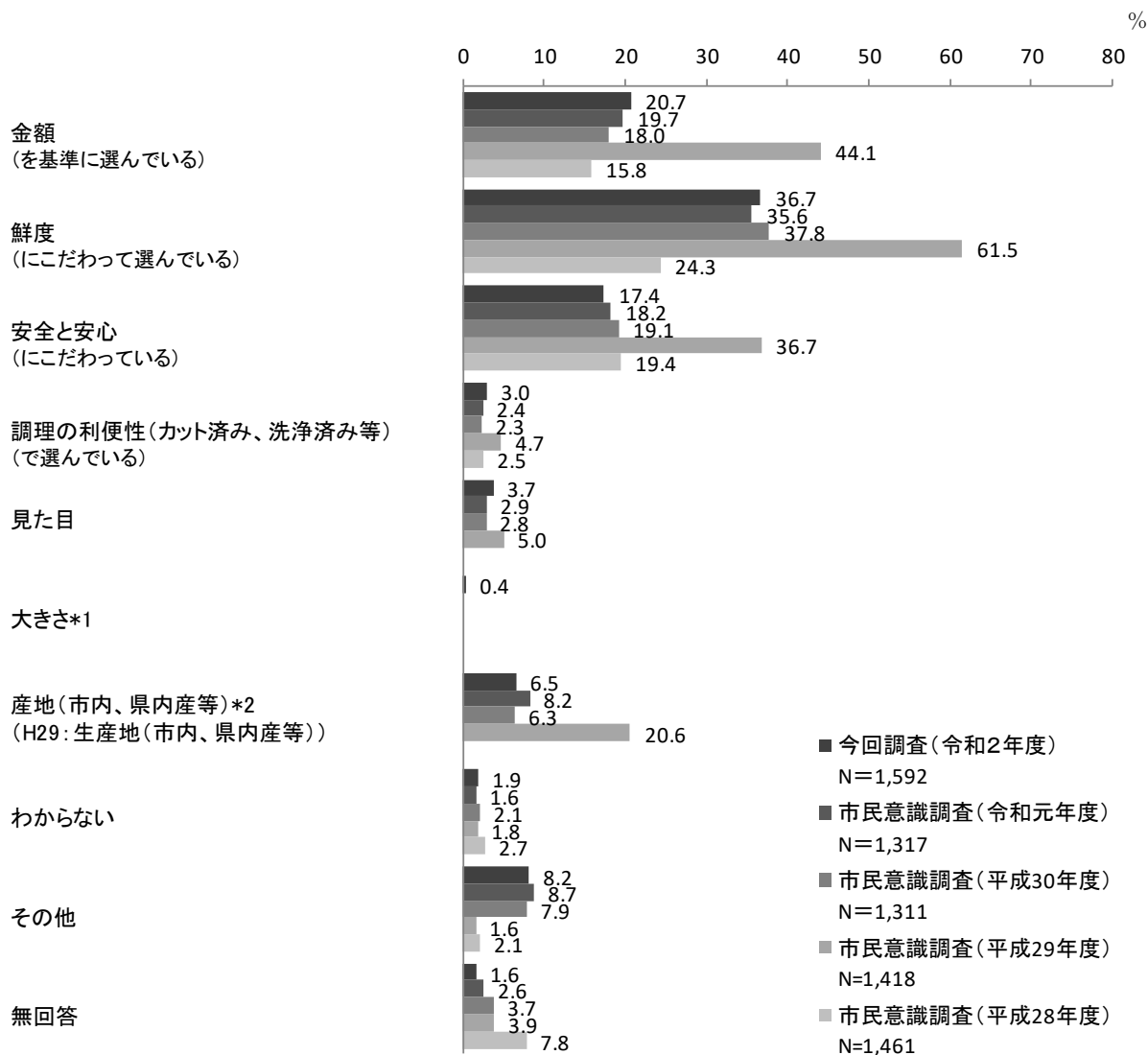
【居住地区別】



問 46 あなたの家庭では野菜等を購入するとき、主に何を基準に選んでいますか。(自作している方も不足する野菜を購入する場合)《○1つ》

野菜等を購入する際の基準は「鮮度」、「金額」、「安全と安心」

- ・ 野菜等を購入する際の基準としては、「鮮度」が36.7%と最も多く、次いで「金額」が20.7%、「安全と安心」が17.4%と続きます。調理の利便性や見た目より、これらが重視されていることがわかります。
- ・ 性別では、男女ともに「鮮度」が最も多くあげられていますが、男性より女性で多くなっています。
- ・ 年代別では、30歳代までは「金額」が、40歳以上は「鮮度」が最も多くあげられています。「金額」については、年齢が若いほど重要な基準となっていることがわかります。
- ・ 居住地区別では、すべての地区で「鮮度」が最も多くなっていますが、御園地区で「金額」が、平田地区、愛東地区、湖東地区で「安全と安心」が、南部地区で「産地（市内、県内産等）」が、ほかの地区より多くみられます。



*1 今回調査で「大きさ」を追加

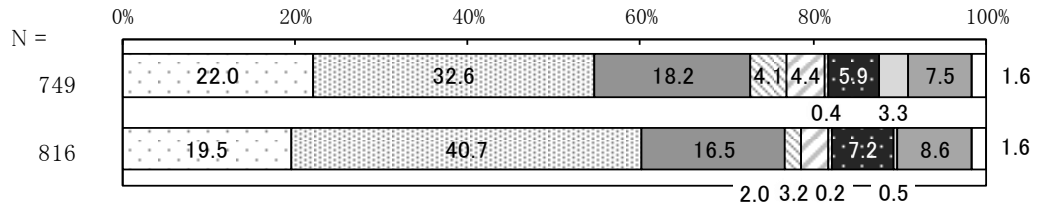
*2 平成29年度以降「見た目」と「産地」を追加

※平成29年度のみ2つ選択

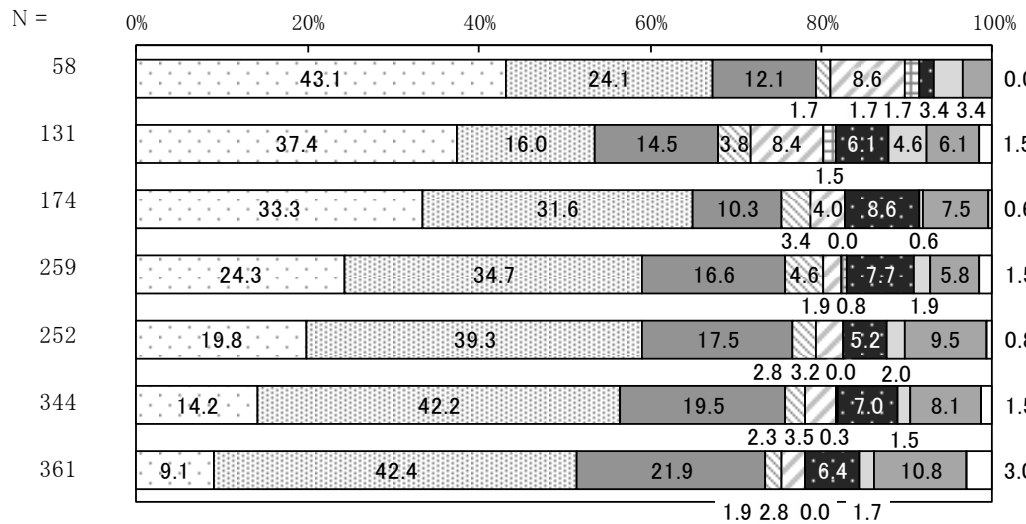
※()が平成28年度調査の選択肢。選択肢が類似のものだけ比較している。



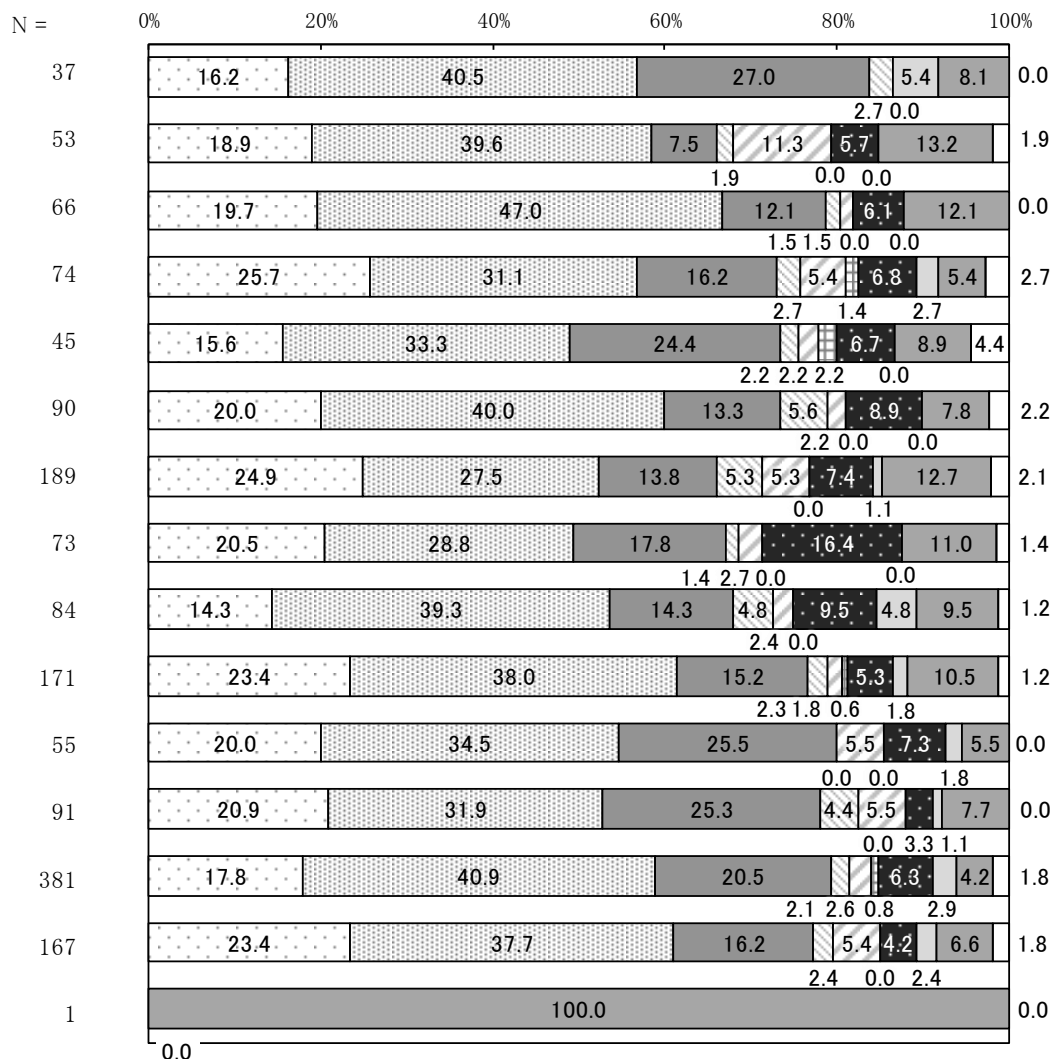
【性別】



【年代別】



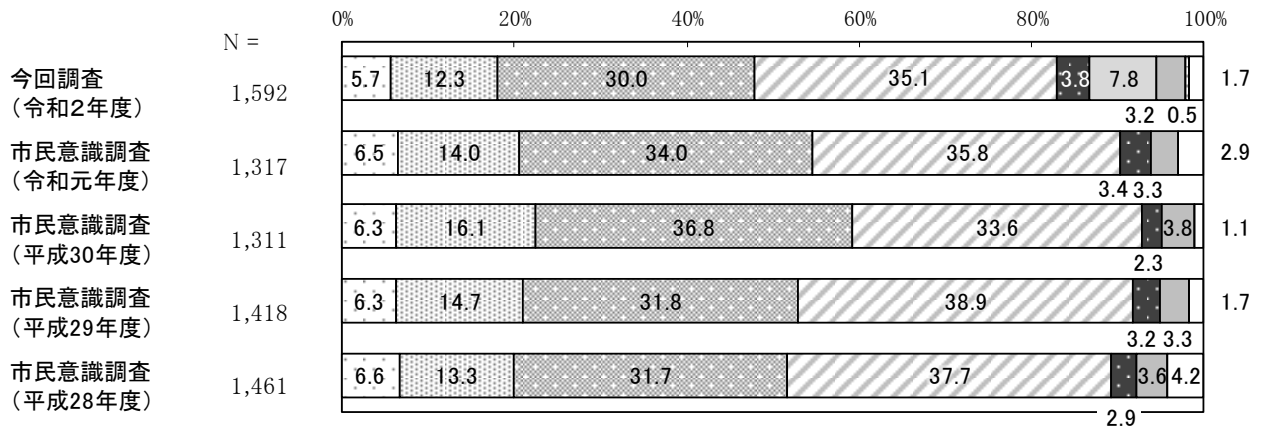
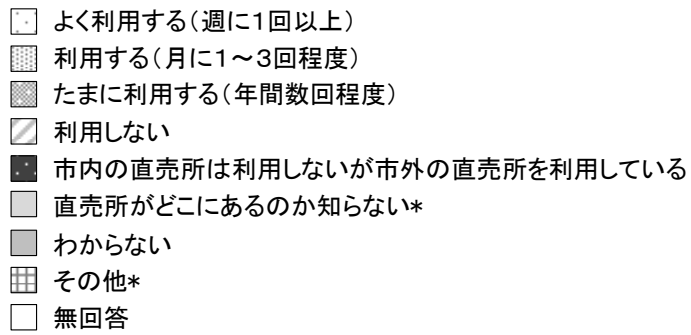
【居住地区別】



問 47 あなたの家庭では、市内の農産物直売所（青空市、無人販売所を含む）を利用しますか。
《○1つ》

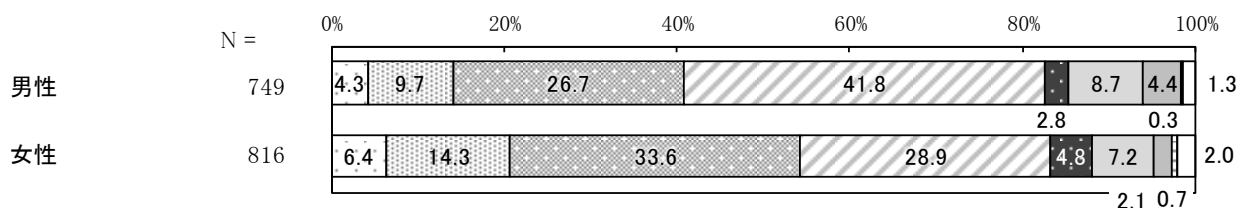
半数近くが市内の直売所を利用、年数回程度の利用が最も多い

- ・ 市内の農産物直売所の利用状況については、「利用しない」が35.1%と最も多く、次いで「たまに利用する（年間数回程度）」が30.0%、「利用する（月に1～3回程度）」が12.3%、「よく利用する（週に1回以上）」が5.7%と続きます。利用している人の合計は48.0%と半数近くみられ、市外も含めると農産物直売所の利用率は51.8%になります。
- ・ 一方、「直売所がどこにあるのか知らない」と回答した人は7.8%と1割近くみられます。
- ・ 性別では女性で、年代別では60歳以上で利用している人が多くみられます。一方、男性と10～20歳代は、「利用しない」人が利用している人より多くみられます。
- ・ 居住地区別では、利用する人が愛東地区で7割、湖東地区で6割となっています。一方、蒲生地区では「利用しない」人が利用している人よりも多くみられます。



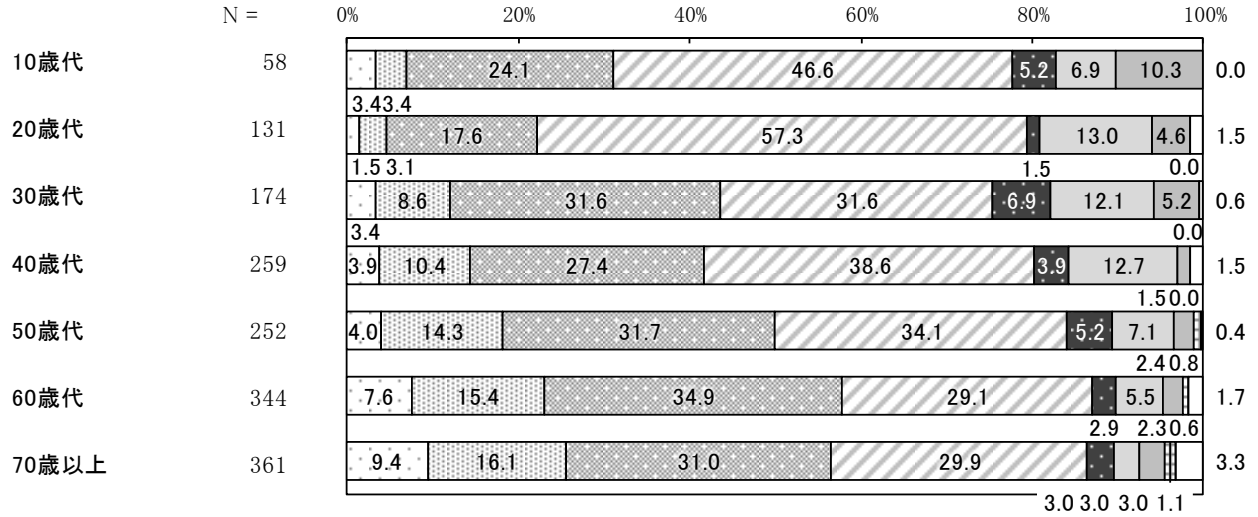
* 今回調査で「直売所がどこにあるのか知らない」と「その他」を追加

【性別】

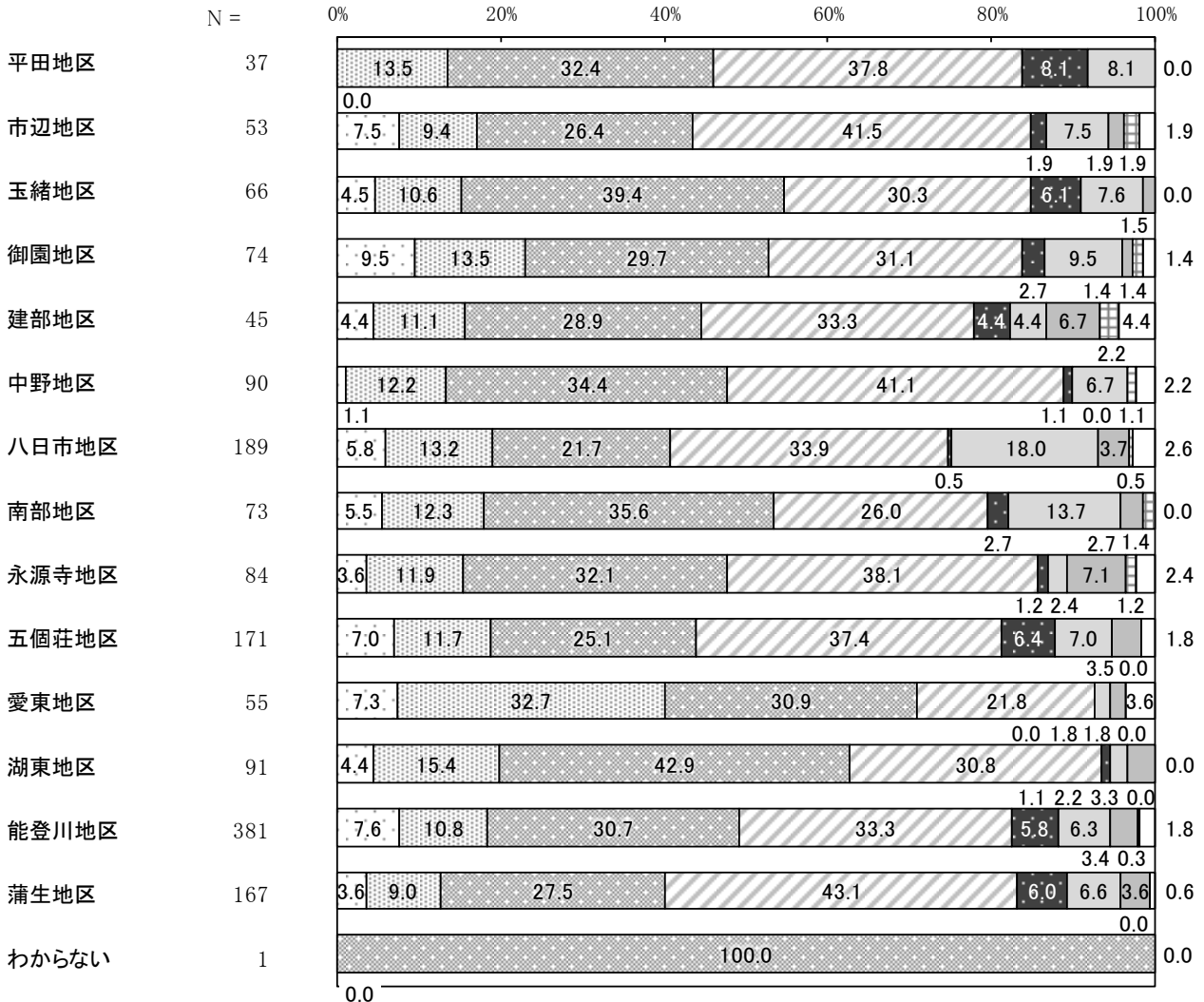


- よく利用する(週に1回以上)
- 利用する(月に1~3回程度)
- たまに利用する(年間数回程度)
- 利用しない
- 市内の直売所は利用しないが市外の直売所を利用している
- 直売所がどこにあるのか知らない
- わからない
- その他
- 無回答

【年代別】



【居住地区別】

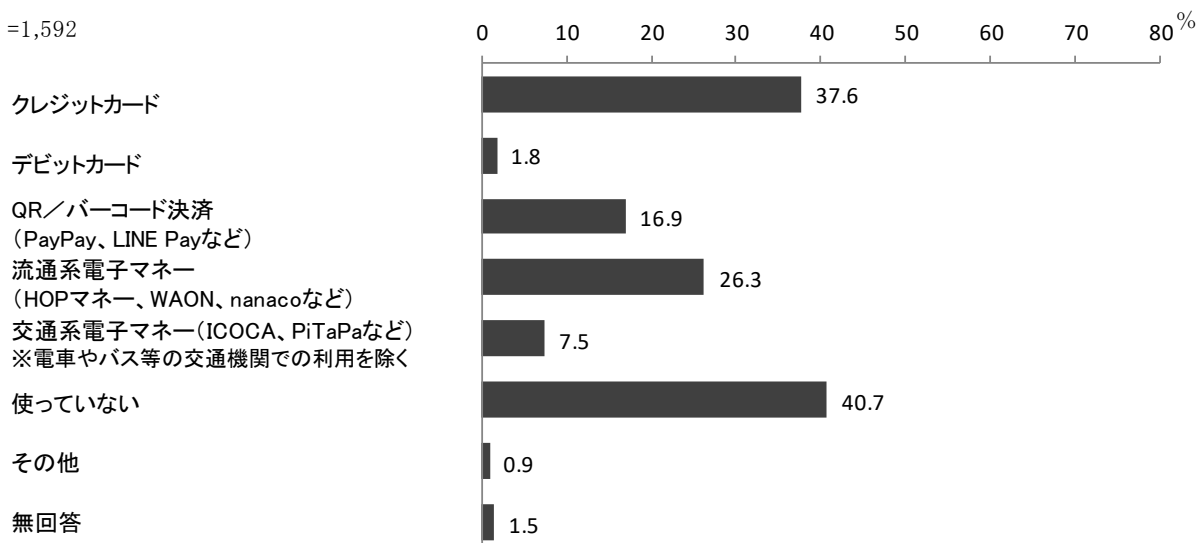


問 48 あなたは、次のキャッシュレス決済を週1回以上使っていますか。《あてはまるものすべてに○》

6割近くが週1回以上キャッシュレス決済を使用

- ・ 「使っていない」と無回答、「その他」で週1回未満利用の3件を除いた57.6%がキャッシュレス決済を週1回以上使用しています。その内容は、「クレジットカード」が37.6%、「流通系電子マネー（HOP マネー、WAON、nanaco など）」が26.3%、「QR／バーコード決済（PayPay、LINE Pay など）」が16.9%、「交通系電子マネー（ICOCA、PiTaPa など）」が7.5%、「デビットカード」が1.8%となっています。
- ・ 性別では、男女ともに「使っていない」が最も多くなっていますが、男性より女性で「流通系電子マネー（HOP マネー、WAON、nanaco など）」が多くみられます。
- ・ 年代別では、20～50歳代で「クレジットカード」が、10歳代と60歳以上で「使っていない」が最も多くなっています。そのほか、QR／バーコード決済が10～40歳代で3割前後、流通系電子マネーが40～50歳代で4割近く、30歳代と60歳代で3割近く、交通系電子マネーが10～20歳代で2割前後、デビットカードが10歳代で1割利用されています。
- ・ 居住地区別では、八日市地区、中野地区、蒲生地区で「クレジットカード」が、南部地区で「クレジットカード」と「流通系電子マネー（HOP マネー、WAON、nanaco など）」が、そのほかの地区で「使っていない」が最も多くなっています。

N=1,592



【性別】

単位：%

区分	有効回答数（件）	クレジットカード	デビットカード	（LINE Pay など） （PayPay、 QR／バーコード決済 nanaco など） （HOP マネー、 WAON、 流通系電子マネー、 PiTaPa など） （ICOCA、 交通系電子マネー	使っていない	その他	無回答		
男性	749	39.9	2.4	19.6	21.2	8.7	40.5	1.2	1.1
女性	816	36.0	1.2	14.8	31.1	6.5	40.3	0.6	1.8

【年代別】

単位：%

区分	有効回答数（件）	クレジットカード	デビットカード	（LINE Pay など） （PayPay、 QR／バーコード決済 nanaco など） （HOP マネー、 WAON、 流通系電子マネー、 PiTaPa など） （ICOCA、 交通系電子マネー	使っていない	その他	無回答		
10歳代	58	17.2	10.3	29.3	15.5	24.1	46.6	0.0	0.0
20歳代	131	45.8	2.3	27.5	16.0	16.8	36.6	1.5	1.5
30歳代	174	57.5	2.3	32.8	26.4	7.5	25.3	1.7	0.6
40歳代	259	46.7	1.5	28.2	37.1	5.8	25.1	1.5	1.5
50歳代	252	39.7	1.6	19.0	37.3	10.3	31.7	0.4	0.4
60歳代	344	34.0	1.5	9.0	26.5	5.5	45.9	0.6	1.2
70歳以上	361	23.3	0.6	1.7	15.5	2.5	61.5	0.6	3.0

【居住地区別】

単位：%

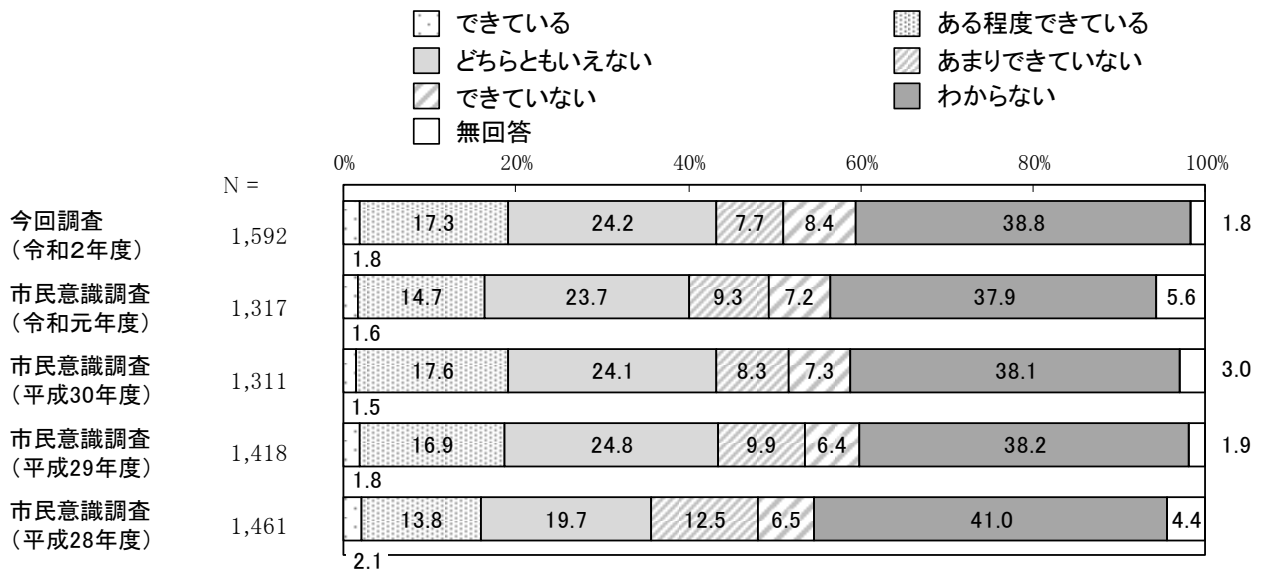
区分	有効回答数（件）	クレジットカード	デビットカード	（LINE Pay など） （PayPay、 QR／バーコード決済 nanaco など） （HOP マネー、 WAON、 流通系電子マネー、 PiTaPa など） （ICOCA、 交通系電子マネー	使っていない	その他	無回答		
平田地区	37	35.1	2.7	13.5	16.2	5.4	45.9	0.0	0.0
市辺地区	53	35.8	0.0	24.5	22.6	9.4	39.6	1.9	0.0
玉緒地区	66	37.9	1.5	12.1	30.3	6.1	39.4	3.0	0.0
御園地区	74	39.2	1.4	14.9	27.0	5.4	43.2	0.0	2.7
建部地区	45	35.6	0.0	15.6	20.0	6.7	46.7	0.0	4.4
中野地区	90	47.8	3.3	15.6	20.0	8.9	37.8	2.2	0.0
八日市地区	189	51.3	5.8	28.0	23.8	9.5	31.2	1.1	2.1
南部地区	73	35.6	1.4	16.4	35.6	2.7	34.2	1.4	0.0
永源寺地区	84	25.0	1.2	14.3	28.6	6.0	51.2	0.0	4.8
五個荘地区	171	38.0	2.3	13.5	20.5	5.3	46.2	1.2	1.2
愛東地区	55	30.9	1.8	9.1	18.2	1.8	52.7	0.0	1.8
湖東地区	91	37.4	1.1	13.2	28.6	9.9	45.1	0.0	1.1
能登川地区	381	31.8	0.5	15.7	29.1	10.5	40.9	0.5	1.3
蒲生地区	167	40.7	0.0	16.8	31.7	5.4	35.9	1.2	1.2
わからない	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0

(8) 協働のまちづくりについて

問 49 あなたは、東近江市では市民、企業、行政等が共に考え、力を合わせた協働のまちづくりができていますか。《○1つ》

4割近くが「わからない」

- ・ 協働のまちづくりができていますかについては、「わからない」が38.8%と最も多くなっています。次いで、「どちらともいえない」が24.2%、「ある程度できています」が17.3%と続きます。できている（「できている」と「ある程度できています」の合計）の割合は19.1%で、できていない（「あまりできていない」と「できていない」の合計）の割合（16.1%）よりやや高くなっています。
- ・ 性別、年代別、居住地区別のいずれも、すべて「わからない」が最も多くなっています。
- ・ 性別では、女性より男性で、できていない（前述）と思う人の割合が高くなっています。
- ・ 年代別では、50歳代で、できていない（前述）と思う人ができている（前述）と思う人より多くなっています。一方、70歳以上はできている（前述）と思う人が2割、10～20歳代は「わからない」が半数以上みられます。
- ・ 居住地区別では、玉緒地区でできている（前述）と思う人が3割近くみられますが、平田地区、御園地区、蒲生地区、建部地区は、できていない（前述）と思う人ができている（前述）と思う人より多くなっています（中野地区と愛東地区は両者が同数）。



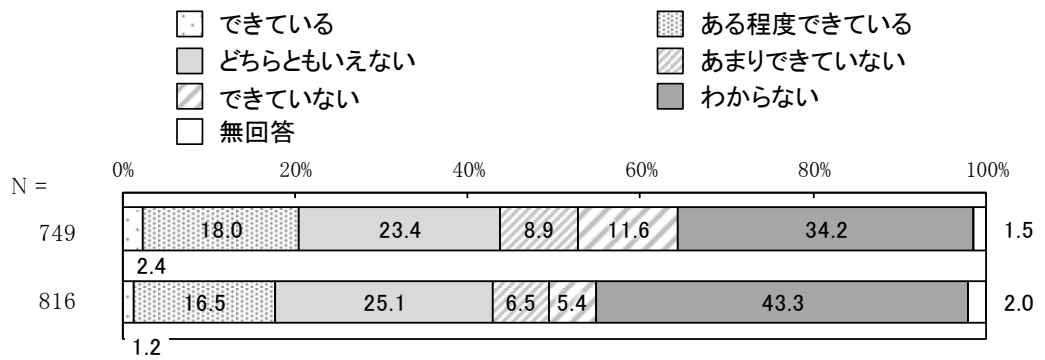
単位：%

	できている*	できていない*	差
①今回調査（令和2年度）	19.1	16.1	3.0
②市民意識調査（令和元年度）	16.3	16.5	-0.2
③市民意識調査（平成30年度）	19.1	15.6	3.5
④市民意識調査（平成29年度）	18.7	16.3	2.4
⑤市民意識調査（平成28年度）	15.9	19.0	-3.1
①－⑤	3.2	-2.9	6.1

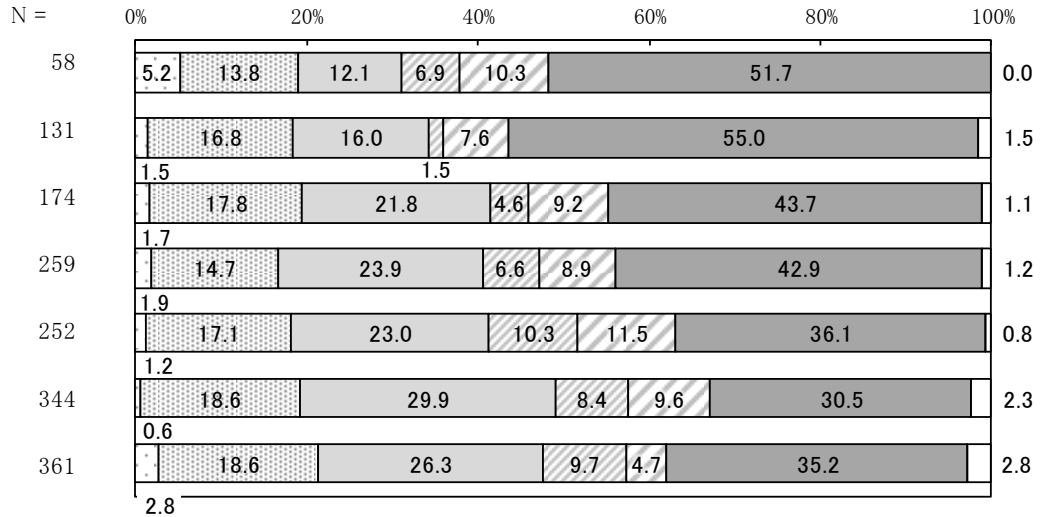
* できている：「できている」と「ある程度できています」の合計

* できていない：「あまりできていない」と「できていない」の合計

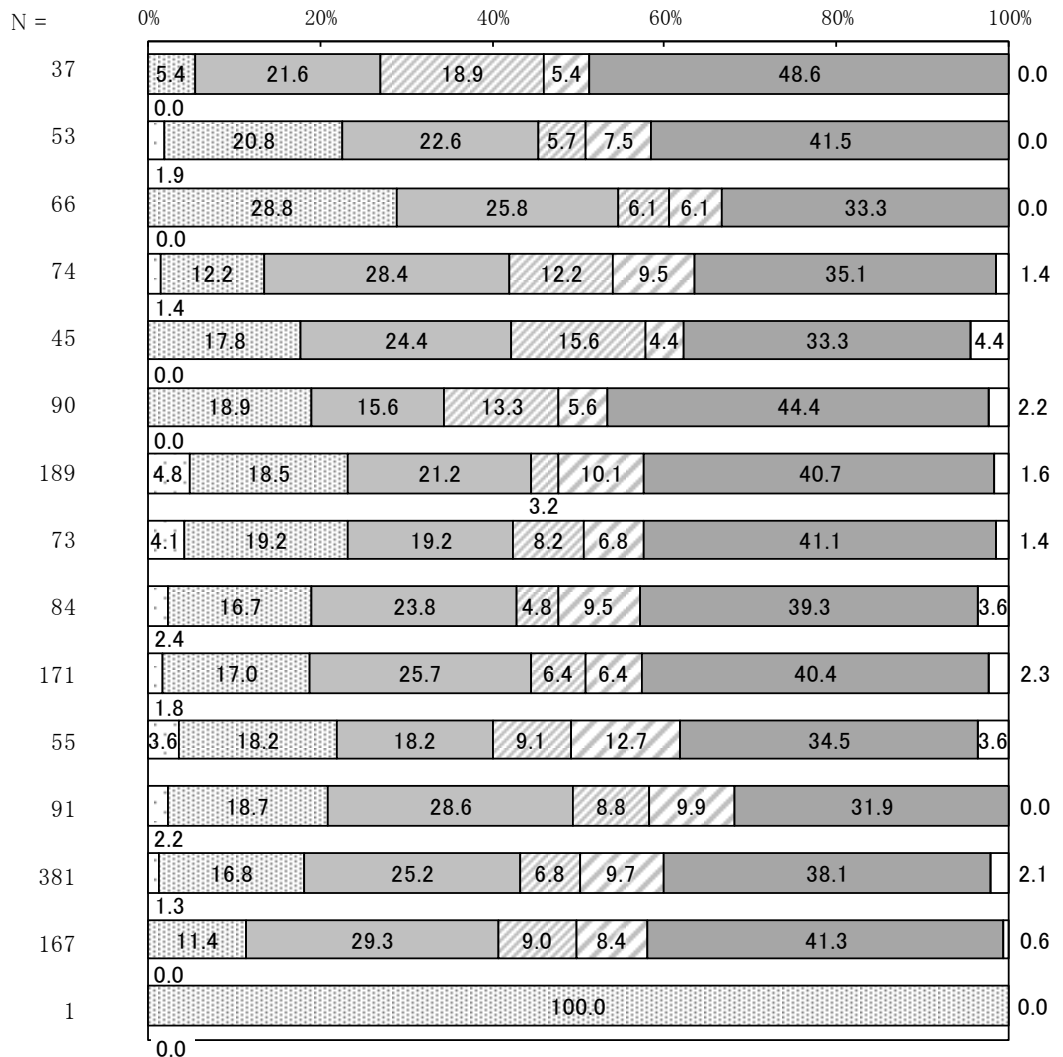
【性別】



【年代別】



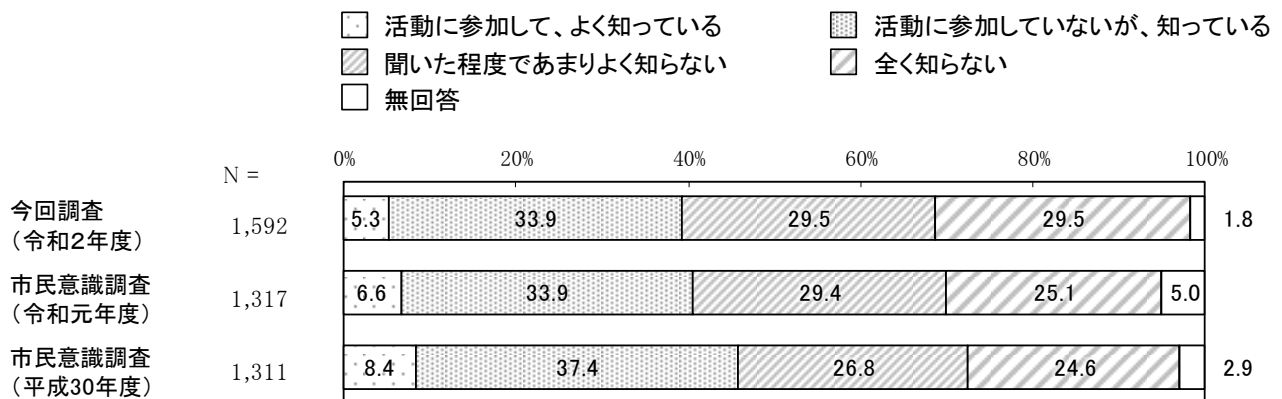
【居住地区別】



問 50 あなたは、市内 14 地区にまちづくり協議会が設置され、各地区で様々なまちづくり活動が行われていることを知っていますか。《○1つ》

活動に参加している人は 1 割未満だが、認知度は 4 割近く

- ・ まちづくり協議会の活動については、「活動に参加していないが、知っている」が 33.9%と最も多く、次いで「聞いた程度であまりよく知らない」と「全く知らない」がそれぞれ 29.5%と続きます。「活動に参加して、よく知っている」人は 5.3%と 1 割未満ですが、認知度（「活動に参加していないが、知っている」との合計）は 39.2%と 4 割近くとなっています。
- ・ 過去の調査と比較すると、「全く知らない」の割合が増加し、認知度も減少しています。特に、今回の「全く知らない」の割合の増加は、若い世代の回答率の増加も影響していると考えられます。
- ・ 性別では、男女ともに「活動に参加していないが、知っている」が最も多くなっていますが、男性は女性より活動への参加率が高く、認知度も高くなっています。
- ・ 年代別では、40 歳代までは「全く知らない」が、50 歳以上は「活動に参加していないが、知っている」が最も多くなっています。認知度は、10～20 歳代は 1 割前後で、30 歳以上では年齢が上がるほど高くなり、70 歳以上は 6 割近くとなっています。
- ・ 居住地区別では、八日市地区で「全く知らない」が、南部地区、能登川地区、蒲生地区で「聞いた程度であまりよく知らない」が、そのほかの地区では「活動に参加していないが、知っている」が最も多くなっています。御園地区では「全く知らない」も同様に最も多くなっています。認知度は、玉緒地区、平田地区、建部地区で 6 割前後、湖東地区、愛東地区、永源寺地区で半数と高くなっています。また、市辺地区、玉緒地区で活動参加率が 1 割を超えています。



単位：%

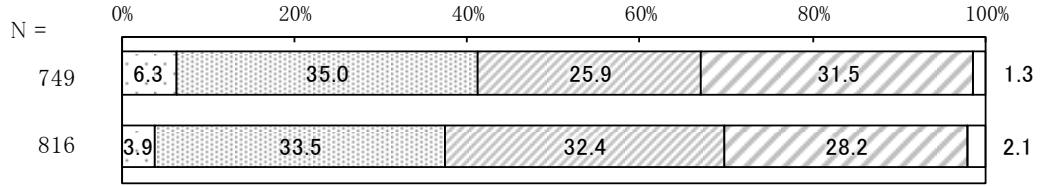
	知っている*	知らない*	差
①今回調査(令和2年度)	39.2	59.0	-19.8
②市民意識調査(令和元年度)	40.5	54.5	-14.0
③市民意識調査(平成30年度)	45.8	51.4	-5.6
①-③	-6.6	7.6	-14.2

* 知っている:「活動に参加して、よく知っている」と「活動に参加していないが、知っている」の合計

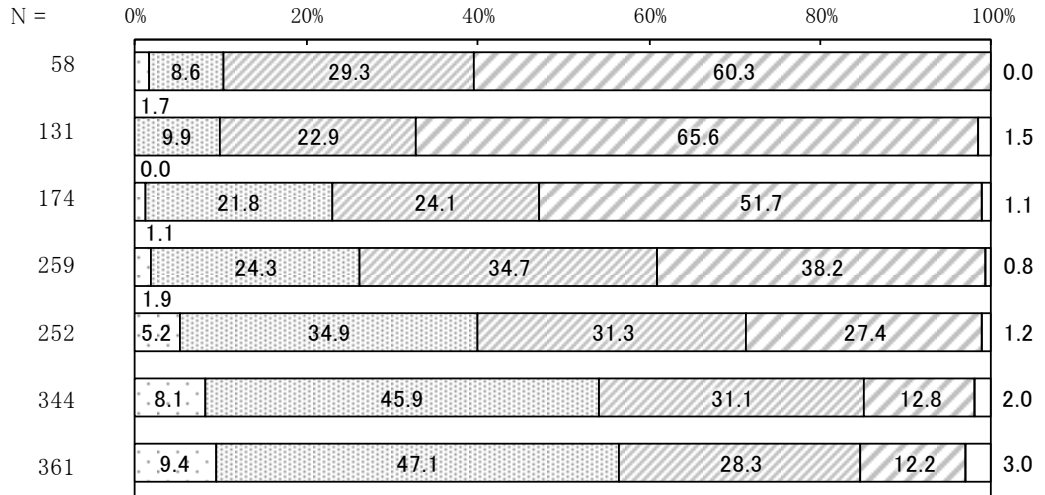
* 知らない:「聞いた程度であまりよく知らない」と「全く知らない」の合計

活動に参加して、よく知っている
 活動に参加していないが、知っている
 聞いた程度であまりよく知らない
 全く知らない
 無回答

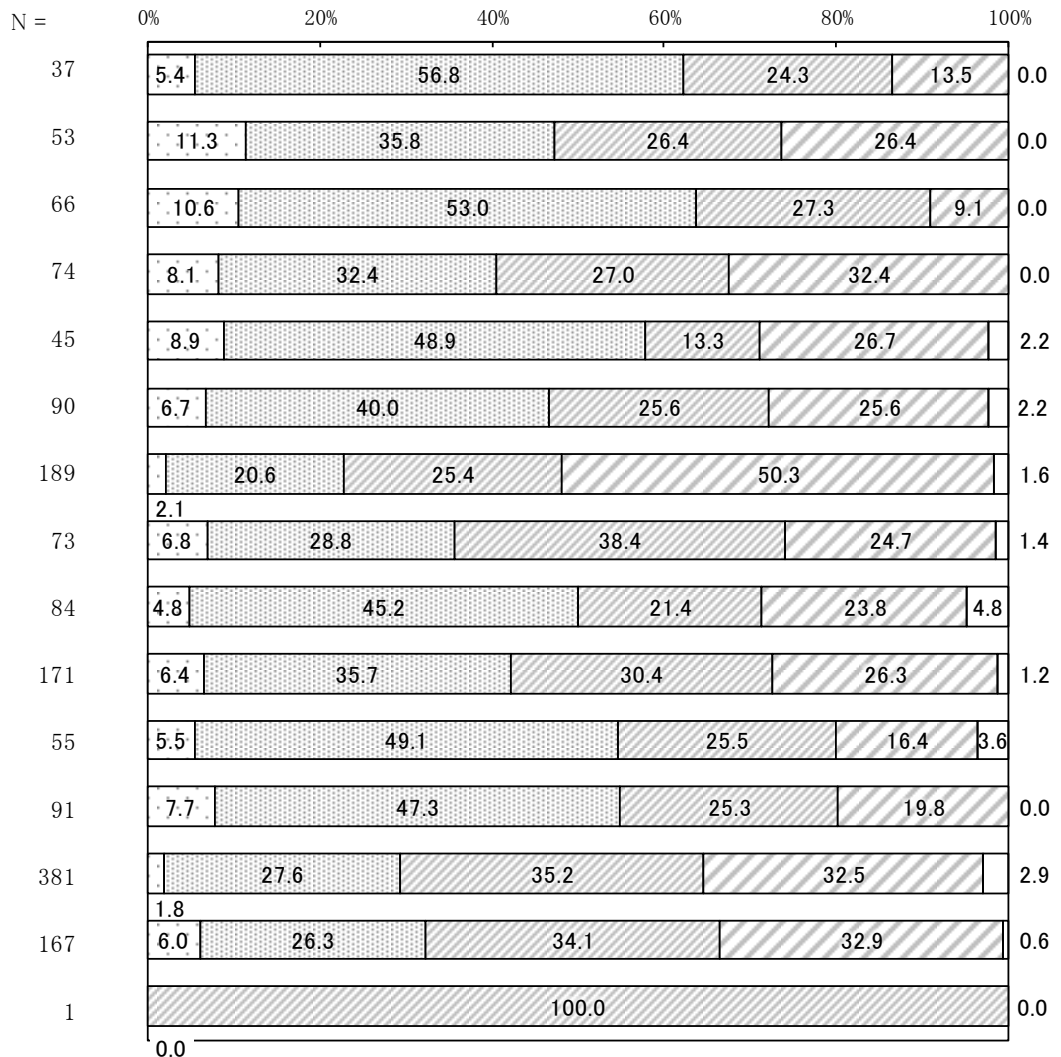
【性別】



【年代別】



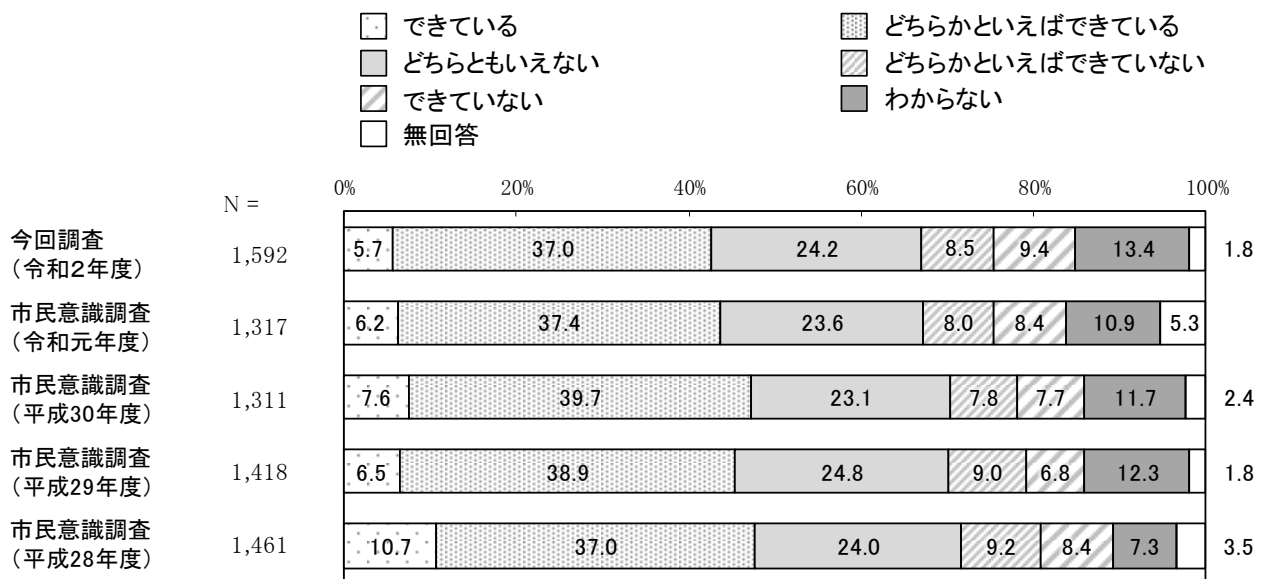
【居住地区別】



問 51 あなたの身近な地域では、住民同士の助け合いができていますか。《○1つ》

4割が住民同士の助け合いはできている

- 地域での住民同士の助け合いができていると思うかについては、「どちらかといえばできている」が37.0%と最も多く、次いで「どちらともいえない」が24.2%、「わからない」が13.4%と続きます。できている（「できている」と「どちらかといえばできている」の合計）の割合が42.7%で、できていない（「どちらかといえばできていない」と「できていない」の合計）の割合（17.9%）より高くなっています。
- 年代別では60歳以上で、居住地区別では平田地区、愛東地区、湖東地区、市辺地区、永源寺地区で、住民同士の助け合いができている（前述）と思う人が多くみられます。一方、居住地区別では南部地区、八日市地区、御園地区で、できていない（前述）と思う人が多くみられます。



単位：%

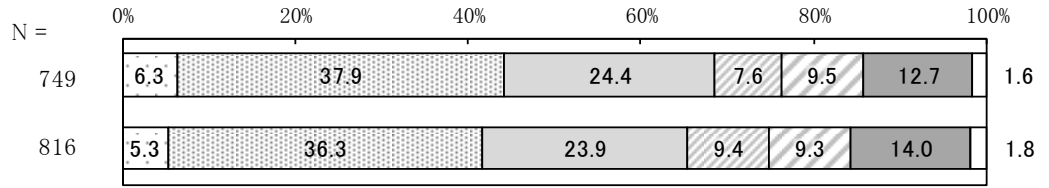
	できている*	できていない*	差
①今回調査(令和2年度)	42.7	17.9	24.8
②市民意識調査(令和元年度)	43.6	16.4	27.2
③市民意識調査(平成30年度)	47.3	15.5	31.8
④市民意識調査(平成29年度)	45.4	15.8	29.6
⑤市民意識調査(平成28年度)	47.7	17.6	30.1
①-⑤	-5.0	0.3	-5.3

* できている:「できている」と「どちらかといえばできている」の合計

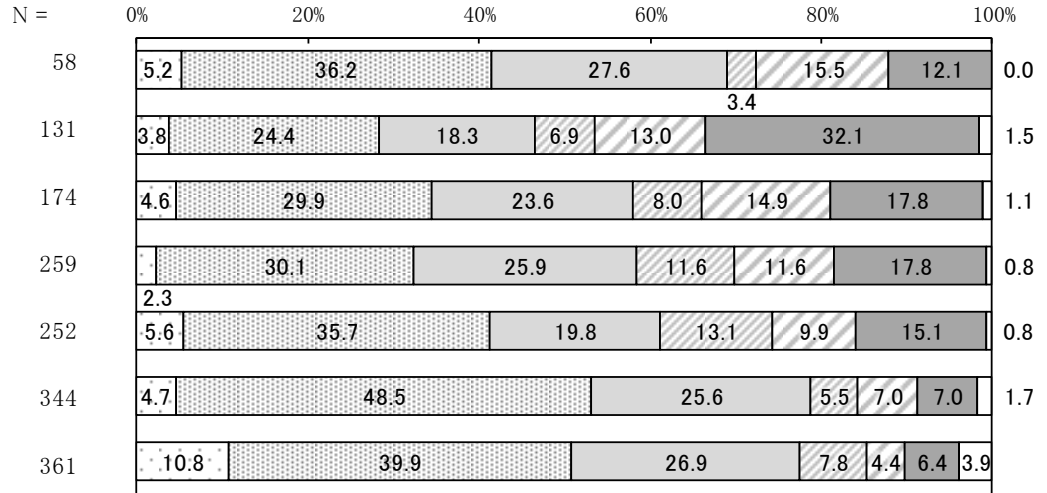
* できていない:「どちらかといえばできていない」と「できていない」の合計



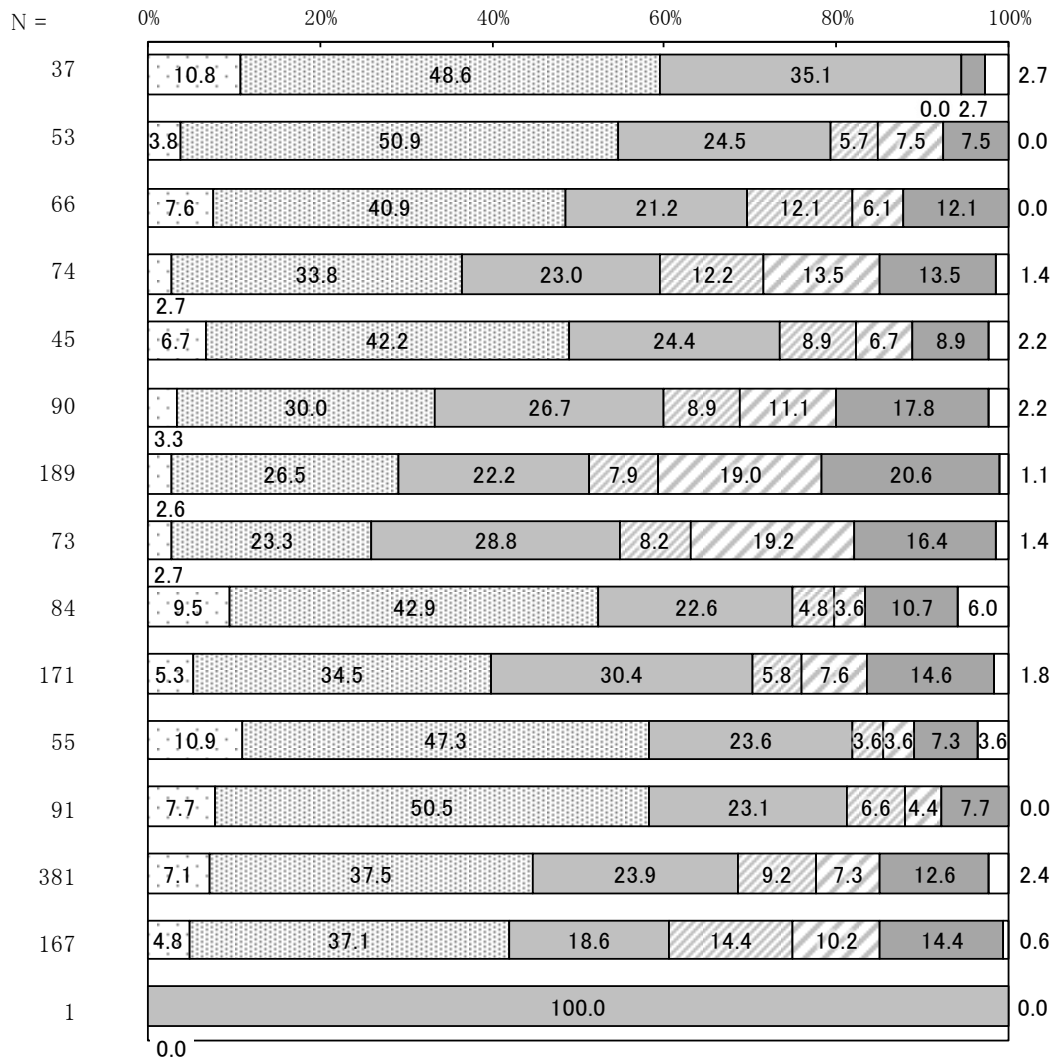
【性別】



【年代別】



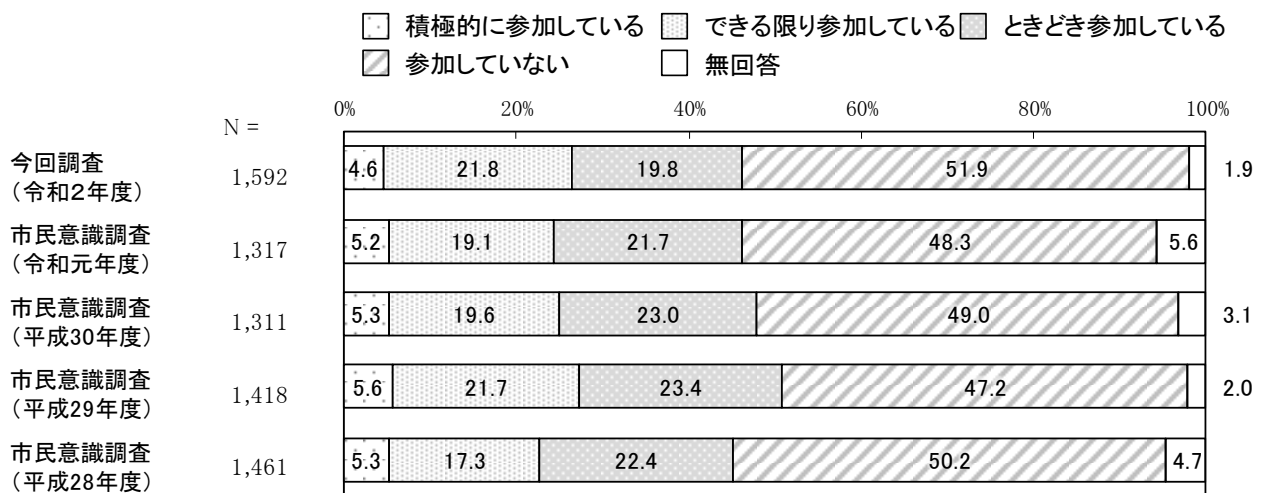
【居住地区別】



問 52 あなたは、自治会やまちづくり協議会等の地域活動又はNPOやボランティア等の活動にどの程度参加していますか。《○1つ》

半数近くが活動に参加している

- ・ 地域活動又はNPOやボランティア等の活動への参加頻度については、参加している人が46.2%と半数近くで、その内訳は、「できる限り参加している」が21.8%、「ときどき参加している」が19.8%、「積極的に参加している」が4.6%となっています。一方、「参加していない」は51.9%となっています。
- ・ 過去の調査と比較すると、平成29年度以降、参加している人の割合は減少傾向を示していますが、わずかですが平成28年度よりは高くなっています。
- ・ 性別、年代別、居住地区別のいずれも、すべて「参加していない」が最も多くなっています。
- ・ 性別では女性より男性で、年代別では20歳以上で年齢が上がるほど、参加している人が多くみられます。
- ・ 居住地区別では、湖東地区、玉緒地区、蒲生地区で参加している人が6割近く～7割近く、八日市地区で参加していない人が7割みられます。



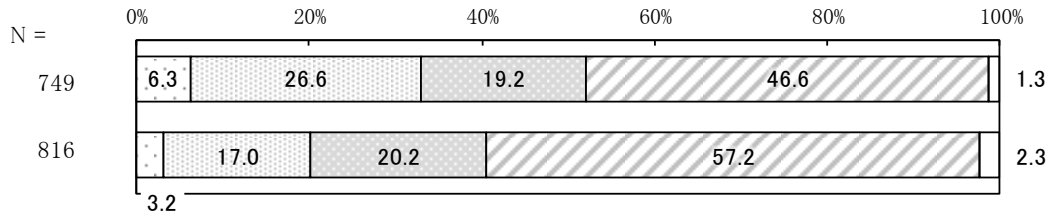
単位：%

	参加している*	参加していない	差
①今回調査(令和2年度)	46.2	51.9	-5.7
②市民意識調査(令和元年度)	46.0	48.3	-2.3
③市民意識調査(平成30年度)	47.9	49.0	-1.1
④市民意識調査(平成29年度)	50.7	47.2	3.5
⑤市民意識調査(平成28年度)	45.0	50.2	-5.2
①-⑤	1.2	1.7	-0.5

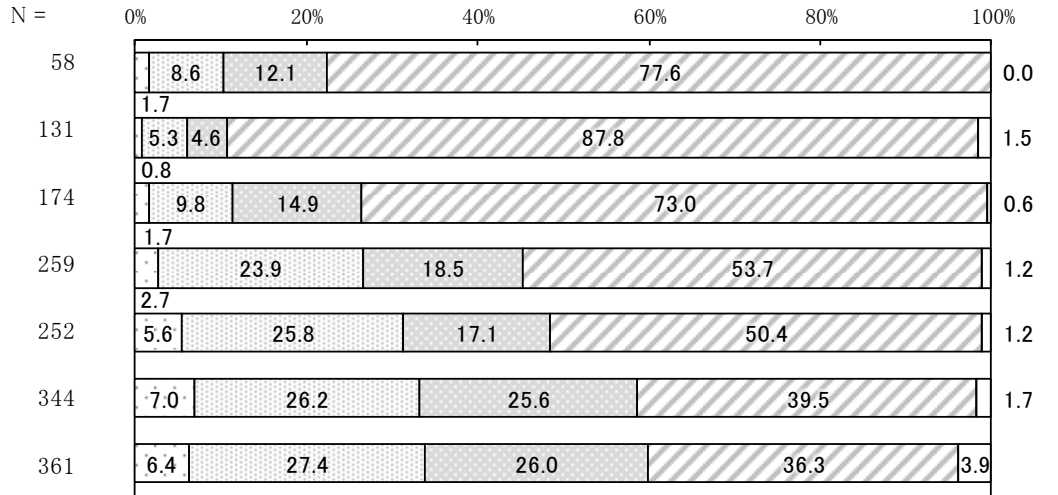
*参加している:「積極的に参加している」と「できる限り参加している」と「ときどき参加している」の合計

積極的に参加している
 できる限り参加している
 ときどき参加している
 参加していない
 無回答

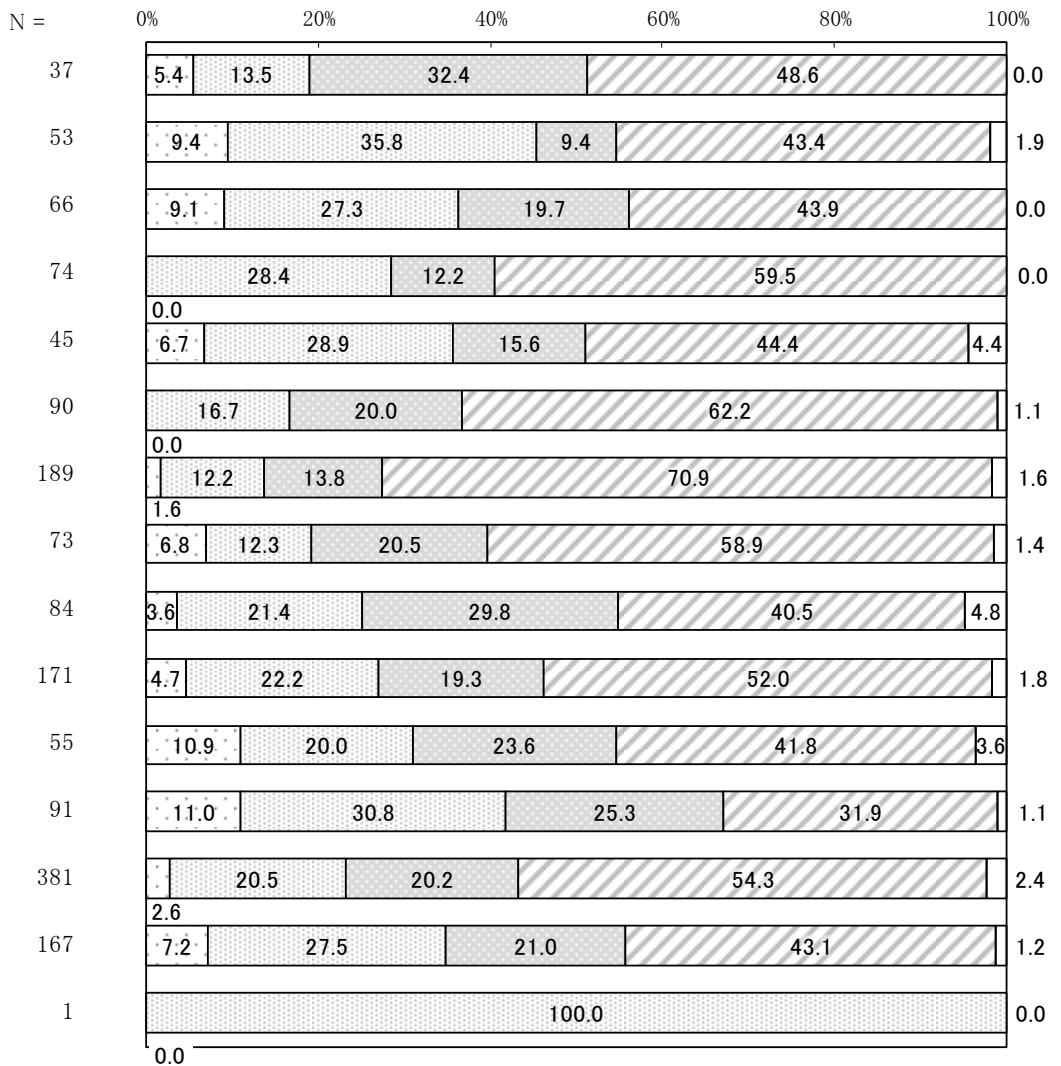
【性別】



【年代別】



【居住地区別】

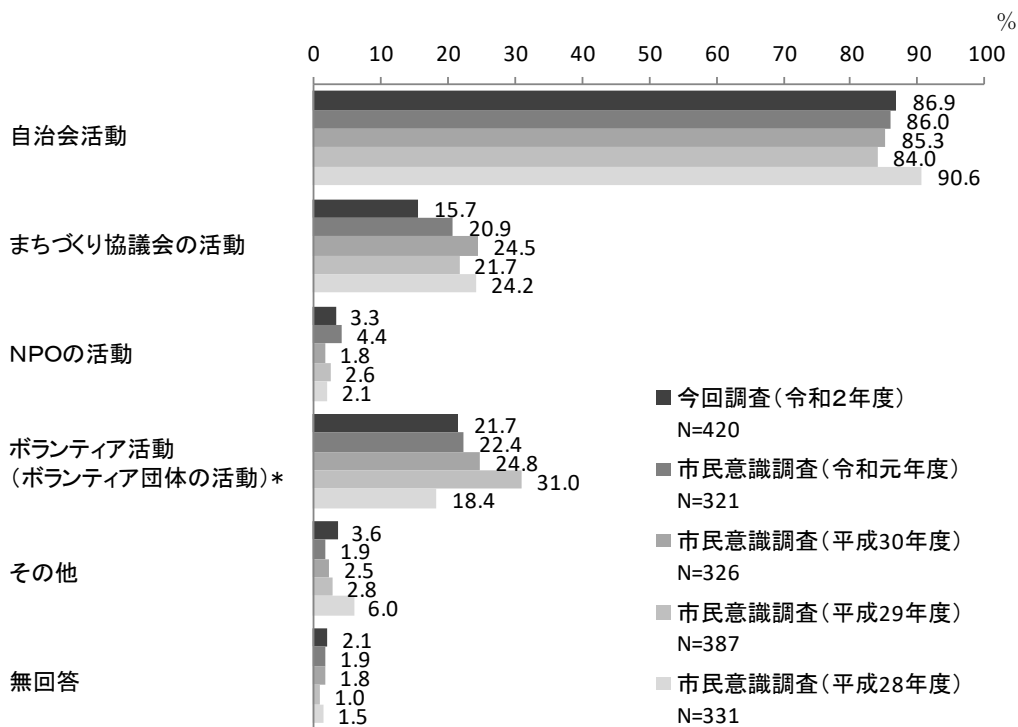


問 52-1 問 52 で「1. 積極的に参加している」「2. できる限り参加している」とお答えの方に
おたずねします。

この1年間にどのような活動に参加しましたか。《あてはまるものすべてに○》

9割近くが「自治会活動」に参加、ボランティアやまちづくり協議会の活動への参加も2割前後

- ・ この1年間にどのような活動に参加したかについては、「自治会活動」が86.9%と最も多く、次いで「ボランティア活動」が21.7%、「まちづくり協議会の活動」が15.7%と続きます。
- ・ 過去の調査と比較すると、平成29年度以降、「ボランティア活動」の割合が年々減少し、「自治会活動」の割合が年々増加しています。また、平成30年度以降「まちづくり協議会の活動」の割合も減少傾向にあります。
- ・ 性別、年代別、居住地区別の平田地区を除いて、すべて「自治会活動」が最も多くあげられています。
- ・ 性別では、男性は「自治会活動」や「まちづくり協議会の活動」が女性より多く、女性は「ボランティア活動」が男性より多くあげられています。
- ・ 年代別では、50歳以上で「まちづくり協議会の活動」が、60歳以上で「ボランティア活動」がほかの年代より多くみられます。(10～20歳代は有効回答数が少なく比較できません。)



* ()内は平成28年度の選択肢

【性別】

単位：％

区分	有効回答数 (件)	自治会活動	動ま ちづく り協 議会 の活	N P O の活 動	ボ ラ ン テ ィ ア 活 動	そ の 他	無 回 答
男性	246	91.5	17.9	3.3	19.1	2.4	1.2
女性	165	81.2	11.5	3.6	26.7	5.5	3.0

【年代別】

単位：％

区分	有効回答数 (件)	自治会活動	動ま ちづく り協 議会 の活	N P O の活 動	ボ ラ ン テ ィ ア 活 動	そ の 他	無 回 答
10歳代	6	66.7	0.0	0.0	0.0	16.7	16.7
20歳代	8	75.0	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0
30歳代	20	90.0	5.0	0.0	10.0	5.0	5.0
40歳代	69	91.3	7.2	2.9	14.5	1.4	0.0
50歳代	79	89.9	20.3	2.5	15.2	3.8	1.3
60歳代	114	85.1	17.5	3.5	27.2	4.4	1.8
70歳以上	122	86.1	18.0	4.9	27.9	3.3	3.3

【居住地区別】

単位：％

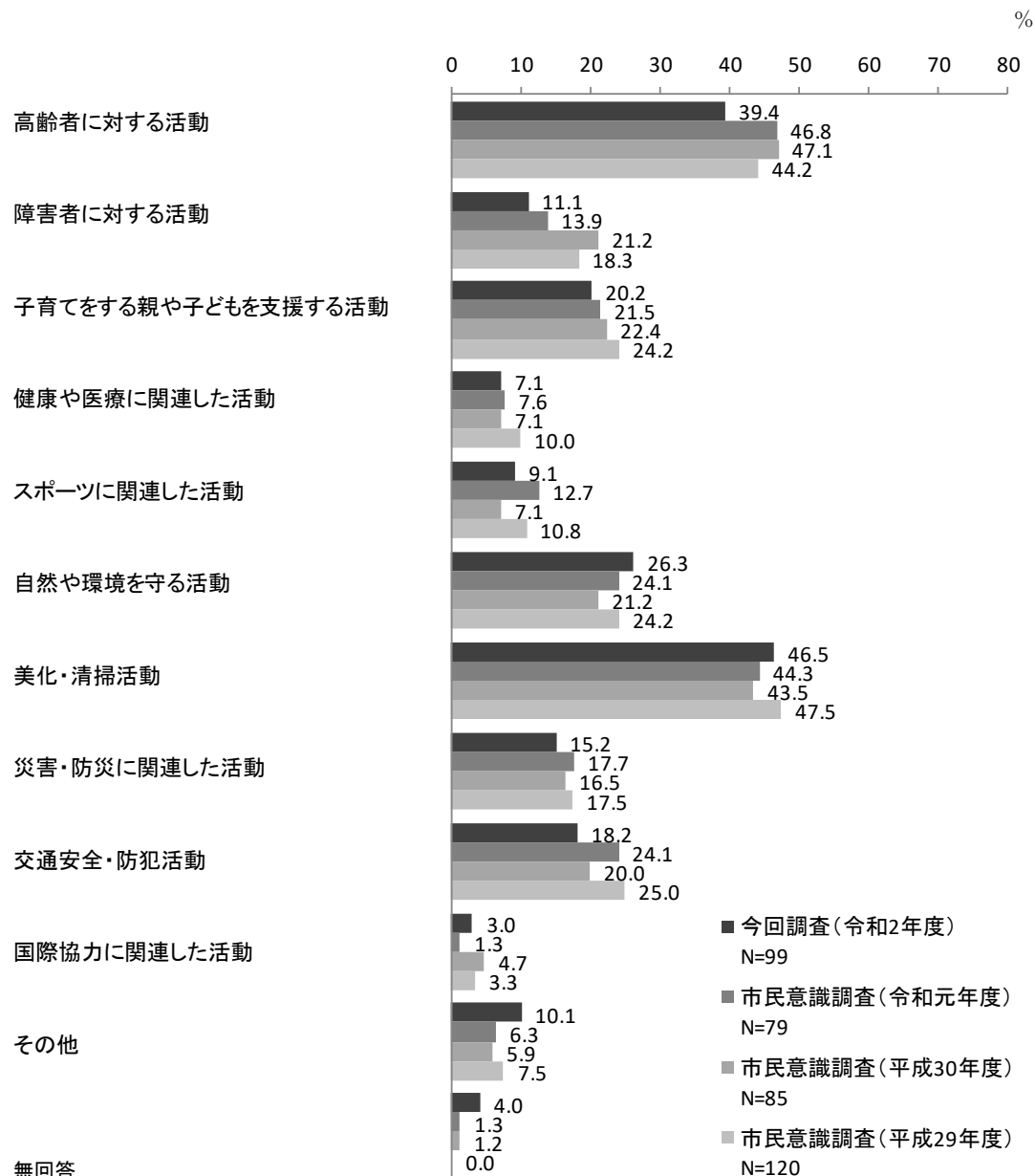
区分	有効回答数 (件)	自治会活動	動ま ちづく り協 議会 の活	N P O の活 動	ボ ラ ン テ ィ ア 活 動	そ の 他	無 回 答
平田地区	7	57.1	42.9	0.0	71.4	0.0	0.0
市辺地区	24	70.8	12.5	0.0	29.2	0.0	4.2
玉緒地区	24	95.8	25.0	4.2	20.8	4.2	0.0
御園地区	21	76.2	19.0	0.0	19.0	0.0	0.0
建部地区	16	100.0	6.3	0.0	12.5	12.5	0.0
中野地区	15	86.7	33.3	13.3	20.0	6.7	0.0
八日市地区	26	88.5	7.7	0.0	15.4	3.8	3.8
南部地区	14	64.3	21.4	7.1	35.7	7.1	7.1
永源寺地区	21	90.5	9.5	0.0	19.0	9.5	0.0
五個荘地区	46	95.7	10.9	2.2	13.0	0.0	0.0
愛東地区	17	94.1	17.6	0.0	17.6	0.0	5.9
湖東地区	38	94.7	21.1	2.6	23.7	0.0	2.6
能登川地区	88	85.2	9.1	3.4	25.0	5.7	0.0
蒲生地区	58	87.9	19.0	8.6	20.7	3.4	5.2
わからない	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0

問 52-2 問 52-1 で「3. NPOの活動」「4. ボランティア活動」とお答えの方におたずねします。

この1年間にどのような活動に参加しましたか。《あてはまるものすべてに○》

「美化・清掃活動」が半数近く、「高齢者に対する活動」も4割近く

- ・ どのような活動に参加したかについては、「美化・清掃活動」が46.5%と最も多く、次いで「高齢者に対する活動」が39.4%と4割近くの方があげています。そのほか、「自然や環境を守る活動」が26.3%、「子育てをする親や子どもを支援する活動」が20.2%と2割以上の方があげています。
- ・ 条件が同じである平成30年度以降の調査と比較すると、特に「高齢者に対する活動」や「障害者に対する活動」の割合が減少し、「美化・清掃活動」や「自然や環境を守る活動」の割合が増加しています。
- ・ 性別では、男女ともに「美化・清掃活動」が最も多くなっていますが、男性は女性より「自然や環境を守る活動」、「スポーツに関連した活動」、「災害・防災に関連した活動」が、女性は男性より「子育てをする親や子どもを支援する活動」、「高齢者に対する活動」が多くみられます。



※平成29年度は、「ボランティア活動」に参加している人のみが回答

【性別】

単位:%

区分	有効回答数(件)	高齢者に対する活動	障害者に対する活動	子育てをする親や子どもを支援する活動	健康や医療に関連した活動	スポーツに関連した活動	自然や環境を守る活動	美化・清掃活動	災害・防災に関連した活動	交通安全・防犯活動	国際協力に関連した活動	その他	無回答
男性	51	35.3	13.7	11.8	5.9	15.7	35.3	45.1	21.6	19.6	2.0	9.8	3.9
女性	48	43.8	8.3	29.2	8.3	2.1	16.7	47.9	8.3	16.7	4.2	10.4	4.2

【年代別】

単位:%

区分	有効回答数(件)	高齢者に対する活動	障害者に対する活動	子育てをする親や子どもを支援する活動	健康や医療に関連した活動	スポーツに関連した活動	自然や環境を守る活動	美化・清掃活動	災害・防災に関連した活動	交通安全・防犯活動	国際協力に関連した活動	その他	無回答
10歳代	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
20歳代	2	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0
30歳代	2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
40歳代	11	0.0	0.0	9.1	0.0	18.2	36.4	27.3	9.1	0.0	9.1	9.1	9.1
50歳代	13	23.1	38.5	30.8	15.4	23.1	38.5	61.5	23.1	23.1	0.0	0.0	0.0
60歳代	34	41.2	8.8	29.4	8.8	8.8	14.7	35.3	11.8	23.5	2.9	11.8	2.9
70歳以上	37	59.5	8.1	10.8	5.4	2.7	29.7	56.8	18.9	18.9	2.7	13.5	2.7

【居住地区別】

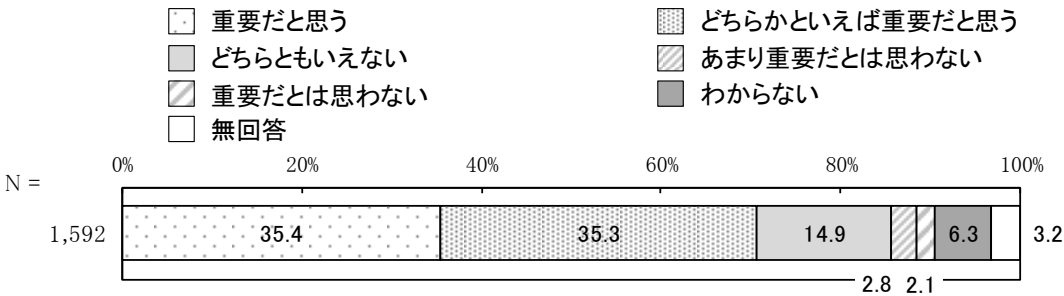
単位:%

区分	有効回答数(件)	高齢者に対する活動	障害者に対する活動	子育てをする親や子どもを支援する活動	健康や医療に関連した活動	スポーツに関連した活動	自然や環境を守る活動	美化・清掃活動	災害・防災に関連した活動	交通安全・防犯活動	国際協力に関連した活動	その他	無回答
平田地区	5	20.0	20.0	40.0	0.0	20.0	60.0	40.0	0.0	20.0	0.0	0.0	0.0
市辺地区	7	14.3	0.0	42.9	0.0	0.0	14.3	28.6	0.0	0.0	0.0	14.3	0.0
玉緒地区	6	66.7	16.7	16.7	16.7	50.0	16.7	50.0	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0
御園地区	4	25.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0	25.0	25.0	25.0
建部地区	2	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
中野地区	4	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	50.0	25.0	25.0	25.0	0.0	25.0
八日市地区	4	25.0	25.0	50.0	25.0	25.0	0.0	75.0	25.0	25.0	0.0	0.0	25.0
南部地区	5	60.0	20.0	20.0	0.0	0.0	20.0	20.0	0.0	20.0	0.0	20.0	0.0
永源寺地区	4	50.0	25.0	25.0	25.0	25.0	50.0	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0
五個荘地区	7	28.6	14.3	14.3	0.0	14.3	57.1	71.4	42.9	14.3	0.0	14.3	0.0
愛東地区	3	33.3	0.0	33.3	33.3	0.0	33.3	33.3	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0
湖東地区	9	22.2	11.1	33.3	0.0	11.1	22.2	55.6	11.1	44.4	0.0	11.1	0.0
能登川地区	24	41.7	8.3	4.2	8.3	4.2	16.7	41.7	12.5	16.7	0.0	20.8	4.2
蒲生地区	15	46.7	13.3	13.3	6.7	0.0	40.0	60.0	26.7	13.3	6.7	0.0	0.0
わからない	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

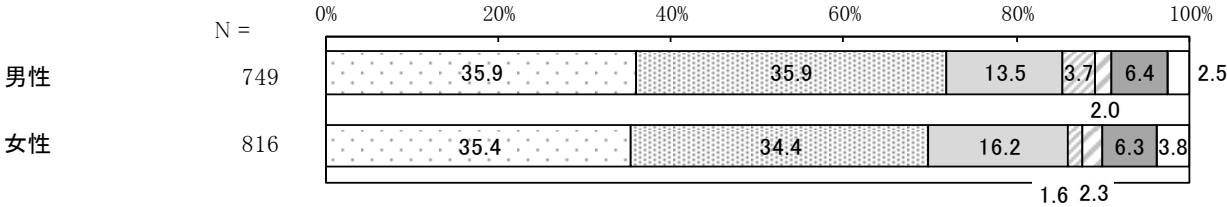
問 53 あなたは、国籍や民族の異なる人々が互いに認め合い、共に暮らす社会の実現についてどう思いますか。《○1つ》

7割が重要だと思っている

- ・ 国籍や民族の異なる人々が互いに認め合い、共に暮らす社会の実現については、「重要だと思う」が35.4%と最も多く、次の「どちらかといえば重要だと思う」の35.3%を合わせると70.7%となり、7割の人が重要だと思っています。
- ・ 年代別では、年齢が若いほど「重要だと思う」と回答した人の割合が高く、10歳代で6割を超えており、若い世代で認識が高いことがわかります。
- ・ 居住地区別では、平田地区、玉緒地区、湖東地区で重要だと思う（「重要だと思う」と「どちらかといえば重要だと思う」の合計）の割合が8割近くとなっています。

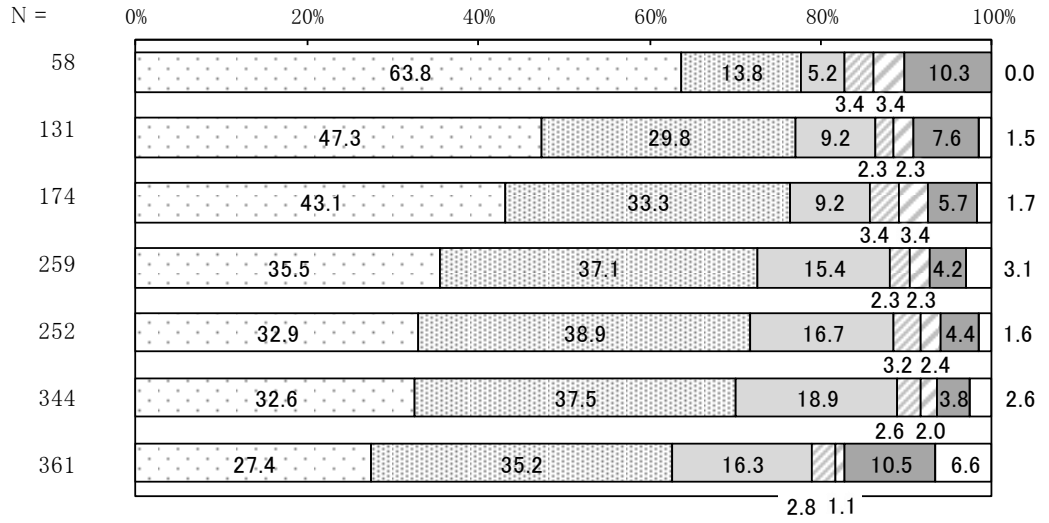


【性別】

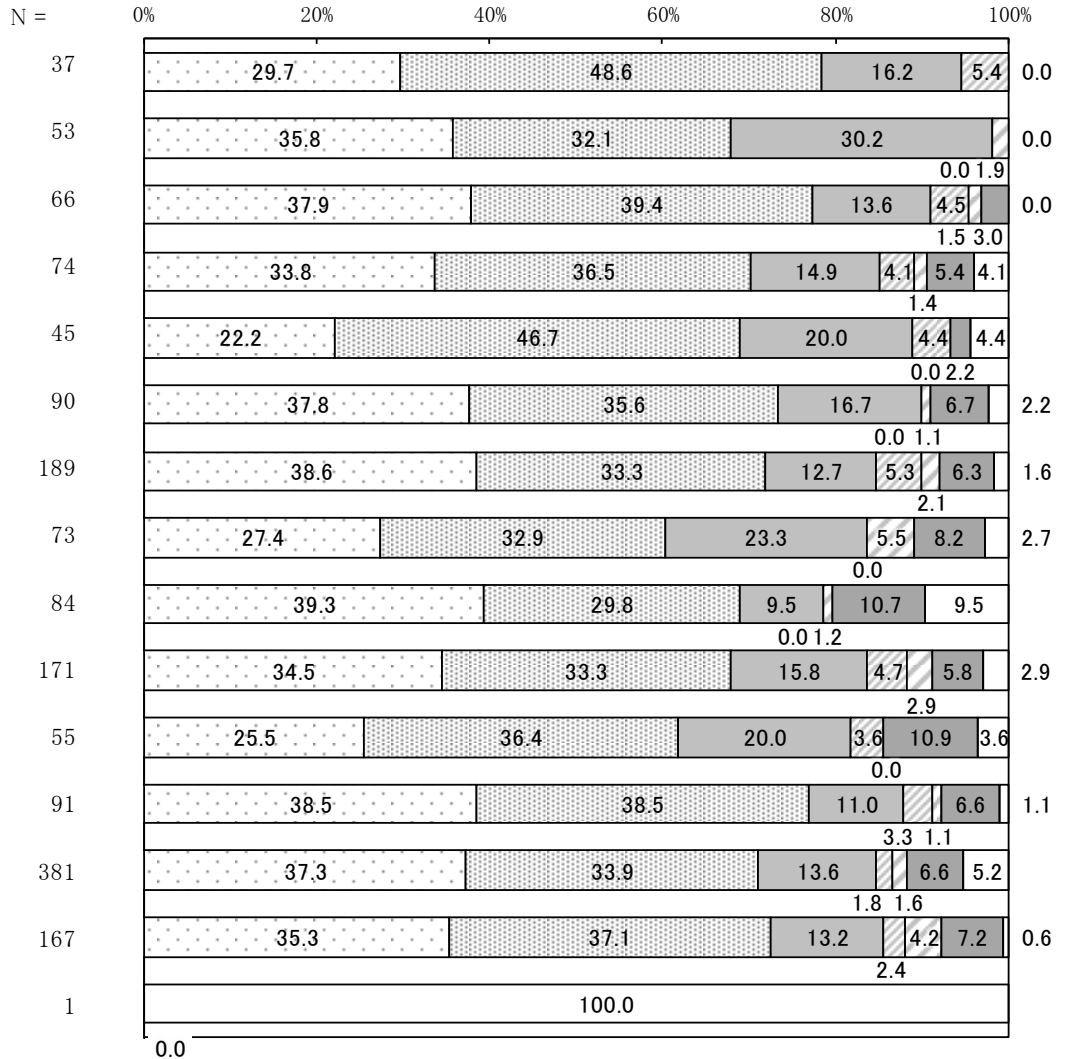


- 重要だと思う
- どちらかといえば重要だと思う
- どちらともいえない
- あまり重要だとは思わない
- 重要だとは思わない
- わからない
- 無回答

【年代別】



【居住地区別】

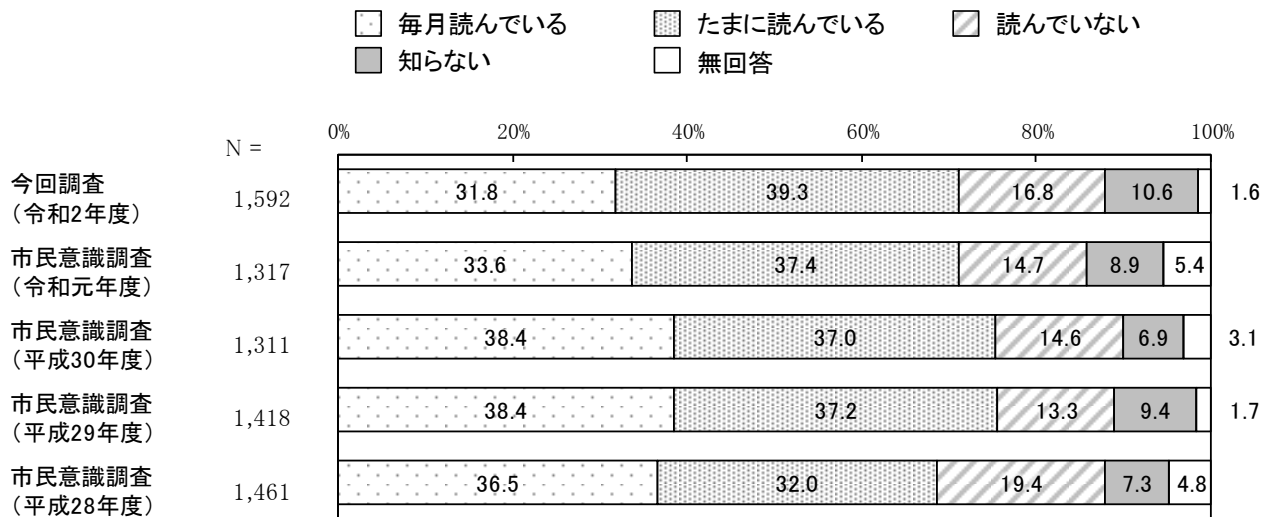


(9) 広報等の情報について

問 54 あなたは、市の広報紙「広報ひがしおうみ」を読んでいますか。《○1つ》

7割が広報紙を読んでおり、3割は「毎月読んでいる」

- ・ 「広報ひがしおうみ」については、「たまに読んでいる」が39.3%と最も多く、次の「毎月読んでいる」の31.8%と合わせると71.1%となり、7割の人が読んでいると回答しています。一方、「読んでいない」が16.8%、「知らない」が10.6%となっています。
- ・ 過去の調査と比較すると、変動があるものの、広報紙を「毎月読んでいる」人の割合が減少しています。
- ・ 性別では男性より女性が、年代別では年齢が上がるほど、広報紙を「毎月読んでいる」人の割合が高く、60歳以上は最も多い回答となっています。一方、10～20歳代は「読んでいない」又は「知らない」人が読んでいる人（「毎月読んでいる」と「たまに読んでいる」の合計）より多くみられます。
- ・ 居住地区別では、平田地区、玉緒地区、湖東地区、五個荘地区、市辺地区で広報紙を読んでいる人（前述）が8割前後みられる一方、八日市地区で「読んでいない」又は「知らない」人が多くみられます。



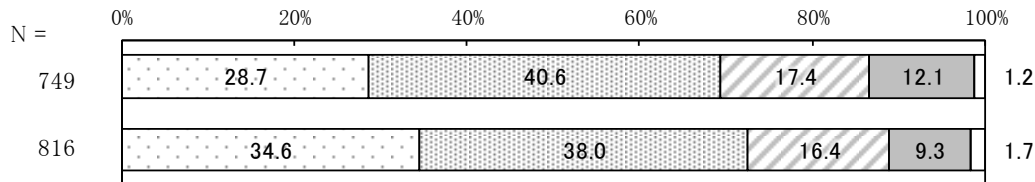
単位：%

	読んでいる*	読んでいない・知らない	差
①今回調査(令和2年度)	71.1	27.4	43.7
②市民意識調査(令和元年度)	71.0	23.6	47.4
③市民意識調査(平成30年度)	75.4	21.5	53.9
④市民意識調査(平成29年度)	75.6	22.7	52.9
⑤市民意識調査(平成28年度)	68.5	26.7	41.8
①-⑤	2.6	0.7	1.9

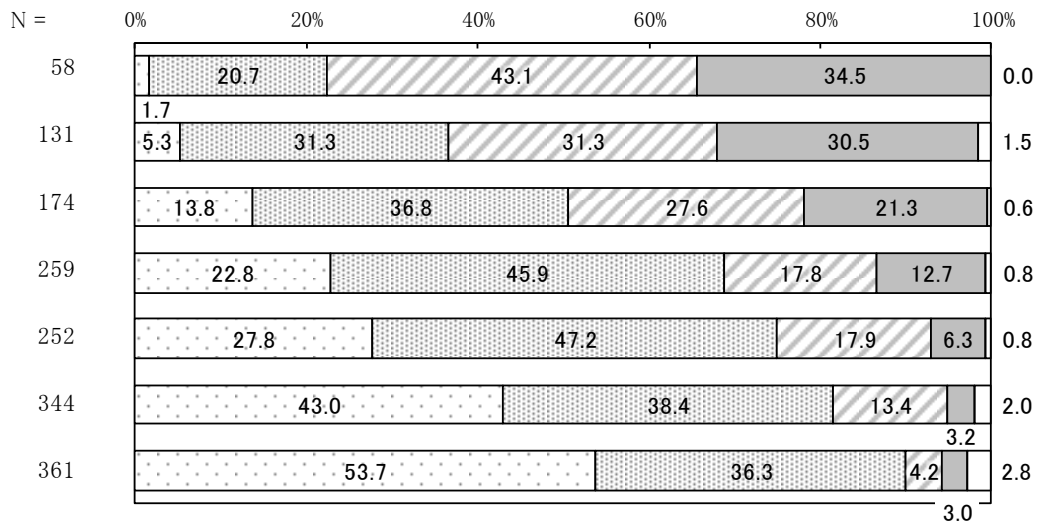
* 読んでいる:「毎月読んでいる」と「たまに読んでいる」の合計

毎月読んでいる
 たまに読んでいる
 読んでいない
 知らない
 無回答

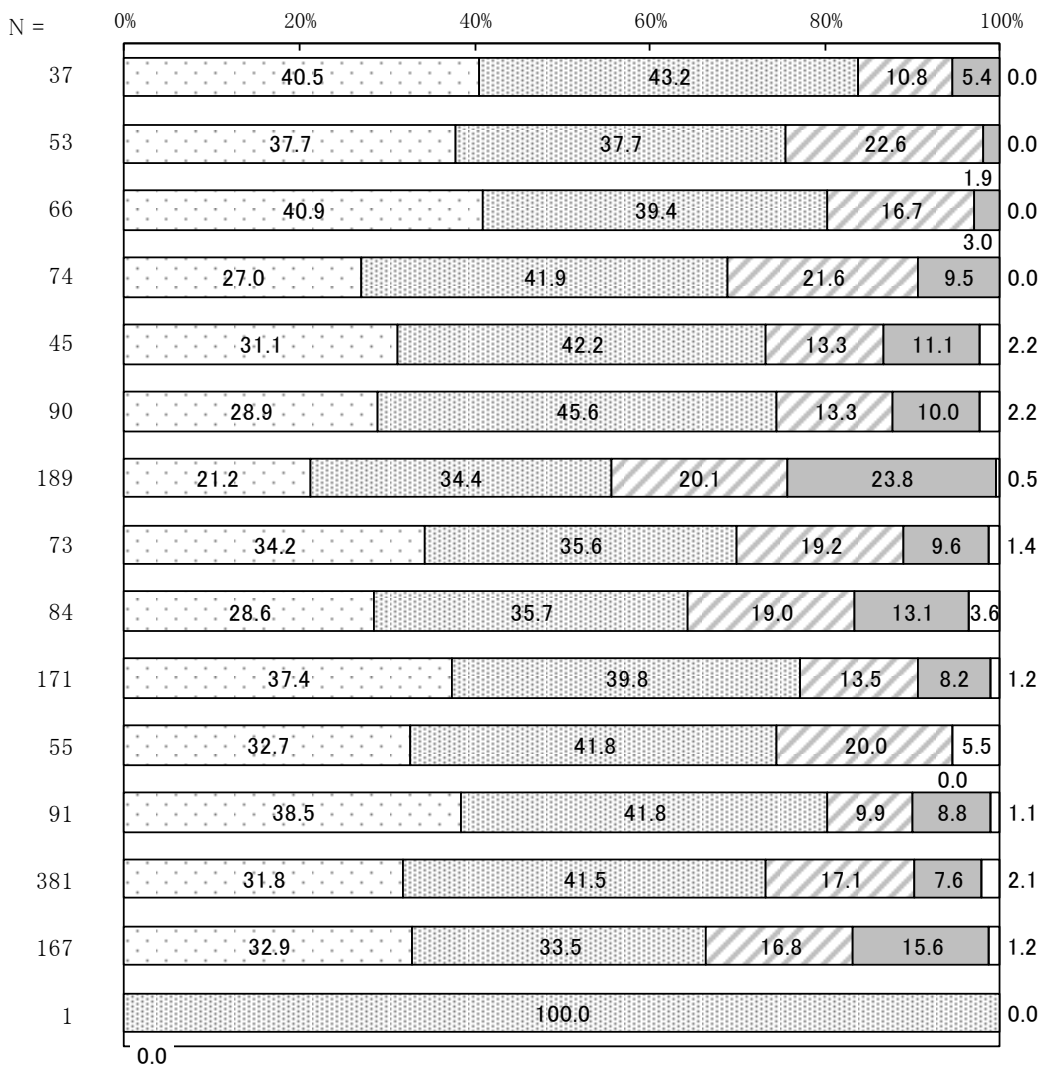
【性別】



【年代別】



【居住地区別】

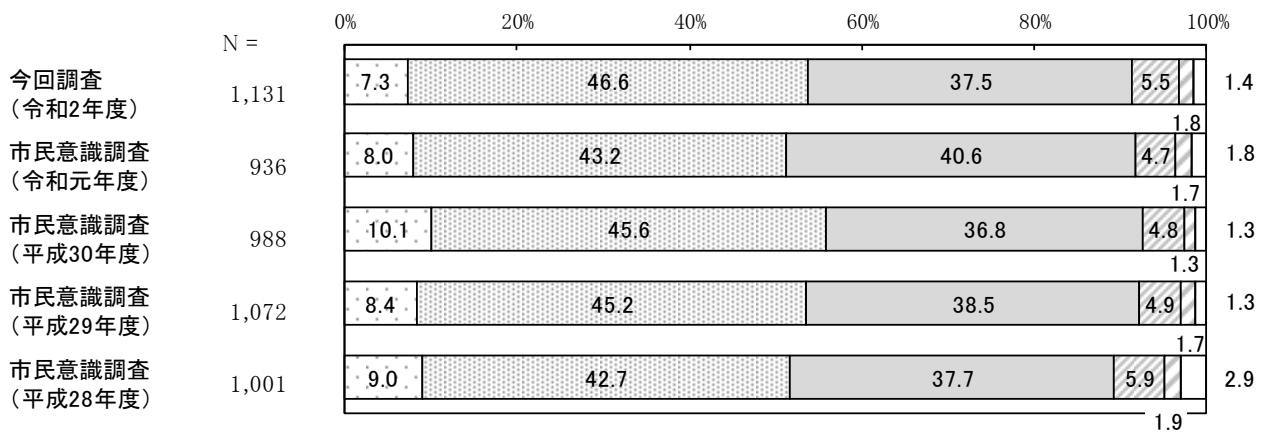


問 54-1 問 54 で「1. 毎月読んでいる」「2. たまに読んでいる」とお答えの方におたずねします。

あなたは、「広報ひがしおうみ」の内容について満足していますか。《○1つ》

半数が満足、4割近くが「どちらともいえない」

- 「広報ひがしおうみ」の満足度について広報紙を読んでいる人に聞いたところ、「どちらかといえれば満足している」が46.6%と最も多く、次いで「どちらともいえない」が37.5%と続きます。満足している（「満足している」と「どちらかといえれば満足している」の合計）が53.9%に対し、満足していない（「どちらかといえれば満足していない」と「満足していない」の合計）の割合は7.3%となっています。
- 性別では男性より女性で、年代別では60歳以上で、居住地区別では玉緒地区、八日市地区、市辺地区で、満足している人（前述）の割合が高くなっています。



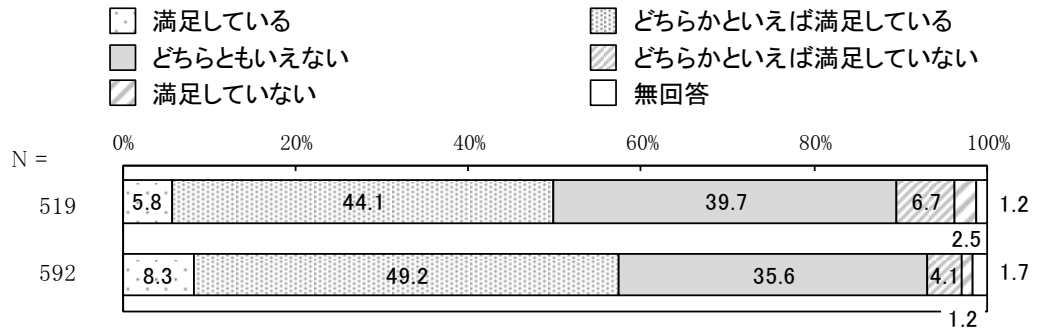
単位：%

	満足*	不満*	差
①今回調査(令和2度)	53.9	7.3	46.6
②市民意識調査(令和元年度)	51.2	6.4	44.8
③市民意識調査(平成30年度)	55.7	6.1	49.6
④市民意識調査(平成29年度)	53.6	6.6	47.0
⑤市民意識調査(平成28年度)	51.7	7.8	43.9
①-⑤	2.2	-0.5	2.7

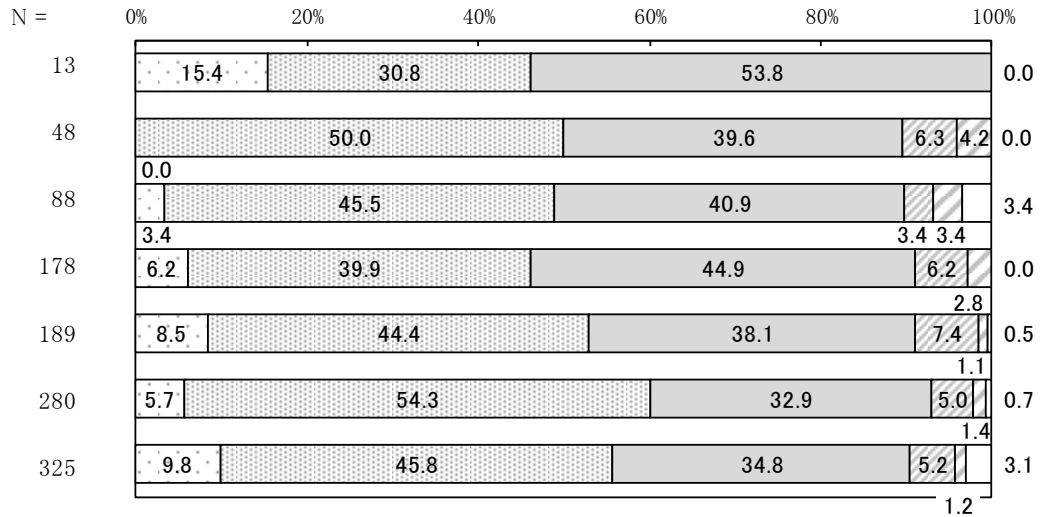
* 満足:「満足している」と「どちらかといえれば満足している」の合計

* 不満:「どちらかといえれば満足していない」と「満足していない」の合計

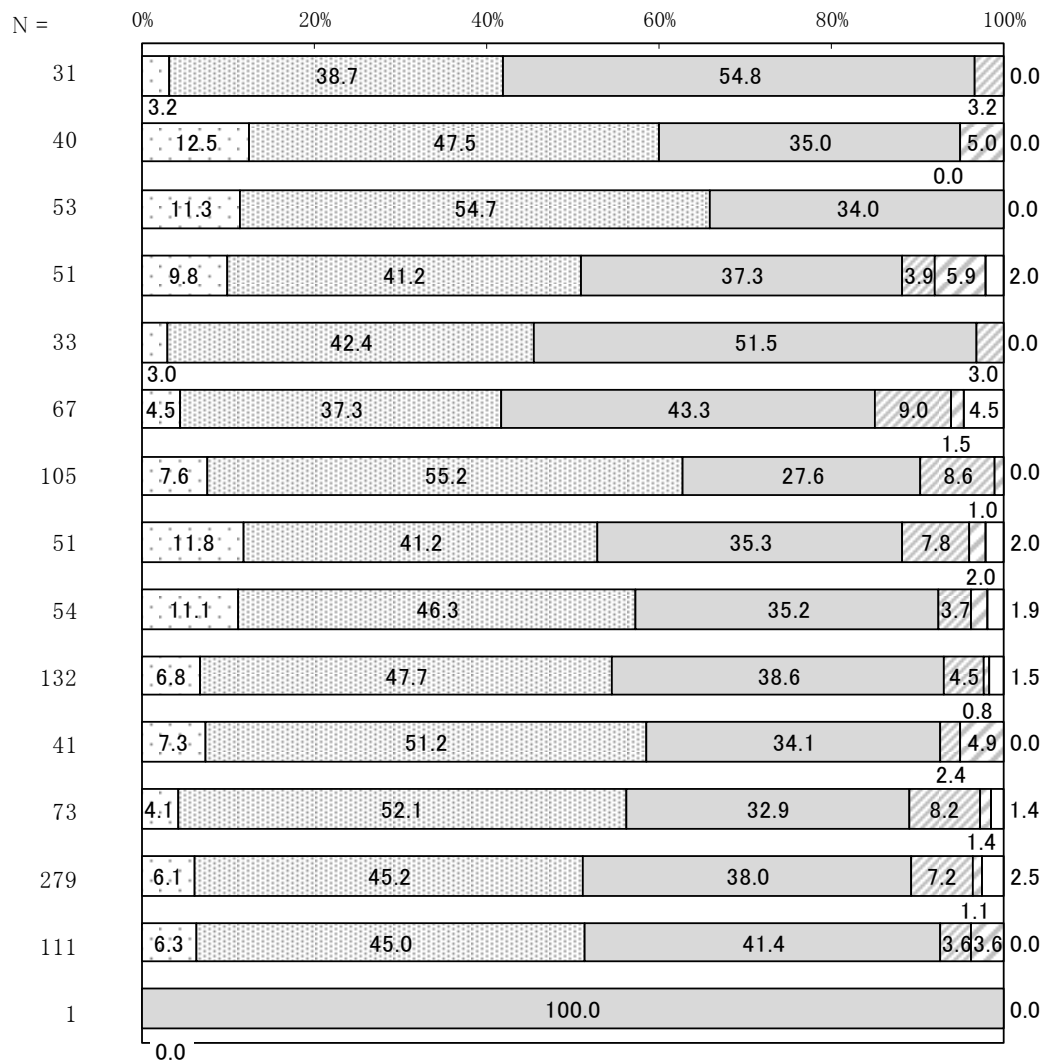
【性別】



【年代別】



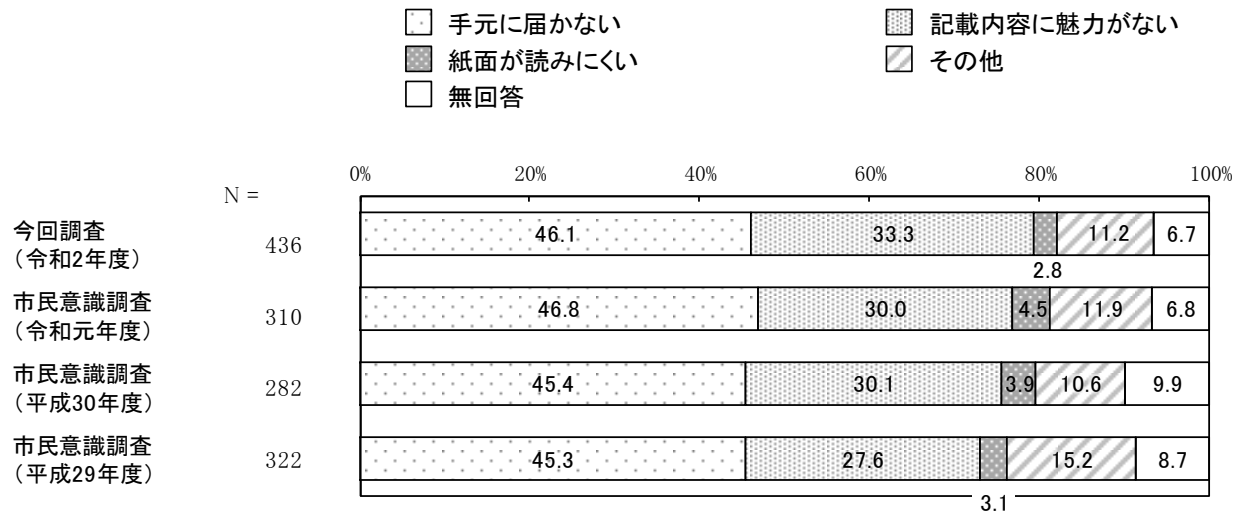
【居住地区別】



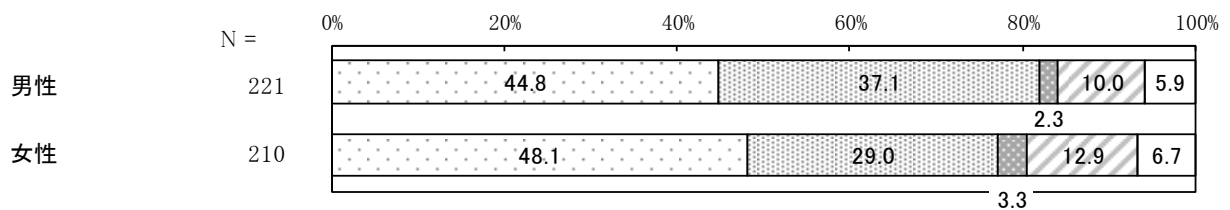
問 54-2 問 54 で「3. 読んでいない」「4. 知らない」とお答えの方におたずねします。
その理由は何ですか。《○1つ》

広報紙を読まない理由は「手元に届かない」が半数近く

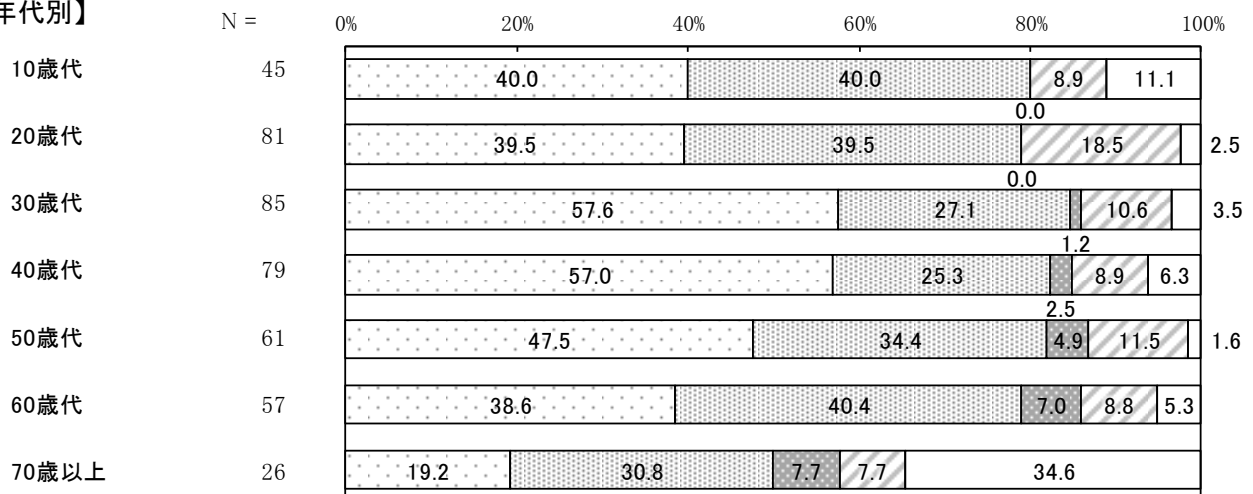
- ・ 「広報ひがしおうみ」を読んでいない人の理由としては、「手元に届かない」が 46.1%と最も多く、次いで「記載内容に魅力がない」が 33.3%と続きます。
- ・ 年代別では、10～20 歳代は「手元に届かない」と「記載内容に魅力がない」の両方が、30～50 歳代は「手元に届かない」が、60 歳代は「記載内容に魅力がない」が最も多くあげられています。



【性別】

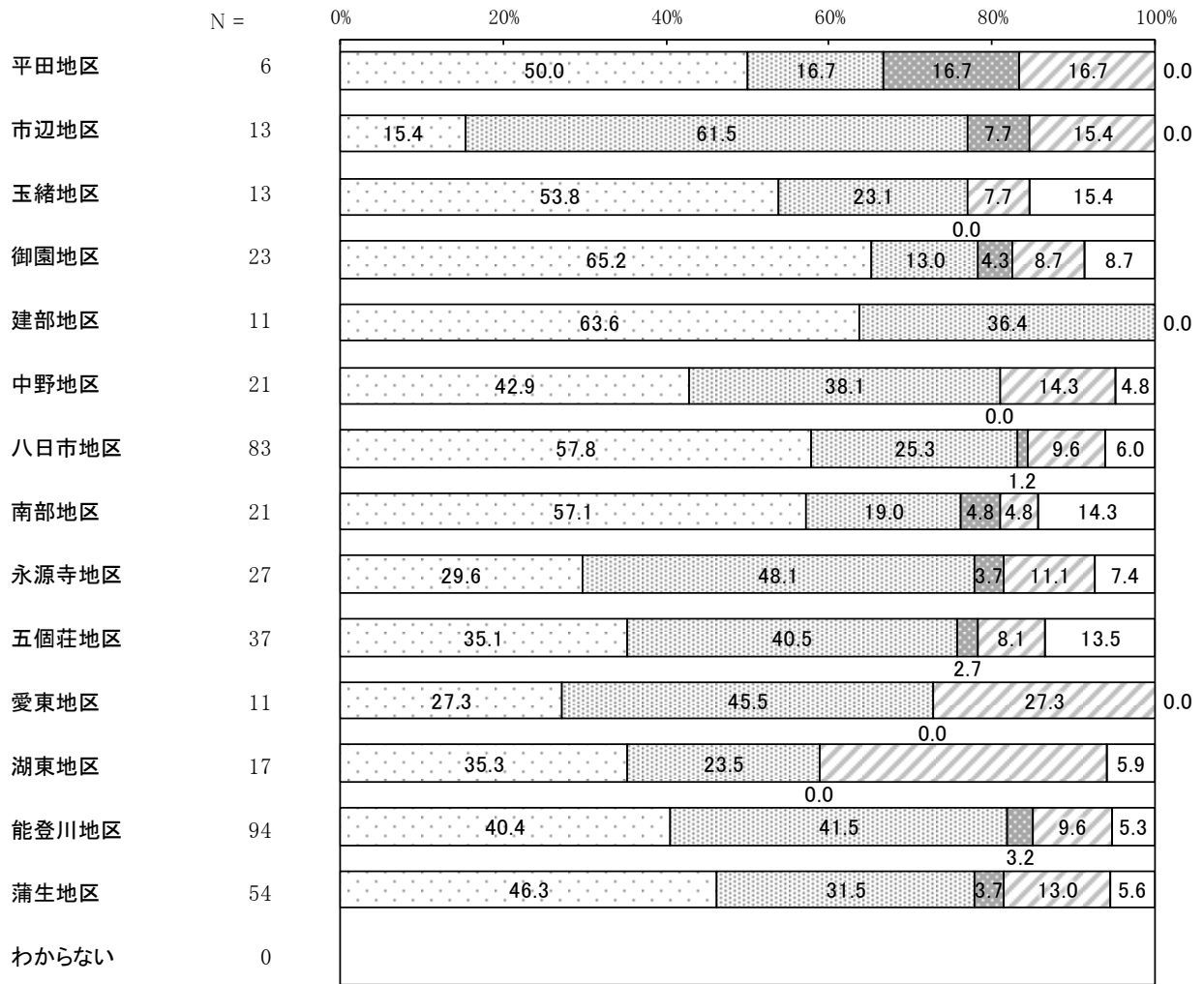


【年代別】



【居住地区別】

- ☐ 手元に届かない
- ☐ 紙面が読みにくい
- ☐ 無回答
- ☐ 記載内容に魅力がない
- ☐ その他



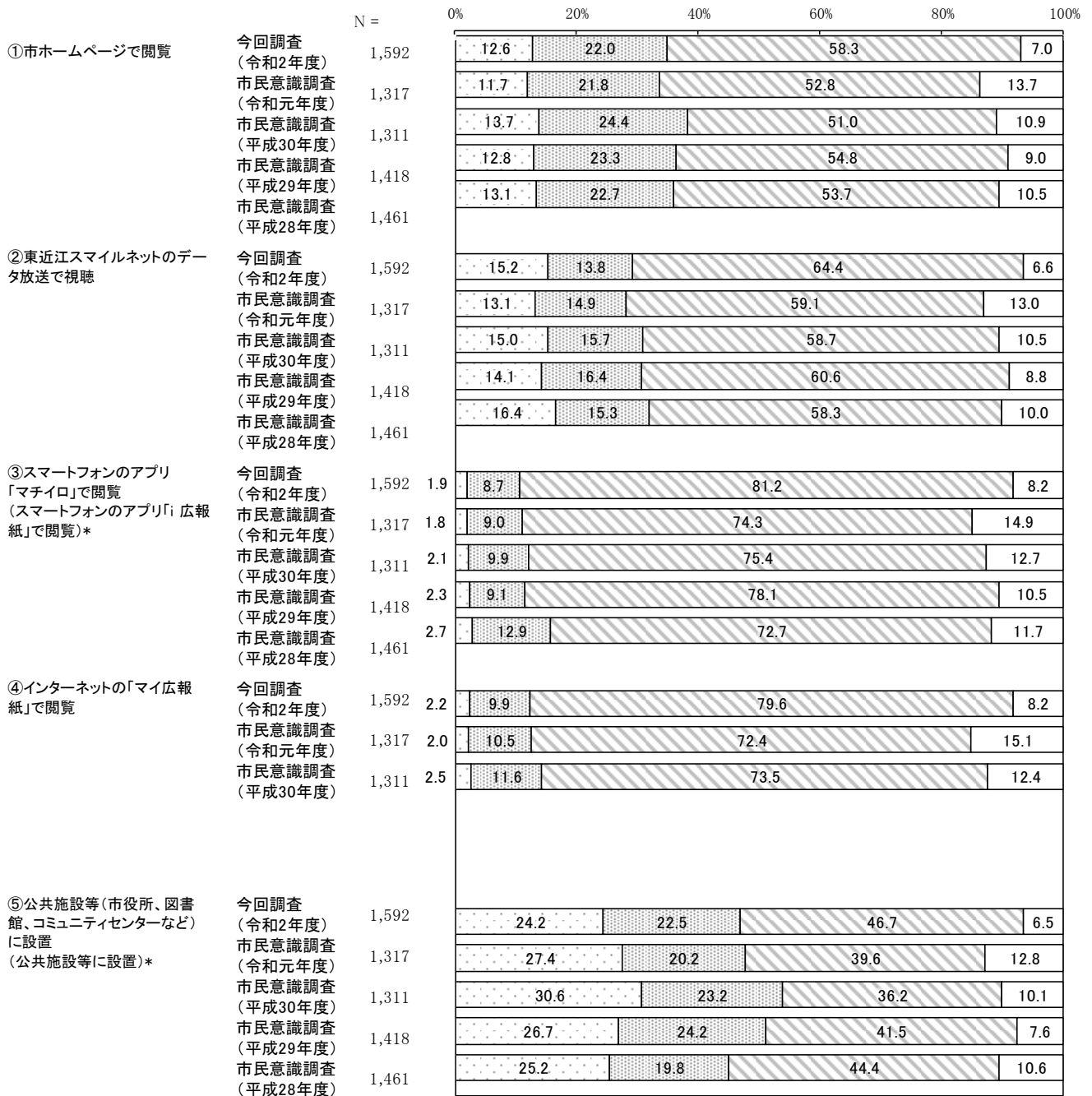
問 55 「広報ひがしおうみ」は毎月新聞折込みによる配布のほかに、次の方法で配信等を行っています。

あなたは、次の配信等の方法を知っていますか。《それぞれの項目に○1つ》

「広報ひがしおうみ」の配信方法の認知度は「公共施設等に設置」が最も高い

- ・ 「広報ひがしおうみ」の配信方法の認知度（「見たことがある」と「知っているが見たことはない」を合わせた割合）については、「⑤公共施設等に設置」が46.7%と最も高く、次いで「①市ホームページで閲覧」が34.6%、「②東近江スマイルネットのデータ放送で視聴」が29.0%、「④インターネットの「マイ広報紙」で閲覧」が12.1%、「③スマートフォンのアプリ「マチイロ」で閲覧」が10.6%となっています。実際に「見たことがある」人が多かったのは、「⑤公共施設等に設置」が24.2%、「②東近江スマイルネットのデータ放送で視聴」が15.2%、「①市ホームページで閲覧」が12.6%、「④インターネットの「マイ広報紙」で閲覧」が2.2%、「③スマートフォンのアプリ「マチイロ」で閲覧」が1.9%の順となり、市ホームページでの配信が知られているのに実際に見る人が少ないことが分かります。
- ・ 過去の調査と比較すると、「⑤公共施設等（市役所、図書館、コミュニティセンターなど）に設置」の認知度が平成30年度以降減少に転じています。また、すべての配信方法で「知らない」の割合が増加しています。

見たことがある 知っているが見たことはない
 知らない 無回答



*()内は平成28年度調査の項目

単位：%

		認知度*	知らない	差
①市ホームページで閲覧	今回調査(令和2年度)	34.6	58.3	-23.7
	市民意識調査(令和元年度)	33.5	52.8	-19.3
	市民意識調査(平成30年度)	38.1	51.0	-12.9
	市民意識調査(平成29年度)	36.1	54.8	-18.7
	市民意識調査(平成28年度)	35.8	53.7	-17.9
	差	-1.2	4.6	-5.8
②東近江スマイルネットのデータ放送で視聴	今回調査(令和2年度)	29.0	64.4	-35.4
	市民意識調査(令和元年度)	28.0	59.1	-31.1
	市民意識調査(平成30年度)	30.7	58.7	-28.0
	市民意識調査(平成29年度)	30.5	60.6	-30.1
	市民意識調査(平成28年度)	31.7	58.3	-26.6
	差	-2.7	6.1	-8.8
③スマートフォンのアプリ「マチイロ」で閲覧 (平成28年度は「i広報紙」)	今回調査(令和2年度)	10.6	81.2	-70.6
	市民意識調査(令和元年度)	10.8	74.3	-63.5
	市民意識調査(平成30年度)	12.0	75.4	-63.4
	市民意識調査(平成29年度)	11.4	78.1	-66.7
	市民意識調査(平成28年度)	15.6	72.7	-57.1
	差	-5.0	8.5	-13.5
④インターネットの「マイ広報紙」で閲覧	今回調査(令和2年度)	12.1	79.6	-67.5
	市民意識調査(令和元年度)	12.5	72.4	-59.9
	市民意識調査(平成30年度)	14.1	73.5	-59.4
	差	-2.0	6.1	-8.1
⑤公共施設等(市役所、図書館、コミュニティセンターなど)に設置 (平成28年度は「公共施設等に設置」)	今回調査(令和2年度)	46.7	46.7	0.0
	市民意識調査(令和元年度)	47.6	39.6	8.0
	市民意識調査(平成30年度)	53.8	36.2	17.6
	市民意識調査(平成29年度)	50.9	41.5	9.4
	市民意識調査(平成28年度)	45.0	44.4	0.6
	差	1.7	2.3	-0.6

* 認知度:「見たことがある」「知っているが見たことはない」の合計

① 市ホームページで閲覧

- ・ 年代別では、70歳以上を除き、年齢が上がるほど認知度が高く、年齢が低いほど知らない人が知っている人より多くなる傾向がみられます。
- ・ 居住地区別では、玉緒地区を除くすべての地区で知らない人が知っている人より多く、特に八日市地区で知らない人が多くなっています。認知度は、湖東地区、玉緒地区、平田地区、市辺地区の順に高くなっています。

② 東近江スマイルネットのデータ放送で視聴

- ・ 年代別では、10歳代を除いて年齢が上がるほど認知度が高くなる傾向がみられ、70歳以上を除いて知らない人が知っている人より多くなっています。
- ・ 居住地区別では、湖東地区を除くすべての地区で知らない人が知っている人より多く、特に八日市地区で知らない人が多くなっています。認知度は、湖東地区、平田地区、永源寺地区、愛東地区の順に高くなっています。

③スマートフォンのアプリ「マチイロ」で閲覧

- ・ 年代別では、すべての年代で知らない人が知っている人より多くなっていますが、60歳以上でほかの年代より認知度が高くなっています。
- ・ 居住地区別では、すべての地区で知らない人が知っている人より多くなっていますが、永源寺地区でほかの地区より認知度が高くなっています。一方、五個荘地区の認知度は6%台と最も低くなっています。

④インターネットの「マイ広報紙」で閲覧

- ・ 年代別では、すべての年代で知らない人が知っている人より多くなっていますが、年齢が上がるほど認知度が高くなる傾向がみられます。
- ・ 居住地区別では、すべての地区で知らない人が知っている人より多くなっていますが、永源寺地区、愛東地区でほかの地区より認知度が高くなっています。一方、五個荘地区、建部地区の認知度は6%台と低くなっています。

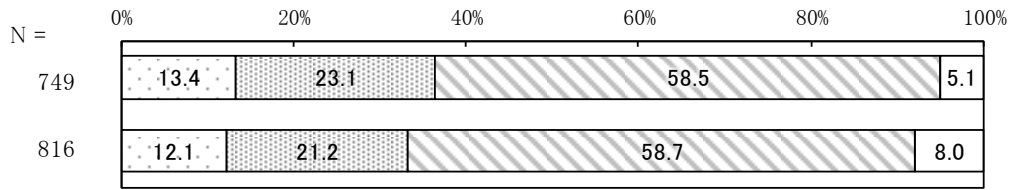
⑤公共施設等（市役所、図書館、コミュニティセンターなど）に設置

- ・ 年代別では、60歳代で認知度が6割近くと最も高くなっています。また、50歳代までは知らない人が知っている人より多く、10～20歳代でその差が大きくなっています。
- ・ 居住地区別では、玉緒地区、湖東地区で認知度が6割近くと高くなっています。また、八日市地区、五個荘地区、中野地区、蒲生地区、建部地区では知らない人が知っている人より多く、八日市地区でその差が大きくなっています。

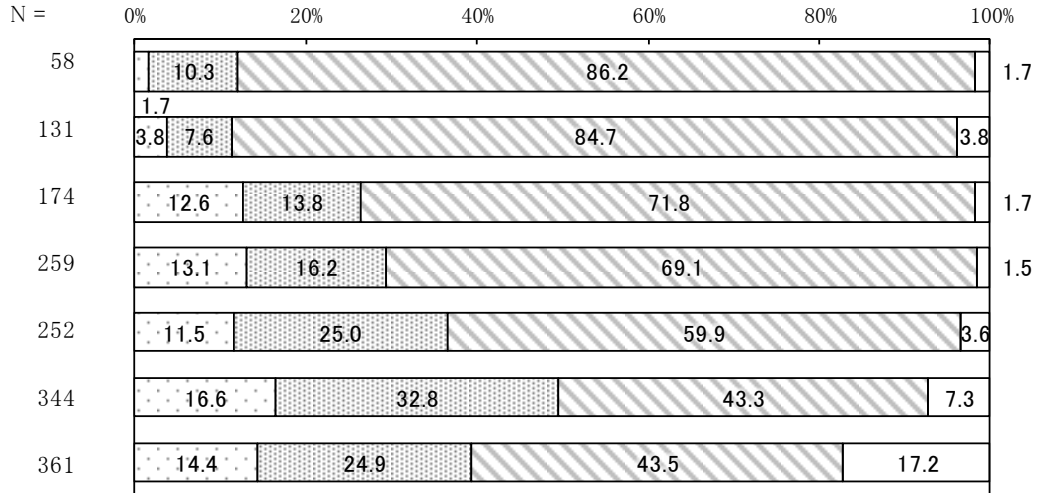
①市ホームページで閲覧

見たことがある 知っているが見たことはない
 知らない 無回答

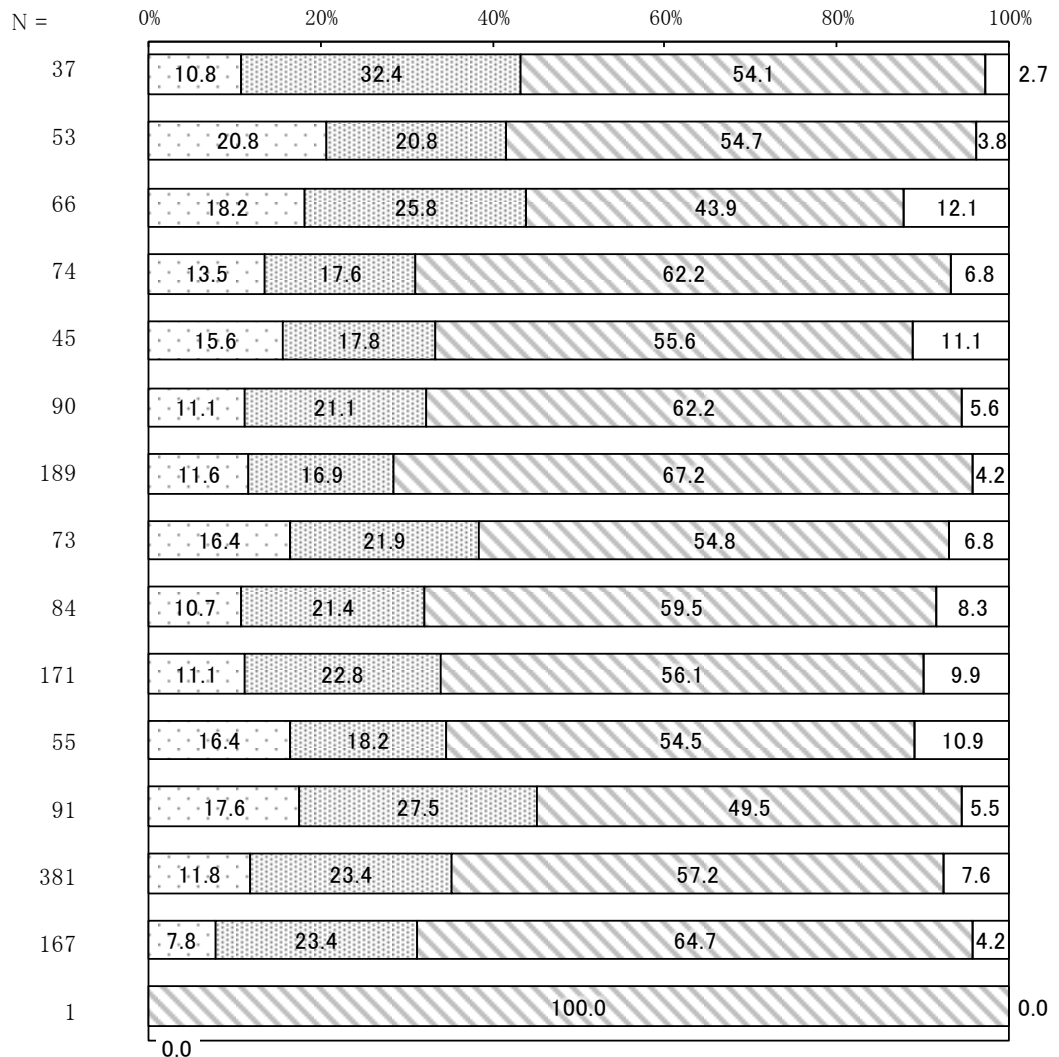
【性別】



【年代別】



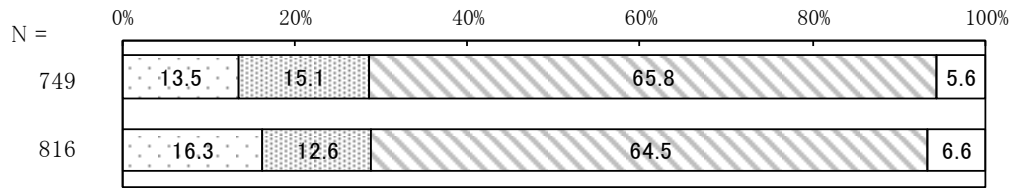
【居住地区別】



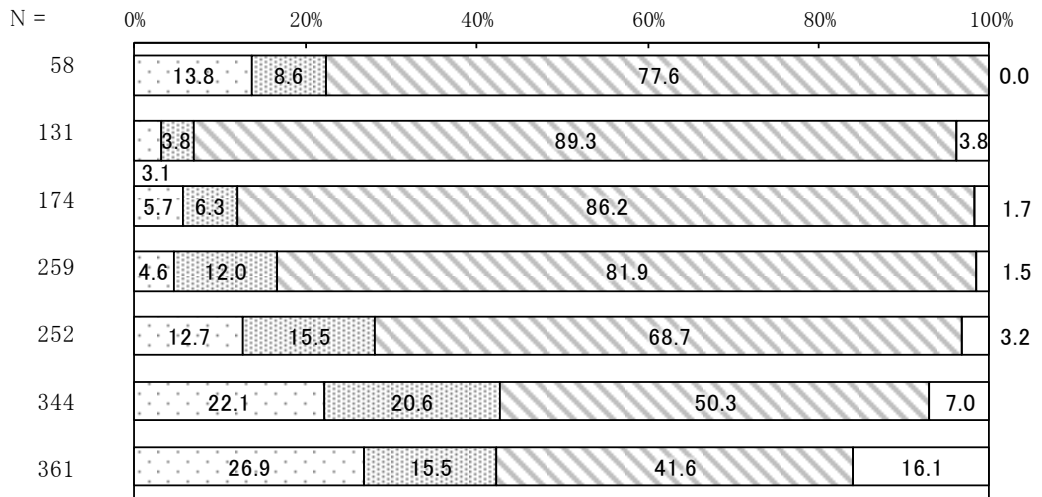
②東近江スマイルネットのデータ放送で視聴

見たことがある 知っているが見たことはない
 知らない 無回答

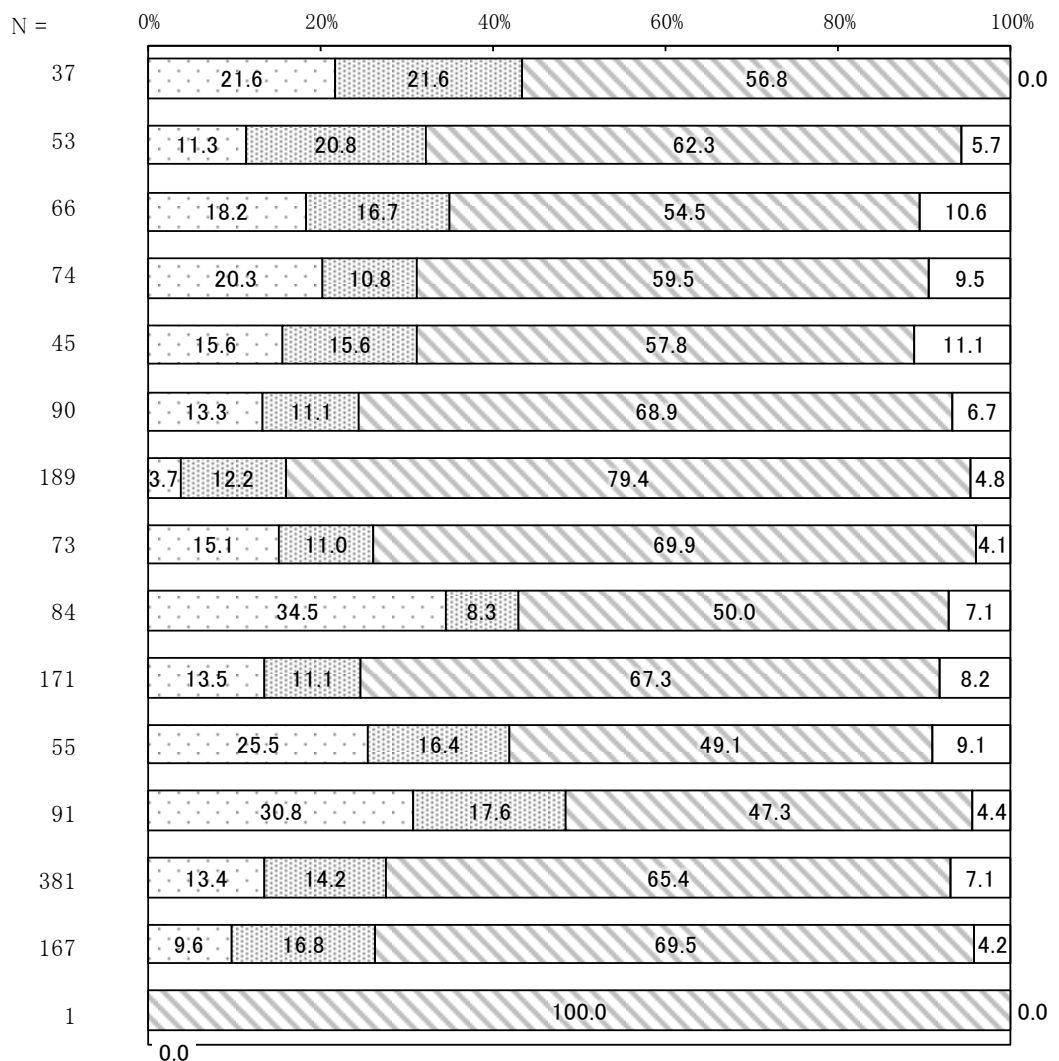
【性別】



【年代別】



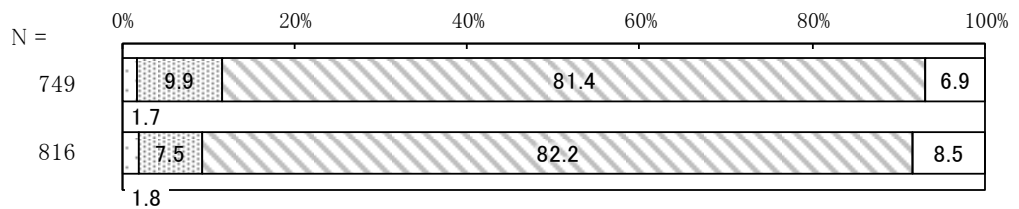
【居住地区別】



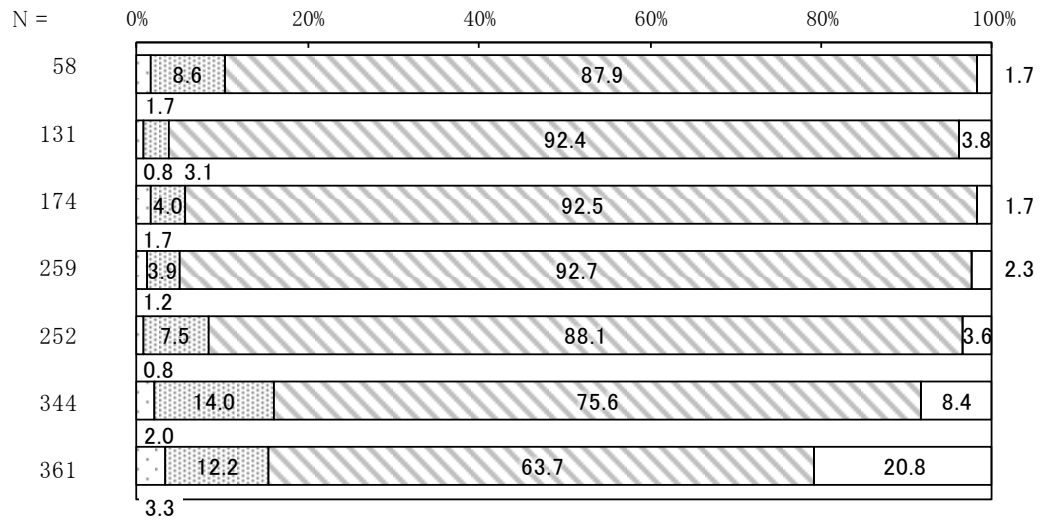
③スマートフォンのアプリ「マチイロ」で閲覧

見たことがある 知っているが見たことはない
 知らない 無回答

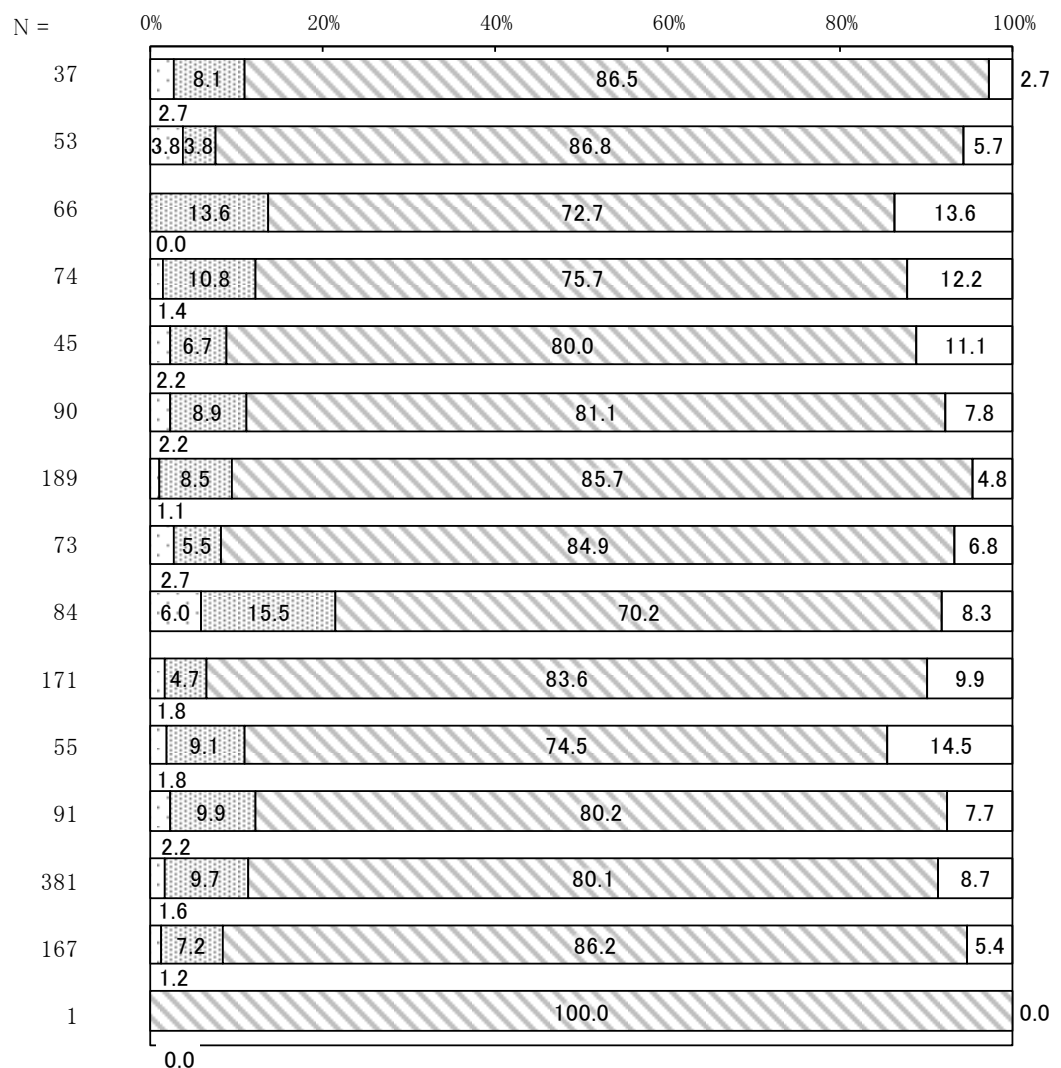
【性別】



【年代別】



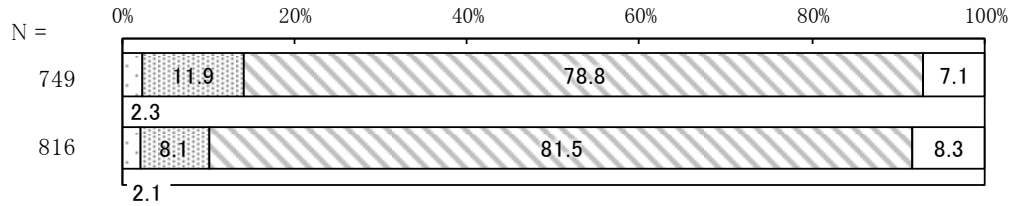
【居住地区別】



④インターネットの「マイ広報紙」で閲覧

見たことがある 知っているが見たことはない
 知らない 無回答

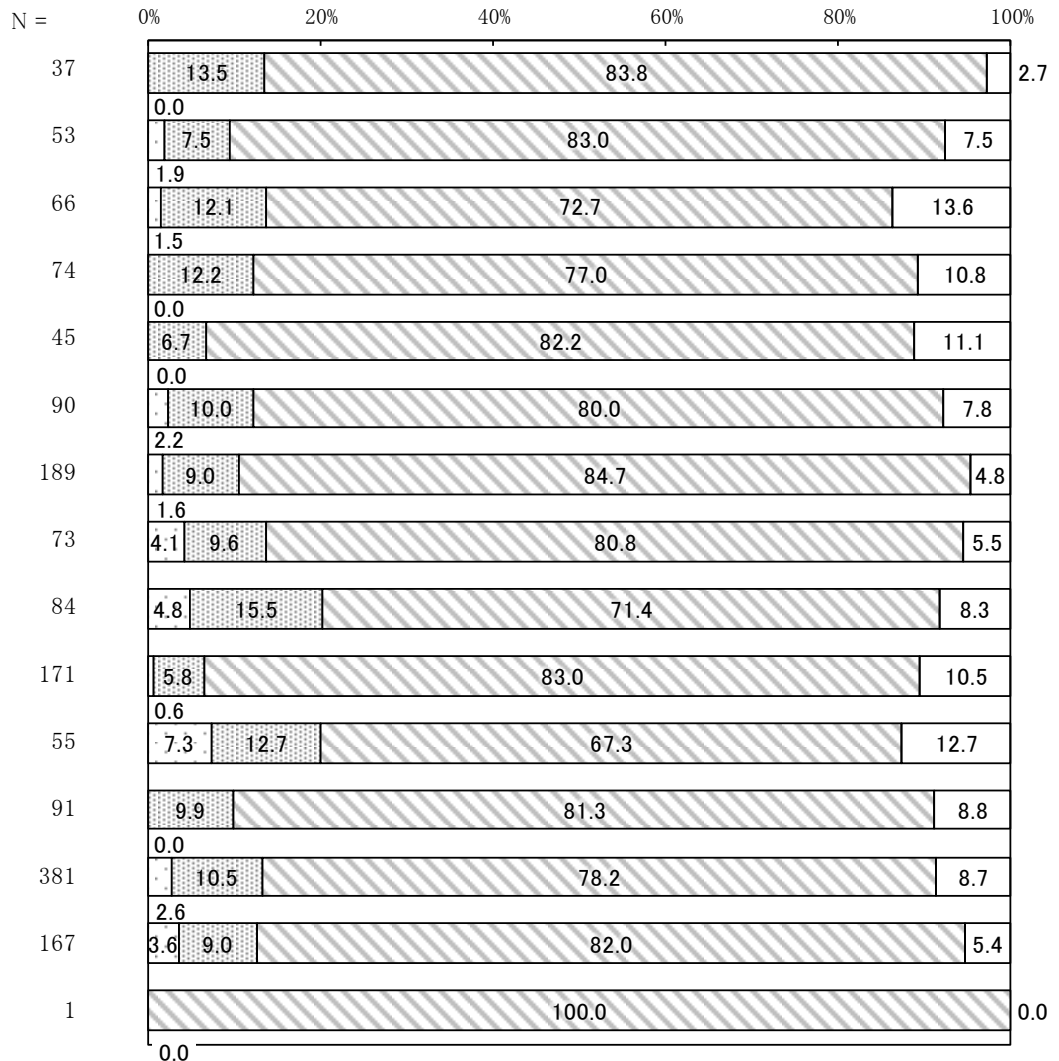
【性別】



【年代別】



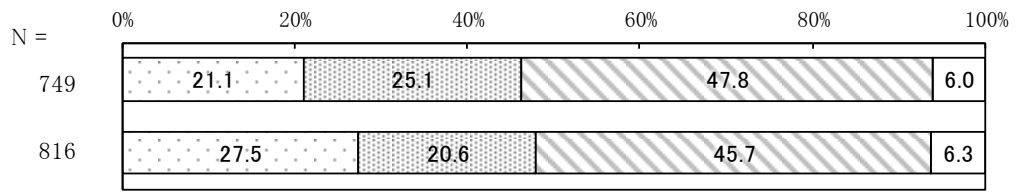
【居住地区別】



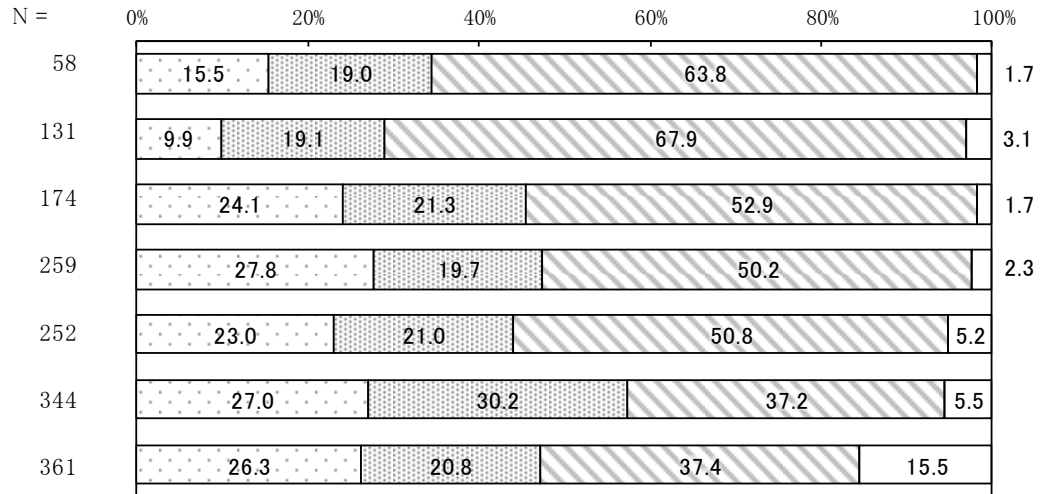
⑤公共施設等に設置

見たことがある 知っているが見たことはない
 知らない 無回答

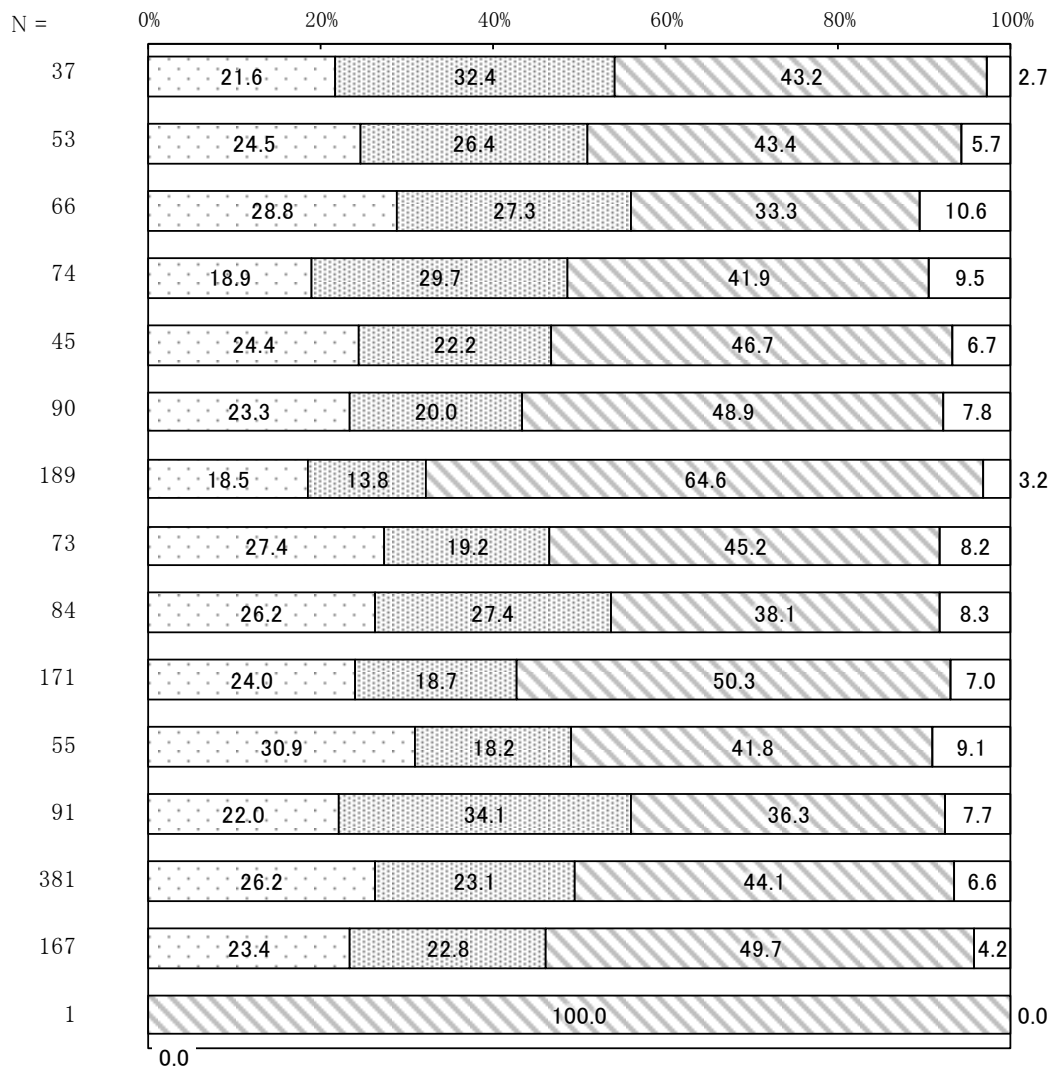
【性別】



【年代別】



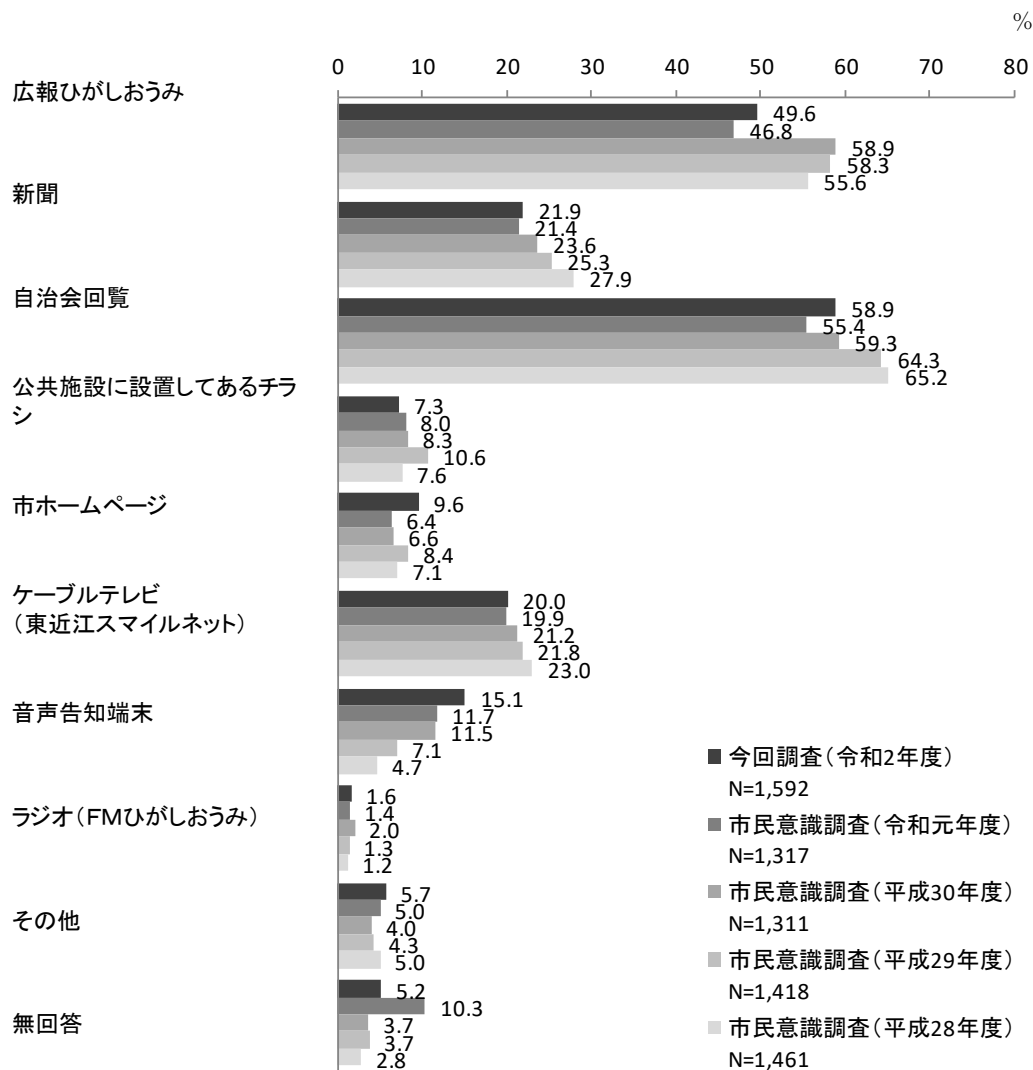
【居住地区別】



問 56 あなたは、市の情報（お知らせ）は主にどのような方法で取得していますか。《○3つまで》

6割近くが「自治会回覧」、半数近くが「広報ひがしおうみ」で市の情報を取得

- ・ 市の情報（お知らせ）の主な取得方法については、「自治会回覧」が58.9%と最も多く、次いで「広報ひがしおうみ」が49.6%、「新聞」が21.9%、「ケーブルテレビ（東近江スマイルネット）」が20.0%と続きます。
- ・ 過去の調査と比較すると、紙媒体としては「自治会回覧」と「新聞」の割合が年々減少していましたが、今回は増加しています。そのほかの媒体としては「ケーブルテレビ（東近江スマイルネット）」の割合が減少傾向にあり、「音声告知端末」の割合が年々増加しています。
- ・ 年代別では、10歳代は「新聞」と「自治会回覧」の両方が、そのほかの年代は「自治会回覧」が最も多くあげられています。そのほか「広報ひがしおうみ」は年齢が上がるほど、「市ホームページ」は30歳代で、「ケーブルテレビ（東近江スマイルネット）」は10歳代と60歳以上でほかの年代より多くみられます。
- ・ 居住地区別では、南部地区、愛東地区、玉緒地区は「広報ひがしおうみ」が、そのほかの地区では「自治会回覧」が最も多くあげられています（南部地区、玉緒地区では、「自治会回覧」も最も多くあげられています）。そのほか、永源寺地区、愛東地区、湖東地区で「ケーブルテレビ（東近江スマイルネット）」が、愛東地区で「音声告知端末」が、ほかの地区より多くみられます。



【性別】

単位:%

区分	有効回答数(件)	広報ひがしおうみ	新聞	自治会回覧	公共施設に設置してあるチラシ	市ホームページ	ケーブルテレビ(東近江スマイルネット)	音声告知端末	ラジオ(FMひがしおうみ)	その他	無回答
男性	749	47.1	21.8	59.1	6.1	10.1	19.5	17.0	1.5	5.5	4.4
女性	816	52.2	21.8	58.3	8.3	9.3	20.5	13.8	1.7	6.1	5.6

【年代別】

単位:%

区分	有効回答数(件)	広報ひがしおうみ	新聞	自治会回覧	公共施設に設置してあるチラシ	市ホームページ	ケーブルテレビ(東近江スマイルネット)	音声告知端末	ラジオ(FMひがしおうみ)	その他	無回答
10歳代	58	19.0	25.9	25.9	3.4	5.2	22.4	19.0	6.9	15.5	5.2
20歳代	131	29.8	11.5	35.1	11.5	11.5	6.1	9.9	3.1	15.3	5.3
30歳代	174	33.3	11.5	39.1	13.2	25.9	10.9	10.3	0.0	11.5	6.3
40歳代	259	45.2	15.8	57.1	11.2	15.1	10.4	15.1	1.9	6.9	3.5
50歳代	252	49.2	20.6	59.9	5.6	9.5	18.7	17.1	1.6	5.2	5.2
60歳代	344	59.0	24.1	73.0	3.8	6.4	25.0	19.5	1.5	2.3	4.9
70歳以上	361	64.8	33.0	70.1	5.5	1.1	32.4	13.0	0.6	0.8	5.5

【居住地区別】

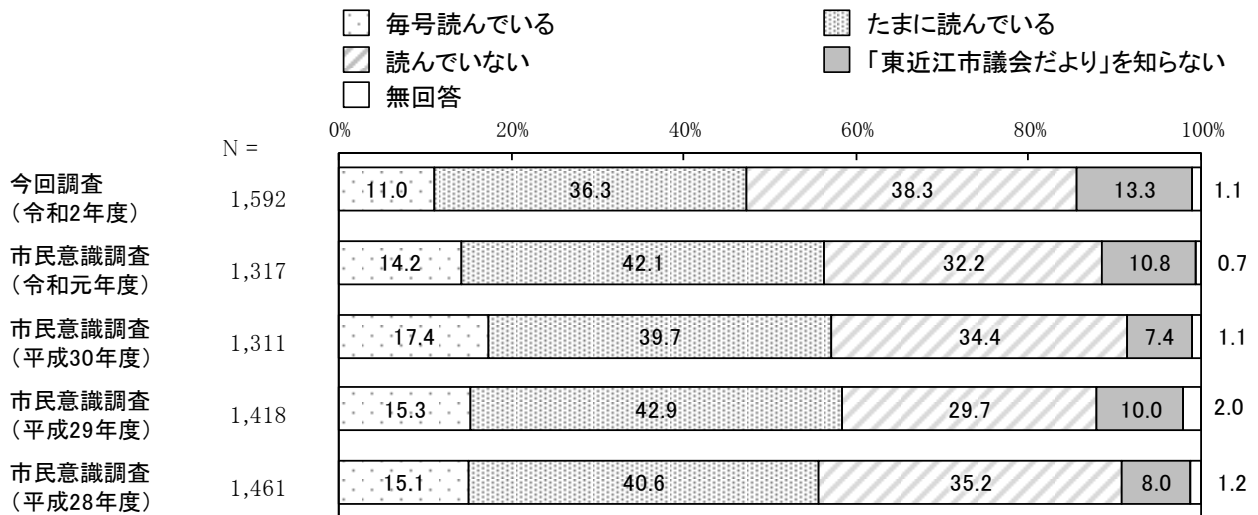
単位:%

区分	有効回答数(件)	広報ひがしおうみ	新聞	自治会回覧	公共施設に設置してあるチラシ	市ホームページ	ケーブルテレビ(東近江スマイルネット)	音声告知端末	ラジオ(FMひがしおうみ)	その他	無回答
平田地区	37	51.4	18.9	56.8	2.7	5.4	27.0	8.1	2.7	5.4	8.1
市辺地区	53	47.2	26.4	66.0	3.8	9.4	28.3	9.4	5.7	3.8	5.7
玉緒地区	66	54.5	28.8	54.5	6.1	12.1	24.2	13.6	0.0	12.1	3.0
御園地区	74	47.3	20.3	50.0	12.2	10.8	23.0	8.1	1.4	1.4	8.1
建部地区	45	44.4	24.4	62.2	4.4	4.4	11.1	22.2	0.0	4.4	11.1
中野地区	90	50.0	17.8	67.8	6.7	7.8	12.2	10.0	1.1	5.6	2.2
八日市地区	189	34.9	19.6	39.2	11.1	13.8	5.8	8.5	2.1	11.6	6.9
南部地区	73	58.9	24.7	58.9	6.8	15.1	17.8	11.0	4.1	6.8	6.8
永源寺地区	84	51.2	17.9	61.9	4.8	3.6	47.6	22.6	1.2	1.2	6.0
五個荘地区	171	52.6	22.8	59.6	4.7	6.4	25.1	14.0	0.6	5.8	5.3
愛東地区	55	56.4	14.5	49.1	1.8	9.1	43.6	38.2	0.0	3.6	7.3
湖東地区	91	51.6	16.5	69.2	3.3	12.1	42.9	17.6	0.0	1.1	2.2
能登川地区	381	52.8	23.6	63.0	8.9	10.0	14.7	15.5	1.8	5.5	4.2
蒲生地区	167	49.7	25.1	65.3	9.0	7.8	9.6	20.4	1.2	5.4	3.6
わからない	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	100.0	0.0	0.0

問 57 あなたは「東近江市議会だより」を読んでいますか。《○1つ》

半数近くが「東近江市議会だより」を読んでいる

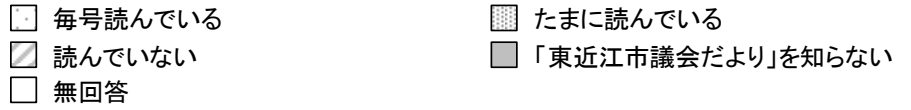
- ・ 「東近江市議会だより」については、「毎号読んでいる」が11.0%、「たまに読んでいる」が36.3%で、これらを合わせると47.3%となり、半数近くの人が読んでいると回答しています。一方、「読んでいない」が38.3%、「知らない」が13.3%となっています。
- ・ 過去の調査と比較すると、今回の調査では、「読んでいない」又は「知らない」人の割合が増加していますが、「東近江市議会だより」を読んでいない又は知らない人の割合が高い若い世代の回答率が高かったことも影響していると考えられます。
- ・ 年代別では、年齢が上がるほど、「東近江市議会だより」を読んでいる人（「毎号読んでいる」と「たまに読んでいる」の合計）が多くみられます。また、10～50歳代では、読んでいない又は知らない人が、読んでいる人（前述）より多く、若い世代ほどその差が大きくなっています。



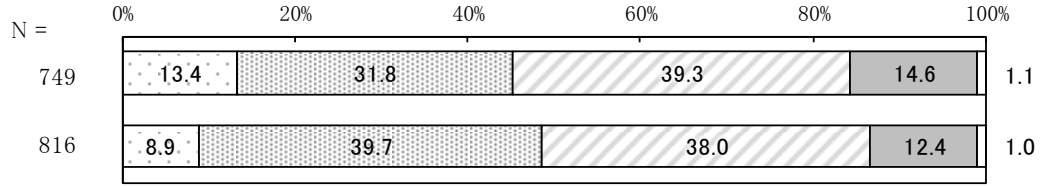
単位：%

	読んでいる*	読んでいない・知らない	差
①今回調査(令和2年度)	47.3	51.6	-4.3
②市民意識調査(令和元年度)	56.3	43.0	13.3
③市民意識調査(平成30年度)	57.1	41.8	15.3
④市民意識調査(平成29年度)	58.2	39.7	18.5
⑤市民意識調査(平成28年度)	55.7	43.2	12.5
①-⑤	-8.4	8.4	-16.8

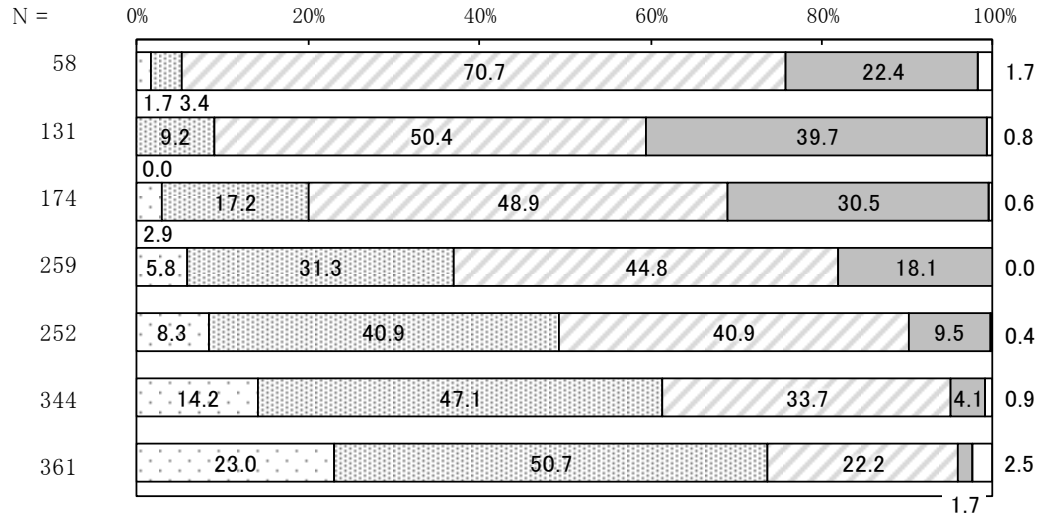
* 読んでいる:「毎号読んでいる」と「たまに読んでいる」の合計



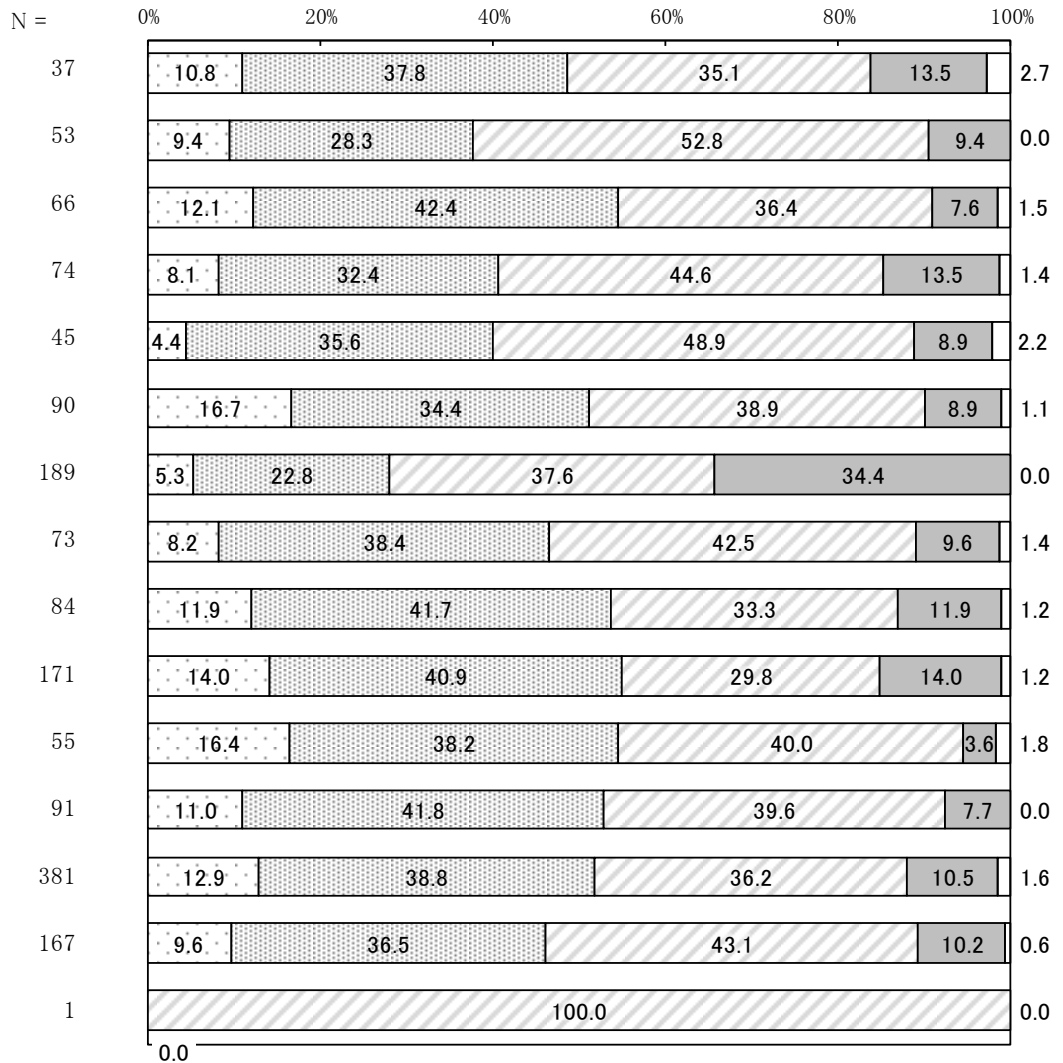
【性別】



【年代別】



【居住地区別】

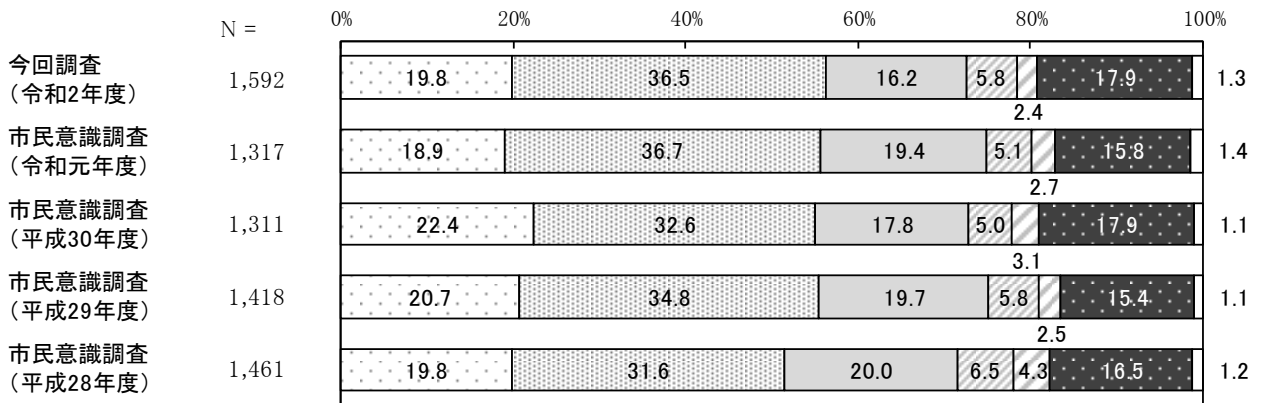
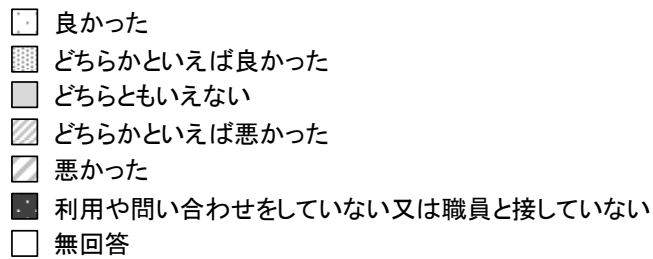


(10) 市役所のサービスに関して

問 58 この1年間に、市役所（支所・出張所を含む）の窓口利用や電話でのお問い合わせ、又は市役所外で職員に接した際の市役所職員の対応はどのように感じましたか。《○1つ》

6割近くが市役所職員の対応は良かった

- ・ 市役所職員の対応の印象については、「良かった」が19.8%、「どちらかといえば良かった」が36.5%で、これらを合わせると56.3%となり、6割近くが良かったと回答しています。一方、悪かった（「どちらかといえば悪かった」と「悪かった」の合計）の割合は8.2%と、1割未満となっています。
- ・ 過去の調査と比較すると、変動があるものの、良かった（「良かった」と「どちらかといえば良かった」の合計）の割合が増加し、悪かった（前述）の割合が減少しており、評価は年々上がっています。
- ・ 年代別では、10歳代は「利用や問い合わせをしていない又は職員と接していない」が、そのほかの年代は「どちらかといえば良かった」が最も多くなっています。また、60歳以上で良かった（前述）の割合が高くなっています。
- ・ 居住地区別では、良かった（前述）の割合は建部地区で7割、八日市地区、御園地区で6割と高く、愛東地区で悪かった（前述）の割合がほかの地区より高くなっています。



単位：%

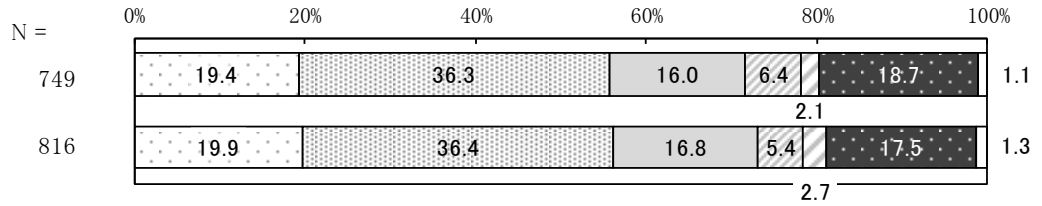
	良かった*	悪かった*	差
①今回調査(令和2年度)	56.3	8.2	48.1
②市民意識調査(令和元年度)	55.6	7.8	47.8
③市民意識調査(平成30年度)	55.0	8.1	46.9
④市民意識調査(平成29年度)	55.5	8.3	47.2
⑤市民意識調査(平成28年度)	51.4	10.8	40.6
①-⑤	4.9	-2.6	7.5

* 良かった:「良かった」と「どちらかといえば良かった」の合計

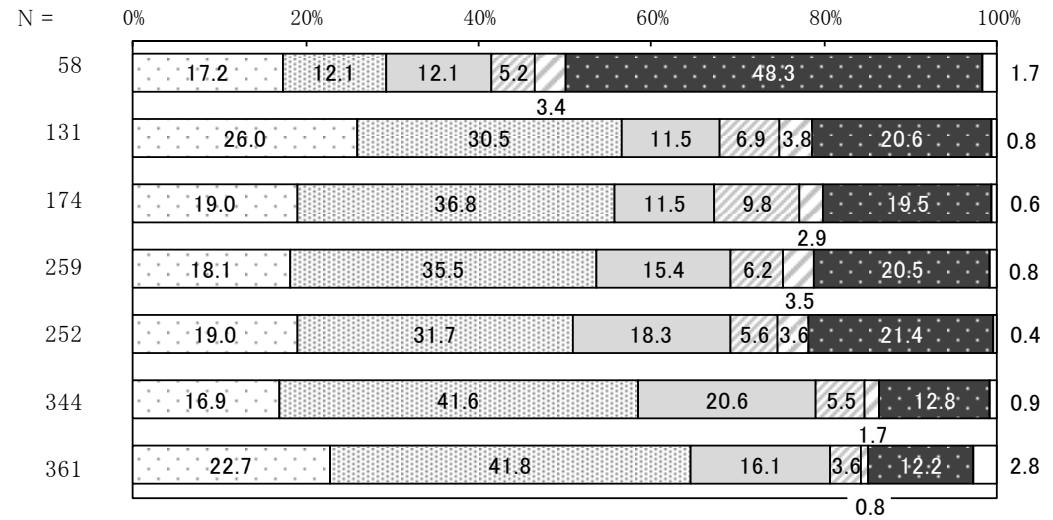
* 悪かった:「どちらかといえば悪かった」と「悪かった」の合計

良かった
 どちらかといえば良かった
 どちらともいえない
 どちらかといえば悪かった
 悪かった
 利用や問い合わせをしていない又は職員と接していない
 無回答

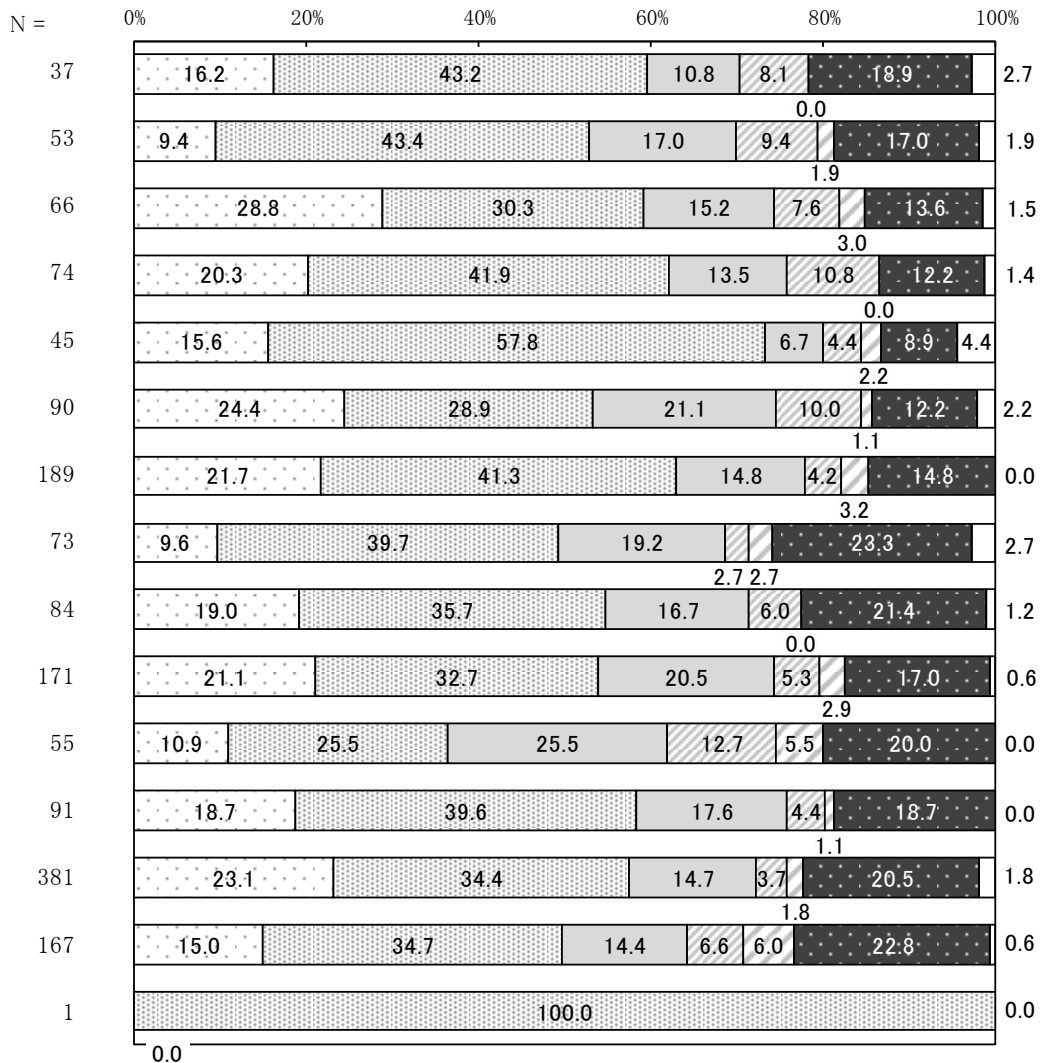
【性別】



【年代別】



【居住地区別】



(11) まちづくりに対する意見等について

問 59 東近江市のまちづくりについて、御意見や御提案等がありましたら御記入ください。

- ・ 有効回収数 1,592 件のうち、自由記述への記入件数は 520 件 (32.7%) でした。これらの意見を概ね本意識調査票の調査項目ごとに分類した件数は、次のとおりです。
- ・ なお、同じ人が複数の項目の意見を書かれているものも多いため、調査項目ごとに分類した件数の合計件数は 520 件以上となっています。

内容	件数	主な意見（一部抜粋）
住みごこちや愛着等について	33 件	<ul style="list-style-type: none"> ・ 東近江市には、愛東地区の百済寺のような多くの歴史的遺産が存在する。これらを活用した観光施策をもっと押し進めていき、多くの人に東近江市に魅力を感じてもらい、ここに住みたいと思ってもらえるようにすることが大事と思う。(愛東地区 70 歳以上男性) ・ 農産物などの小さなマルシェを開催する(パンマルシェやカフェマルシェなど) 鳴子の「全国こけし祭り」や鯖江の「めがねフェス」、新そば祭りや堺の「てぬぐいフェス」、餃子祭りなど、特産品や名物で街を盛り上げる。(八日市地区 30 代女性) ・ 特定のテーマに絞った探訪コースや、物産品を選定し、その道のファンを集め活性化する(万葉集、聖徳太子他)。近江鉄道の廃線跡(飛行場線、愛知砂利採取場)を探訪できるようなパンフ設置や、現地表示を行い、鉄道ファンを中心とした人の来訪に繋げ、近江鉄道の利用者増の一環とする。(湖東地区 60 代男性)
健康や福祉について	14 件	<ul style="list-style-type: none"> ・ 産院の選択肢が少なく残念。(建部地区 30 代女性) ・ コロナ禍の今は無理かもしれませんが、お年寄りが好きな時に好きなだけ集まっておしゃべりができる場所がもう少しあって、自由に使える、そんな日々が来るとすてきな町になるのかな?と思います。(永源寺地区 60 代女性) ・ 最重度の障がい者・障がい児が通う事のできる施設の充実・整備をもっと進めて欲しい。また、その親や家族の負担軽減・学校卒業後の進路の充実を希望したい。軽度の障がい者・障がい児についての支援サービスは、充実してきていると感じる。(能登川地区 20 代男性)
環境や暮らしについて	81 件	<ul style="list-style-type: none"> ・ 近江鉄道は学生にも必要だと思いますが、もう少し安いといいのと思います。(建部地区 30 代男性) ・ 免許を返納した高齢者の移動手段を豊富にしてほしい。(玉緒地区 30 代女性) ・ ゴミ資源分別の積極的取組:自治会で(新聞、雑誌、ダンボール、トイレ、ペットボトル、ビン、アルミ缶、紙、ボロ布、生ゴミ(堆肥)に取り組んでいます。自治会単位でもっと進めるべきと思う。(リサイクル奨励金、設備補助、用品(袋等)の補助をするなど他市の模範となる施策をすべきである。)(蒲生地区 70 歳以上男性) ・ 休日に家族で過ごせるような施設を増やしてほしい(科学館など)(八日市地区 20 代女性)

内容	件数	主な意見（一部抜粋）
子育てや教育について	40 件	<ul style="list-style-type: none"> ・子ども達が気楽に遊べる場所(公園とか広場)がない。愛知川の河川敷とか鈴鹿の山麓などを利用して、大人から子どもまで過ごせる所をつくってください。(愛東地区 60 代男性) ・このごろ結婚されたと聞いても他市、他県へ行かれる事が多くもっと東近江に住んでもらえる取組を考えてもらいたいです。(五個荘地区 50 代女性) ・子育て支援を充実させてほしい。少子高齢化対策として、経済的に多子をあきらめつつあるため、その辺をもう少し考えてほしい。(市辺地区 30 代女性)
都市整備について	71 件	<ul style="list-style-type: none"> ・道路の電柱を無くして道幅を広くして欲しいです。駅前の整備をして欲しいです。(能登川地区 20 代男性) ・通学等よく利用される道路の安全の為、街灯・歩道等充実してほしい。(中野地区 60 代女性) ・道の駅を作ったらどうかと思います。(建部地区 40 代男性) ・安い安全な場所にキレイな公園を作ってほしい。遊具があり、不審者が寄りつけない。(八日市地区 20 代女性)
商業やにぎわいの創出について	66 件	<ul style="list-style-type: none"> ・おしゃれな咖啡店やカフェが少ないので、若い人が好むようなお店をもっと増やしてほしいと思っています。(五個荘地区 20 代男性) ・八日市エリアの他に能登川駅から徒歩圏内に老若男女利用できるようなショッピングモール(おしゃれなカフェや雑貨屋さん、くつろぐ芝生などがある)をつくれれば、市内外、県外からも東近江を知ってもらえるきっかけになり、そこから、八日市にも目が向くと思う。(能登川地区 30 代女性) ・二五八祭りや農業祭のような事を多くしてください。(御園地区 70 歳以上男性) ・空家をこれからの若い人へ有効活用できるように。(能登川地区 30 代女性)
協働のまちづくりについて	25 件	<ul style="list-style-type: none"> ・自治会の人手不足で活動が行き詰まる。少子高齢化についての対応が急務です。(愛東地区 60 代男性) ・市内は範囲が広い。まずは、地元の範囲での「まちづくり」を考えていく。昔からの自治会の中で、防災の仕組みを整えていけば良いと思う。又、高齢化社会でのまちづくり、歩いて動ける範囲の中に、体力づくり・ふれあいコミュニティがしっかり組織できることが大切だと思います。(能登川地区 60 代男性) ・皆が参加できるようにしないと、「まちづくり」の意味がないと思います。やっている一部の人のための「まちづくり」では残念です。(建部地区 40 代女性)
広報等の情報について	14 件	<ul style="list-style-type: none"> ・「広報ひがしおうみ」を読みたいし入手したいが、新聞をとっていないため手元に届かず不便である。(能登川地区 40 代女性) ・市の広報情報誌個別配達にしてほしい。(湖東地区 60 代男性) ・新聞も取っていないしケーブルテレビも見られないので、市からの情報が全く入って来ません。市のホームページも見にくいので現在は見てもいません。GO TO EAT も全く知らず紙での入手はできませんでした。市民全体に市のサービスが行き渡るよう、工夫を求めます。(南部地区 50 代女性)

内容	件数	主な意見（一部抜粋）
市役所のサービスについて	42 件	<ul style="list-style-type: none"> ・休まなければいけないので、平日、仕事で市役所に行けない事があります。せめて、土曜日、日曜日にでも月 1 回ほどあけてほしいです。市役所全体。（八日市地区 60 代男性） ・チャット機能などで、日中相談ごとができるの良いと思います。（能登川地区 30 代男性） ・市議会議員の人にももっと身近に動いてもらった方がいいのではないか。（八日市地区 60 代女性）
まちづくり全般について	90 件	<ul style="list-style-type: none"> ・八日市以外の地域の事も考えてほしい。（五個荘地区 30 代女性） ・どこかの地区だけが発展するのではなく、東近江市全域が活性化するような取組をしてほしい。指針を示し、地区ごとに地区の特性をいかした取組が大切。（能登川地区 10 代男性） ・面積も広く同じ市内と感じられない地域があるため、一体感を醸成するような活動を求める。（永源寺地区 50 代男性） ・経済活動も大事なことです。文化、自然が無駄に破壊されることがないように施策や、東近江市民があたたかな市民性をもって生活できるよう、行政や市民みんなが何らかのテーマのもと息長く取り組んでいければよいと願っています。（五個荘地区 70 歳以上女性）
アンケートについて	13 件	<ul style="list-style-type: none"> ・紙アンケートではなく電子化も検討してください。結果集計等でムダが削減でき、有効なコスト使用を検討して下さい。（御園地区 50 代男性） ・このような意識調査は非常に重要であると考えます。一方で、調査の内容について、アパートに住んでいる者に向けた内容ではないというように感じました。アパート（賃貸）で住んでいる人と、一軒家（定住している人）に聞く内容が一緒であることに疑問を感じました。（御園地区 20 代女性） ・今回、アンケートに回答する事で、東近江市が、今までよりも分かった。ありがとうございます。（能登川地区 40 代男性）
その他	105 件	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルスについて（20 件） ・その他（61 件） ・特になし・わからない（24 件）

3 総括

1. 回答者属性

- ・男女比はほぼ同じですが、やや女性が多くなっています。
- ・60歳以上が4割を占めています。今回調査では、新型コロナウイルス感染拡大による外出自粛といった生活様式の変化が影響してか、若い世代、特に10歳代と40歳代の回答者が増加しています。
- ・居住地区は、2割が能登川地区、1割が八日市地区、五個荘地区、蒲生地区で、旧八日市市8地区が4割近くとなっています。

2. 住みごこちや愛着等について

- ・8割近くが住みごこちが良く、また7割近くが東近江市に対して愛着があると回答しています。東近江への愛着は、年齢が上がるほど高くなる傾向がみられます。
- ・東近江市を自慢できるかについては、4割近くが自慢できるとする一方、4割が「どちらともいえない」としています。
- ・「鈴鹿10座」の認知度は2割近くで、年齢が上がるほど認知度が高くなる傾向がみられます。一方、8割が「知らない」と回答しています。
- ・東近江市を訪れた友人・知人の案内先は、半数近くが「市内・市外どちらも案内する」と回答しており、若い世代で市外を案内する人が多くみられます。
- ・友人・知人を案内する観光地には、6割近くが「美しい自然環境が楽しめる観光地」をあげています。性別、年代によってそれぞれ求める観光地像が異なっています。
- ・近江鉄道八日市駅周辺（市役所周辺を含む。）への来訪頻度は、3割近くが週1回以上で、10歳代と40～50歳代で高くなっています。また、中心市街地活性化に向けては、駐車場の整備、空店舗の解消などが必要とされています。40歳代までの比較的若い世代では、空店舗の解消、おしゃれな雑貨店の増加など店舗の増加を望む声が多くみられます。

3. 健康や福祉について

- ・6割が市内の病院又は診療所にかかりつけ医がいると回答していますが、20～40歳代は4割前後がかかりつけ医がいないと回答しています。
- ・病院や救急時の医療体制は半数近くが満足している一方、3割近くが満足していません。30～50歳代で不満とする人が多くみられます。
- ・健康づくりの取組は半数近くが取り組んでおり、男性、50歳以上でその数が多くなっています（取り組みたいを合わせると9割近く）。また、その内容としては、運動、食事、睡眠、規則正しい生活、趣味、定期健診の受診などが多くあげられていますが、運動以外は性別・年代によって異なります。
- ・朝食を毎日食べている人は8割で、6割近くがよく眠っていますが、「あまりよく眠れない・眠りが浅い」人も4割近くみられます。また、運動は、半数以上がほとんどしていませんが、3割の人が週1回以上の運動をしています（10歳代は半数、70歳以上は4割）。
- ・社会体育施設で開催するスポーツ教室に希望する内容としては、性別・年代別でニーズが異なりますが、健康づくり・介護予防や体力づくりが多くあげられています。
- ・概ね7割が不安、悩み、ストレスを感じており（女性、30～50歳代で高い。）、その原因は半数近く

が「仕事のこと」ですが（10歳代は「人間関係」、60歳以上は「自分の健康」が最多）、7割近くが解消できていると回答しています（ただし、30～40歳代は4割近くが解消できていません。）。また、不安や悩み、ストレス等の相談相手は「家族」だという人が6割となっています。

- ・東近江市民の障害者に対する理解は進んできたと思うかについては、理解が進んでいないと思う人は減少していますが、「わからない」が4割近くと最も多く、理解を深めるために今後特に力を入れるべき取組は、バリアフリーのまちづくりや施設整備における配慮などが多くあげられています。

4. 環境や暮らしについて

- ・自然環境保全の取組への満足度は、3割近くが満足、「どちらともいえない」又は「わからない」が6割ですが、半数が日々の営みの中で自然環境との関わりを感じています。
- ・環境にやさしい取組は9割近くが実践しており、再生可能エネルギー・省エネ設備については設置（予定含む。）が2割で、設置したいも含めると6割になります。また、ごみと資源の分別はほとんどの人が実践しています。
- ・今後木造住宅を建てるとしたら選択したい材料としては、4割が大工・工務店等が勧めるもので、県産材も含めて地元産材は2割近くとなっています。
- ・市役所内に消費生活センターがあることの認知度は半数近くですが、市役所内の市民生活相談課で法律相談や登記相談等が受けられることは、6割近くの人に知られていません。いずれも20歳以上で年齢が上がるほど認知度があがる傾向がみられ、若い世代の認知度が低くなっています。
- ・公共交通に満足している人は2割近くで、半数近くが満足していません。
- ・近江鉄道は8割が重要と感じているものの、9割が利用していないと回答しています（10歳代は3割が利用）。また、半数近くが改善を望んでおり、運賃の値下げ、駐車場等の整備、JR琵琶湖線との接続改善、本数の増加などを求める声が多くなっています。
- ・災害への備えについては、7割近くが何らかの備えをしており、50歳代は非常持ち出し袋の準備、60歳以上は地域の防災訓練への参加が多くみられます。

5. 子育てや教育関連の取組について

- ・半数近くが子育てをするのに良い環境で、4割近くが通学路の安全確保ができていると回答しています。ただし、30歳代は通学路の安全が確保できていないと考える人のほうが多くなっています。
- ・人権が尊重されるまちになっていると思う人は2割ですが、3割が「わからない」と回答しています。また、何らかの人権に関する講座や講演、研修等に参加した人は3割となっています。
- ・オレンジリボン（児童虐待防止のシンボルマーク）の認知度は4割近くで、児童虐待が疑われるときの通報先は、警察、市役所、子ども家庭相談センター、民生委員児童委員が多くあげられています。
- ・市内の公立博物館の見学は、新型コロナウイルス感染拡大による外出自粛なども影響してか、9割近くが見学しなかったと回答しています。

6. 都市整備について

- ・都市基盤整備に対する満足度の総合評価（加重平均）は、河川、主要幹線道路、雨水排水、公園、地域の生活道路の順となっています。
- ・過去の調査と比べ、公園の整備に関する評価が高くなりましたが、地域の生活道路は依然として低

い評価となっています。

7. 購買状況等について

- ・食品は8割、日用雑貨品は7割が市内で購入していますが、衣料品は半数近くが市外で購入しています。年代や居住地区によって購入場所が異なっています。
- ・米の購入先は、親族など、知り合い、スーパーや量販店の順となっています。
- ・野菜を購入する際の基準は、鮮度、金額、安全と安心が多くあげられています。
- ・農産物直売所は、半数近くが市内の直売所を利用しており、年数回程度の利用が最も多くなっています（女性、60歳以上、愛東地区や湖東地区で利用者が多い。）。
- ・週1回以上のキャッシュレス決済の利用は、6割近くとなっており、クレジットカードの利用が最も多くなっています。

8. 協働のまちづくりについて

- ・協働のまちづくりができていないかについては、4割近くが「わからない」としています。
- ・まちづくり協議会の活動に参加している人は1割未満ですが、認知度は4割近くあります。年齢が上がるほど認知度も高くなる傾向がみられ、70歳以上は6割近くとなっています。
- ・4割が、住民同士の助け合いはできていると回答しています。60歳以上は半数ができていないと回答しています。
- ・地域活動又はNPOやボランティア等の活動は、半数近くが参加していると回答しており、年齢が上がるほど活動参加率も上がる傾向がみられます。その内容としては、9割近くが自治会活動で、ボランティア活動やまちづくり協議会の活動も2割前後となっています。
- ・国籍や民族が異なる人々が互いに認め合い、共に暮らす社会の実現については、7割が重要としており、年齢が若いほど認識が強いことがうかがえます。

9. 広報等の情報について

- ・「広報ひがしおうみ」は7割が読んでおり、うち3割が毎月読んでいます。年齢が上がるほど、読んでいる人の割合や読む頻度も上がる傾向がみられます。また、半数がその内容に満足しています。
- ・「広報ひがしおうみ」の配信方法は、「公共施設等に設置」が最もよく知られており、スマートフォンのアプリやインターネットの「マイ広報紙」での閲覧はほとんど知られていません。
- ・市の情報の取得方法は、6割近くが「自治会回覧」、半数近くが「広報ひがしおうみ」をあげています。
- ・「東近江市議会だより」は半数近くが読んでおり、年齢が上がるほど、読んでいる人の割合や読む頻度も上がる傾向がみられます。

10. 市役所のサービスについて

- ・市役所職員の対応については、6割近くが良かったと回答しています。

4 調査票

令和2年度 東近江市 市民意識調査

◆アンケート調査への御協力をお願い◆

皆さまには、日頃から東近江市政に御理解と御協力をいただき、誠にありがとうございます。

さて、東近江市では「うるおいとにぎわいのまち東近江市」を目指し、平成28年度に策定いたしました「第2次東近江市総合計画」に基づき、まちづくりを進めております。

住みよいまちづくりを実現するため、皆さまの意識や生活スタイルなどの幅広い項目について御意見を聞かせいただきたく、市内にお住まいの18歳以上の市民の皆さまから約3,000名を無作為に抽出し、アンケート調査を毎年実施させていただいております。

皆さまにおかれましては御多用のことと存じますが、本調査の趣旨を御理解いただき、御協力くださいますようお願い申し上げます。

なお、今回お答えいただきました内容につきましては統計的に処理し、東近江市個人情報保護条例に基づき適切に取り扱います。

令和2年11月

東近江市長 小椋 正清

アンケートの記入・返信について

- ・調査の回答は、封筒宛名の御本人が記入してください。なお、御本人による回答(記入)が難しい場合は、御家族の方が御本人の意思を反映して、記入してください。
- ・回答は、質問にしたがって、あてはまる番号に○をつけてください。
- ・選択肢の中で「その他」に回答された場合は、()内に具体的な内容を記入してください。
- ・記入していただいた調査票は、同封の返信用封筒に入れて、令和2年11月24日(火)までに郵便ポストに投函してください。切手は不要です。

アンケートに関する問い合わせ

東近江市 企画部 総合政策課

〒527-8527 東近江市八日市緑町10番5号

IP電話:050-5802-9021 電話:0748-24-5621

FAX:0748-24-1457

Eメール:sousei@city.higashiomi.lg.jp

※宛先は、令和2年11月1日現在の住民基本台帳から抽出しました。



令和2年度 東近江市 市民意識調査 調査票

1 あなた自身のことについておたずねします。

問1 性別《○1つ》	1. 男性	2. 女性		
問2 年齢《○1つ》	1. 10歳代	2. 20歳代	3. 30歳代	4. 40歳代
	5. 50歳代	6. 60歳代	7. 70歳以上	
問3 居住地区 《○1つ》	1. 平田地区	2. 市辺地区	3. 玉緒地区	
	4. 御園地区	5. 建部地区	6. 中野地区	
	7. 八日市地区	8. 南部地区	9. 永源寺地区	
	10. 五個荘地区	11. 愛東地区	12. 湖東地区	
	13. 能登川地区	14. 蒲生地区	15. わからない(町・丁目名)	

2 住みごちや愛着等についておたずねします。

問4 あなたは、東近江市の住みごちをどう思いますか。《○1つ》

1. 良い	2. どちらかといえば良い	3. どちらかといえば悪い
4. 悪い	5. わからない	

問5 あなたは、東近江市に対して愛着がありますか。《○1つ》

1. とても愛着がある	2. やや愛着がある	3. どちらともいえない
4. あまり愛着がない	5. 愛着がない	

問6 あなたは、東近江市を自慢できますか。《○1つ》

1. とても自慢できる	2. やや自慢できる	3. どちらともいえない
4. あまり自慢できない	5. 自慢できない	

問7 東近江市では、平成27年度に鈴鹿の山々から「鈴鹿10座」を選定し、鈴鹿山脈の素晴らしさと存在意義を広く周知するとともに、市の知名度アップに取り組んでいます。

あなたは、「鈴鹿10座」が選定されたことを知っていますか。《○1つ》

1. 知っている	2. 知らない
----------	---------

問8 あなたは、東近江市に訪れた友人・知人を観光案内する場合に、どちらを案内しますか。《○1つ》

1. 市内を案内する	2. 市外を案内する
3. 市内・市外どちらも案内する	

問 9 あなたは、友人・知人を観光案内する場合に、どのような観光地を案内しますか。《あてはまるものすべてに○》

- | | |
|-------------------------------|-------------------------|
| 1. 美しい自然環境が楽しめる観光地 | 2. 町なみ景観が楽しめる観光地 |
| 3. 歴史・文化が楽しめる観光地 | 4. 食事や買い物が楽しめる観光地 |
| 5. 日帰り観光がしやすい観光地 | 6. 宿泊観光がしやすい観光地 |
| 7. ものづくり産業をいかした観光地 | 8. 農林業や伝統工芸などの体験ができる観光地 |
| 9. スポーツが楽しめる場や子どもの遊び場が充実した観光地 | 10. 祭りやイベントが楽しめる観光地 |
| 11. その他() | |

問 10 あなたは、この1年間で近江鉄道八日市駅周辺(市役所周辺を含む。)にどの程度訪れましたか。《○1つ》

- | | | |
|-----------|-------------|-----------|
| 1. ほぼ毎日 | 2. 週に2～3回程度 | 3. 週に1回程度 |
| 4. 月に数回程度 | 5. 年に数回程度 | 6. 訪れていない |

問 11 あなたは、八日市駅周辺の中心市街地が活性化するには、どのようなお店や施設、イベントなどの開催が必要だと思いますか。《あてはまるものすべてに○》

- | | |
|-------------------------------|----------------------------------|
| 1. 空店舗に新しい店が入る | 2. おしゃれな雑貨店が増える |
| 3. 駅前や歩道等の空間をオープンカフェなどに活用する | 4. 魚屋、八百屋など生鮮品の店が並ぶ、歩いて楽しい商店街にする |
| 5. マルシェなどのイベントを定期的に開催する | 6. イベントホールやテナントが入るビルをつくる |
| 7. 自家用車で訪れやすいよう駐車場をつくる | 8. 観光客が地元の名産品を買えるようにする |
| 9. 延命公園や清水川などの自然をいかして癒しの空間にする | 10. その他() |

3 健康や福祉についておたずねします。

問 12 あなたには、日常的な診療や健康の管理をしてくれるお医者さん(かかりつけ医)はいますか。《○1つ》

- | | | |
|-------------------|-------------------|-------------|
| 1. 市内の病院にいる | 2. 市内の診療所(開業医)にいる | 3. 市外の病院にいる |
| 4. 市外の診療所(開業医)にいる | 5. いない | |

問 13 あなたは、病院や救急時の医療体制に満足していますか。《○1つ》

- | | | |
|------------|-------------------|--------------------|
| 1. 満足している | 2. どちらかといえば満足している | 3. どちらかといえば満足していない |
| 4. 満足していない | 5. わからない | |

問 14 あなたは、自分の健康づくりのために何か取り組んでいますか。《○1つ》

- | | | |
|-------------------------|-----------------|-----------|
| 1. 取り組んでいる | 2. 取り組みたいと思っている | →問 14-1 へ |
| 3. 取り組むつもりはない →問 14-2 へ | | |

問 14-1 問 14 で「1. 取り組んでいる」「2. 取り組みたいと思っている」とお答えの方におたずねします。
具体的にどのような取組をしていますか、又は取り組みたいと思っていますか。
《あてはまるものすべてに○》

- | | |
|-------------------|----------------------|
| 1. 運動をする | 2. 趣味(運動以外)の時間をつくる |
| 3. 休養を十分にとる | 4. 食事の量や質に注意する |
| 5. 睡眠を十分にとる | 6. 定期的に健康診査やがん検診を受ける |
| 7. 規則正しい生活をする | 8. たばこを控える又はやめる |
| 9. アルコールを控える又はやめる | 10. その他() |

問 14-2 問 14 で「3. 取り組むつもりはない」とお答えの方におたずねします。
その理由はどのようなことですか。《あてはまるものすべてに○》

- | | |
|------------------------|----------------------|
| 1. どのように取り組んだらよいかわからない | 2. 自分の健康づくりに興味、関心がない |
| 3. 取り組んでも効果が期待できない | 4. その他() |

問 15 あなたは、朝食を食べていますか。《○1つ》

- | | |
|-------------|-------------|
| 1. 毎日食べる | 2. 週4～5日食べる |
| 3. 週2～3日食べる | 4. ほとんど食べない |

問 16 あなたはよく眠れますか。《○1つ》

- | | |
|----------|--------------------|
| 1. よく眠れる | 2. あまりよく眠れない・眠りが浅い |
| 3. 眠れない | 4. その他() |

問 17 あなたは、スポーツやレクリエーション等の運動をどの程度行っていますか。《○1つ》

- | | |
|------------|--------------|
| 1. 週3回以上 | 2. 週1～2回 |
| 3. 月1～2回程度 | 4. ほとんどしていない |

問 18 あなたは、社会体育施設(学校の運動場・体育館を除く。)で開催するスポーツ教室にどのような内容を希望されますか。《○1つ》

- | | | |
|---------------|---------------|-----------|
| 1. レクリエーション活動 | 2. 健康づくり・介護予防 | 3. 体力づくり |
| 4. アスリートの育成 | 5. 希望しない | 6. その他() |

問 19 あなたはこの1箇月間に、不安、悩み、ストレスを感じましたか。《○1つ》

- | | | |
|----------|-----------|-----------|
| 1. 大いにある | 2. 多少ある | →問 19-1 へ |
| 3. あまりない | 4. まったくない | |

問 19-1 問 19 で「1. 大いにある」「2. 多少ある」とお答えの方におたずねします。
あなたの不安、悩み、ストレスの原因は何ですか。《あてはまるものすべてに○》

- | | | |
|-----------|--------------|---------------|
| 1. 経済的なこと | 2. 仕事のこと | 3. 人間関係 |
| 4. 家族関係 | 5. 子育てに関すること | 6. 親の介護に関すること |
| 7. 自分の健康 | 8. 家族の健康 | 9. その他() |

問 20 あなたの不安や悩み、ストレスは解消できていますか。《○1つ》

- | | |
|--------------|---------------|
| 1. うまくできている | 2. ある程度できている |
| 3. あまりできていない | 4. まったくできていない |

問 21 あなたは不安や悩み、ストレス等について相談したいとき、誰に相談しますか。《あてはまるものすべてに○》

- | | | |
|-----------------|---------------|-----------|
| 1. 家族 | 2. 親族 | 3. 友人・知人 |
| 4. 相談窓口(行政機関など) | 5. 相談できる人がいない | 6. その他() |

問 22 あなたは、東近江市民の障害者に対する理解は進んできたと思いますか。《○1つ》

- | | | |
|-------------------|--------------|--------------|
| 1. かなり進んできた | 2. ある程度進んできた | 3. どちらともいえない |
| 4. あまり進んできたとは思わない | 5. 進んでいない | 6. わからない |

問 23 あなたは、障害者に対する理解を深めるために、今後どのようなことに特に力を入れるべきだと思いますか。《あてはまるものすべてに○》

- | | |
|-------------------------|--------------------------|
| 1. スポーツや文化活動で地域交流を深める | 2. 「ふれあいの集い」などのイベントを充実する |
| 3. 市民対象の福祉講座や講演会を開催する | 4. 福祉施設を地域に開放し交流を図る |
| 5. グループホームを地域の中につくる | 6. 子どもたちへの人権・福祉教育を充実する |
| 7. 障害者団体や関係グループの活動をPRする | 8. ボランティアの育成を図る |
| 9. 障害者も使いやすい施設をつくる | 10. 障害者がまちに出かけやすい整備を進める |
| 11. わからない | 12. その他() |

4 環境や暮らしについておたずねします。

問 24 あなたは、東近江市の自然環境保全の取組について満足していますか。《○1つ》

- | | | |
|--------------------|-------------------|--------------|
| 1. 満足している | 2. どちらかといえば満足している | 3. どちらともいえない |
| 4. どちらかといえば満足していない | 5. 満足していない | 6. わからない |

問 25 あなたは、暮らしや仕事等日々の営みの中で自然環境との関わりを感じていますか。《○1つ》

- | | | |
|-------------------|------------------|--------------|
| 1. 感じている | 2. どちらかといえば感じている | 3. どちらともいえない |
| 4. どちらかといえば感じていない | 5. 感じていない | 6. わからない |

問 26 あなたは、次の低炭素・資源循環型の取組を行っていますか。

①あなたは、環境にやさしい取組を行っていますか。(使用していない電気の消灯、マイバックの持参、省エネ機器の選択、自転車や公共交通機関の利用等)《○1つ》

- | | | |
|--------------|----------------|-------------|
| 1. 常に取り組んでいる | 2. ときどき取り組んでいる | 3. 取り組んでいない |
| 4. 取組もうと思わない | 5. わからない | |

②あなたは、自宅に再生可能エネルギー・省エネ設備を設置していますか。(太陽光発電やコージェネレーションシステム、蓄電システム、太陽熱温水器、雨水貯留施設の設置等)《○1つ》

※コージェネレーションシステム(熱電併給)…天然ガス、石油等を燃料として発電し、その際に生じる廃熱も同時に回収し、有効利用するシステム

- | | | |
|---------------|--------------|----------------|
| 1. 既に設置している | 2. 設置する予定である | 3. 設置したいが予定はない |
| 4. 設置したいと思わない | 5. わからない | |

問 27 あなたは、ごみと資源の分別をしていますか。《○1つ》

- | | | |
|----------|-----------------|------------------|
| 1. している | 2. どちらかといえばしている | 3. どちらかといえばしていない |
| 4. していない | 5. 分別方法がわからない | |

問 28 あなたは、御自身で今後木造住宅を建てるとしたら、材料にはどのようなものを選びたいと思いますか。《○1つ》

- | | | |
|-----------|---------------------------|------------|
| 1. 東近江市産材 | 2. 琵琶湖産材(県産材) | 3. 県外産材 |
| 4. 外国産材 | 5. 大工・工務店・ハウスメーカーなどが勧めるもの | 6. 金額が安いもの |
| 7. わからない | 8. その他() | |

問 29 あなたは、消費者トラブルに巻きこまれたときや、多重債務に陥ったときの相談窓口として、市役所内に消費生活センターがあることを知っていますか。《○1つ》

- | | |
|----------|---------|
| 1. 知っている | 2. 知らない |
|----------|---------|

問 30 あなたは、市役所内の市民生活相談課で、暮らしの困りごとに関して法律相談や登記相談等を受けられることを知っていますか。《○1つ》

- | | |
|----------|---------|
| 1. 知っている | 2. 知らない |
|----------|---------|

問 31 あなたは、市内の鉄道やバス等の公共交通に対して満足していますか。《○1つ》

- | | |
|--------------|--------------------|
| 1. 満足している | 2. どちらかといえば満足している |
| 3. どちらともいえない | 4. どちらかといえば満足していない |
| 5. 満足していない | 6. わからない |

問 32 市内には近江鉄道の駅が13箇所あり、全線を将来にわたって存続させていくために、令和元年11月から、事業者、県及び沿線の市や町などが一緒になって、様々な議論をしているところです。
あなたは、近江鉄道線についてどう感じていますか。《○1つ》

- | | |
|-------------------------|--------------|
| 1. 重要であると感じる | 2. 重要でないと感じる |
| 3. 重要であるが利便性等の改善が必要と感じる | 4. その他() |

問 33 あなたは、近江鉄道をどの程度利用しますか。《○1つ》

- | | | | |
|--------------|--------------|----------|-----------|
| 1. ほぼ毎日 | 2. 週1～2日 | 3. 月1～2日 | →問 33-1 へ |
| 4. ほとんど利用しない | 5. 利用したことはない | | |

問 33-1 問 33 で「1. ほぼ毎日」「2. 週1～2日」「3. 月1～2日」とお答えの方におたずねします。
近江鉄道を利用する目的は何ですか。《○1つ》

- | | | | |
|-----------|-------|-----------|-------|
| 1. 通勤・通学 | 2. 仕事 | 3. 買物 | 4. 通院 |
| 5. 遊び・趣味等 | 6. 観光 | 7. その他() | |

問 34 あなたは、近江鉄道を利用する場合、どのようなことを希望されますか。《あてはまるものすべてに○》

- | | |
|-----------------------|-----------------|
| 1. 本数を増やしてほしい | 2. JR琵琶湖線との接続改善 |
| 3. 新幹線(米原駅)との接続改善 | 4. バスとの接続改善 |
| 5. 駅前に駐車場・駐輪場を整備してほしい | 6. 運賃の値下げ |
| 7. その他() | |

問 35 あなたは、地震等の災害に備えてどのような準備をしていますか。《あてはまるものすべてに○》

- | | |
|---------------------|-----------------|
| 1. 水や食料等を3日分以上備蓄 | 2. 非常持ち出し袋の準備 |
| 3. 家具の転倒防止 | 4. 地域の防災訓練に参加 |
| 5. 一時集合場所や避難所を家族で確認 | 6. 安否連絡方法を家族で確認 |
| 7. 特に何もしていない | 8. その他() |

5 子育てや教育についておたずねします。

問 36 あなたは、東近江市は子育てをするのに良い環境であると思いますか。《○1つ》

- | | | |
|-------------------|-----------------|--------------|
| 1. そう思う | 2. どちらかといえばそう思う | 3. どちらともいえない |
| 4. どちらかといえばそう思わない | 5. そう思わない | 6. わからない |

問 37 あなたは、市内において児童・生徒の通学路の安全は確保できていると思いますか。《○1つ》

- | | | |
|-------------------|------------------|--------------|
| 1. できている | 2. どちらかといえばできている | 3. どちらともいえない |
| 4. どちらかといえばできていない | 5. できていない | 6. わからない |

問 38 あなたは、「東近江市は人権が尊重されるまち」になっていると思いますか。《○1つ》

- | | | |
|-------------------|-----------------|--------------|
| 1. そう思う | 2. どちらかといえばそう思う | 3. どちらともいえない |
| 4. どちらかといえばそう思わない | 5. そう思わない | 6. わからない |

問 39 あなたは、この1年間に職場、市又は地区等が開催する人権に関する講座や講演、研修等に参加しましたか。《あてはまるものすべてに○》

- | | |
|------------------|-------------------|
| 1. 職場の講演や研修に参加した | 2. 市の講座や講演に参加した |
| 3. 地区の講座や講演に参加した | 4. 自治会の町別懇談会に参加した |
| 5. 参加していない | 6. その他() |

問 40 あなたは、オレンジリボンが児童虐待防止のシンボルマークであると知っていますか。《○1つ》

- | | |
|----------|---------|
| 1. 知っている | 2. 知らない |
|----------|---------|

問 41 あなたは、児童虐待が疑われるときに、どこに通報しますか。《あてはまるものすべてに○》

- | | |
|---------------------|--------------|
| 1. 子ども家庭相談センター | 2. 警察 |
| 3. 市役所 | 4. 虐待ホットライン |
| 5. 児童相談所全国共通ダイヤル189 | 6. 園・学校 |
| 7. 保健センター | 8. 民生委員児童委員 |
| 9. その他() | 10. 通報先を知らない |
| 11. 通報しない | |

問 42 博物館では、様々な展示を実施しています。あなたはこの1年間に、市内の公立博物館の展示を見学されましたか。《○1つ》

- | | | |
|-------------|-----------|------------|
| 1. 2回以上見学した | 2. 1回見学した | 3. 見学しなかった |
|-------------|-----------|------------|

6 都市整備についておたずねします。

問 43 市内の都市基盤の整備に対する満足度をお答えください。《①～⑤それぞれの項目に○1つ》

	満足	どちらかといえば満足	どちらともいえない	どちらかといえば不満	不満	わからない
①主要幹線道路の整備(主に市外へ移動するための道路)	1	2	3	4	5	6
②地域の生活道路の整備(主に市内を移動するための道路)	1	2	3	4	5	6
③河川の整備(一級河川等)	1	2	3	4	5	6
④雨水排水の整備(身近な水路等)	1	2	3	4	5	6
⑤公園の整備(広場、遊び場等)	1	2	3	4	5	6

7 購買状況等についておたずねします。

問 44 あなたは、日頃、食品や日用雑貨品、衣料品を主にどこで購入しますか。

《①～③それぞれの項目に○1つ》

	東 近 江 市 内	近 江 八 幡 市	彦 根 市	甲 賀 市	県 内 市 町 其 他	県 外	通 販 カ タ ロ グ	シ ョ ッ ピ ン グ ネ ッ ト	其 他
①食品	1	2	3	4	5	6	7	8	9
②日用雑貨品	1	2	3	4	5	6	7	8	9
③衣料品	1	2	3	4	5	6	7	8	9

問 45 あなたの家庭では、お米を主にどこから購入等していますか。《○1つ》

1. 米屋さん	2. スーパーや量販店	3. コンビニ
4. インターネット	5. 知り合いからもらっている、 購入している	6. 親族などからもらっている、 購入している
7. 自分で作っている	8. わからない	9. その他()

問 46 あなたの家庭では野菜等を購入するとき、主に何を基準に選んでいますか。(自作している方も不足する野菜を購入する場合)《○1つ》

1. 金額	2. 鮮度	3. 安全と安心
4. 調理の利便性(カット済み、洗浄済み等)	5. 見た目	6. 大きさ
7. 産地(市内、県内産等)	8. わからない	9. その他()

問 47 あなたの家庭では、市内の農産物直売所(青空市、無人販売所を含む)を利用しますか。《○1つ》

1. よく利用する(週に1回以上)	2. 利用する(月に1～3回程度)
3. たまに利用する(年間数回程度)	4. 利用しない
5. 市内の直売所は利用しないが市外の直売所を利用している	6. 直売所がどこにあるのか知らない
7. わからない	8. その他()

問 48 あなたは、次のキャッシュレス決済を週1回以上使っていますか。《あてはまるものすべてに○》

1. クレジットカード	2. デビットカード
3. QR/バーコード決済(PayPay、LINE Pay など)	4. 流通系電子マネー(HOPマネー、WAON、nanaco など)
5. 交通系電子マネー(ICOCA、PiTaPa など) ※電車やバス等の交通機関での利用を除く	6. 使っていない
7. その他()	

8 協働のまちづくりについておたずねします。

問 49 あなたは、東近江市では市民、企業、行政等が共に考え、力を合わせた協働のまちづくりができていますか。《○1つ》

- | | | |
|--------------|--------------|--------------|
| 1. できている | 2. ある程度できている | 3. どちらともいえない |
| 4. あまりできていない | 5. できていない | 6. わからない |

問 50 あなたは、市内14地区にまちづくり協議会が設置され、各地区で様々なまちづくり活動が行われていることを知っていますか。《○1つ》

- | | |
|--------------------|----------------------|
| 1. 活動に参加して、よく知っている | 2. 活動に参加していないが、知っている |
| 3. 聞いた程度であまりよく知らない | 4. 全く知らない |

問 51 あなたの身近な地域では、住民同士の助け合いができていますか。《○1つ》

- | | | |
|-------------------|------------------|--------------|
| 1. できている | 2. どちらかといえばできている | 3. どちらともいえない |
| 4. どちらかといえばできていない | 5. できていない | 6. わからない |

問 52 あなたは、自治会やまちづくり協議会等の地域活動又はNPOやボランティア等の活動にどの程度参加していますか。《○1つ》

- | | | |
|---------------|----------------|-----------|
| 1. 積極的に参加している | 2. できる限り参加している | →問 52-1 へ |
| 3. とくどき参加している | 4. 参加していない | |

問 52-1 問 52 で「1. 積極的に参加している」「2. できる限り参加している」とお答えの方におたずねします。
この1年間にどのような活動に参加しましたか。《あてはまるものすべてに○》

- | | | |
|-----------|----------------|-----------|
| 1. 自治会活動 | 2. まちづくり協議会の活動 | →問 52-2 へ |
| 3. NPOの活動 | 4. ボランティア活動 | |
| 5. その他() | | |

問 52-2 問 52-1 で「3. NPOの活動」「4. ボランティア活動」とお答えの方におたずねします。
この1年間にどのような活動に参加しましたか。《あてはまるものすべてに○》

- | | |
|-----------------------|-----------------|
| 1. 高齢者に対する活動 | 2. 障害者に対する活動 |
| 3. 子育てをする親や子どもを支援する活動 | 4. 健康や医療に関連した活動 |
| 5. スポーツに関連した活動 | 6. 自然や環境を守る活動 |
| 7. 美化・清掃活動 | 8. 災害・防災に関連した活動 |
| 9. 交通安全・防犯活動 | 10. 国際協力に関連した活動 |
| 11. その他() | |

問 53 あなたは、国籍や民族の異なる人々が互いに認め合い、共に暮らす社会の実現についてどう思いますか。《○1つ》

- | | | |
|-----------------|-------------------|--------------|
| 1. 重要だと思う | 2. どちらかといえば重要だと思う | 3. どちらともいえない |
| 4. あまり重要だとは思わない | 5. 重要だとは思わない | 6. わからない |

9 広報等の情報についておたずねします。

問 54 あなたは、市の広報紙「広報ひがしおうみ」を読んでいますか。《○1つ》

1. 毎月読んでいる	2. たまに読んでいる	→問 54-1 へ
3. 読んでいない	4. 知らない	→問 54-2 へ

問 54-1 問 54 で「1. 毎月読んでいる」「2. たまに読んでいる」とお答えの方におたずねします。
あなたは、「広報ひがしおうみ」の内容について満足していますか。《○1つ》

1. 満足している	2. どちらかといえば満足している
3. どちらともいえない	4. どちらかといえば満足していない
5. 満足していない	

問 54-2 問 54 で「3. 読んでいない」「4. 知らない」とお答えの方におたずねします。
その理由は何ですか。《○1つ》

1. 手元に届かない	2. 記載内容に魅力がない
3. 紙面が読みにくい	4. その他()

問 55 「広報ひがしおうみ」は毎月新聞折込みによる配布のほかに、次の方法で配信等を行っています。
あなたは、次の配信等の方法を知っていますか。《それぞれの項目に○1つ》

	見たことがある	見たことはない 知っているが	知らない
①市ホームページで閲覧	1	2	3
②東近江スマイルネットのデータ放送で視聴	1	2	3
③スマートフォンのアプリ「マチイロ」で閲覧	1	2	3
④インターネットの「マイ広報紙」で閲覧	1	2	3
⑤公共施設等(市役所、図書館、コミュニティセンターなど)に設置	1	2	3

問 56 あなたは、市の情報(お知らせ)は主にどのような方法で取得していますか。《○3つまで》

1. 広報ひがしおうみ	2. 新聞
3. 自治会回覧	4. 公共施設に設置してあるチラシ
5. 市ホームページ	6. ケーブルテレビ(東近江スマイルネット)
7. 音声告知端末	8. ラジオ(FMひがしおうみ)
9. その他()	

問 57 あなたは「東近江市議会だより」を読んでいますか。《○1つ》

- | | |
|------------|---------------------|
| 1. 毎号読んでいる | 2. たまに読んでいる |
| 3. 読んでいない | 4. 「東近江市議会だより」を知らない |

10 市役所のサービスに関しておたずねします。

問 58 この1年間に、市役所(支所・出張所を含む)の窓口利用や電話でのお問い合わせ、又は市役所外で職員に接した際の市役所職員の対応はどのように感じましたか。《○1つ》

- | | |
|--------------|------------------------------|
| 1. 良かった | 2. どちらかといえば良かった |
| 3. どちらともいえない | 4. どちらかといえば悪かった |
| 5. 悪かった | 6. 利用や問い合わせをしていない又は職員と接していない |

11 まちづくりに対する御意見等についておたずねします。

問 59 東近江市のまちづくりについて、御意見や御提案等がありましたら御記入ください。

調査に御協力いただき、ありがとうございました。
調査票を返信用封筒に入れ、11月24日(火)までにポストに御投函ください。

令和2年度 市民意識調査結果報告書

発行年月 令和3年3月

発行 東近江市 企画部 総合政策課
〒527-8527 滋賀県東近江市八日市緑町10番5号
IP電話:050-5802-9021 電話:0748-24-5621